

ADOBE® ELEMENTS ORGANIZER

ヘルプとチュートリアル

新機能

このページからリンクされている内容の一部は英語版のみです。

Elements Organizer 11 の新機能

新規ユーザーインターフェイスとワークフロー

アルバムとフォルダーのパネル

Adobe Revel から写真を読み込む

写真のかんたん補正

写真に写っている人物の識別

イベントに基づく写真の整理

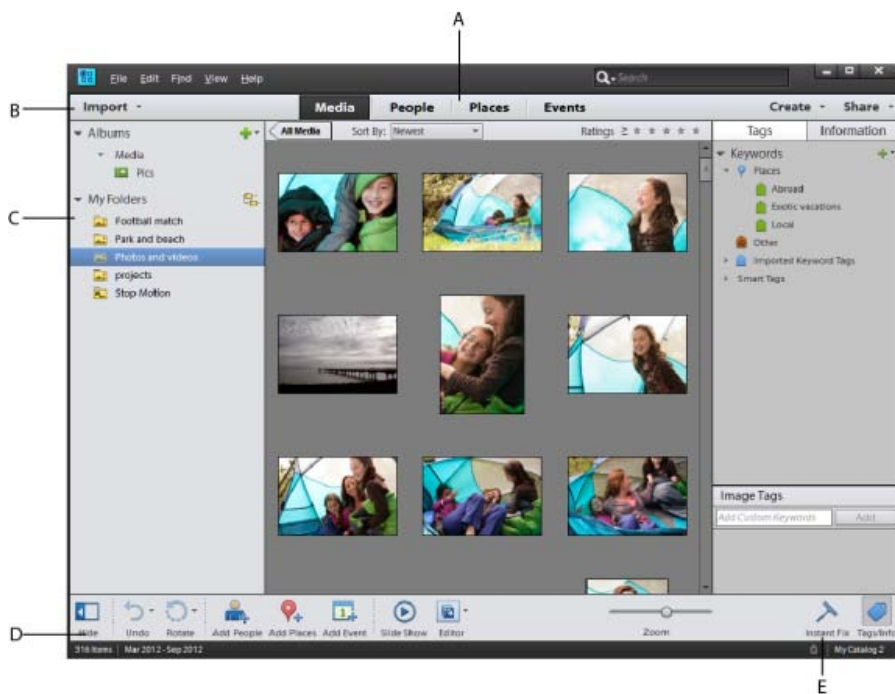
写真に写っている場所のタグを付ける

メディアを探すための新しい検索機能

[ページの先頭へ](#)

新規ユーザーインターフェイスとワークフロー

Elements Organizer 11 の新規ユーザーインターフェイスでは、写真やビデオをすばやく楽に読み込み、表示、並べ替え、整理することができます。簡単に開始できるように、読み込みオプションを簡単にすぐに見つけることができます。



A. ビュー B. 「読み込み」ボタン C. アルバムとフォルダーパネル D. タスクバー E. 「簡単補正」ボタン

アプリケーションを展開すると、多数の使用性の向上を確認できます。

- ビュー：メディア（写真やビデオ）の表示とこれらを種々の方法で整理することができる 4 つの新しいビュー（メディア、人物、場所、イベント）があります。
- 「読み込み」ボタン：新しい見つけやすい「読み込み」ボタンは、メディアを読み込む様々なオプションにアクセスするための開始点です。
- アルバムとフォルダーのパネル：アルバムとフォルダーの写真での作業に役立ちます。
- タスクバー：下部にあるタスクバーでは、人物の識別、メディアへの場所やイベントの追加のオプションにすばやくアクセスできます。
- 「かんたん補正」ボタン：Elements Organizer ワークスペースで写真について実行する最も一般的な編集タスクのオプションがあります。

[ページの先頭へ](#)

アルバムとフォルダーのパネル

新しいアルバムとフォルダーのパネルでは、現在のカタログにあるアルバムやフォルダーにすばやくアクセスできます。このパネルでは、アルバムやアルバムカテゴリの追加と管理を行うこともできます。

Elements Organizer のアルバムは、選択したグループに写真を保存して整理できる、実際のアルバムのようなものです。例えば、「休暇の写真ベスト 10」というアルバムを作成し、お気に入りの画像を 10 枚追加できます。また、次のタスクを実行することもできます。

- アルバムをグループ別に整理する。
- 複数レベルのアルバムカテゴリを作成する。
- アルバムにメディアを追加する。

詳しくは、アルバムおよびアルバムカテゴリの作成を参照してください。

アルバムとフォルダーのパネルのフォルダーリストを使用すると、読み込み元の各フォルダーの写真やビデオを簡単に表示できます。また、次のタスクを実行することもできます。

- メディアファイルのディスク上の物理的位置を表示する。
- ディスクまたはカタログからフォルダーを削除する。
- かんたんアルバムを作成する。
- チェックフォルダーリストにフォルダーを追加して、Elements Organizer で新しいファイルを監視する。

Adobe Revel から写真を読み込む

[ページの先頭へ](#)

Adobe® Revel™ から写真を読み込んで、Elements Organizer で表示、編集、整理できるようになりました。Adobe Revel は、Mac、iPad、および iPhone 用の強力な直観的な写真アプリケーションです。

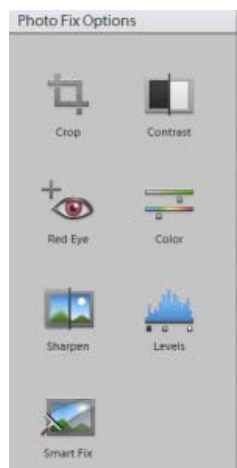
詳しくは、Adobe Revel からの写真の読み込みを参照してください。

写真のかんたん補正

[ページの先頭へ](#)

新しいかんたん補正機能を使用すると、写真に対して最も一般的ないくつかの編集タスクを実行できます。かんたん補正は、写真の一般的な問題の修正に役立ちます。これらの修正には、赤目の問題の除去、写真の切り抜き、写真をシャープにする、スマート補正を実行して写真を自動的に修正するなどがあります。

詳しくは、[Elements Organizer での写真の補正](#)を参照してください。



写真補正オプション

写真に写っている人物の識別

[ページの先頭へ](#)

写真に写っている顔を識別したり、写真に写っている顔に基づいて写真を整理したりすることができるようになりました。人物の追加機能を使用すると、Facebook リストから写真を識別し、写真内でその人物をマークできるようになりました。

写真に人物のデータを追加したら、人物ビューでこれらの写真のスタックに簡単にアクセスできます。また、「家族」や「友達」など、人物のグループを作成することもできます。

詳しくは、写真内の顔のマークと人物スタックの整理を参照してください。



人物スタック

イベントに基づく写真の整理

[ページの先頭へ](#)

イベントを写真に追加し、様々なイベントの写真のスタックを作成できます。これらのスタックにより、特定のイベントで撮影された写真にすばやくアクセスできます。

スマートイベントという高度な機能を使用して、このタスクをさらに簡単にすることができます。スマートイベントでは、日付と時間に基づいて写真をスタックし、イベントをスタックに追加することができます。例えば、特定の日の朝、午後、夕方に撮影した写真の3つのスタックを作成して、イベントを追加できます。

詳しくは、次を参照してください：

イベントデータの追加と管理

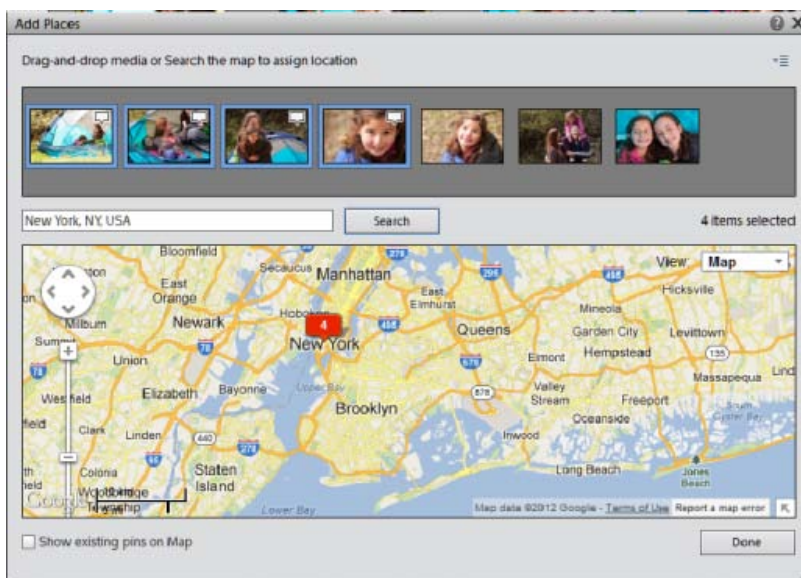
スマートイベントを使ったイベントトラックの作成

写真に写っている場所のタグを付ける

[ページの先頭へ](#)

Elements Organizer 11 では、撮影場所のタグを写真に付けることができます。Google マップとのシームレスな統合により、場所ビューで場所を検索し、場所のタグを写真に付けることができます。

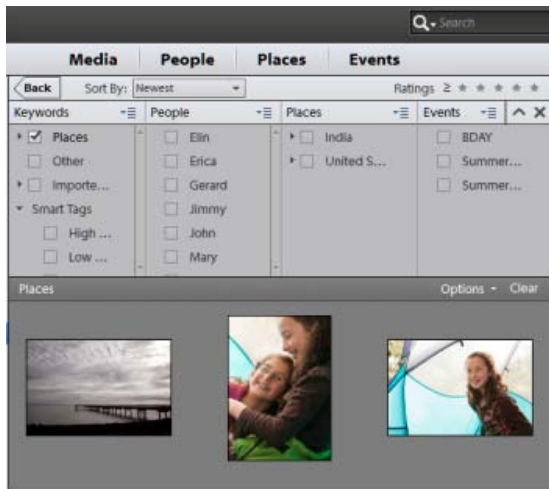
詳しくは、場所（位置）データの追加と管理を参照してください。



写真への場所の追加

メディアを探すための新しい検索機能

[ページの先頭へ](#)



詳細検索オプション

Elements Organizer 11 の際立った特徴の 1 つは、強力な検索機能です。これらの機能には、新しい検索バーからアクセスできます。

検索バーの詳細検索オプションを使用すると、キーワード、人物、場所、およびイベントに基づいて写真を検索できます。

オブジェクト検索オプションでは、視覚的に定義したオブジェクト（特定の顔など）を含んでいる写真を簡単に見つけることができます。

類似するアイテムの検索や重複する写真の検索などの新しい検索オプションは、類似する写真や重複する写真を見つけるときに役立ちます。

保存検索オプションでは、検索クエリーを保存できるので、同じ検索を再度実行することができます。保存検索で指定した条件に一致する写真は、アルバム内に動的に収集されます。

詳しくは、次を参照してください：:

メディアファイルの検索


タイムグラフを使用したメディアファイルの検索

キーワードタグによるメディアファイルの検索

[保存検索の作成と編集](#)

関連リンク

- [Premiere Elements 11 の新機能](#)
- [Premiere Elements 11 の新機能](#)

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

ワークスペースとワークフロー

このページからリンクされている内容の一部は英語版のみです。

ワークスペース

[スタートアップスクリーン](#)

[ワークスペース](#)

[Elements Organizer のビュー](#)

[コンテキストメニューの使用](#)

[ショートカットキーと修飾キーの使用](#)

[操作の取り消し、やり直しまたはキャンセル](#)

[Photoshop Elements または Adobe Premiere Elements の終了](#)

スタートアップスクリーン

[トップへ戻る](#)

Photoshop Elements または Adobe Premiere Elements を起動すると、初期設定でスタートアップスクリーンが開きます。スタートアップスクリーンは、主な各種作業にアクセスするための出発点となる、便利なスクリーンです。

スタートアップスクリーンをスキップして、Elements Organizer または Elements Editor を直接起動する場合は、「設定」  アイコンをクリックします。

「起動時に常に起動」ドロップダウンから以下のオプションのいずれかを選択します。

スタートアップスクリーン Elements を起動するときにスタートアップスクリーンを起動する場合は、このオプションを選択します。

整理 スタートアップスクリーンをスキップして、Elements Organizer を直接起動する場合は、このオプションを選択します。

写真の編集 スタートアップスクリーンをスキップして、Photoshop Elements Editor を起動する場合は、このオプションを選択します。

ボタンをクリックして、目的のワークスペースを開きます。例えば、Elements Organizer を起動して、写真とメディアファイルの取り込み、タグの追加、整理を行うには「整理」をクリックします。また、Elements Editor を起動して、メディアファイルの加工や特殊効果の適用を行うには「写真の編集」をクリックします。

スタートアップスクリーンは、ヘルプ／スタートアップスクリーンから、いつでも開くことができます。スタートアップスクリーンに戻って他のワークスペースを開く必要はありません。

ワークスペース

[トップへ戻る](#)

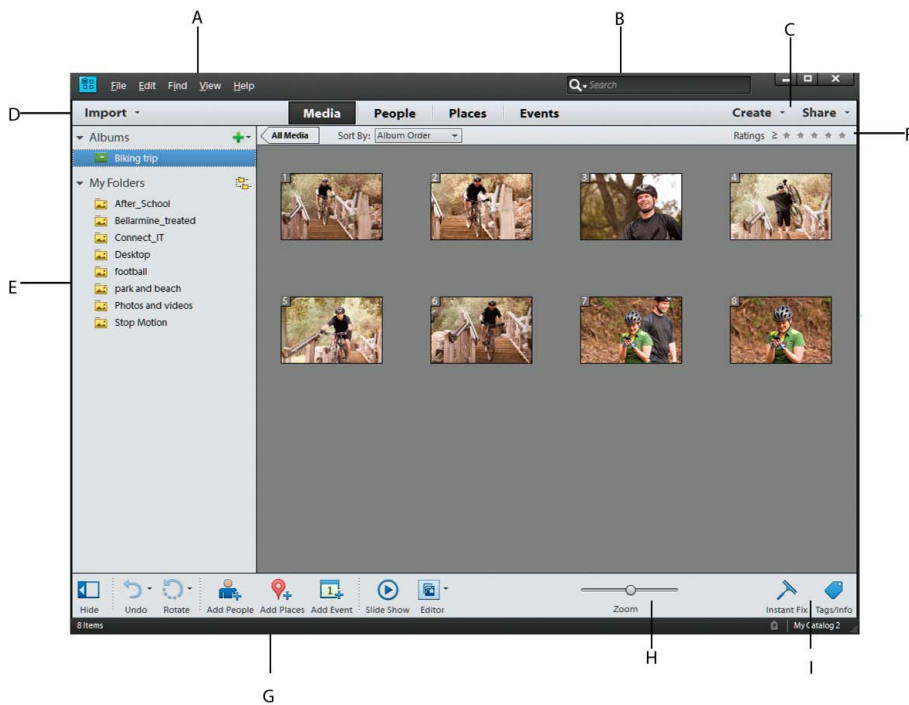
Elements Organizer は、写真やメディアファイルの検索、整理および配信に使用します。メディアビューでは、取り込んだメディアファイルのサムネールを表示することができます。1 つのメディアファイルのサムネールを拡大して表示したり、多数のメディアファイルのサムネールを縮小して表示したりすることができます。サムネールのサイズは、ズームスライダーを使用して指定します。

メディアビューには、すべての写真、取り込んだビデオ、PDF ファイルが表示されます。取り込んだアイテムは総合ビューに表示され、簡単に参照したり、フィルターしたりできます。CD などのコンピューターの外部に保存したファイルのサムネールを表示することもできます。

タスクエリアの「かんたん補正」タブにあるツールを使用すると、メディアファイルの一般的な問題を補正できます。

「作成」タブでは、プリントするフォトブックやコンピューターで表示するスライドショーなど、様々なプロジェクトを作成できます。

また、タスクエリアの「配信」タブのツールを使用して、写真、ビデオおよびプロジェクトを他のユーザーと共有することもできます。



Elements Organizer のボタンとメニューバー

A. メニューバー B. 検索バー C. 「作成」と「配信」タブ D. 読み込みボタン E. アルバムとフォルダーのパネル F. 重要度フィルター G. タスクエリア H. ズームバー I. 「かんたん補正」と「タグ／情報」

Elements Organizer ワークスペースには、次のコンポーネントがあります。

メニューバー 作業を実行するためのメニューが含まれています。Elements Organizer では、メニューが「ファイル」、「編集」、「検索」、「表示」、および「ヘルプ」に分類されています。

検索バー 条件を入力するか、ドロップダウンリストから特定の検索オプションを選択して、写真またはメディアファイルを検索します。

「作成」と「配信」 メディアファイルを使用してプロジェクトを作成する方法を模索するには、「作成」をクリックします。友人や家族とメディアファイルを共有する様々な方法を確認するには、「配信」をクリックします。

「読み込み」 ボタン 「読み込み」をクリックして、Elements Organizer へのメディアの取り込みを開始します。

アルバムとフォルダーのパネル 以前のバージョンのカタログで作成されたアルバム、または読み込まれたアルバムは、アルバムパネルに表示されます。Elements Organizer でメディアを整理するため、アルバムを作成し、アルバムパネル内でメディアを管理することができます。

フォルダーパネルには、Elements Organizer にメディアを書き出した物理フォルダーがすべて表示されます。タスクエリアで対応するボタンをクリックすることで、表示／非表示を切り替えることができます。

重要度フィルター メディアファイルに重要度を割り当てることができます。これにより、メディアの並べ替えと整理がしやすくなります。例えば、お好みのテーマや優れた写真であるなど、さまざまな理由から、写真に 5 つ星を与えることができます。

これらの写真には、後から 5 つ星を与えることができます。

タスクエリア 場所、人物、イベントを追加するボタンや、スライドショーを作成するボタンが含まれています。写真やビデオを修正するため、「エディター」ボタンを押して Elements Editor を起動することもできます。詳しくは、ワークスペースを参照してください。

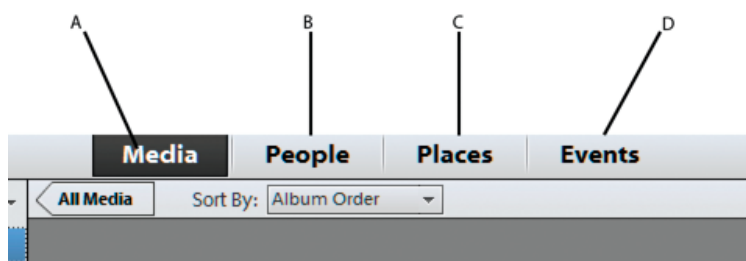
ステータスバー メディアビューのステータスバーには、選択しているアイテムの数と、メディアビューに含まれる全アイテム数が表示されます。また、表示されていないメディアの数も表示します。

[トップへ戻る](#)

Elements Organizer のビュー

Elements Organizer には、4 つのビューがあります。「表示」タブを使用すると、写真に写っている人物、写真を撮影した場所、および写真に関連付けられたイベントに基づいてメディアを整理したり、表示したりする際に便利です。

メディアを読み込むと、まずメディアビューにファイルが表示されます。次に、写真に写っている顔をマークしたり、写真が撮影された場所を特定したり、イベントのスタックを作成したりすることができます。ここには、4 つのビューがリストされています。



Elements Organizer のビュー

- A. メディア このビューには、様々なメディアファイルが表示されます。このビューでファイルを表示したり、「かんたん補正」オプションを使用して写真を補正したり、「タグ／情報」オプションを使用して特定のファイルに関する情報を表示したり、他の操作を実行することができます。
- B. 人物 写真に写っている人物をマークすることができます。人物ビューを使用すると、写真内で識別できる人物に応じてスタックを配置する際に便利です。
- C. 場所 写真とその撮影場所の間には特別な関連性があるので、場所ビューに含まれる写真に場所のタグを付けることができます。
- D. イベント イベントの写真を含むイベントのスタックを作成することができます。例えば、Dan の誕生日というイベントを作成して、そのイベントの写真にタグを付けることができます。

コンテキストメニューの使用

[トップへ戻る](#)

Elements Editor ワークスペースと Elements Organizer ワークスペースでは、どちらでもコンテキストメニューを使用できます。コンテキストメニューを使用して、使用中のツール、選択範囲、パネルなどに関連するコマンドを表示できます。

1. 画像またはパネルアイテムの上にポインターを置きます。
注意：一部のパネルにはコンテキストメニューがありません。
2. 右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）して、メニューからコマンドを選択します。

ショートカットキーと修飾キーの使用

[トップへ戻る](#)

Elements Editor ワークスペースと Elements Organizer ワークスペースでは、どちらでもショートカットキーを使用できます。標準編集で、ショートカットキーを使用すると、メニューを使用せずにコマンドをすばやく実行できます。修飾キーを使用すると、ツールの動作を変えることができます。ショートカットキーが使用可能な場合は、メニューのコマンド名の右側にショートカットキーが表示されます。

操作の取り消し、やり直しまたはキャンセル

[トップへ戻る](#)

操作の多くは、取り消しまたはやり直しが可能です。この機能は、使用可能なメモリ容量によって制限されます。

1. 操作を取り消したり、やり直すには、タスクエリアで「取り消し」または「やり直し」を選択します。
2. 操作をキャンセルするには、実行中の操作が中断されるまで Esc キーを押し続けます。

Photoshop Elements または Adobe Premiere Elements の終了

[トップへ戻る](#)

Photoshop Elements または Adobe Premiere Elements を終了するには、各ワークスペースを閉じます。一方を閉じても、もう一方が自動的に閉じられることはありません。

1. Windows® では、ファイル／終了を選択します。Mac® OS では、Adobe Elements 11 Organizer／Adobe Elements 11 Organizer を終了を選択します。
2. Elements Editor を閉じると、開いている他のファイルを保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

関連項目

 [Photoshop Elements ワークスペース](#)

 [Adobe Premiere Elements ワークスペース](#)

[イベントデータの追加と管理](#)

[写真内の顔のマークと人物スタックの整理](#)

[場所（位置）データの追加と管理](#)

 [ツールの選択時に使用するキー](#)

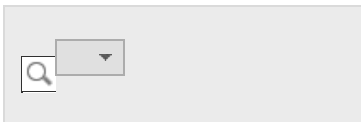
 [別のファイル形式での変更内容の保存](#)



法律上の注意 | [プライバシーポリシー](#)



Elements Organizer での写真およびビデオの表示



- メディアビューについて
- メディアビューの表示環境設定の設定
- メディアビューアイコン
- メディアビューでファイルを並べ替え
- メディアビューでのメディアファイルの表示と非表示
- フォルダー毎のファイルの表示と管理
- 表示するアイテムの種類の指定
- ズームバーを使用したメディアサムネールのサイズ変更、更新、または非表示
- メディアビューでのファイルの選択
- メディアファイルの詳細情報の表示と編集

[トップへ戻る](#)

メディアビューについて

メディアビューでは、Elements Organizer の中央（グリッド）にメディアファイルのサムネールを表示します。アルバム、フォルダー、カタログ内のメディア（写真のサムネール、ビデオファイル、オーディオファイル）を表示できます。メディアビューでアイテムを選択して、タグを付けたり、プロジェクトに追加したり、編集したりすることができます。

メディアビューは、デフォルトで表示されます。ただし、他のビューからこのビューに切り替えるには、「メディア」タブをクリックします。

[トップへ戻る](#)

メディアビューの表示環境設定の設定


- 「メディア」タブをクリックして、メディアビューを開きます。
- 次のいずれかの操作を行います。
 - （Windows）編集／環境設定／一般を選択します。
 - （Mac OS）Adobe Elements 11 Organizer／環境設定／一般を選択します。
- 必要に応じて次のような表示オプションを指定します。
 - プリントサイズ：メディアのプリントサイズを指定します。
 - 日付（時刻の新しい順）：同じ日付の写真を新しい写真から順に表示するには、「同じ日付のアイテムは時刻の新しい順に表示」を選択します。古い写真から順に表示するには、「同じ日付のアイテムは時刻の古い順に表示」を選択します。
 - 日付の形式：写真のタイムスタンプに使用する日付の形式を選択します。このオプションは一部の言語では使用できません。
 - 写真のサイズ変更を許可：フォトブラウザーのスペースが許す限り、写真を実際のサイズの 100 %以上に拡大するには、「写真のサイズ変更を許可」を選択します。このオプションを選択解除すると、利用可能なスペースが残っている場合でも、写真が実際のサイズで表示されます。
 - システムフォントを使用：コンピューターのオペレーティングシステムのフォントを使用して Elements Organizer のユーザーインターフェイスのテキストを表示する場合は、「システムフォントを使用」を選択します。
 - サムネールの日付をクリックして日時を変更：写真の日時の詳細を編集するには、写真をクリックして、「サムネールの日付をクリックして日時を変更」を選択します。
 - すべての警告ダイアログボックスを初期化：以後、表示しないことにしたダイアログボックスを再度有効にするには、「すべての警告ダイアログボックスを初期化」をクリックします。
 - デフォルト設定に戻す：このボタンをクリックすると、一般的な表示の環境設定がデ

フォルトに戻ります。


[トップへ戻る](#)

メディアビューアイコン


日時とタグを表示オプションを選択した場合にだけ、次のアイコンのうち該当するものが表示されます。他のアイコンは常に表示されます。ファイルの詳細を表示するには、表示／詳細をクリックします。

スタックアイコン 

スタックされている写真のサムネールであることを示します。

バージョンセットアイコン 

スタックされている編集されたバージョンの写真のサムネールであることを示します。

ビデオシーングループアイコン 


ビデオシーングループのビデオシーンのサムネールであることを示します。

ビデオアイコン 


ビデオクリップのサムネールであることを示します。

オーディオアイコン 


サムネールにオーディオキャプションがあることを示します。

マルチプルキーワードタグアイコン 


メディアファイルに6つ以上のキーワードタグが適用されていることを示します。ポインターをタグアイコンに重ねると、付けられているキーワードタグが表示されます。

キーワードタグアイコン 


メディアファイルに特定のキーワードタグが適用されていることを示します。

アルバムアイコン 


アルバムであることを示します。

非表示の写真アイコン 


サムネールが非表示のファイルであることを示します。

プロジェクトアイコン 

サムネールがプロジェクトに使用されていることを示します。

フォトプロジェクトアイコン 


写真が複数ページのプロジェクトに含まれていることを示します。

重要度 

写真の重要度を5段階で表示します。

人物タグ 

写真に人物が追加されていることを示します。

スマートタグ 

メディアファイルにスマートタグが適用されていることを示します。

[トップへ戻る](#)

メディアビューでファイルを並べ替え

❖ 並べ替えドロップダウンリストで選択できるオプションに基づいて並べ替え、グリッド内でメディアファイルを表示する様々な方法が用意されています。

並べ替えで表示される次のオプションから選択します。

取り込み順

メディアファイルを取り込んだ日時ごとに表示し、取り込み方法も表示します。

最も新しい

撮影日時や読み込み日時が新しい順にメディアファイルを表示します（メディアファイルの日付が同じ場合は、環境設定ダイアログボックスで指定しない限り、先に撮影されたメディアファイルから表示されます）。新しい順で表示すると、新しく取り込んだメディアファイルにタグを付ける場合に便利です。

最も古い

日付スタンプ順にメディアファイルを表示すると、日付に基づいて最初に読み込まれたファイルから表示されます。

[トップへ戻る](#)

メディアビューでのメディアファイルの表示と非表示



ハードディスクからメディアファイルを削除しなくても、メディアビュー内のビューで非表示にするよう、メディアファイルにマークを付けることができます。逆に、非表示のファイルを一時的に表示したり、ファイルが常に表示されるよう、マークを削除したりすることもできます。

非表示にするメディアファイルの指定

1. 非表示にするメディアファイルを選択します。隣接する複数のファイルを選択する場合は、Shift キーを押しながら最初のメディアファイルと最後のメディアファイルをクリックして、グループ全体を選択します。隣接していない複数のファイルを選択する場合は、Ctrl キーを押しながら、ファイルを 1 つずつクリックして選択します。
2. 編集／表示 / 非表示／表示しないを選択し、非表示にするメディアファイルにマークを付けます。

選択したメディアファイルの左下に、非表示アイコンが表示されます。

3. Elements Organizer で選択したメディアファイルを非表示にするには、編集／表示 / 非表示を選択し、「非表示のファイルを隠す」を選択します。

  サムネールを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）して、コンテキストメニューから「表示 / 非表示」コマンドを選択することもできます。

非表示にしたメディアファイルの表示



❖ 編集／表示 / 非表示を選択して、次のいずれかの操作を行います。

すべてのファイルを表示

非表示のファイルと、非表示にされていないファイルを表示します。

非表示のファイルのみを表示

Elements Organizer で非表示のファイルのみを表示します。



  サムネールを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）して、コンテキストメニューから「表示 / 非表示」コマンドを選択することもできます。

メディアファイルの非表示アイコンの削除

1. メディアビューで、表示／非表示のファイル／すべてのファイルを表示を選択すると、非表示マークのメディアファイルが表示されます。
2. 非表示アイコンを削除するメディアファイルを選択します。

隣接する複数の写真を選択する場合は、Shift キーを押しながら最初の写真と最後の写真をクリックして、グループ全体を選択します。隣接していない複数の写真を選択する場合は、Ctrl キーを押しながら、写真を 1 つずつ選択します。

3. 編集／表示 / 非表示／表示するを選択します。

  サムネールを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）して、コンテキストメニューから「表示 / 非表示」コマンドを選択することもできます。


[トップへ戻る](#)

フォルダー毎のファイルの表示と管理

マイフォルダーパネルには、アルバム内でさらに整理できるメディアのフォルダーを表示できます。マイフォルダーパネルは、「アルバム」の下の左側に表示されます。このパネルから、フォルダーを管理したり、カタログにファイルを追加したり、チェックフォルダー（Windows のみ）ステータスからフォルダーの追加または削除を行うことができます。

次の 2 つのビューでフォルダー構造が表示されます。

ツリービュー

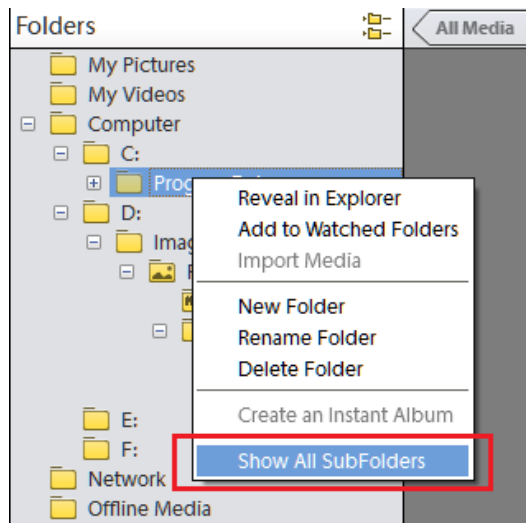
マイフォルダーパネルの  アイコンをクリックして、ビューをツリービューに変更し、コンピューターのハードディスクや他のドライブにあるフォルダーを階層で表示します。このビューは、フォルダーにあるメディアの物理的な位置を確認するときに役立ちます。



ツリービュー

ツリービューでは、初期設定でフォルダーのサブフォルダーは表示されません。フォルダーを

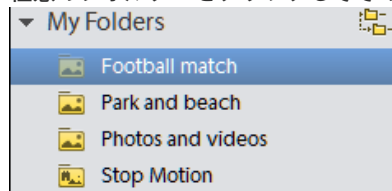
選択し、右クリックして「サブフォルダーをすべて表示」を選択し、フォルダーのサブフォルダーを表示します。



サブフォルダーの表示



統合フォルダービュー

このビューは、初期設定でマイフォルダーパネルに表示されます。統合フォルダービューは基本構造であり、任意のフォルダーをクリックしてそのフォルダー内の使用可能なメディアを表示できます。




統合フォルダービュー

デフォルトでは、フォルダーパネルには、Elements Organizer に読み込まれたメディアのハードディスクにあるすべてのフォルダーが表示されます。

管理対象ファイルを含むフォルダーには、管理対象フォルダーアイコン  が付いています。管理対象ファイルとは、手動または自動でカタログに取り込まれたファイルを指します。チェックフォルダーには、チェックフォルダーアイコン  が付いています。

注意：チェックフォルダーのオプションはネットワークドライブでは無効です。

チェックフォルダーに保存されたファイルは、互換性のないものを除き、Elements Organizer に自動的に取り込まれます。管理対象フォルダーとチェックフォルダーの両方に指定されている場合は、これらの対象であることを表すアイコン  が付いています。

マイフォルダーパネルで利用可能なオプションを使用して、フォルダー内のファイルを表示したり、異なる操作を実行することができます。

1. フォルダー階層は、「マイフォルダー」タブの Organizer の左側に表示され、画像のサムネールはグリッドに表示されます。
2. メディアファイルを表示するフォルダーをクリックします。フォルダー内のファイルのサムネールがメディアビューのグリッドに表示されます。
3. フォルダーからアルバムにファイルを追加するには、フォルダーを選択し、グリッドから「アルバム」にフォルダーをドラッグドロップします。
4. ファイルとフォルダーを管理するには、マイフォルダーからフォルダーを選択し、次のいずれかの操作を行います。
 - ファイルを別のフォルダーに移動する移動元のフォルダーを選択します。
 - ファイルを別のフォルダーに移動するには、メディアビューのファイルのサムネールを、フォルダーパネルの移動先のフォルダーにドラッグします。
 - エクスプローラーでフォルダーを表示するには、フォルダー階層パネルで右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）して、「ファイルの保存場所を表示します」（Windows）または「Finder で表示」（Mac OS）を選択します。
 - （Windows のみ）フォルダーをチェックフォルダーとして設定したり、設定を解除するには、フォルダー階層パネルでフォルダーを右クリックし、「チェックフォルダーとして追加」または「チェックフォルダーから削除」を選択します。

- フォルダーの名前を変更するには、フォルダーを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）し、「フォルダー名の変更」を選択して新しい名前を入力します。
- フォルダーを削除するには、フォルダー階層パネルでフォルダーを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）し、「フォルダーの削除」を選択します。
- フォルダーパネルでかんたんアルバムを作成できます。選択したフォルダー内のすべての画像が、かんたんアルバムに追加されます。フォルダー名でアルバムをすばやく作成するには、フォルダーを選択し、右クリックして、かんたんアルバム作成アイコンを選択します。

[トップへ戻る](#)

表示するアイテムの種類の指定

❖ メディアビューで、表示／メディアの種類／[ファイルの種類] を選択します。

[トップへ戻る](#)


ズームバーを使用したメディアサムネールのサイズ変更、更新、または非表示

メディアファイルのサムネールのサイズを変更したり、別のアプリケーションでメディアファイルを編集した後でサムネールを更新したりすることができます。さらに、サムネールをすばやく回転して、ウィンドウに正しく表示されるようにできます。

- サムネールのサイズを徐々に変更するには、ズームバーのサムネールスライダーをドラッグします。



サムネールスライダーを右にドラッグすると、サムネールのサイズが大きくなります。

- できる限り小さなサムネールを表示するには、ズームバーをスライダーの最左端（開始点）に移動します。
- 1 つのメディアファイルを表示するには、ズームバーをスライダーの最右端（終了点）の右に移動します。
- サムネール画像を更新するには、表示／表示の更新を選択します。
- イメージを反時計回りに回転させるには、タスクエリアの左に回転をクリックします。イメージを時計回りに回転するには、右に回転  をクリックします。

[トップへ戻る](#)

メディアビューでのファイルの選択

メディアビューで、作業対象のメディアファイルを選択します。選択したメディアファイルのサムネールの枠が暗いブルーでハイライト表示されます。

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- アイテムを 1 つ選択するには、そのサムネールをクリックします。
- 連続した複数のアイテムを選択するには、Shift キーを押しながら選択する範囲の最初のアイテムと最後のアイテムをクリックします。
- 連続していない複数のアイテムを選択するには、Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながらアイテムを 1 つずつクリックします。
- メディアビューのすべてのアイテムを選択または選択解除するには、編集／すべてを選択、または編集／選択を解除を選択します。

[トップへ戻る](#)


メディアファイルの詳細情報の表示と編集



メディアビューに各サムネールの詳細情報を表示するように選択できます。また、特定の詳細情報をどのように表示するか選択することもできます。また、オーディオキャプションなどのキャプションや、日時に関する情報を追加および編集することができます。

メディアファイルの詳細情報の編集

メディアファイルに関連した情報を編集することができます。例えば、日付、適用したタグ、ファイル名、キャプションおよびオーディオキャプションを編集できます。

❖ メディアビューで、次のいずれかの操作を行います。

- テキストキャプションを編集または追加するには、表示／詳細を選択し、右クリックして、キャプションを追加を選択します。
- オーディオキャプションを追加、再生または編集するには、表示／詳細を選択し、写真をダブルクリックします。オーディオキャプションを設定ボタン  をクリックします。
- メディアファイルに割り当てられた日付を変更するには、サムネールを選択し、編集／日時を変更を選択します。表示されるダイアログボックスでオプションを指定します。

  シングルクリックで日付を変更することができます。この機能を有効にするには、編集／環境設定／一般（Windows）または Adobe Elements 11 Organizer／環境設定／一般（Mac OS）を選択します。環境設定ダイアログで、選択します。日付をクリックし、必要な変更を加えます。

関連項目

[キーワードタグ](#)

[検索ボックスを使用したメディアファイルの検索](#)

[メディアファイルをフルスクリーン表示または並べて比較する](#)

[チェックフォルダーの使用（Windows のみ）](#)

[ファイルやフォルダーからのメディアファイルの取り込み](#)

[アイテムのサムネールの更新](#)

[ファイル情報（メタデータ）](#)

[ファイルの日時の変更](#)

 [編集ワークスペース](#)



法律上の注意 | [プライバシーポリシー](#)

Elements Organizer と Adobe Premiere Elements の併用

Elements Organizer と Adobe Premiere Elements について
ワークエリアの配置
サポートされているメディアファイルの種類

Elements Organizer と Adobe Premiere Elements について

[トップへ戻る](#)


次の方法で、Elements Organizer と Adobe® Premiere® Elements® でファイルを共有することができます。

- Elements Organizer で写真、ビデオファイルおよびオーディオクリップを整理してから、Adobe Premiere Elements のプロジェクトパネルにドラッグします。
- メディアファイルを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）して、「Premiere Elements で編集」を選択します。
- Elements Organizer でキャプション、切り替え、エフェクト、BGM、ナレーション、グラフィック、タイトル付きのスライドショーを作成します。作成したら、Adobe Premiere Elements に取り込んでさらに編集することができます。または、個別の写真やビデオファイルを Adobe Premiere Elements に取り込んで、スライドショーを作成することもできます。
- Elements Organizer の「エディター／ビデオエディター」オプションを使用すると、ビデオファイルを編集するために Adobe Premiere Elements を開くことができます。
- Elements Organizer で DVD テンプレートをカスタマイズしてから、Adobe Premiere Elements のプロジェクトでテンプレートを使用します（DVD テンプレートとは、Adobe Premiere Elements のアプリケーションフォルダーに格納されている PSD ファイルです）。
- 独自のビデオプロジェクト設定で Elements Organizer ファイルを作成し、Elements Organizer で画質を高め、Adobe Premiere Elements で使用します。Elements Organizer の「作成」タブを使用して、インスタントムービーを作成することもできます。

ワークエリアの配置

[トップへ戻る](#)

Elements Organizer と Adobe Premiere Elements でファイルを共有するには、コンピューターのモニターに両方のアプリケーションを開いて使用できるようにしておきます。

1. Elements Organizer と Adobe Premiere Elements を起動します。
2. 画面が最大化されている場合は、各アプリケーションのウィンドウの右上にある、元のサイズに戻すボタン  をクリックします。
3. 2 つのアプリケーションのウィンドウを、少しだけ重なるようにして、横に並べて配置します。
ただし、「配信」タブの次のオプションにアクセスしようとすると、Adobe Premiere Elements が起動します。
 - DVD／Blu-ray ビデオに書き込み
 - オンラインビデオ配信
 - 携帯電話

サポートされているメディアファイルの種類

[トップへ戻る](#)

Elements Organizer と Adobe Premiere Elements でサポートされるファイル形式の多くは共通しているため、2 つのアプリケーション間で簡単かつ効率的にファイルを交換することができます。例えば、Photoshop（PSD）ファイルを Elements Organizer で作成し、そのファイルを Adobe Premiere Elements で静止画としてプロジェクトに追加できます。

Photoshop Elements および Adobe Premiere Elements でサポートされているすべてのファイル形式は、Elements Organizer に書き出すことができます。この書き出しは、インストールされているアプリケーション（Photoshop Elements および Adobe Premiere Elements）に関係なくサポートされています。次の表は、サポートされているファイル形式のリストです。

画像	ビデオ	オーディオ
vst	264	aac
arw	3g2	ac3
bmp	3gp	aif
cr2		aiff

crw	asf (Windows のみ)	m2a
dcr	avc	m4a
dib	avi	mp2
dng	dv	mp3
erf		mpa
tga	flv	wav
gif	m1v	wma (Windows のみ)
icb	m2p	
tif	m2t	
jpe	m2ts	
jpeg	m2v	
jpg	m4v	
kdc	mod	
mef	mov	
mfw		
mos	mp4	
mrw	mpe	
nef	mpeg	
orf	mpg	
x3f	mpv	
pdd	mts	
pdf	swf	
pef	tod	
vda	vob	
png	wmv (Windows のみ)	
psd		
pse		
pxr		
raf		
raw		
rle		
sr2		
srf		

Photoshop Elements Editor、Adobe Premiere Elements、Elements Organizer では、次の種類のファイルは認識されません。

Elements Organizer	Photoshop Elements Editor	Adobe Premiere Elements
LZW 圧縮した TIFF (.tif)	LZW 圧縮した TIFF (.tif)	MOD (.mod、JVC Everio)
EPS (.eps)	Illustrator (.ai)	Illustrator (.ai)
Windows Media (.wmv、.wma) - Mac OS ではサポートされていません		AIFF (.aiff)
Adobe Illustrator (.ai)		Dolby オーディオ (.ac3)
JPEG 2000		Flash ビデオ (.flv)
Filmstrip (FLM)		Windows Media (.wmv、.wma) - Mac OS ではサポートされていません
Wireless BMP (WBM、WBMP)		
PCX		
Targa (TGA、VDA、ICB、VST)		
Photoshop RAW (RAW)		
PICT ファイル (PCT、PICT)		
Scitex CT (SCT)		
Photoshop EPS (EPS)		
EPS TIFF プレビュー (EPS)		
汎用 EPS (AI3、AI4、AI5、AI6、AI7、AI8、 PS、EPS.AI、EPSF、EPSP)		
Mac OS のみ - IFF、Photoshop 2.0、Alias PIX、PICT リソース		

注意： Elements Organizer では、ビデオ AVI ファイルのカタログへの取り込みや再生を正しく行うことができますが、オーディオ AVI ファイルのサムネイルアイコンは壊れて表示されます。また、Photoshop のファイルのスポットカラーチャンネルで作成されたカラーは、Elements Organizer にファイルを読み込んだときに表示されません。



写真表示に使用するキー（Elements Organizer）

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット（Windows）	ショートカット（Mac OS）
フルスクリーン表示	F11	Cmd + F11
写真を並べて比較	F12	Cmd + F12
フルスクリーン表示または写真を並べて比較を終了	Esc	Esc
メディアビューの表示を更新	F5	Cmd + R
詳細の表示／非表示を切り替え	Ctrl + D	Cmd + D
タイムグラフの表示／非表示を切り替え	Ctrl + L	Cmd + L
スタックの写真を展開	Ctrl + Alt + R	Cmd + Alt + R



写真編集に使用するキー（Elements Organizer）

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット（Windows）	ショートカット（Mac OS）
最後の操作を取り消し	Ctrl + Z	Cmd + Z
最後の操作をやり直し	Ctrl + Y	Cmd + Y
コピー	Ctrl + C	Cmd + C
ペースト	Ctrl + V	Cmd + V
すべてを選択	Ctrl + A	Cmd + A
選択を解除	Ctrl + Shift + A	Cmd + Shift + A
左に 90 °回転	Ctrl + 左向き矢印	Cmd + 左向き矢印
右に 90 °回転	Ctrl + 右向き矢印	Cmd + 右向き矢印
Photoshop Elements Editor での編集（標準編集）	Ctrl + I	Cmd + I
プロパティパネルの表示	Alt + Enter	Alt + Enter
写真の日時の調整	Ctrl + J	Cmd + J
キャプションを追加	Ctrl + Shift + T	Cmd + Shift + T
サムネールを更新	Ctrl + Shift + U	Cmd + Shift + U
写真をデスクトップの壁紙として設定	Ctrl + Shift + W	
カラー設定ダイアログボックスを開く	Ctrl + Alt + G	Cmd + Alt + G
Premiere Elements Editor でファイルを開く	Ctrl + M	Cmd + M
ズームイン	Ctrl + +	Cmd + +
ズームアウト	Ctrl + -	Cmd + -
OK	Enter	Enter
キャンセル	Esc	Esc



写真の検索時に使用するキー

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット（Windows）	ショートカット（Mac OS）
期間を設定	Ctrl + Alt + F	Cmd + Alt + F
期間を削除	Ctrl + Shift + F	Cmd + Shift + F
キャプションまたはメモで検索	Ctrl + Shift + J	Cmd + Shift + J
ファイル名で検索	Ctrl + Shift + K	Cmd + Shift + K
日付または時間が不明なアイテムを検索	Ctrl + Shift + X	Cmd + Shift + X
タグなしアイテムを検索	Ctrl + Shift + Q	Cmd + Shift + Q



読み込み

このページからリンクされている内容の一部は英語版のみです。

カメラおよびカードリーダーからのメディアの読み込み

カメラおよびカードリーダー

デジタルカメラまたはカードリーダーからのメディアファイルの取り込み

写真ダウンロードオプションの詳細設定の指定

カメラおよびカードリーダーの環境設定

携帯電話からの読み込み

カメラおよびカードリーダー

[ページの先頭へ](#)

デジタルカメラやカードリーダーからメディアファイルをダウンロード（コピー）するには、いくつかの方法があります。

- フォトダウンローダーダイアログボックスのオプションを使用して、デジタルカメラまたはカードリーダーから直接 Elements Organizer にメディアファイルをコピーして読み込みます。この方法は、迅速かつ簡単で、また、メディアファイルを読み込み時に整理することができるのでお勧めします。
- デジタルカメラ付属のソフトウェアを使用して、コンピューターに写真をダウンロードします。次に、「読み込み／カメラまたはカードリーダーから」を選択して、Elements Organizer に読み込みます。
- カメラまたはカードリーダーがマイコンピューターでドライブとして表示される場合は、ファイルをマイコンピューターからドラッグして、メディアビューのワークスペースに直接ドロップできます。または、ハードディスク上の任意のフォルダーにファイルをドラッグし、Elements Organizer の「読み込み／ファイルやフォルダーから」を使用して、Elements Organizer に読み込みます。

メディアファイルをコンピューターにダウンロードする前に、必要に応じて、カメラ付属のソフトウェアドライバーをインストールします。また、Elements Organizer でデジタルカメラとカードリーダーの環境設定を行います。

デジタルカメラまたはカードリーダーからのメディアファイルの取り込み

[ページの先頭へ](#)

💡 このプロセスに関するビデオについては、www.adobe.com/go/lrvid2311_pse10_jp を参照してください。

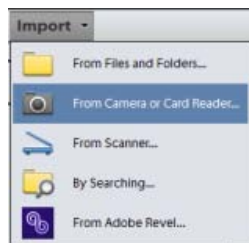
1. カメラまたはカードリーダーをコンピューターに接続します。（必要に応じて、デバイスに付属の説明書を参照してください）。

（Windows）Windows 自動再生ダイアログボックスが開き、写真を取り込むオプションのリストが表示されます。

注意：（Windows）自動再生が有効な場合、Windows 自動再生ダイアログボックスが開き、写真を取り込むオプションのリストが表示されます。Windows 自動再生ダイアログボックスで、「整理と編集」の「Adobe Elements Organizer 11 使用」を選択します。Elements Organizer を起動していない場合、フォトダウンローダーダイアログボックスが開きます。「取り込み」をクリックします。Elements Organizer が起動し、メディアファイルが取り込まれます。

2. Windows 自動再生ダイアログボックスで、「Elements Organizer 11」オプションを選択します。

Elements Organizer が実行中であれば、フォトダウンローダーダイアログボックスが開きます。読み込み／カメラまたはカードリーダーからをクリックするか、ファイル／写真とビデオの取り込み／カメラまたはカードリーダーからを選択して、フォトダウンローダーを開くこともできます。



3. フォトダウンローダーダイアログボックスの「ソース」で、写真を取り込むドロップダウンリストを使用してコピー元または読み込み元を選択します。

注意：ドロップダウンリストから「リストを更新」オプションを選択すると、使用可能なカメラまたはカードリーダーの一覧が更新されます。

4. 「取り込み設定」エリアで、次のオプションを設定します。

保存先 メディアファイルのダウンロード先フォルダーを指定します。初期設定の場所を変更するには、「参照」をクリックして新しい場所を指定します。

サブフォルダーを作成 ポップアップメニューから選択した命名方法でサブフォルダーを作成します。「カスタム名」を選択した場合は、ボックスにサブフォルダー名を入力します。

説明: (Windows のみ) キーボードショートカットを使用してサブフォルダーを作成 (Alt+C キー) したりファイルの名前を変更 (Alt+R キー) する場合、スペースバーを押してメニューを展開します。矢印キーを使用して、オプションを選択します。

ファイル名を変更 ポップアップメニューから選択した命名方法を使用して、ファイル名を変更します。カスタム名を指定する場合、基本のファイル名と、メディアファイルのファイル名の連番に割り振る最初の番号を入力します。

注意: 入力した名前が存在している場合は、コピーした画像のファイル名の末尾に「-1」または該当するその他の番号が付けられます。

現在のファイル名を XMP で保持 このオプションを選択すると、メディアファイルのメタデータに保存するファイル名として、現在のファイル名が使用されます。

削除オプション コピー完了後にカメラまたはカード内のメディアファイルをそのまま保持するか、確認してから削除するか、コピーしたら直ちに削除するかを選択します。ファイルを自動的に削除すると、カメラでメディアファイルを削除する手間を省くことができます。Elements Organizer に読み込まれていないメディアファイルはデバイスから削除されません。


自動ダウンロード (Windows のみ) 次回、Windows 自動再生ダイアログボックスで Elements Organizer 11 を選択したときに、メディアファイルが即座に取り込まれます。このオプションでは、カメラまたはカードリーダー環境設定で指定した自動ダウンロードの値が使用されます。

5. さらに詳細なダウンロードオプションを設定するには、「詳細設定」ボタンをクリックします。

6. 「取り込み」をクリックします。

メディアファイルがハードディスクにコピーされます。コピーしたメディアファイルにキーワードメタデータが含まれている場合は、写真に添付されているキーワードタグを取り込みダイアログボックスが表示され、タグをコピーするかどうかを指定できます。

7. ファイルを正常にコピーしましたダイアログボックスで、「OK」をクリックします。メディアブラウザーに新しいファイルのみを表示するよう選択することができます。

 この設定はいつでも変更できます。Elements Organizer で、Windows の場合、編集／環境設定／カメラまたはカードリーダーを選択します。Mac OS の場合、Adobe Elements Organizer 11／環境設定／カメラまたはカードリーダーを選択します。




写真ダウンロードオプションの詳細設定の指定

[ページの先頭へ](#)

Adobe フォトダウンローダーの詳細設定ダイアログボックスには、標準ダイアログボックスのすべてのオプションと、その他のオプションがあります。例えば、デバイスに保存されたすべてのメディアファイルを表示したり、取り込む前のビデオをプレビューしたりできます。著作権情報のメタデータを追加したり、取り込んだ写真のアルバムを指定したり、画像の取り込み時に赤目を自動修正したりすることもできます。このダイアログボックスで指定した設定は、初期化しない限り、保持されます。

1. 標準のフォトダウンローダーのダイアログボックスで、「詳細設定」ボタンをクリックします。



デバイスに格納されたファイルのサムネール画像が表示されます。

2. 種類の異なるファイルの表示／非表示を切り替えるには、画像  ボタン、ビデオ  ボタン、またはオーディオ  ボタンをクリックします。デバイス内に重複ファイルが存在する場合は、複製ボタン  も使用可能になります。

注意: 重複ファイルとは、Elements Organizer 内に既に存在するファイル、またはハードディスクに既にコピーされたファイルです。重複ファイルをダウンロードすると、それらのファイルはハードドライブにコピーされますが、Elements Organizer には追加されません。

3. メディアファイル (写真またはビデオ) を選択すると、次のいずれかの操作によりダウンロードされます。

- メディアファイルを個別に選択するには、各サムネールの下にあるボックスをクリックします。
- 複数のメディアファイルを選択するには、サムネールを囲むように長方形をドラッグします。その後、右クリックまたは Control キーを押したままクリックし、「選択した写真をチェック」をクリックします。または、選択したいいずれかのメディアファイルの下にあるボックスをクリックすると、すべてがオンになります。
- すべてのメディアファイルを選択するには、「すべてをチェック」をクリックします。すべての画像の選択を解除するには、「すべてのチェックをはずす」をクリックします。

4. 1 つまたは複数のメディアファイルを回転するには、メディアファイル (チェックボックスではない) をクリックして選択します。左に回転ボタン  または右に回転ボタン  をクリックします。

5. 「保存オプション」セクションで、次のいずれかを選択します。

- メディアファイルのコピー先を指定します。「参照」をクリックして、目的の場所に移動します。

注意： 標準設定ダイアログボックスに切り替えると、カスタムグループ設定は失われます。

- サブフォルダーを作成メニューから、サブフォルダーの命名オプションを選択します。「カスタムグループ（詳細）」オプションを指定すると、グループ名ボックスで選択したグループ名の形式で、サブフォルダー名が作成されます。グループ名をキーワードタグとして使用すると、カテゴリ内で写真を検索および区別するのに役立ちます。
- 読み込み中にメディアファイルの名前を変更する場合は、名前の変更メニューから命名規則を選択します。「名前の変更の詳細」オプションで、条件に基づいてファイルの名前を変更できます。カスタム名を指定する場合、基本のファイル名と、メディアファイルのファイル名の連番に割り振る最初の番号を入力します。

注意： 入力した名前が存在している場合は、コピーした画像のファイル名の末尾に「-1」または該当するその他の番号が付けられます。

6. 「詳細オプション」セクションで、次のいずれかを選択します。

自動赤目修正 選択したすべての写真に、自動赤目修正コマンドが適用されます。

注意： 多数の画像ファイルから自動的に赤目を除去すると、写真の読み込みにかかる時間が増加します。

自動的に写真をスタック 選択した写真が、見た目の類似性に基づいて類推される写真スタックに配置されます。

注意： カメラ、カードリーダーまたは携帯電話からメディアファイルをダウンロードしているとき、読み込み処理中にメディアファイルを写真のスタックに整理することをお勧めします。

グループのカスタム名をキーワードタグとして作成 指定したグループのカスタム名が、選択した写真にキーワードタグとして適用されます。このオプションは、カスタムグループに対してカスタム名を指定した場合にのみ使用してください。ダウンロードする際にキーワードタグを割り当てておくと、Elements Organizer で簡単に写真を検索することができます。

アルバムへ読み込み 写真を読み込む先のアルバムを指定または作成できます。「設定」をクリックしてアルバムを選択または作成して、「OK」をクリックします。

注意： フォトダウンローダーセッション（1 回）につき、読み込み先とするアルバムは 1 つに限られます。

7. 「詳細オプション」セクションの下メニューから、写真をコピーした後に Elements Organizer で行う処理を指定するオプションを選択します。元のファイルのみを残すか、正常に読み込まれたことを確認して元のファイルを削除するか、または元のファイルを即座に削除するかを選択します。

8. メタデータを追加するには、使用するテンプレートを選択し、次のフィールドに値を入力します。

作成者 ファイルの作成者を指定します。このフィールドに入力された情報は、ファイルに含まれる作成者メタデータに追加されます。

Copyright 日付、および写真を保護するための情報を指定します。このフィールドに入力された情報は、ファイルに含まれる著作権情報のメタデータ内に既に存在するデータをすべて上書きします。

9. （オプション）（Windows のみ）デバイスを接続した後、Elements Organizer でメディアファイルから自動的にダウンロードするには、「自動ダウンロード」を選択します。自動ダウンロードオプションは、カメラまたはカードリーダーの環境設定で設定します。

10. 「取り込み」ボタンをクリックします。

カメラおよびカードリーダーの環境設定

[ページの先頭へ](#)

Elements Organizer では、デバイスの環境設定を行うことができます。デバイスを接続したときに表示される Windows 自動再生ダイアログボックスの「Elements Organizer 11」オプションを選択すると、その環境設定が適用されます。環境設定は、ユーザーが変更するまで変更されません。別のデジタルカメラやカードリーダーを使用する場合は、使用する周辺機器に適した環境設定を行っていることを確認してください。

- Elements Organizer で、（Windows の場合）、編集／環境設定／カメラまたはカードリーダーを選択します。Mac OS の場合、Adobe Elements Organizer 11／環境設定／カメラまたはカードリーダーを選択します。
- ファイル固有の取り込みオプションを設定します。

ファイル保存先 ファイルをハードディスクにコピーするかどうかを指定します。別の保存先を指定するには、「参照」ボタンをクリックします。

自動赤目修正 ファイルをダウンロードしながら赤目修正を行います。

自動的に写真をスタック 類似性と日付に応じて、写真スタックを提示させます。

グループのカスタム名をキーワードタグとして作成 指定したグループのカスタム名が、選択した写真にキーワードタグとして適用されます。このオプションは、カスタムグループに対してカスタム名を指定した場合にのみ使用してください。ダウンロードする際にキーワードタグを割り当てておくと、Elements Organizer で簡単に写真を検索することができます。

- 特定の周辺機器のオプションを設定するには、デバイスプロファイルを選択し、「編集」をクリックします。表示されるメニューからダウンロードオプションを選択し、「OK」をクリックします。このリストからデバイスを削除するには、そのデバイスを選択し、「削除」をクリックします。

リックします。


4. (Windows のみ) 自動ダウンロードの初期設定値を指定するには、次のいずれかのオプションを設定します。

ダウンロードを開始 デバイスが接続された後、ダウンロードの開始時期を指定します。

サブフォルダーを作成 異なる日付に撮影されたメディアファイルを含むフォルダーを分離するかどうか、またその分離および名前付けの方法を指定します。

削除オプション 写真をハードディスクにコピーした後、カメラから元のメディアファイルを削除するかどうか、またどのように削除するかを指定します。

新しいファイルのみコピー (読み込み済みのファイルを無視) 既にハードディスクにあるファイルを無視します。

 設定を変更する場合やメディアファイルの取り込みに問題がある場合には、「初期設定値に戻す」をクリックしてオリジナルの環境設定を復元することができます。

携帯電話からの読み込み

[ページの先頭へ](#)

カメラが内蔵されている携帯電話を使用している場合、機種によってはメディアファイルをカタログに取り込むことができます。携帯電話でメディアファイルを保存するときは、カタログに取り込むことができるファイル形式で保存する必要があります。携帯電話で使用されているファイル形式を正確に確認するには、携帯電話付属の説明書を参照してください。

リムーバブルフラッシュまたはメモリカードにメディアファイルを保存する携帯電話の場合、Adobe フォトダウンローダーを使用してメディアファイルを Elements Organizer 11 に読み込みます。携帯電話での写真の保存方法については、携帯電話付属の説明書を参照してください。


携帯電話からカタログに写真を取り込むには、次のいずれかの方法を使用します。

直接接続 リムーバブルフラッシュまたはメモリカードにメディアファイルを保存する携帯電話の場合は、Adobe フォトダウンローダーを使用すると、携帯電話から Elements Organizer 11 に直接メディアファイルを読み込むことができます。携帯電話での写真の保存方法については、携帯電話付属の説明書を参照してください。

ケーブルまたはワイヤレス転送 ケーブル転送またはワイヤレス転送を使用して画像をコンピューターのハードディスクに転送します。詳しくは、携帯電話メーカーに問い合わせるか、携帯電話に付属の説明書を参照してください。コンピューターに写真を転送した後、ファイル/写真とビデオの取り込みをクリックして、メディアファイルをカタログに取り込みます。一部の携帯電話のカメラでは、ケーブルやワイヤレスで接続したときに Adobe フォトダウンローダーが自動的に表示されます。

注意: Mac OS では、ダウンローダーは自動的に起動されません。

注意: 携帯電話の機種によっては、コンピューターへのメディアファイルの取り込みが上記の方法ではできない場合もあります。使用できるオプションについては、携帯電話メーカーに問い合わせるか、携帯電話に付属の説明書を参照してください。また、最新情報については、Adobe の Web サイトを参照してください。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

ファイルおよびフォルダーからのメディアの読み込み

ファイルおよびフォルダーからのメディアの読み込み

ファイルの環境設定

メディアファイルに付けられたタグの読み込み

[ページの先頭へ](#)

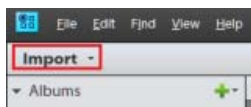
ファイルおよびフォルダーからのメディアの読み込み

お使いのコンピューター、CD/DVD、リムーバブルドライブ、またはネットワーク上の場所から写真やビデオを Elements Organizer に読み込み、様々な方法で管理することができます。例えば、写真でアルバムを作成したり、写真に写っている人物にタグを付けたりできます。

メディアファイルを読み込むときに、Elements Organizer はカタログ内にメディアファイルへのリンクを作成します。指定するまでは、オリジナル画像のコピーや移動は行いません。CD や DVD またはスキャナー、カメラ、カードリーダー、携帯電話などの周辺機器からメディアファイルを読み込む場合、初期設定では、Elements Organizer によってメディアファイルがハードディスク上のフォルダーにコピーされた後で、このコピーへのリンクが作成されます。

注意： オリジナルファイルをハードディスクから削除すると、カタログにサムネールが残っていても、画像を編集できなくなります。

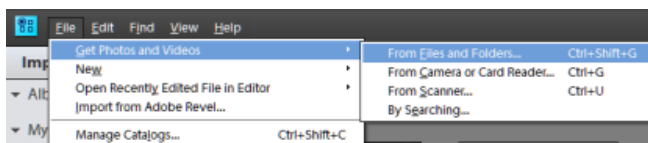
1. 「読み込み」をクリックします。



「読み込み」ボタン

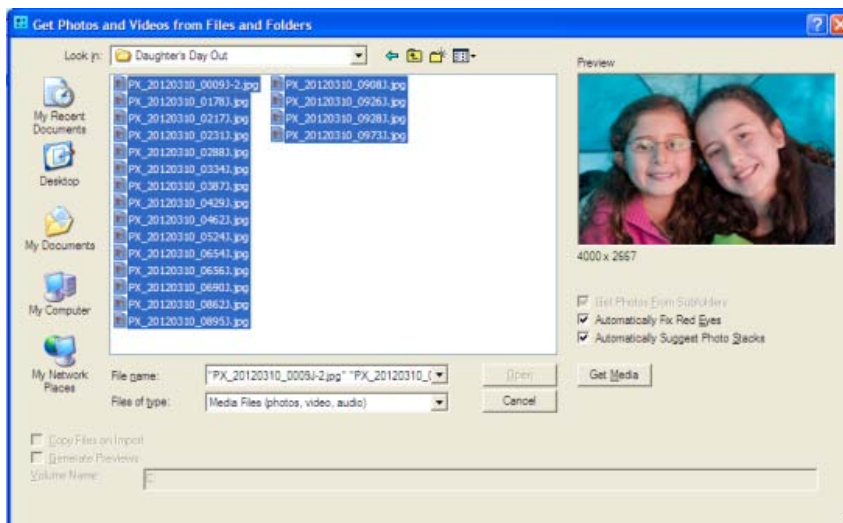
2. 「ファイルやフォルダーから」を選択すると、特定のファイルやフォルダー位置からメディアを読み込みます。フォルダー位置には、お使いのコンピューター、外部ドライブ、ペンドライブ、またはネットワークを指定できます。

注意： それ以外に、ファイルやフォルダーからメディアを読み込むには、ファイル／写真とビデオの取り込み／ファイルやフォルダーからを選択することもできます。

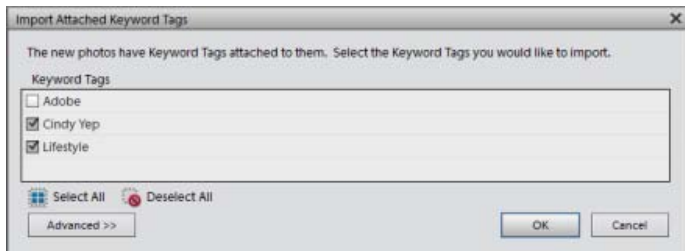


写真とビデオの取り込み

3. ファイルやフォルダーから写真とビデオを取り込むダイアログボックスで、メディアを選択します。
4. (オプション) 次の情報を指定します。
 - ・ 自動赤目修正：ファイルの取り込み時に赤目の問題を解決します。
 - ・ 自動的に写真をスタック：日付と類似性に応じて写真スタックを提示させます。
 - ・ 取り込み時にファイルをコピー：外部ドライブから読み込むファイルのコピーを作成します。
 - ・ プレビューを生成：読み込み中に、解像度の低いプレビューファイルと呼ばれるコピーを作成します。



5. 「取り込み」をクリックします。
6. メディアに追加されているキーワードタグも取り込むことができます。取り込むタグを選択し、「OK」をクリックします。

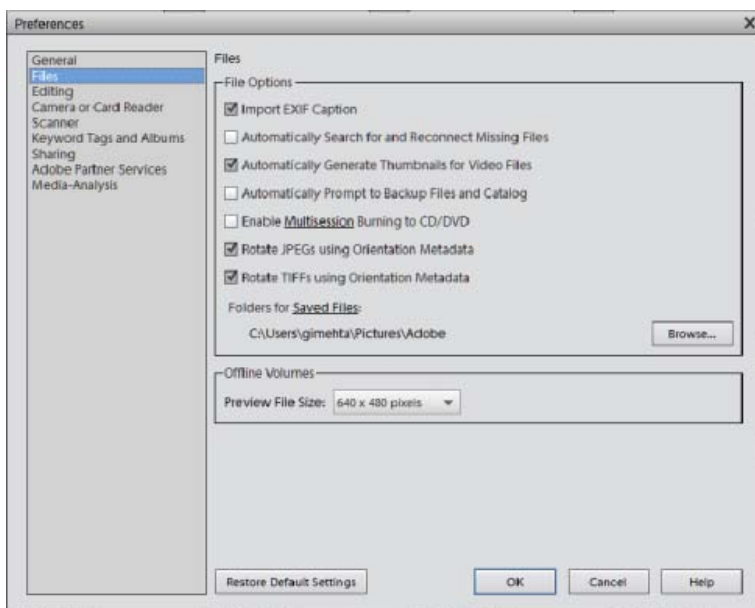


ファイルの環境設定

[ページの先頭へ](#)

ファイルの環境設定を設定して、Elements Organizer でのファイルの管理方法を定義します。

1. Elements Organizer で、編集／環境設定／ファイル（Windows）を選択するか、Elements Organizer 11／環境設定／ファイル（Mac OS）を選択します。



ファイルの環境設定

2. 次のいずれかのオプションを選択し、「OK」をクリックします。

EXIF キャプションを取り込む デジタルカメラでメディアファイルに付けられていたキャプションを読み込みます。この情報を削除するには、このオプションの選択を解除し、各メディアファイルに独自のキャプションを入力します。

注意： キャプションデータはファイル内の複数の場所に保存されている場合があります。このオプションの選択を解除したときにブロックされるのは、EXIF キャプションデータだけです。

見つからないファイルを自動的に検索して再リンク 見つからず、再リンクできなかったファイルを検索します。再リンクできないファイルに関するメッセージを表示しないようにする場合は、このオプションを選択します。

ビデオファイルのサムネールを自動的に生成 読み込んだビデオファイルのプレビューサムネールを生成します。

ファイルとカタログのバックアップ作成時に自動的にメッセージを表示 読み込み中に、ファイルとカタログを自動的にバックアップすることができます。

CD/DVD へのマルチセッションの書き込みを有効にする (Windows のみ) ディスクに複数回の追加のファイルを書き込みできるようにして、ディスクスペースを最大限使用することができます。通常、CD または DVD には一度だけ書き込みすることができ、未使用領域はそのままになります。

メタデータの情報を使用して JPEG ファイルを回転 / メタデータの情報を使用して TIFF ファイルを回転 これらのオプションがオンになっている場合、画像の方向のメタデータを更新して画像を回転させます。画像データが付いていない場合、回転はメタデータを変更するだけで指定できます。メタデータを使った画像の回転処理は、画像自体を回転させるより速くなります。

すべてのアプリケーションが、このメタデータを認識できるわけではありません。そのようなアプリケーションに画像を読み込む予定がある場合、このオプションは選択解除しておきます。

ファイル保存先 プロジェクトやその他のファイルの初期設定の保存先フォルダーを指定します。この場所を変更するには、「参照」をクリックして新しい場所に移動します。

プレビューファイルのサイズ メディアファイルをオフラインで保存するときに Elements Organizer が使用するプレビューファイルのサイズを指定します。

説明：環境設定を変更した後で、メディアファイルの読み込みに問題が起きた場合には、環境設定ダイアログボックスの「初期設定値に戻す」ボタンをクリックして初期設定に戻してください。

メディアファイルに付けられたタグの読み込み

[ページの先頭へ](#)

キーワードタグまたはキーワードメタデータが添付されているメディアファイルを読み込むとき、メディアファイルとあわせてそれらも読み込むことができます。添付されているキーワードタグは、そのまま保持するか、名前を変更したり別のキーワードタグに付け替えることができます。新しいキーワードタグを読み込むと、そのタグはキーワードタグパネルに表示されます。この新しいタグを使用して他のメディアファイルにタグを付けることができます。

1. カメラまたはカードリーダーがコンピューターに接続されているか、読み込むメディアファイルがコンピューターにコピーされていることを確認します。

2. Elements Organizer で、次のいずれかの操作を行います。

- 「読み込み」をクリックします。写真やビデオの取り込み方法を選択します。
- ファイル / 写真とビデオの取り込みを選択し、写真やビデオの取り込み方法を選択します。

注意： メディアファイルにキーワードタグまたはキーワードメタデータが含まれている場合、写真に添付されているタグの取り込みダイアログボックスが表示されます。

3. 次のいずれかの操作を行います。

- 取り込むキーワードタグを選択します。選択したキーワードタグは、メディアファイルを読み込むときにキーワードタグパネルに追加されます。タグにアスタリスク (*) が付く場合、カタログには既に同じ名前のタグがあります。既存のタグがメディアファイルに付けられます。
- 追加オプションを設定するには、「詳細設定」をクリックします。


4. 「詳細設定」を選択した場合は、次のいずれかの操作を行い、「OK」をクリックします。

- 「キーワードタグ」セクションの名前の左横にあるチェックボックスをクリックして、取り込むキーワードタグを選択します。キーワードタグを選択すると、キーワードタグの右側にあるオプションが使用可能になります。
- 取り込むキーワードタグの名前を変更するには、キーワードタグ名の横にあるボックスをクリックして、取り込むキーワードタグを選択します。「新規キーワードタグとして取り込み」の下のタグの右側にあるボタンをクリックし、テキストボックスに名前を入力します。Elements Organizer 11 により新しい名前のキーワードタグがカタログに追加され、そのキーワードタグが取り込んだメディアファ

イルに適用されます。

- 取り込んだタグをカタログ内の既存のタグにマップするには、取り込むタグを選択します。「既存のキーワードタグを使用」の下の右側のボタンをクリックして、ポップアップメニューからタグを選択します。読み込んだメディアファイルには、元のタグ名の代わりに、選択したタグ名が付きます。
- 「基本設定」をクリックすると、変更内容をクリアして、写真に添付されているキーワードタグを取り込みダイアログボックスに戻ります。

注意： 読み込み中のメディアファイルに付いているタグの数が多いと、ダイアログボックスが表示されます。すべてのキーワードタグを取り込むことも、キーワードタグを1つも取り込まないこともできます。読み込むタグを個々に選択する場合は、ダイアログボックスを閉じ、編集／メディアの読み込みを取り消しを選択して、読み込みを取り消します。1回の読み込み分全体を選択し、カタログから削除する方法でも、読み込みを取り消すことができます。そうしておいてから、メディアファイルをもっと小さな単位の処理に分けて、読み込み直します。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

検索によるメディアの読み込み

検索によるメディアの読み込み
チェックフォルダーの使用 (Windows のみ)
プレビューファイル
プレビューファイルのサイズの設定
CD または DVD からの写真の取り込み
ビデオからの写真の取り込み

[ページの先頭へ](#)

検索によるメディアの読み込み

検索により写真やビデオをすばやく見つけることができます。検索による読み込みは、コンピューターの特定の場所にあるメディアを検索するときに役立ちます。メディアファイルを検索中に、特定のファイルサイズ（例、100 KB）未満のファイルを除外するなど、検索条件を指定することができます。

検索による読み込みは、システムフォルダーやプログラムフォルダーを検索で省略できるので、時間が大幅に節約されます。次に、ハードディスクから Elements Organizer にフォルダーを読み込むことができます。

1. 次のいずれかの操作を行います。
 - 「読み込み」をクリックします。「検索結果から」を選択します。
 - ファイル／写真とビデオの取り込み／検索結果からを選択します。
2. 検索対象ポップアップメニューから検索オプションを選択します。
3. 検索対象を限定するオプションを選択します。

システムフォルダーおよびプログラムフォルダーは除く メディアファイルが保存されている可能性の低いシステムフォルダーや、プログラムフォルダーを検索対象から除外します。

指定サイズより小さいファイルは除く 指定したサイズより小さいファイルサイズの写真を検索対象から除外します。「KB」テキストボックスに最小ファイルサイズをキロバイト数で入力します。

注意：初期設定ではリムーバブルメディア（CD や DVD など）とネットワークドライブは検索されません。

4. 「検索」をクリックします。検索には時間がかかる場合があります。途中で検索を中止する場合は、「検索中止」をクリックします。

検索の結果、写真やビデオファイルが格納されているすべてのフォルダーが返されます。

5. 検索結果から、フォルダーをクリックして選択します。複数のフォルダーを選択するには、Ctrl キー（Win）／Cmd キー（Mac OS）を押しながら、フォルダー名を順番にクリックします。リスト内のフォルダー名をクリックすると、そのフォルダー内にあるアイテムのプレビューが表示されます。
6. （オプション）Elements Organizerに読み込むときに赤目が発生している写真を自動的に修正するには、「自動赤目修正」を選択します。
7. 「取り込み」をクリックします。メディアビューに写真が表示されます。

注意： 取り込む写真にキーワードタグが付いている場合は、写真に添付されているキーワードタグを取り込みダイアログボックスが表示されます。

[ページの先頭へ](#)

チェックフォルダーの使用 (Windows のみ)

Elements Organizer は、任意のチェックフォルダーに追加されたメディアファイルを自動的に検出します。初期設定では、マイピクチャフォルダーがチェックされますが、他のフォルダーも Elements Organizer のチェック対象リストに追加できます。

チェックフォルダーに追加されたメディアファイルを自動的にカタログに追加するように選択できます。また、新しいメディアファイルをカタログに追加する前に確認メッセージを表示するように選択することもできます。メッセージが表示されたときに、「はい」をクリックするとカタログにメディアファイルが追加されます。「いいえ」をクリックするとメディアファイルは追加されません。メディアファイルは、削除されない限り、Elements Organizer に取り込むかどうかにかかわらず保存されたフォルダーにそのまま保持されます。

チェックフォルダーリストへのフォルダーの追加

1. ファイル／チェックフォルダーを選択します。

2. 「追加」をクリックし、フォルダーを参照します。

3. フォルダーを選択して「OK」をクリックします。チェック対象のフォルダーのリストにフォルダー名が表示されます。

💡 チェック対象のフォルダーをすばやく追加するには、マイフォルダーパネルで、フォルダーを右クリックし、「チェックフォルダーとして追加」を選択します。

チェックフォルダーの設定の変更

1. ファイル／チェックフォルダーを選択します。

2. 次のいずれかのオプションを選択します。

- チェックフォルダー機能を有効にするには、「指定フォルダーに新しいファイルが入ったときにチェック」チェックボックスをオンにします。
- ファイルをカタログに追加するかどうかを選択する場合は、「通知する」を選択します。
- メディアファイルが検出されたら自動的にカタログに追加するには、「Elements Organizer にファイルを自動的に追加」を選択します。

コンピューター上のファイルの参照

1. Elements Organizer で、メニューからファイル／写真とビデオの取り込み／ファイルやフォルダーからを選択します。

2. ダイアログボックスで、Elements Organizer に取り込むファイルが含まれているフォルダーに移動します。ファイルの場所メニューや、画面の上部と左側にあるナビゲーションコントロールを使用します。

3. ファイルの上にポインターを置いて写真に関する情報（大きさ、種類、サイズ）を表示するか、ファイルを選択してプレビューを表示します。Mac OS では、Finder を使用して写真のプレビューを表示します。

注意： Raw ファイルは、Windows Vista/Windows 7 ではプレビューに表示されません。

4. 次のいずれかの方法で写真を選択します。

- メディアファイルを 1 つ取り込むには、そのファイルを選択します。
- 複数のメディアファイルを取り込むには、取り込むファイルを Ctrl キーを押しながら、または Cmd キーを押しながらクリックして選択します。あるいは、取り込む写真が連続していれば、最初の写真をクリックし、Shift キーを押しながら最後の写真をクリックしてまとめて選択します。
- フォルダー内のすべてのメディアファイルを取り込むには、ファイルやフォルダーから写真とビデオを取り込むダイアログボックスで、現在のフォルダーから 1 つ上のフォルダーに移動して目的のフォルダーを選択します。フォルダー内のサブフォルダーから写真を取り込むには、「サブフォルダーから写真を取り込む」を選択します。

💡 PDF ファイルまたは Photoshop Elements プロジェクトを PSE ファイルとして取り込むことができます。PDF ファイル内のテキストは画像として取り込まれます（テキストを編集できません）。

5. ファイル固有の取り込みオプションを設定します。

自動赤目修正 ファイルをダウンロードしながら赤目修正を行います。

自動的に写真をスタック 類似性と日付に応じて、写真スタックを提示させます。

6. 「取り込み」をクリックします。メディアファイルが Elements Organizer に表示されます。

特定のフォルダーからのファイルの追加

1. Elements Organizer で、読み込み／マイフォルダーメニューから、フォルダーの位置を選択します。


フォルダー階層パネルがメディアビューの左側に開きます。

2. フォルダー階層パネルで、取り込むファイルを含むフォルダーを参照します。

3. フォルダーを右クリック/Control キーを押したままクリックし、「メディアの読み込み」を選択します。

メディアの取り込みダイアログボックスに、ファイルの読み込み状況が表示されます。

4. 「OK」をクリックします。

ファイルが読み込まれると、フォルダーのアイコンは管理対象外フォルダーアイコン  から管理対象フォルダーアイコン  に変わります。

リムーバブルドライブ／CD／DVD／ネットワークから写真を取り込む場合、コンピューターにマスター写真のフル解像度のコピーを取り込むか（初期設定）、解像度を低下させたコピー（プレビューファイル）を取り込むかを選択することができます。プレビューファイルは、オリジナルの高解像度ファイルの小容量コピーとしてカタログに表示されます。オリジナルの写真を必要とする操作を行うときは、CD または DVD を挿入するように指示するメッセージが表示されます。その後、写真のプレビューファイルを使用するか、フル解像度のコピーを取り込むかを選択できます。

プレビューファイルを使用することを選択した場合は、マスターファイルを含む CD や DVD にオフラインボリューム名を割り当てることをお勧めします。CD または DVD にオフラインボリューム名を必ず書き込んでください。こうすると、Elements Organizer がマスターディスクを要求するときに役に立ち（参照名となります）、正しいディスクを挿入できます。

プレビューファイルのサイズの設定

[ページの先頭へ](#)

1. Elements Organizer（Windows）で、編集／環境設定／ファイルを選択します。Mac OS では、Adobe Elements Organizer 11／環境設定／ファイルを選択します。
2. 「オフラインボリューム」セクションで、プレビューファイルの画像サイズを選択します。初期設定では、640 x 480 の大きさに設定されています。ハードディスクの空き容量をできるだけ確保したいときは、画像サイズにこれより小さい値を指定し、より高画質で表示させるには大きい値を指定します。

CD または DVD からの写真の取り込み

[ページの先頭へ](#)

写真を CD または DVD からハードディスクや Elements Organizer に取り込むことができます。編集用にフル解像度のコピーを作成するか、ディスク容量を節約するために低解像度のオフラインコピー（プレビューファイル）を作成するかを選択できます。

1. Elements Organizer で、ファイル／写真とビデオの取り込み／ファイルやフォルダーからを選択します。
2. CD または DVD ドライブに移動し、コピーする写真を選択します。
3. （オプション）次のいずれかを選択します。

取り込み時にファイルをコピー ファイルのフル解像度コピーをハードディスク上に作成します。

プレビューを生成 ファイルの低解像度コピーをハードディスク上に作成して、ディスク容量を節約します。

4. （オプション）マスター写真をオフラインで保持している場合は、その写真が収録されている CD または DVD のボリューム名を入力し、ディスクにその名前を記入しておいてください。こうしておくことで、必要なときに簡単にマスターを探してダウンロードできます。
5. （オプション）Elements Organizer 11 に写真を取り込むと同時に赤目を修正するには、「自動赤目修正」を選択します。

注意： このオプションは、オフラインファイルでは選択できません。

6. （オプション）Elements Organizer で類似した写真をグループとしてまとめる場合は、「自動的に写真をスタック」を選択することで、写真グループをスタックに配置するかどうかを指定できます。
7. 「取り込み」をクリックして、写真を Elements Organizer に取り込みます。

写真にキーワードメタデータが含まれている場合は、写真に添付されているキーワードタグを取り込みダイアログボックスが表示されます。

ビデオからの写真の取り込み

[ページの先頭へ](#)


Elements Organizer で開くことのできるファイル形式（ASF、AVI、MPEG、MPG、M1V、WMV）でデジタルビデオが保存されている場合、デジタルビデオからフレームを取り込むことができます（ただし、ASF と WMV は Windows のみ）。取り込まれた写真は、ビデオファイル名と半角スペースと数字を組み合わせた名前（videoclip 01、videoclip 02 など）で保存されます。

注意： 幅広いビデオ形式から写真を作成できるようにするには、QuickTime や Windows Media Player などの標準ビデオソフトウェアの最新バージョンをインストールします。

1. エディターで、ファイル／読み込み／ビデオフレームを選択します。
2. ビデオフレームダイアログボックスで、「参照」をクリックし、静止画像フレームの取り込み元とするビデオを選択して、「開く」ボタンをクリックします。
3. ビデオの再生を開始するには、「再生」▶をクリックします。
4. ビデオフレームを静止画像として取り込むには、そのフレームが画面に表示されたときに、「フレームを取り込む」をクリックするか、スペースバーを押します。ビデオを進めたり巻き戻したりして、フレームの取り込みを続けることができます。

注意： ビデオの形式によっては、巻き戻しや早送りをサポートしていない場合があります。その場合は、巻き戻しボタン ◀◀ や早送りボタン ▶▶ を選択できなくなります。

5. 必要なフレームをすべて取り込んだら、「完了」をクリックします。
6. ファイル／保存を選択し、コンピューター上のフォルダーにそれぞれの静止画像ファイルを保存します。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

Adobe Revel からの写真の読み込み／書き出し

[Adobe Revel](#)

[Adobe Revel から写真を読み込む](#)

[Adobe Revel へ写真を書き出す](#)

[ページの先頭へ](#)

Adobe Revel

Adobe Revel を使用すると、Mac、iPad、iPhone など、様々なデバイスからフォトライブラリ全体にアクセスできます。つまり、Adobe Revel では様々なモバイルデバイスやコンピューター間で写真にアクセスしたり、同期したりすることができます。

詳細および Adobe Revel アカウントを持っていない場合のログイン情報の作成方法については、Adoberevel.com を参照してください。

Adobe Revel は無制限の写真数をサポートし、リアルタイムの同期機能を提供します。1 つのデバイスに新しい写真を追加すると、その写真は Adobe Revel を実行している他のデバイスに自動的に入力されます。

[ページの先頭へ](#)

Adobe Revel から写真を読み込む

Adobe® Revel アカウントから写真を読み込み、Photoshop Elements で整理および編集することができます。新しい写真や写真の編集により、フォトライブラリは自動的に更新されます。

1. 読み込み／Adobe Revel からをクリックします。

注意： あるいは、ファイル／Adobe Revel からの読み込みを選択することができます。

2. Adobe Revel のログイン情報を入力します。登録済みの Adobe Revel ユーザーである必要があります。ログイン情報を入力したら、「サインイン」をクリックします。



Revel へのログイン

Adobe Revel にログインできなかったり、ログイン情報を持っていない場合は、「Adobe Revel の詳細を表示」をクリックします。

3. Adobe Revel のライブラリから写真を読み込むには、読み込み元ドロップダウンリストからライブラリを選択します。このリストには、自分がアクセス権を持つライブラリがすべて含まれており、他の Adobe Revel ユーザーにより共有されているライブラリも含まれます。



ライブラリへの読み込み

4. 「参照」をクリックして、写真を読み込むフォルダーを選択します。フォルダーを指定しない場合、ファイルは初期設定のフォルダーに読み込まれます。
5. Elements Organizer に読み込む写真を選択し、「読み込み」をクリックします。

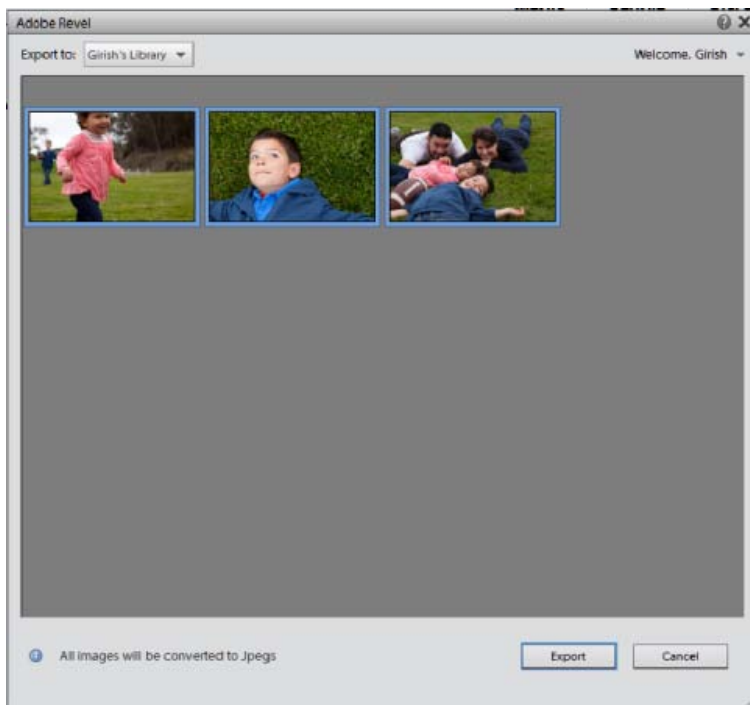
Adobe Revel へ写真を書き出す

[ページの先頭へ](#)

Elements Organizer から Adobe Revel のライブラリに写真を書き出すことができます。

1. Elements Organizer で、書き出す写真を選択します。ファイル／Adobe Revel へ書き出しを選択するか、「配信」タブをクリックして「Adobe Revel」をクリックします。
2. 書き出し先ドロップダウンリストからライブラリを選択し、「書き出し」をクリックします。

注意： 書き出されたすべての画像は、.jpeg ファイル形式に変換されます。



ライブラリへの書き出し

3. 正常に書き出したメディア数を確認するメッセージが表示されます。「OK」をクリックします。



読み込み／書き出しワークフローからサインアウトして、必要に応じて別のユーザーとしてサインインすることができます。ようこそ、[ユーザー名]さんの横にある三角形をクリックし、「サインアウト」をクリックします。

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

スキャナーからの写真の読み込み（Windows のみ）

スキャン

スキャナーから写真を取り込む

スキャナーの環境設定

TWAIN ドライバーを使用した写真のスキャン

[ページの先頭へ](#)

スキャン

Elements Organizer では、スキャナーから写真、ネガ、スライドの画像を取り込むことができます。次のいずれかの方法で、スキャナーから画像を取り込みます。

- スキャナー付属のスキャナードライバープラグインモジュールを使用します。このソフトウェアは、Elements Organizer 11 と連動するか、TWAIN® インターフェイスを使用して画像をスキャンし、直接 Elements Organizer 11 で開きます。

注意：TWAIN マネージャーは、Windows でのみサポートされます。

スキャナー付属のスタンドアロンのスキャンソフトウェアを使用して画像をスキャンし、保存します。それから、次の方法で、その画像を Elements Organizer に取り込むことができます。

- 「取り込み」をクリックします。「スキャナーから」を選択します。
- ファイル／写真とビデオの取り込み／スキャナーからを選択します。

説明：Windows® XP、Windows® Vista および Windows® 7 で作業をしている場合、スキャナーが接続されたことをコンピューターが検出するとすぐに Elements Organizer が起動するように設定できます。Windows のヘルプを参照してください。

[ページの先頭へ](#)

スキャナーからの写真の取り込み

写真をスキャンして Elements Organizer で開く前に、スキャナーに付属しているソフトウェアがすべてインストールされていることを確認してください。スキャナーの説明書をよく読んで、コンピューターに正しく接続してください。

- スキャナーが接続され、電源が入っていることを確認します。
- Elements Organizer で、次のいずれかの操作を行います。
 - 「取り込み」をクリックします。「スキャナーから」を選択します。
 - ファイル／写真とビデオの取り込み／スキャナーからを選択します。
- スキャナーから写真を取り込むダイアログボックスで、スキャナーメニューからスキャナーの名前を選択します。

注意： スキャナーリストに「有効な周辺機器なし」というメッセージが表示された場合は、スキャナーの電源が入っていること、スキャナーがコンピューターに正しく接続されていることを確認してください。
- 「参照」ボタンをクリックして、写真の保存先を選択します。
- 保存形式ポップアップメニューからファイル形式を選択します。通常は、初期設定の形式である JPEG を選択します。JPEG を選択した場合は、画質スライダーをドラッグしてスキャンの品質を調整できます。画質を高くするほど、ファイルサイズも大きくなります。



画質スライダー

- 「OK」をクリックします。TWAIN ドライバーが付属しているスキャナーを使用している場合は、Elements Organizer によって TWAIN ドライバーが起動されます。ドライバーソフトウェアの説明書に従って、写真をスキャンしてください。通常は、スキャンする領域を選択したり、カラー補正したりする機能が付属しています。

注意： Windows XP、Windows Vista または Windows 7 で、WIA（Windows Imaging Architecture）スキャナーを使用している場合、Elements Organizer により Windows XP のスキャンインターフェイスが起動されます。Windows のマニュアルを参照してください。TWAIN をサポートしているスキャナーでは、各メーカー独自のユーザーインターフェイスが起動します。

写真をスキャンすると、写真の取り込みダイアログボックスにスキャンした写真のプレビューが表示されます。Elements Organizer は取り込んだ日付を写真に割り当てます。

スキャナーの環境設定

[ページの先頭へ](#)


1. Elements Organizer で、編集／環境設定／スキャナーを選択します。

2. 「読み込み」領域のスキャナードロップダウンリストからスキャナー名を選択します。

注意： 別のスキャナーを接続するたびに、リストからスキャナーを選択する必要があります。このポップアップメニューは、前回接続したスキャナーの名前が選択された状態で表示されます。

3. 保存形式ポップアップメニューからファイル形式を選択します。通常は、初期設定の形式である JPEG を選択します。JPEG を選択した場合は、画質スライダーを適切な設定にドラッグします。画質を高くするほど、ファイルサイズも大きくなります。

4. スキャンした写真を保存するデフォルト位置を選択し、「OK」をクリックします。

 「OK」をクリックする前のいずれかの時点で、「初期設定値に戻す」をクリックすることができます。

TWAIN ドライバーを使用した写真のスキャン

[ページの先頭へ](#)


TWAIN は、特定のスキャナー、デジタルカメラおよびフレームグラバーによる画像の取り込みに使用されるソフトウェアドライバーです。TWAIN デバイスを Elements Organizer 11 で使用する場合は、デバイスのメーカーがソースマネージャーおよび TWAIN データソースを提供する必要があります。

スキャナーを使用して画像を Elements Organizer に取り込む前に、TWAIN デバイスとそのソフトウェアをインストールし、コンピューターを再起動する必要があります（インストールに関する情報は、デバイスのメーカーが提供するドキュメントを参照してください）。

- Elements Organizer で、読み込み／スキャナーからをクリックするか、ファイル／写真とビデオの取り込み／スキャナーからを選択します。

画像がスキャンされると、Elements Organizer に表示されます。

注意： Canon MP960 などの一部のスキャナーでは、初めてスキャンボタンを押したときに、スキャンプログレスバーが Photoshop Elements の後ろに表示されます。Photoshop Elements ウィンドウのサイズを小さくすると、スキャンプログレスバーが前面に表示されます。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

iPhoto ライブラリからのメディアの読み込み（Mac OS のみ）

[iPhoto '09 からの写真の読み込み](#)

[iPhoto '11 からの写真の読み込み](#)

[読み込まれる写真の初期設定位置の変更](#)

iPhoto は、Mac OS でデジタル写真の読み込み、整理、編集、プリント、共有を行うためのソフトウェアアプリケーションです。

Elements Organizer 11 では、iPhoto '09（バージョン 8.0 ～ 8.1.2）および iPhoto '11（バージョン 9.0 ～ 9.1.3）からの写真の読み込みをサポートします。iPhoto '09 より前のバージョンからは写真を読み込めません。

iPhoto '09 からの写真の読み込み

[ページの先頭へ](#)

Elements Organizer は、iPhoto '09 からの写真とあわせて、関連付けられているキャプション、タグ、重要度の読み込みをサポートします。ライブラリの組織を維持するために、イベントやアルバムなどの情報を読み込むオプションもあります。

読み込んだアルバムはアルバムフォルダーに表示され、イベントはイベントビューで表示できます。

1. 次のいずれかの操作を行います。

- 読み込み／iPhoto からを選択します。
- ファイル／写真とビデオの取り込み／iPhoto からを選択します。

注意： iPhoto がコンピューターにインストールされていない場合、iPhoto オプションは表示されません。

2. （オプション）iPhoto 内のイベントを Elements Organizer では個別のアルバムに変換することができます。iPhoto から読み込みダイアログボックスで、「iPhoto のイベントからアルバムに変換」を選択します。

アルバムとイベントを同じ名前を読み込むと、アルバムが 1 つ作成され、関連するすべての写真がそのアルバムに追加されます。

3. （オプション）読み込むイベントとアルバムを選択する場合は、「詳細」オプションを選択します。読み込むイベントとアルバムを選択します。

4. 「読み込み」をクリックします。

iPhoto '11 からの写真の読み込み

[ページの先頭へ](#)

1. 次のいずれかの操作を行います。

- 読み込み／iPhoto からを選択します。
- ファイル／写真とビデオの取り込み／iPhoto からを選択します。

2. 「読み込み」をクリックします。

読み込まれる写真の初期設定位置の変更

[ページの先頭へ](#)

iPhoto から Elements Organizer に写真を読み込むと、それぞれの写真のコピーが /Users/[ユーザー名]/Pictures/Adobe/Organizer/[カタログ名] に配置されます。

この場所を変更するには：

- Adobe Elements Organizer 11／環境設定／ファイルを選択します。
 - 「参照」をクリックします。
 - 「ファイル」をクリックします。
 - 「参照」をクリックして場所を変更します。
-



Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

カタログ、フォルダー、アルバム

このページからリンクされている内容の一部は英語版のみです。

アルバムおよびアルバムカテゴリの作成

アルバム
アルバムおよびアルバムカテゴリの作成
アルバムまたはアルバムカテゴリの作成
フォルダー名を使ったかんたんアルバムの作成
アルバムへの写真の追加
複数のアルバムへの写真の追加
アルバム内の写真の表示
アルバム内の写真の並べ替え
アルバム内の写真の順序のカスタマイズ
写真のダウンロード中のアルバムの指定
アルバム構造の書き出しと取り込み

アルバム

[ページの先頭へ](#)

Elements Organizer のアルバムは、選択したグループに写真を保存して整理できる、実際のアルバムのようなものです。例えば、「休暇の写真ベスト 10」というアルバムを作成し、お気に入りの画像を 10 枚追加することができます。

アルバム内の写真をドラッグして、任意の順序に並べることができます。1 枚の写真を複数のアルバムに追加することもできます。

グループ内のアルバムを整理することができます。複数のレベルのアルバムカテゴリを作成することもできます。例えば、「アジアの旅」というアルバムカテゴリを作成して、その中に「日本の写真ベストテン」、「中国の写真ベストテン」というように、旅行したアジアの国のアルバムを整理することができます。

アルバムに入れる写真を手動で選択する代わりに、写真選択の条件を指定した保存検索を作成することができます。それぞれの保存検索は、保存検索に指定した条件に一致する写真を自動的に収集するアルバムです。例えば、保存検索の条件が、キーワードタグが「キアラ」の写真を収集するようになっている場合、その保存検索を開けば、キーワードタグ「キアラ」の写真をすべて表示することができます。

アルバムおよびアルバムカテゴリの作成

[ページの先頭へ](#)

Elements Organizer の左側のアルバムパネルでは、アルバムの作成、編集、管理ができます。



- アルバムの作成、編集、名前変更、および削除を行います。
- アルバムおよびアルバムカテゴリを表示します。必要に応じて、アルバムのリストを上下にスクロールします。アルバムカテゴリの横にある三角形 ▼ をクリックして、アルバムの展開、または折りたたみ状態を切り替えます。
- アルバムカテゴリ内でアルバムを整理します。
- アルバムの写真を表示します。

アルバムまたはアルバムカテゴリの作成

[ページの先頭へ](#)

アルバムのメディアまたは新規アルバムのグループで構成されているアルバムを作成できます。例えば、「休暇」というアルバムカテゴリを作成し、その中に個別にアルバムを作成して、休暇の写真のセットごとに 1 アルバムとすることができます。

アルバムの作成


1. アルバムパネルの  ボタンまたは  の横にあるドロップダウンウィジェットをクリックして、右パネルで作成ワークフローを開きます。
2. 「名前」ボックスに、アルバムの名前を入力します。
3. (オプション) カテゴリドロップダウンリストから、アルバムのカテゴリを選択します。
注意： アルバムの名前のふりがなを変更するには、「名前（ふりがな）」テキストボックスに新しいふりがなを入力します。
4. 写真をメディアエリアに追加するには、次のように様々な方法があります。
 - 写真をメディアエリアにドラッグし、「OK」をクリックします。
 - また、メディアビューで写真を選択し、タスクバーから「メディアエリアを追加」を選択して写真を追加することもできます。

- メディアビューでメディアを選択し、右クリックして「選択したメディアを追加」を選択します。また、「すべて追加」を選択して、メディアビューにあるすべてのメディアをアルバムに追加することもできます。

 写真を削除するには、写真を選択してごみ箱アイコンをクリックします。

アルバムパネルの指定したアルバムカテゴリの下にアルバムが表示されます。

アルバムカテゴリの作成

1. アルバムパネルで  の横にある矢印ボタンをクリックし、「新規アルバムカテゴリ」を選択します。
2. 「アルバムカテゴリ名」ボックスで、アルバムカテゴリの名前を入力します。
注意： アルバムカテゴリの名前のふりがなを変更するには、「ふりがな」ボックスに新しいふりがなを入力します。
3. (オプション) 上位のアルバムカテゴリメニューから、アルバムカテゴリを配置するカテゴリを選択します。
4. 「OK」をクリックします。

アルバムパネルの指定したアルバムカテゴリの下にアルバムカテゴリが表示されます。

フォルダー名を使ったかんたんアルバムの作成

[ページの先頭へ](#)

ハードディスク上のフォルダーと同じ名前を持つかんたんアルバムを自動的に作成することができます。わかりやすいフォルダー名を使用してハードディスク上のメディアファイルが整理されている場合は、このようかんたんアルバムを作成すると便利です。これは、同じフォルダー名を持つ管理対象のメディアファイルをすばやく追加する場合にも役立ちます。

1. メディアビューで、アルバムパネルのマイフォルダーリストからフォルダーを選択します。
2. 左側のフォルダーツリー／管理対象フォルダーで、タグを付けるメディアファイルが含まれているフォルダーを選択します。選択したフォルダー内の管理対象メディアファイルのサムネールがメディアグリッドに表示されます。
3. フォルダーを右クリックし、「かんたんアルバムを作成」を選択します。

フォルダーの名前を持つ新しいアルバムが、アルバムパネルに作成されます。

4. (オプション) 新しく作成したアルバムのプロパティをカスタマイズするには、アルバム名を右クリックまたは Control キーを押したままクリックし、「編集」を選択します。

アルバムへの写真の追加

[ページの先頭へ](#)

1. メディアビューの左上隅にある「すべてのメディア」ボタンをクリックして、Elements Organizer で使用可能なメディアを表示します。
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - メディアビューにある写真やビデオを、アルバムパネルにあるアルバムにドラッグします。
 - アルバムパネルにあるアルバムを、メディアビュー内の写真にドラッグします。
 - また、人物／場所／イベントスタックをアルバムに追加することもできます。スタックを選択してアルバムにドラッグします。

注意： 画像をコピーして Elements Organizer に読み込むときにも、写真をアルバムに追加できます。[写真のダウンロード中のアルバムの指定](#)を参照してください。

複数のアルバムへの写真の追加

[ページの先頭へ](#)

1. メディアビューの左上隅にある「すべてのメディア」ボタンをクリックして、Elements Organizer で使用可能なメディアを表示します。
2. 写真を選択します。選択した写真の外枠が青くなります。
3. アルバムパネルで、1 つまたは複数のアルバム名を選択します。連続している複数のアイテムを選択するには Shift キーを押しながら最初と最後のアイテムをクリックします。連続していない複数のアイテムを選択するには、Ctrl キー／Command キーを押しながら各アイテムをクリックします。
4. 次のいずれかの操作を行い、写真をアルバムに追加します。
 - 写真を、アルバムパネルで選択した任意のアルバムにドラッグします。
 - アルバムパネルにあるアルバムを、選択した任意の写真の上にドラッグします。

アルバム内の写真の表示

同じ写真を複数のアルバムに入れることができますが、一度に表示できるアルバムは 1 つです。

- アルバムをクリックします。

💡 写真がどのアルバムにあるかを確認するには、メディアビューの写真の下にあるアルバムアイコン またはタグアイコン（複数のキーワードタグがアルバムに付けられている場合）の上にマウスのポインターを合わせます。

アルバム内の写真の並べ替え

アルバム内の写真を日付が古い順、日付が新しい順、またはアルバム内の順序で並べ替えることができます。

1. アルバムとフォルダーのパネルからアルバムを選択します。
2. メディアビューの並べ替えドロップダウンリストから、次のいずれかのオプションを選択します。
 - 最も新しい：写真を、日付の最も新しいものから順に、最も古いものへと並べます。
 - 最も古い：写真を、日付の最も古いものから順に、最も新しいものへと並べます。
 - 取り込み順：読み込んだバッチ処理の順に写真を並べます。
 - アルバム順：ユーザーが選択した順に写真を並べます。写真の順序は、手動でドラッグして並べ替えることができます。

アルバム内の写真の順序のカスタマイズ

Elements Organizer で用意されている初期設定の配置順（最も新しい／最も古い／取り込み順）とは別に、写真の順序をカスタマイズすることもできます。

1. アルバムパネルからアルバムを選択します。
2. メディアビューの並べ替えドロップダウンリストから、次のいずれかのオプションを選択します。
 - 最も新しい
 - 最も古い
 - 取り込み順
 - アルバム順
3. 1 つまたは複数の写真を選択し、アルバム内の任意の 2 つの写真の間にドラッグします。選択した写真を、アルバムの最初の写真の前または最後の写真の後にドロップすることもできます。


注意： アイテムの配置をリセットするには、ドロップダウンリストから最も新しい／最も古い／取り込み順を選択します。

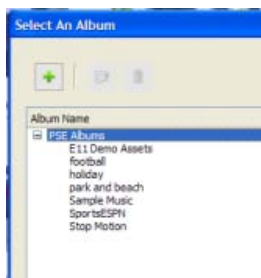
写真のダウンロード中のアルバムの指定

フォトダウンローダーまたは読み込み／カメラまたはカードリーダーからオプションを使用している場合、メディアのダウンロード先にあるアルバムを指定できます。ここをクリックして、写真ダウンロードオプション指定までの手順を確認してください。

1. フォトダウンローダーが詳細設定モードになっていることを確認します。必要に応じて、「詳細設定」をクリックします。
2. 「詳細オプション」セクションで、「アルバムへ読み込み」を選択します。



3. 「設定」をクリックして、アルバムを選択ダイアログボックスで次のいずれかを実行します。
 - 写真を特定のアルバムに取り込むには、ダイアログボックスでアルバムを選択します。
 - 写真を新規アルバムに取り込むには、新規アルバムを作成  をクリックして、ダイアログボックスで名前を入力して汎用の「新規アルバム」を上書きします。



4. 「OK」をクリックします。

[ページの先頭へ](#)

アルバム構造の書き出しと取り込み

アルバム構造には、自分で作成したアルバム名とアルバムカテゴリが含まれています。アルバムとアルバムカテゴリの名前の現在のセットを、アルバムパネルでの並べ方とそれぞれのアイコンとともに保存することができます。この構造は、他のユーザーとも共有できます。

アルバム構造は、書き出しや読み込みによって、他の人と共有することができます。例えば、友人と訪れた様々な美術館に関するアルバムセットがあるとします。アルバムセットを保存し書き出すことにより、友人がそのアルバムの構造（写真は含まれない）を取り込んで、自身の写真に使用することができます。逆に、友人のアルバムの構造を取り込んで、自分の写真に適用することもできます。



アルバム構造の書き出し

アルバム構造は、書き出すことにより、他の人と共有することができます。

注意： アルバムを書き出しても、そのアルバムに関連付けられた写真は書き出されません。

1. アルバムパネルで、**+**の横にある矢印をクリックし、「アルバムをファイルに保存」を選択します。
2. 次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。

すべてのアルバムを書き出す すべてのアルバム階層を含めたファイルを作成します。

指定したアルバムカテゴリの書き出し リストから選択したアルバムカテゴリの階層だけを含めたファイルを作成します。

3. アルバムをファイルに保存ダイアログボックスで、名前を入力し、保存先を選択して、「保存」をクリックします。このファイルは、XML形式で保存されます。

アルバム構造の取り込み

既存のアルバムカテゴリの階層をアルバムパネルに読み込み、自分の写真に使用することができます。

注意： アルバムを取り込んでも、そのアルバムに関連付けられた写真は取り込まれません。

1. アルバムパネルで、**+**の横にある下向き矢印をクリックし、「ファイルからアルバムを取り込む」を選択します。
2. ファイルからアルバムを取り込むダイアログボックスで、アルバムおよびアルバムカテゴリの名前が書き出された XML ファイルを選択し、「開く」をクリックします。
3. 読み込むアルバム構造が含まれている XML ファイルを検索して選択します。「開く」をクリックします。

保存検索の作成と編集

[保存検索](#)

[保存検索の作成](#)

[保存検索の編集と類似保存検索の作成](#)

[保存検索の削除](#)

保存検索

[ページの先頭へ](#)

保存検索は、指定した条件に合うメディアを集めたアルバムです。保存検索を作成すると、その保存検索の条件に合うメディアがあれば、その保存検索結果に自動的に表示されます。カタログに新しいメディアを追加すると、保存検索の条件に合うメディアがその保存検索結果に自動的に表示されます。保存検索は、自動的に更新されます。

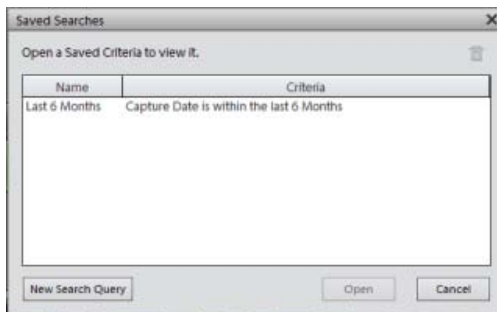
保存検索の作成

[ページの先頭へ](#)

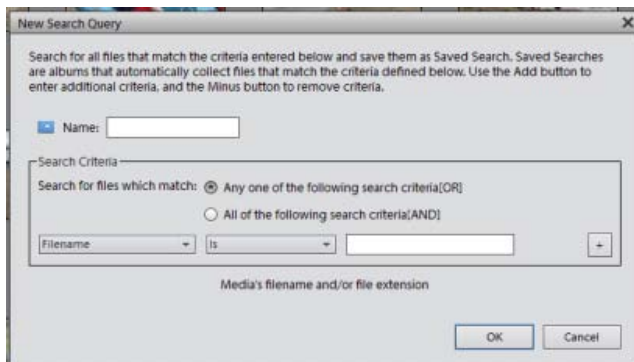
1. 検索アイコンをクリックします。ドロップダウンリストから「保存検索」を選択します。



2. 保存検索ダイアログボックスで、「新規検索クエリー」をクリックします。



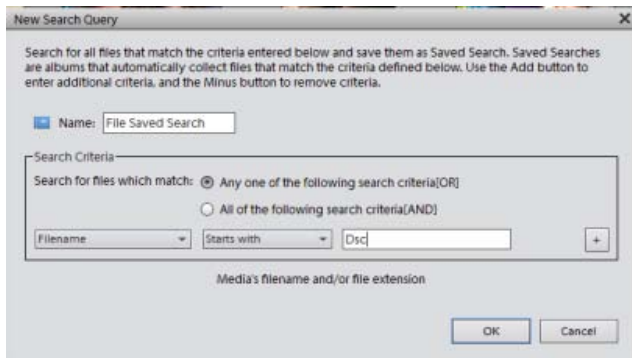
3. 新規検索クエリーダイアログボックスで検索条件を入力し、「OK」をクリックします。



新規検索クエリーダイアログボックスでは、次の詳細を指定します。

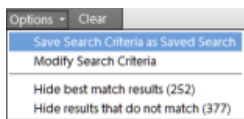
- 名前：保存検索の名前を入力します。
- 検索条件：ドロップダウンリストから検索条件を選択します。テキストボックスに（必要に応じて）値を入力します。
- + をクリックすると、検索クエリーを追加できます。
- 「OK」をクリックします。

例えば、ファイル名が「Dsc」で始まるファイルをすべて検索することができます。



注意： 写真の選択条件は、複数指定することができます。

4. 右上のエリアの「オプション」をクリックすると、保存検索のオプションが表示されます。



💡 「消去」をクリックすると、検索結果が消去され、メディアビューに戻ります。

現在の検索結果を新しい保存検索として保存することができます。「保存検索として検索条件を保存」をクリックします。

「検索条件を変更」をクリックすると、目標とする検索結果を得るために、検索条件を変更できます。

「条件に最も近いアイテムを非表示」をクリックすると、それ以外の検索結果が表示されます。

「条件に一致しないアイテムを非表示」をクリックすると、保存検索条件に一致しないアイテムは表示せず、メディアビュー内の検索結果に集中できます。

保存検索の編集と類似保存検索の作成

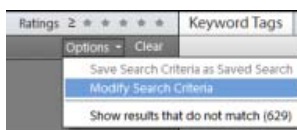
[ページの先頭へ](#)

保存検索の検索条件は編集できます。

1. 検索アイコンをクリックします。ドロップダウンリストから「保存検索」を選択します。
2. 保存検索ダイアログボックスで、変更する検索を選択し、「開く」をクリックします。

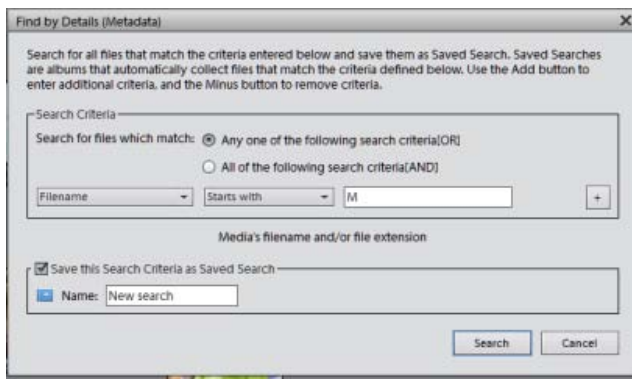
保存検索が実行され、メディアビューに結果が表示されます。

3. 右上のバーからオプションを選択します。「検索条件を変更」をクリックします。



4. 検索条件を編集したり、さらに追加したりします。

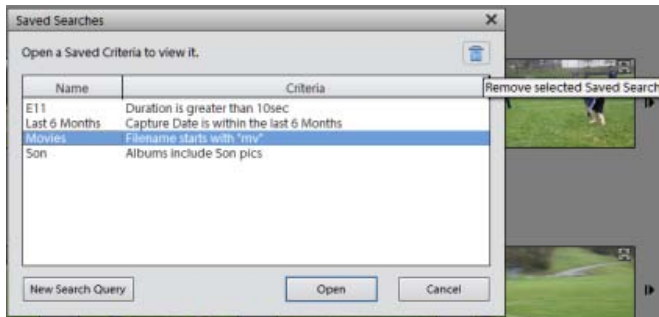
「この検索条件を保存検索として保存」オプションをオンにします。検索の名前を入力します。新しい保存検索が作成されます。



[ページの先頭へ](#)

保存検索の削除

1. 検索バーで、「保存検索」を選択します。
2. 保存検索ダイアログボックスで、削除する保存検索を選択します。ごみ箱アイコンをクリックします。「OK」をクリックします。



Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

アルバムおよびアルバムカテゴリの編集

アルバムの編集

アルバムの名前の変更

アルバムからの写真の削除

アルバムの結合

アルバムまたはアルバムカテゴリの削除

アルバムおよびアルバムカテゴリの再整理

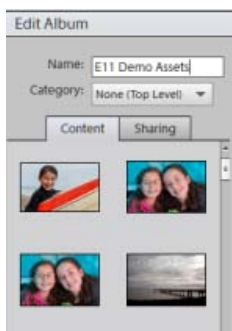
アルバム内の写真へのキーワードタグの適用

キーワードタグからのアルバムの作成

アルバムの編集

[ページの先頭へ](#)

1. 整理ワークスペースのアルバムパネルからアルバムを選択します。
2. 右クリックして、「編集」を選択します。
3. アルバムを編集パネルでは、次のアイテムを編集できます。
 - 名前：アルバムの名前を編集します。
 - カテゴリ：ドロップダウンリストからカテゴリを選択します。写真またはビデオを選択し、それをごみ箱にドラッグすることにより、メディアを削除します。複数のメディアを選択して、ごみ箱にドラッグすることもできます。
 - コンテンツ：メディアをメディアビューからコンテンツ領域にドラッグ&ドロップします。



アルバムの名前の変更

[ページの先頭へ](#)

アルバムの名前はすばやく変更できます。アルバムパネルでアルバムを右クリックして、「名前の変更」を選択します。



アルバムの名前の変更

名前の変更ダイアログボックスに新しい名前を入力して、アルバムの名前を変更します。

アルバムからの写真の削除

[ページの先頭へ](#)

1. メディアビューで、アルバムから削除する写真を選択します。
2. 写真を右クリックまたは Control キーを押したままクリックして「アイテムをアルバムから削除」を選択し、その写真を削除するアルバムのアルバム名を選択します（写真は複数のアルバムに表示することができます）。

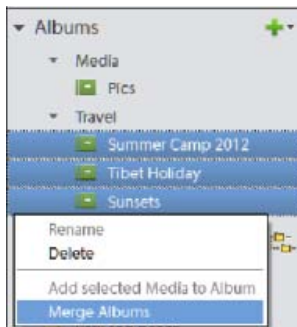
- その写真に割り当てられたアルバムアイコンが表示される場合は、アイコンを右クリックまたは Control キーを押したままクリックし、「[アルバム名] アルバムを削除」を選択してアルバムを削除します。アルバムに関連付けられているメディアは削除されません。

[ページの先頭へ](#)

アルバムの結合

複数のアルバムを結合して 1 つのアルバムにし、そのようにして作成されたアルバムには、結合されたアルバム内のすべての写真が含まれます。例えば、「車」アルバムを作成した後、同じ写真に対して誤って「自動車」アルバムを作成してしまった場合でも、両方のアルバムを 1 つに結合できます。アルバムを結合すると、すべての写真が 1 つのアルバムに配置され、その他のアルバムは削除されます。写真は、アルバムパネルに表示されている順序で配置されます。この順序は、結合の前後に並べ替えることができます。

- アルバムパネルで、結合するアルバムを選択します。アルバム名をクリックしてアルバムを選択します。連続するアルバムを選択するには Shift キーを押しながらクリックし、連続していない複数のアルバムを選択するには、Ctrl キー (Win) /Command キー (Mac OS) を押しながらかlickします。
- 右クリックして、「アルバムを結合する」を選択します。



アルバムの結合

- リストから、選択したアルバムを結合するアルバムを選択し、「OK」をクリックします。



[ページの先頭へ](#)

アルバムまたはアルバムカテゴリの削除

アルバムまたはアルバムカテゴリを削除すると、そのアルバム、アルバムカテゴリ、およびカテゴリ内のアルバムが削除されますが、その中の写真は削除されません。また、アルバムカテゴリと他のカテゴリにあるアルバムを同時に削除することはできません。

- アルバムパネルで、アルバム名をクリックしてアルバムまたはアルバムカテゴリを選択します。連続している複数のアルバムを選択するには、Shift キーを押しながら最初と最後のアイテムをクリックします。連続していない複数のアルバムを選択するには、Ctrl キーを押しながら各アイテムをクリックします。
- 右クリックして「削除」を選択します。

注意： アルバムに関連付けられているメディアは削除されません。

[ページの先頭へ](#)

アルバムおよびアルバムカテゴリの再整理

初期設定では、最上位のアルバムが五十音順でリストされており、その後にアルバムカテゴリが五十音順でリストされています。これらの順序を変更することはできませんが、アルバムカテゴリの後にアルバムを配置することはできません。

- 編集／環境設定／キーワード名札とアルバム (Windows)、または、Elements Organizer 11／環境設定／キーワード名札とアルバム (Mac OS) を選択します。
- アルバムカテゴリとアルバムの並べ替えオプションを「手動」に選択し、「OK」をクリックします。

3. アルバムパネルで、1 つ以上のアルバムおよびアルバムカテゴリを選択します。
4. アルバム階層内の新しい場所にアイテムをドラッグします。

アルバムカテゴリを移動する場合、アルバムカテゴリに含まれるアイテムも一緒に移動します。

注意： 下位にあるアルバムまたはアルバムカテゴリを、最上位にドラッグして移動することはできません。下位にあるアルバムを最上位に移動するには、アルバムを編集ダイアログボックスまたはアルバムカテゴリを編集するダイアログボックス内でそのグループを最上位に変更します。

アルバム内の写真へのキーワードタグの適用

[ページの先頭へ](#)

キーワードタグも、アルバムと同じように、写真や他のメディアファイルを整理するための方法の 1 つです。キーワードタグとアルバムは、同じアイテムに関連付けることができます。アルバム内の写真を表示しながら、その写真にキーワードタグを適用することができます。

1. アルバムパネルで、アルバム名をクリックすると、そのアルバム内の写真が表示されます。
2. タスクエリアのタグ／情報ボタンをクリックします。




3. 編集／すべてを選択を選択して、メディアビューのすべてのアイテムを選択するか、特定のメディアアイテムをクリックします。
4. キーワードタグを選択し、写真に適用します。キーワードタグエリアから、右クリックして「選択したメディアに適用」を選択します。メディアアイテムのキーワードをドラッグ＆ドロップして、キーワードタグをメディアに適用することもできます。

キーワードタグからのアルバムの作成

[ページの先頭へ](#)

1. 「キーワードタグ」タブで、キーワードタグの横にある三角形をクリックし、パネルを展開します。
2. タグの最も右側にある矢印ウィジェットをクリックします。そのタグが適用されているすべての写真がメディアビューに表示されます。
3. 「読み込み／アルバム」タブで、アルバムの横にある三角形をクリックし、パネルを展開します。
4. 次のいずれかの操作を行います。
 - 写真をアルバムパネルのアルバム（1 つまたは複数）の上にドラッグします。
 - アルバムを新規に作成し、写真をその上にドラッグします。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

カタログの問題のトラブルシューティング

カタログの変換エラーのトラブルシューティング

カタログの修復

カタログ内で見つからないファイルを再リンク

オフラインファイルの操作

カタログの変換エラーのトラブルシューティング

[トップへ戻る](#)

以前バージョンの Elements Organizer がコンピューターで開かれていないことを確認します。

(Windows) iTunes を閉じて、iTunes の EXE ファイル (iTunes および iTunesHelper) が実行されていないことをタスクマネージャーで確認します。(Mac OS) iTunes を閉じて、iTunes の EXE ファイル (iTunes および iTunesHelper) が実行されていないことをアクティビティモニターで確認します。

次に挙げる以前のバージョンのプロセスがコンピューターで実行されている場合は、それを終了してからもう一度実行してください。

- 自動解析

自動解析を無効にするには、編集／環境設定／メディア解析を選択します。解析を実行するオプションを無効にします。オプションを無効にしたら、自動解析の EXE ファイル (ElementsAutoAnalyzer) が実行されていないことをタスクマネージャーで確認します。

- 人物認識

編集／環境設定／メディア解析を選択します。「人物の写真を自動的に解析」を無効にします。

カタログの修復

[トップへ戻る](#)

停電やコンピューターの故障によってカタログが破損した場合は、カタログに問題があることを知らせるメッセージが Elements Organizer に表示されます。このようなときは、「修復」コマンドを使用してカタログを修復します。


注意： (Mac OS) ネットワークドライブ上にあるカタログにはアクセスできません。

1. Photoshop Elements を閉じます。
2. ファイル／カタログを管理を選択します。
3. カタログマネージャーで、修復するカタログを選択します。
4. 「修復」をクリックします。
5. 次のダイアログボックスのいずれかが表示されます。

- ダイアログボックスに「カタログにエラーは見つかりませんでした。」と表示される場合は、「OK」または「修復する」をクリックします。
- ダイアログボックスに、カタログにはエラーがないが、サムネールキャッシュにはエラーがあることが表示された場合は、「サムネールキャッシュを削除」をクリックします。キャッシュが削除され、再生成されます。
- エラーが見つかったとダイアログボックスに表示される場合は、「OK」または「キャンセル」をクリックします。サムネールキャッシュにエラーが検出された場合、キャッシュが削除され、再生成されます。
- カatalogが回復不能であるとダイアログボックスに表示される場合は、カタログのバックアップを読み込むことを検討してください。

カタログ内で見つからないファイルを再リンク

[トップへ戻る](#)


Elements Organizer を使用しないでファイルの移動、名前変更、または削除を行うと、そのファイルを開いたり、変更しようとする際に、ファイルが見つからないことを示すアイコン  が表示されます。

Elements Organizer の初期設定では、見つからないファイルがある場合、自動的にそのファイルの再リンクと名前変更を試みます。見つからないファイルと同じ名前、更新日、およびサイズのファイルを使用して、カタログに再リンクします。

ファイルのプリント、電子メールでの送信、編集、ファイルへの書き出しなどの操作では、実際に使用するまでそれらのファイルが見つからないことに気づきません。そのような場合は、見つからないファイルを再リンクダイアログボックスが開かれます。

注意： サムネールを生成できないサイズの大きなファイルの場合、見つからないアイコンも表示されます。

1. 次のいずれかの操作を行います。


- ファイルが見つからないことを示すアイコン  が表示されているアイテムを 1 つまたは複数選択し、ファイル／再リンク／見つからないファイルを選択します。
 - 見つからないアイテムをすべて再リンクするには、ファイル／再リンク／すべての見つからないファイルを選択します。
2. ファイルの現在の場所がわかっている場合は、「参照」をクリックします。コンピューター上で見つからないファイルが含まれる場所に移動します。
- ファイルの場所がわからない場合は、Elements Organizer がコンピューターの検索を完了するまで待ちます。
3. 見つからないファイルを再リンクダイアログボックスで、1 つまたは複数の見つからないファイルを選択します。連続している複数のファイルを選択するには、Shift キーを押しながら、選択対象の最初と最後のファイルをクリックします。連続していない複数のファイルを選択するには、Ctrl キー (Mac OS では Cmd キー) を押しながらファイルを 1 つずつクリックします。
- 注意： 完全に一致するものが見つからない場合は、「参照」をクリックします。見つからないファイルを再リンクダイアログボックスで、見つからないファイルを手動で検索して再リンクします。
4. 「再リンク」をクリックします。

自動再リンクの無効化

1. Elements Organizer で、編集／環境設定／ファイル (Windows) または Adobe Elements 11 Organizer／環境設定／ファイル (Mac OS) を選択します。
2. 「見つからないファイルを自動的に検索して再リンク」の選択を解除します。
3. 「OK」をクリックします。

オフラインファイルの操作

[トップへ戻る](#)

オフラインファイルとは、現在オフライン (使用できない) の外部ディスクやドライブにあるカタログ内のアイテムのことを指します。オフラインアイコン  は、そのオフラインのアイテム (ローカルのハードディスク以外のディスクやドライブに保存されている) に表示されます。

外部ドライブからファイルを取り込む際に、取り込みダイアログで、取り込み後にコンピューターにファイルをコピーするかどうかを指定することができます。「取り込み時にファイルをコピー」オプションの選択を解除し、「プレビューを生成」オプションを選択すると、プレビューファイルと呼ばれる低解像度のコピーが作成されます。

オフラインアイテムに操作を実行しようとする、オフラインファイルを保存しているディスクやドライブを挿入するように指示するメッセージが表示されます。

注意： フォトメール、電子メールの添付ファイル、PDF スライドショーなどの操作では、オフラインファイルを検索ダイアログに「オフラインアイテムにプレビューを使用」オプションが表示されます。このオプションを選択すると、低解像度のプレビューファイルで操作が続行されます。

オフラインファイルで操作を実行すると、オフラインドライブを検索ダイアログが表示されます。

次のいずれかの操作を実行できます。

- そのアイテムが含まれているディスクまたはドライブを挿入します。オフラインファイルが接続されます。ネットワークドライブの場合は、ネットワークに接続していることを確認して、「更新」をクリックします。オフラインとしてマークされているカタログ内のすべてのアイテムがオンライン状態に戻ったら、様々なファイル操作を続行することができます。
注意： オフラインドライブを検索ダイアログに複数のディスクやドライブが表示されている場合、全ファイルに接続するためにすべてのディスクまたはドライブを挿入します。
- 選択範囲に接続中のファイルとオフラインファイルが混在していて、そのオフラインファイルを当面の間無視する場合は、「無視」を選択します。選択した操作が接続中のすべてのファイルで実行されます。オフラインファイルはオフラインの状態を保持し、変更されません。
- 選択範囲に別の場所に移動またはコピーされたアイテムがある場合は、「ファイルを再リンク」を選択します。ファイルの現在の場所を参照して、アイテムを選択します。再接続されたすべてのオフラインアイテムが接続され、選択した操作がそのアイテムで実行されます。
- アイテムを別のドライブにコピーまたは移動した場合は、コンピューターにドライブを接続して、「ドライブを再リンク」を選択します。ドロップダウンメニューからドライブを選択します。ドライブにあるカタログ内のすべてのオフラインアイテムがオンライン状態に復元され、接続されたアイテムで選択した操作が実行されます。
注意： すべてのオフラインファイルがドライブの元のフォルダー構造内に存在することを確認してください。

オフラインファイルを含むカタログのオペレーティングシステム間の移動

Windows で作成されたカタログを Mac OS で復元する場合は、ドライブを挿入しても、カタログ内のオフラインアイテムは自動的に接続されません。そのアイテムで操作を実行すると、オフラインドライブを検索ダイアログが表示されます。「ドライブを再リンク」を選択して、ドロップダウンメニューからそのアイテムが保存されているドライブを選択します。

同様に、オフラインファイルを含む Mac OS カatalog を Windows で復元する場合も、同じように操作します。

カタログファイルのバックアップまたは復元

カタログをバックアップするためのヒントと指針

カタログのバックアップ

カタログの復元

ほとんど使用しないメディアファイルを CD、DVD、コンピューター上の他のドライブ、または共有ネットワークに移動することで、カタログをバックアップして、コンピューターに空き容量を作成します。

CD または DVD にバックアップを作成する場合は、書き込み可能なメディアが入った CD または DVD ドライブをコンピューターに接続しておく必要があります。差分バックアップの場合は、前回の完全バックアップを保存したメディアを用意する必要があります。

カタログをバックアップするためのヒントと指針

[トップへ戻る](#)

カタログのバックアップを始める前に、次の内容に注意してください。

- CD、DVDまたは外付けハードディスクにバックアップを作成することをお勧めします。
コンピューターの内蔵ハードディスクのフォルダーにバックアップを作成すると、Elements Organizer によって英数字コードを使用したファイル名に変更されます。このように名前を変更することで、同じバックアップフォルダーに同じ名前のファイルが複数存在することを防ぎます。ただし、ファイルを復元すると、Elements Organizer によってファイル名は元に戻ります。
- CD/DVD を使用したバックアップ/復元は、Mac OS ではサポートされていません。また、Mac OSでは、共有ネットワーク上のファイルにはアクセスできません。
- コンピューター上でまたは複数の DVD プレイヤーで再生するために、選択した写真を CD または DVD に焼き込むには、スライドショーの出力（Windows のみ）を参照してください。
- （Windows のみ）CD や DVD で使用可能な領域をすべて使用できるように、Elements Organizer では 1 枚のディスクに複数のセッションを書き込むことができます。編集/環境設定/ファイルを選択し、「CD/DVD へのマルチセッションの書き込みを有効にする」を選択します。
- CD などのリムーバブルメディアへのバックアップが完了したら、今後のバックアップに備えて、今回のバックアップの内容と日付を記入しておくとお便利です。ディスクにラベルを付けるには、Elements Organizer を使用して CD ラベルや DVD ラベルを作成したり、専用のペンを使用してディスクに記入します。

カタログのバックアップ

[トップへ戻る](#)

- 複数のカタログがある場合は、バックアップするカタログを開きます。
- ファイル/カタログのバックアップを作成を選択します。
- バックアップの作成前に見つからないファイルを確認ダイアログボックスが表示されたら、次のいずれかの操作を行います。
 - 「再リンク」をクリックして、見つからないファイルを確認します。「再リンク」をクリックして、見つからないファイルがあった場合は、見つからないファイルを再リンクダイアログボックスが表示され、そのファイルに再リンクするように促されます。
 - 「続行」をクリックすると、バックアップファイルの作成を続行します。Elements Organizer は、修復手順を自動的に実行します。
注意： 再リンクされないアイテムがあってもバックアップを継続することを選択した場合、このバックアップセットを復元すると、再リンクされていないアイテムを持つカタログが作成されます。
- バックアップウィザードのステップ 1 で、次のオプションのいずれかを選択し、「次へ」をクリックします。
完全バックアップ カatalog全体と、写真ファイル、ビデオファイル、オーディオクリップ、PDF、プロジェクトおよびその他の関連ファイルのすべてがコピーされます。ファイルのバックアップを初めて作成する場合は、このオプションを選択します。
差分バックアップ 現在のカタログと、前回の完全バックアップまたは差分バックアップを作成した時の差分のデータとなる、新規作成または変更されたメディアファイル、PDF、プロジェクトおよびその他の関連ファイルだけがコピーされます。
- バックアップウィザードのステップ 2 で、次のオプションを設定し、「バックアップを保存」をクリックします。
 - 「保存先ドライブを選択」のリストから、アイテムの書き込み先として CD、DVD、またはハードディスクを選択します。
 - 「保存名」テキストボックスで初期設定の名前をそのまま使用するか、バックアップセッションにつける名前を入力します。
 - CD ドライブまたは DVD ドライブを選択した場合は、書き込み速度を選択します。初期設定では、使用するドライブと CD / DVD メディアの最速の速度が選択されています。ご使用のドライブとメディアに適した書き込み速度を選択してください。
 - 「バックアップ先パス名」では、「保存先ドライブを選択」でハードディスクを選択した場合に、内部またはネットワークのハードディ

スクへのバックアップファイルの保存先の場所を指定します。保存先を変更する場合は、「参照」をクリックして別の場所を選択します。

- 「以前に作成したバックアップファイル」は、差分バックアップを作成する場合に、最後に作成したバックアップから変更された部分を調べるために使用します。以前のバックアップファイルを参照するには、「参照」をクリックしてファイルを選択します。
6. Elements Organizer でバックアップに必要なサイズと書き込み推定時間が計算されたら、「バックアップを保存」をクリックします。CD または DVD のディスクを選択すると、書き込み可能な CD または DVD を挿入するように促すメッセージが表示されます。
 7. 差分バックアップを作成する場合は、前回の完全バックアップや差分バックアップを保存したメディアを挿入するか、ハードディスク上の場所を指定し、画面上の指示に従います。

CD または DVD に書き込むたびに、Elements Organizer でディスクの検証が求められます。検証には時間がかかりますが、ディスクを正しく作成するために、このオプションを使用してください。

カタログの復元

[トップへ戻る](#)

バックアップ済みのカタログを復元すると、バックアップカタログのコンテンツがコンピューター上に再度作成されます。カタログからの復元は、特に、失われたファイルまたはコンピューター間で移動したファイルを取得するために役立ちます。

例えば、カタログをバックアップするコマンドを使用してすべてのファイルを書き込み可能な CD または DVD にコピーしてから、カタログを復元するコマンドを使用して別のコンピューターに書き込みます。

注意： CD/DVD を使用したバックアップ/復元は、Mac OS ではサポートされていません。

1. 次のいずれかの操作を行います。
 - CD や DVD などのリムーバブルメディアにバックアップした場合は、コンピューターにメディアを挿入します。
 - 外部ハードディスクにバックアップした場合は、そのハードディスクがコンピューターに接続されていることを確認します。
2. ファイル/カタログを復元を選択します。
3. 「復元するバックアップの場所」で、復元するファイルが保存されている場所を指定します。
 - バックアップファイルが CD または DVD のどちらかに保存されている場合は、「CD/DVD」を選択します。必要に応じて、ドライブを選択メニューから CD または DVD のドライブを選択します。

注意： マルチセッションバックアップファイルが入った CD または DVD からファイルを復元する場合は、ドライブを選択リストを使用して最新のバックアップを選択します。

 - バックアップファイルがハードディスクまたはフラッシュメディアなどの他のメディアに保存されている場合は、「ハードディスク / その他のボリューム」を選択します。復元するバックアップファイルを検索するには、「参照」ボタンをクリックします。
4. カatalogおよびファイルの復元先を指定します。
 - 「元の場所」を選択すると、カタログ、写真、ビデオファイル、PDF、プロジェクトおよびオーディオクリップが元の場所に復元されます。
 - 「新規の場所」を選択すると、カタログおよび画像が新規のドライブまたはフォルダーに復元されます。別の保存先を選択するには、「参照」ボタンをクリックします。「元のフォルダー構造を復元」を選択すると、カタログ、写真、ビデオファイル、PDF、プロジェクトおよびオーディオクリップを含むフォルダーとサブフォルダーの階層が保持された状態で復元されます。

注意： 「CD/DVD」を選択している場合は、Elements Organizer からカタログの復元に複数のディスクが必要かどうかを問い合わせるメッセージが表示されます。画面の指示に従ってください。1つのバックアップセットだけを復元する場合と、1つのバックアップセットと1つまたは複数の差分バックアップを復元する場合とは手順が異なります。

5. 「復元」をクリックします。

以前の Windows バージョンのカタログを Mac OS 上に復元する

- 以前の Windows バージョンのカタログを Elements Organizer の現在の Windows バージョンに復元します。カタログは現在のバージョンと互換性のある形式に変換され、変換完了のメッセージが表示されます。
- 現在の Windows バージョンで、復元したカタログをバックアップします。
- Mac OS では、Elements Organizer のバックアップファイル (.tly) を復元します。





アルバムの作成と編集



[カタログ](#)
[カタログの作成](#)
[カタログファイルの検索](#)
[カタログを開く](#)
[メディアファイルの移動または変更](#)
[以前のバージョンのカタログの使用（変換）](#)
[カタログ名の変更](#)
[カタログの削除](#)
[カタログサイズの最適化](#)

[トップへ戻る](#)

カタログ

カタログとは、読み込まれたメディアに関する情報を含むファイルで、Elements Organizer によって維持されます。メディアを読み込むと、ファイル名や場所などの基本的な情報がファイル内で更新されます。Elements Organizer での作業を継続するに伴い、それらの変更を反映するようファイルがさらに更新されます。

メディアファイルをカタログと一緒に他のコンピューターまたは他のバージョンの Elements Organizer に移動すると、そのすべての情報が保持されます。

カタログ ファイルには、次の情報が含まれています。

- メディアファイルのパス（保存場所）とファイル名
- オーディオファイルのパス（保存場所）とファイル名
- フル解像度（写真のオリジナルの解像度）のオリジナルファイルのパス（保存場所）、ファイル名およびボリューム名（リンクしているオリジナルファイルが、CD または DVD などのオフラインメディアに保存されている場合）
- 編集前のオリジナルファイルのパス（保存場所）とファイル名（ファイルを編集した場合）
- 取り込んだメディアファイルで使用されたカメラまたはスキャナーの名前
- メディアファイルに追加したキャプション
- メディアファイルに追加したメモ
- メディアの種類（写真、ビデオファイル、オーディオクリップまたはプロジェクトのいずれか）
- メディアファイルの作成日時と修正日時
- メディアファイルに適用したキーワードタグ
- メディアファイルが含まれているアルバム
- メディアファイルの履歴：ローカルのプリンターでプリントされたか、書き出されたか、電子メールまたはオンラインで配信されたか、サービスを使用してオンライン写真プリントサービスに送信されたかが示されます。オンラインソースから受信したかどうか、または取り込まれたグループ（取り込み日時を含む）も表示されます。
- メディアファイルに対して行った編集操作（回転、切り抜き、および赤目の修正など）
- 写真およびビデオファイルの画像サイズ
- プロジェクトの設定（プロジェクトタイプ、キャプションやページ番号の表示など）
- 画像サイズ、Exif、著作権、IPTC 情報、ファイル形式などの情報を含むメタデータ

[トップへ戻る](#)

カタログの作成

メディアを Photoshop Elements に読み込むと、初期設定のカタログに追加されます。すべてのメディアでこの初期設定のカタログを使用する場合、これ以外の作業は必要ありません。

ただし、複数のカタログを作成できます。例えば、職場の写真と家族の写真で別のカタログを作成できます。

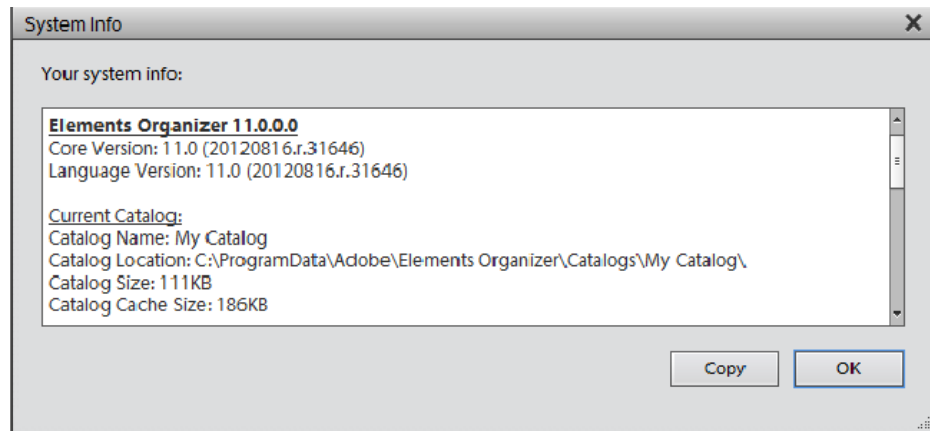
1. ファイル／カタログを管理を選択します。
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - a. カatalogのプリセットの場所を選択するには、「すべてのユーザーがアクセス可能なカタログ」（Windows® のみ）または「現在のユーザーがアクセス可能なカタログ」を選択します。
 - b. ユーザー定義の場所を選択するには、「ユーザー定義の場所」を選択し、「参照」をクリックします。コンピュータ上のカタログファイルの場所を参照します。
3. 「新規」をクリックします。
4. 新規カタログの名前を入力ダイアログボックスにカタログの名前を入力します。
5. 「OK」をクリックします。

[トップへ戻る](#)

カタログファイルの検索

- ヘルプ／システム情報をクリックします。

コンピューターで現在開いているカタログファイルの場所が、現在のカタログ／カタログの場所に表示されます。



カタログファイルの場所

[トップへ戻る](#)

カタログを開く

1. ファイル／カタログを管理を選択します。
2. カatalogマネージャーダイアログボックスのリストからカタログを選択します。
3. 「開く」ボタンをクリックします。
注意：（Mac OS）共有ネットワーク上にあるカタログにはアクセスできません。

[トップへ戻る](#)

メディアファイルの移動または変更

Elements Organizer には、ファイルへのリファレンスが含まれるため、ソフトウェアの外部でメディアファイルを移動したり、変更したりしないでください。Elements Organizer の外部でファイルを移動または変更すると、ファイルに再接続するように求められます。

カタログに関連付けられたファイルを移動または変更するには、次の提案に従ってください。

- カatalog内のファイルを移動するには、「移動」コマンドを使用します（アイテムを選択し、ファイル／移動を選択します）。
- カatalog内のファイルの名前を変更するには、「ファイル名変更」コマンドを使用します

(アイテムを選択し、ファイル／ファイル名変更を選択します)。

- ファイルをコンピューターから削除した場合には、そのアイテムをカタログから削除して、メディアビューに表示しないようにします。ファイルをカタログから削除するには、見つからないファイルを再リンクダイアログボックスまたは編集／カタログから削除コマンドを使用します。
- 編集／[オリジナルアプリケーション名] で編集コマンドを使用して、オリジナルファイルをオリジナルアプリケーションで編集します。

このコマンドを設定するには、次の操作を行います。

- 編集／環境設定／編集 (Windows) または Adobe Elements 11 Organizer／環境設定／編集 (Mac OS) を選択します。
- 「追加の編集アプリケーションを使用」をオンにして、「参照」をクリックし、アプリケーションを検索して選択します。
- 「開く」ボタンをクリックします。

このコマンドを使用すると、ファイルが見つからないことを示すエラーを発生させずに、ファイル名とファイルタイプを変更できます (BMP から JPEG に変更するなど)。編集が終了したら、必要に応じてサムネールを更新します。

[トップへ戻る](#)

以前のバージョンのカタログの使用 (変換)

Elements Organizer をインストール後に初めて開いたとき、以前のバージョンのカタログを変換するよう求められます。「はい」をクリックすると、以前のバージョンで作成したカタログが変換され、名前が変更されます。

以前にカタログを変換しなかった場合は、次の手順で以前のバージョンのカタログを変換します。

注意： ファイル／カタログのバックアップを作成を使用して、以前のカタログのバックアップを取ることをお勧めします。

1. 最新バージョンの Elements Organizer で、ファイル／カタログを管理を選択します。
2. 「変換」をクリックします。
3. 表示されるリストからカタログを選択します。
4. 「完了」をクリックします。

Photoshop Elements 11 へカタログをアップグレードするユーザーに対するメモ

ユーザーインターフェイスの機能強化とサポートされるファイル形式の変更により、カタログ変換プロセスへの変更も必要になります。次の表は、カタログを円滑に Photoshop Elements 11 へアップグレードする際に役立ちます。

アイテム	Photoshop Elements 11 への移行後
人物タグ	メディアビューまたは人物ビューの人物パネルで、人物タグの付いた写真を検索できます。人物タグには、汎用的なアイコンが使用されます。 メディアビューで人物パネルを表示するには、表示／タグパネルの人物を表示を選択します。 サブカテゴリに含まれる写真は、人物ビューの「グループ」セクションに移動されます。人物ビューで、人物／グループスライダーをクリックすると、それらの写真が表示されます。
イベントタグ	イベントに名前を変更 (タグ)
場所タグ	場所に名前を変更 (タグ)

スマートアルバム	スマートアルバムは保存検索に表示されます。
サポートされないファイル形式	次のファイル形式はファイル変換中にスキップされます。Filmstrip (FLM)、Wireless BMP (WBM、WBMP)、PCX、Targa (TGA、VDA、ICB、VST)、Photoshop RAW (RAW)、PICT ファイル (PCT、PICT)、Scitex CT (SCT)、Photoshop EPS (EPS)、EPS TIFF Preview (EPS)、Generic EPS (AI3、AI4、AI5、AI6、AI7、AI8、PS、EPS.AI、EPSF、EPSP)
サポートされないアルバムテンプレート	オンラインアルバムには、デフォルトのアルバムテンプレートが使用されます。

[トップへ戻る](#)

カタログ名の変更

1. Photoshop Elements Editor と Adobe Premiere Elements を閉じます。
2. Elements Organizer で、ファイル／カタログを管理を選択します。
3. カatalogマネージャーダイアログボックスで、リストからカタログの名前を選択します。
4. 「名前変更」をクリックします。新しい名前を入力し、「OK」をクリックします。

[トップへ戻る](#)

カタログの削除

Elements Organizer に関連付けられているカタログが複数ある場合に限り、カタログを削除できます。カタログが 1 つあり、それを削除する場合は、カタログをもう 1 つ作成してから、現在のカタログを削除します。

1. Photoshop Elements Editor と Adobe Premiere Elements を閉じます。
2. ファイル／カタログを管理を選択します。
3. カatalogマネージャーダイアログボックスに 2 つ以上のカタログがリストされていることを確認します。必要に応じて、新しいカタログを作成します。[カタログの作成](#)を参照してください。
4. 削除するカタログ以外のカタログを開きます。[カタログを開く](#)を参照してください。
5. カatalogマネージャーダイアログボックスで、削除するカタログをハイライトします。
6. 「削除」をクリックします。次に、「はい」をクリックします。

[トップへ戻る](#)

カタログサイズの最適化

カタログの最適化は、サイズの削減に役立ちます。その結果、カタログでファイルを開いて作業するのにかかる時間が短縮されます。

1. Photoshop Elements Editor と Adobe Premiere Elements を閉じます。
2. ファイル／カタログを管理を選択します。
3. カatalogマネージャーで、最適化するカタログを選択します。
4. 「最適化」をクリックします。

関連項目

[スライドショーの出力 \(Windows のみ\)](#)

[Elements Organizer でのファイル名の変更](#)

[カタログ内でのファイルの移動](#)

[カタログからのアイテムの削除](#)

[カタログの問題のトラブルシューティング](#)



[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

Elements Organizer ヘルプ / アルバムおよびアルバムカテゴリの作成

Adobe Community Help

対象製品

Elements Organizer

- アルバム
- アルバムおよびアルバムカテゴリの作成
- アルバムまたはアルバムカテゴリの作成
- フォルダー名を使ったかんたんアルバムの作成
- アルバムへの写真の追加
- 複数のアルバムへの写真の追加
- アルバム内の写真の表示
- すべて表示

ページの先頭へ

アルバム

Elements Organizer のアルバムは、選択したグループに写真を保存して整理できる、実際のアルバムのようなものです。例えば、「休暇の写真ベスト 10」というアルバムを作成し、お気に入りの画像を 10 枚追加することができます。

アルバム内の写真をドラッグして、任意の順序に並べることができます。1 枚の写真を複数のアルバムに追加することもできます。

グループ内のアルバムを整理することができます。複数のレベルのアルバムカテゴリを作成することもできます。例えば、「アジアの旅」というアルバムカテゴリを作成して、その中に「日本の写真ベストテン」、「中国の写真ベストテン」というように、旅行したアジアの国のアルバムを整理することができます。

アルバムに入れる写真を手動で選択する代わりに、写真選択の条件を指定した保存検索を作成することができます。それぞれの保存検索は、保存検索に指定した条件に一致する写真を自動的に収集するアルバムです。例えば、保存検索の条件が、キーワードタグが「キアラ」の写真を収集するようになっている場合、その保存検索を開けば、キーワードタグ「キアラ」の写真をすべて表示することができます。

ページの先頭へ

アルバムおよびアルバムカテゴリの作成

Elements Organizer の左側のアルバムパネルでは、アルバムの作成、編集、管理ができます。




- アルバムの作成、編集、名前変更、および削除を行います。
- アルバムおよびアルバムカテゴリを表示します。必要に応じて、アルバムのリストを上下にスクロールします。アルバムカテゴリの横にある三角形 ▼ をクリックして、アルバムの展開、または折りたたみ状態を切り替えます。
- アルバムカテゴリ内でアルバムを整理します。
- アルバムの写真を表示します。

ページの先頭へ

アルバムまたはアルバムカテゴリの作成


アルバムのメディアまたは新規アルバムのグループで構成されているアルバムを作成できます。例えば、「休暇」というアルバムカテゴリを作成し、その中に個別にアルバムを作成して、休暇の写真のセットごとに 1 アルバムとすることができます。

アルバムの作成

1. アルバムパネルの  ボタンまたは  の横にあるドロップダウンウィジェットをクリックして、右パネルで作成ワークフローを開きます。
 2. 「名前」ボックスに、アルバムの名前を入力します。
 3. (オプション) カテゴリドロップダウンリストから、アルバムのカテゴリを選択します。
注意： アルバムの名前のふりがなを変更するには、「名前（ふりがな）」テキストボックスに新しいふりがなを入力します。
 4. 写真をメディアエリアに追加するには、次のように様々な方法があります。
 - 写真をメディアエリアにドラッグし、「OK」をクリックします。
 - また、メディアビューで写真を選択し、タスクバーから「メディアエリアを追加」を選択して写真を追加することもできます。
 - メディアビューでメディアを選択し、右クリックして「選択したメディアを追加」を選択します。また、「すべて追加」を選択して、メディアビューにあるすべてのメディアをアルバムに追加することもできます。
-  写真を削除するには、写真を選択してごみ箱アイコンをクリックします。

アルバムパネルの指定したアルバムカテゴリの下にアルバムが表示されます。

アルバムカテゴリの作成

1. アルバムパネルで  の横にある矢印ボタンをクリックし、「新規アルバムカテゴリ」を選択します。
2. 「アルバムカテゴリ名」ボックスで、アルバムカテゴリの名前を入力します。
注意： アルバムカテゴリの名前のふりがなを変更するには、「ふりがな」ボックスに新しいふりがなを入力します。
3. (オプション) 上位のアルバムカテゴリメニューから、アルバムカテゴリを配置するカテゴリを選択します。
4. 「OK」をクリックします。

アルバムパネルの指定したアルバムカテゴリの下にアルバムカテゴリが表示されます。

[ページの先頭へ](#)

フォルダー名を使ったかんたんアルバムの作成

ハードディスク上のフォルダーと同じ名前を持つかんたんアルバムを自動的に作成することができます。わかりやすいフォルダー名を使用してハードディスク上のメディアファイルが整理されている場合は、このようかんたんアルバムを作成すると便利です。これは、同じフォルダー名を持つ管理対象のメディアファイルをすばやく追加する場合にも役立ちます。

1. メディアビューで、アルバムパネルのマイフォルダーリストからフォルダーを選択します。
2. 左側のフォルダーツリー／管理対象フォルダーで、タグを付けるメディアファイルが含まれているフォルダーを選択します。選択したフォルダー内の管理対象メディアファイルのサムネールがメディアグリッドに表示されます。
3. フォルダーを右クリックし、「かんたんアルバムを作成」を選択します。

フォルダーの名前を持つ新しいアルバムが、アルバムパネルに作成されます。
4. (オプション) 新しく作成したアルバムのプロパティをカスタマイズするには、アルバム名を右クリックまたは Control キーを押したままクリックし、「編集」を選択します。

[ページの先頭へ](#)

アルバムへの写真の追加

1. メディアビューの左上隅にある「すべてのメディア」ボタンをクリックして、Elements Organizer で使用可能なメディアを表示します。
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - メディアビューにある写真やビデオを、アルバムパネルにあるアルバムにドラッグします。
 - アルバムパネルにあるアルバムを、メディアビュー内の写真にドラッグします。
 - また、人物／場所／イベントスタックをアルバムに追加することもできます。スタックを選択してアルバムにドラッグします。

注意： 画像をコピーして Elements Organizer に読み込むときにも、写真をアルバムに追加できます。 [写真のダウンロード中のアルバムの指定](#)を参照してください。

[ページの先頭へ](#)

複数のアルバムへの写真の追加



1. メディアビューの左上隅にある「すべてのメディア」ボタンをクリックして、Elements Organizer で使用可能なメディアを表示します。
2. 写真を選択します。選択した写真の外枠が青くなります。
3. アルバムパネルで、1 つまたは複数のアルバム名を選択します。連続している複数のアイテムを選択するには Shift キーを押しながら最初と最後のアイテムをクリックします。連続していない複数のアイテムを選択するには、Ctrl キー／Command キーを押しながら各アイテムをクリックします。
4. 次のいずれかの操作を行い、写真をアルバムに追加します。
 - 写真を、アルバムパネルで選択した任意のアルバムにドラッグします。
 - アルバムパネルにあるアルバムを、選択した任意の写真の上にドラッグします。

[ページの先頭へ](#)

アルバム内の写真の表示

同じ写真を複数のアルバムに入れることができますが、一度に表示できるアルバムは 1 つです。

- アルバムをクリックします。

 写真がどのアルバムにあるかを確認するには、メディアビューの写真の下にあるアルバムアイコン  またはタグアイコン（複数のキーワードタグがアルバムに付けられている場合）の上にマウスのポインターを合わせます。

[ページの先頭へ](#)

アルバム内の写真の並べ替え

アルバム内の写真を日付が古い順、日付が新しい順、またはアルバム内の順序で並べ替えることができます。

1. アルバムとフォルダーのパネルからアルバムを選択します。
2. メディアビューの並べ替えドロップダウンリストから、次のいずれかのオプションを選択します。
 - 最も新しい：写真を、日付の最も新しいものから順に、最も古いものへと並べます。
 - 最も古い：写真を、日付の最も古いものから順に、最も新しいものへと並べます。
 - 取り込み順：読み込んだバッチ処理の順に写真を並べます。
 - アルバム順：ユーザーが選択した順に写真を並べます。写真の順序は、手動でドラッグして並べ替えることができます。

[ページの先頭へ](#)

アルバム内の写真の順序のカスタマイズ

Elements Organizer で用意されている初期設定の配置順（最も新しい／最も古い／取り込み

順)とは別に、写真の順序をカスタマイズすることもできます。

1. アルバムパネルからアルバムを選択します。
2. メディアビューの並べ替えドロップダウンリストから、次のいずれかのオプションを選択します。
 - 最も新しい
 - 最も古い
 - 取り込み順
 - アルバム順
3. 1 つまたは複数の写真を選択し、アルバム内の任意の 2 つの写真の間にドラッグします。選択した写真を、アルバムの最初の写真の前または最後の写真の後にドロップすることもできます。

注意： アイテムの配置をリセットするには、ドロップダウンリストから最も新しい／最も古い／取り込み順を選択します。


[ページの先頭へ](#)

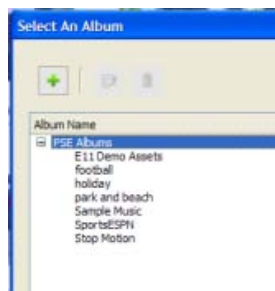
写真のダウンロード中のアルバムの指定

フォトダウンローダーまたは読み込み／カメラまたはカードリーダーからオプションを使用している場合、メディアのダウンロード先にあるアルバムを指定できます。[ここ](#)をクリックして、写真ダウンロードオプション指定までの手順を確認してください。

1. フォトダウンローダーが詳細設定モードになっていることを確認します。必要に応じて、「詳細設定」をクリックします。
2. 「詳細オプション」セクションで、「アルバムへ読み込み」を選択します。



3. 「設定」をクリックして、アルバムを選択ダイアログボックスで次のいずれかを実行します。
 - 写真を特定のアルバムに取り込むには、ダイアログボックスでアルバムを選択します。
 - 写真を新規アルバムに取り込むには、新規アルバムを作成  をクリックして、ダイアログボックスで名前を入力して汎用の「新規アルバム」を上書きします。



4. 「OK」をクリックします。

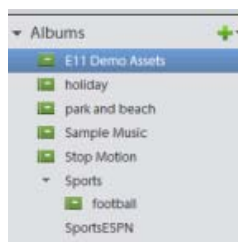
[ページの先頭へ](#)

アルバム構造の書き出しと取り込み

アルバム構造には、自分で作成したアルバム名とアルバムカテゴリが含まれています。アルバムとアルバムカテゴリの名前の現在のセットを、アルバムパネルでの並べ方とそれぞれのアイコンとともに保存することができます。この構造は、他のユーザーとも共有できます。

アルバム構造は、書き出しや読み込みによって、他の人と共有することができます。例えば、


友人と訪れた様々な美術館に関するアルバムセットがあるとします。アルバムセットを保存し書き出すことにより、友人がそのアルバムの構造（写真は含まれない）を取り込んで、自身の写真に使用することができます。逆に、友人のアルバムの構造を取り込んで、自分の写真に適用することもできます。



アルバム構造の書き出し

アルバム構造は、書き出すことにより、他の人と共有することができます。

注意： アルバムを書き出しても、そのアルバムに関連付けられた写真は書き出されません。

1. アルバムパネルで、の横にある矢印をクリックし、「アルバムをファイルに保存」を選択します。
2. 次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。

すべてのアルバムを書き出す すべてのアルバム階層を含めたファイルを作成します。


指定したアルバムカテゴリの書き出し リストから選択したアルバムカテゴリの階層だけを含めたファイルを作成します。

3. アルバムをファイルに保存ダイアログボックスで、名前を入力し、保存先を選択して、「保存」をクリックします。このファイルは、XML 形式で保存されます。

アルバム構造の取り込み

既存のアルバムカテゴリの階層をアルバムパネルに読み込み、自分の写真に使用することができます。

注意： アルバムを取り込んでも、そのアルバムに関連付けられた写真は取り込まれません。

1. アルバムパネルで、の横にある下向き矢印をクリックし、「ファイルからアルバムを取り込む」を選択します。
2. ファイルからアルバムを取り込むダイアログボックスで、アルバムおよびアルバムカテゴリの名前が書き出された XML ファイルを選択し、「開く」をクリックします。
3. 読み込むアルバム構造が含まれている XML ファイルを検索して選択します。「開く」をクリックします。







- [アルバム内の写真へのキーワードタグの適用](#)
- [キーワードタグからのアルバムの作成](#)



Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

製品

 Acrobat
 Creative Suite
 Digital Marketing Suite
 Digital Publishing Suite
 Elements
 モバイルアプリ

ソリューション

デジタルマーケティング
コンテンツオーサリング
Web Experience Management
業種別ソリューション
教育

サポート



ヘルプ & サポート
注文と返品
ダウンロードに関するヘルプ
ユーザー登録に関するヘルプ

ご購入方法

アドビストア
アカデミックストア
アドビライセンスストア
ボリュームライセンスについて
販売パートナー
キャンペーン情報

会社情報

プレスルーム
パートナープログラム
企業の社会的責任（英語）
採用情報
投資家の皆様へ（英語）
イベント & セミナー

 Photoshop
 Touch Apps

金融機関

ラーニング
トレーニング
Adobe TV
Design Magazine
Photoshop Magazine
Focus In
Adobe アトリエ
Adobe Developer
Connection

Legal (英語)
お問い合わせ

ダウンロード
Adobe Reader
Adobe Flash Player
Adobe AIR
Adobe Shockwave Player

 国・地域および言語の選択

Copyright © 2012 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
利用条件 | プライバシー | Cookie



Elements Organizer ヘルプ / アルバムおよびアルバムカテゴリの編集

Adobe Community Help

対象製品

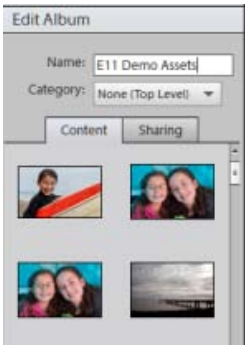
Elements Organizer

- アルバムの編集
- アルバムの名前の変更
- アルバムからの写真の削除
- アルバムの結合
- アルバムまたはアルバムカテゴリの削除
- アルバムおよびアルバムカテゴリの再整理
- アルバム内の写真へのキーワードタグの適用
- すべて表示

ページの先頭へ

アルバムの編集

- 整理ワークスペースのアルバムパネルからアルバムを選択します。
- 右クリックして、「編集」を選択します。
- アルバムを編集パネルでは、次のアイテムを編集できます。
 - 名前：アルバムの名前を編集します。
 - カテゴリ：ドロップダウンリストからカテゴリを選択します。写真またはビデオを選択し、それをごみ箱にドラッグすることにより、メディアを削除します。複数のメディアを選択して、ごみ箱にドラッグすることもできます。
 - コンテンツ：メディアをメディアビューからコンテンツ領域にドラッグ&ドロップします。



ページの先頭へ

アルバムの名前の変更

アルバムの名前はすばやく変更できます。アルバムパネルでアルバムを右クリックして、「名前の変更」を選択します。



アルバムの名前の変更
名前の変更ダイアログボックスに新しい名前を入力して、アルバムの名前を変更します。

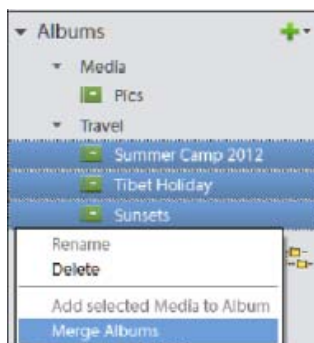
アルバムからの写真の削除

1. メディアビューで、アルバムから削除する写真を選択します。
2. 写真を右クリックまたは Control キーを押したままクリックして「アイテムをアルバムから削除」を選択し、その写真を削除するアルバムのアルバム名を選択します（写真は複数のアルバムに表示することができます）。
 - その写真に割り当てられたアルバムアイコンが表示される場合は、アイコンを右クリックまたは Control キーを押したままクリックし、「[アルバム名] アルバムを削除」を選択してアルバムを削除します。アルバムに関連付けられているメディアは削除されません。

アルバムの結合

複数のアルバムを結合して 1 つのアルバムにし、そのようにして作成されたアルバムには、結合されたアルバム内のすべての写真が含まれます。例えば、「車」アルバムを作成した後、同じ写真に対して誤って「自動車」アルバムを作成してしまった場合でも、両方のアルバムを 1 つに結合できます。アルバムを結合すると、すべての写真が 1 つのアルバムに配置され、その他のアルバムは削除されます。写真は、アルバムパネルに表示されている順序で配置されます。この順序は、結合の前後に並べ替えることができます。

1. アルバムパネルで、結合するアルバムを選択します。アルバム名をクリックしてアルバムを選択します。連続するアルバムを選択するには Shift キーを押しながらクリックし、連続していない複数のアルバムを選択するには、Ctrl キー（Win）/Command キー（Mac OS）を押しながらクリックします。
2. 右クリックして、「アルバムを結合する」を選択します。



アルバムの結合

3. リストから、選択したアルバムを結合するアルバムを選択し、「OK」をクリックします。



アルバムまたはアルバムカテゴリの削除

アルバムまたはアルバムカテゴリを削除すると、そのアルバム、アルバムカテゴリ、およびカテゴリ内のアルバムが削除されますが、その中の写真は削除されません。また、アルバムカテゴリと他のカテゴリにあるアルバムを同時に削除することはできません。

1. アルバムパネルで、アルバム名をクリックしてアルバムまたはアルバムカテゴリを選択し

ます。連続している複数のアルバムを選択するには、Shift キーを押しながら最初と最後のアイテムをクリックします。連続していない複数のアルバムを選択するには、Ctrl キーを押しながら各アイテムをクリックします。

2. 右クリックして「削除」を選択します。

注意： アルバムに関連付けられているメディアは削除されません。

[ページの先頭へ](#)

アルバムおよびアルバムカテゴリの再整理

初期設定では、最上位のアルバムが五十音順でリストされており、その後にアルバムカテゴリが五十音順でリストされています。これらの順序を変更することはできますが、アルバムカテゴリの後にアルバムを配置することはできません。

1. 編集／環境設定／キーワード名札とアルバム（Windows）、または、Elements Organizer 11／環境設定／キーワード名札とアルバム（Mac OS）を選択します。
2. アルバムカテゴリとアルバムの並べ替えオプションを「手動」に選択し、「OK」をクリックします。
3. アルバムパネルで、1 つ以上のアルバムおよびアルバムカテゴリを選択します。
4. アルバム階層内の新しい場所にアイテムをドラッグします。

アルバムカテゴリを移動する場合、アルバムカテゴリに含まれるアイテムも一緒に移動します。

注意： 下位にあるアルバムまたはアルバムカテゴリを、最上位にドラッグして移動することはできません。下位にあるアルバムを最上位に移動するには、アルバムを編集ダイアログボックスまたはアルバムカテゴリを編集するダイアログボックス内でそのグループを最上位に変更します。

[ページの先頭へ](#)

アルバム内の写真へのキーワードタグの適用

キーワードタグも、アルバムと同じように、写真や他のメディアファイルを整理するための方法の 1 つです。キーワードタグとアルバムは、同じアイテムに関連付けることができます。アルバム内の写真を表示しながら、その写真にキーワードタグを適用することができます。

1. アルバムパネルで、アルバム名をクリックすると、そのアルバム内の写真が表示されます。
2. タスクエリアのタグ／情報ボタンをクリックします。




3. 編集／すべてを選択を選択して、メディアビューのすべてのアイテムを選択するか、特定のメディアアイテムをクリックします。
4. キーワードタグを選択し、写真に適用します。キーワードタグエリアから、右クリックして「選択したメディアに適用」を選択します。メディアアイテムのキーワードをドラッグ & ドロップして、キーワードタグをメディアに適用することもできます。

[ページの先頭へ](#)

キーワードタグからのアルバムの作成









1. 「キーワードタグ」タブで、キーワードタグの横にある三角形をクリックし、パネルを展開します。
2. タグの最も右側にある矢印ウィジェットをクリックします。そのタグが適用されているすべての写真がメディアビューに表示されます。

3. 「読み込み／アルバム」タブで、アルバムの横にある三角形をクリックし、パネルを展開します。
 4. 次のいずれかの操作を行います。
 - 写真をアルバムパネルのアルバム（1 つまたは複数）の上にドラッグします。
 - アルバムを新規に作成し、写真をその上にドラッグします。
- [アルバムについて](#)
 - [アルバムへの写真の追加](#)
 - [アルバムパネルの使用](#)

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

製品

 Acrobat
 Creative Suite
 Digital Marketing Suite
 Digital Publishing Suite
 Elements
 モバイルアプリ
 Photoshop
 Touch Apps

ソリューション

デジタルマーケティング
コンテンツオーサリング
Web Experience Management

業種別ソリューション
教育
金融機関

サポート

ヘルプ & サポート
注文と返品
ダウンロードに関するヘルプ
ユーザー登録に関するヘルプ

ラーニング
トレーニング
Adobe TV
Design Magazine
Photoshop Magazine
Focus In
Adobe アトリエ
Adobe Developer Connection

ご購入方法

アドビストア
アカデミックストア
アドビライセンスストア
ボリュームライセンスについて
販売パートナー
キャンペーン情報

ダウンロード
Adobe Reader
Adobe Flash Player
Adobe AIR
Adobe Shockwave Player

会社情報

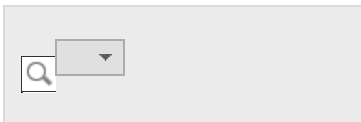
プレスルーム
パートナープログラム
企業の社会的責任（英語）
採用情報
投資家の皆様へ（英語）
イベント & セミナー
Legal（英語）
お問い合わせ

 国・地域および言語の選択

Copyright © 2012 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
[利用条件](#) | [プライバシー](#) | [Cookie](#)



キーワードタグ、カテゴリおよびサブカテゴリの編集




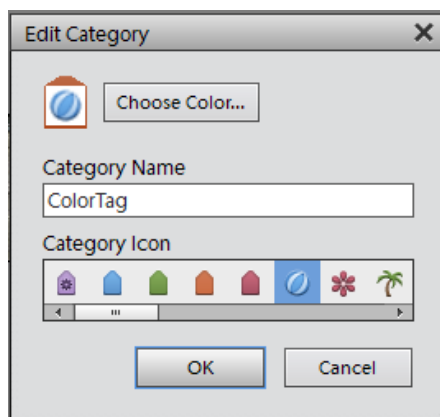
- [キーワードタグアイコンの変更](#)
- [キーワードタグのカテゴリまたはサブカテゴリの編集](#)
- [ドラッグによるキーワードタグ、カテゴリ、サブカテゴリの整理](#)
- [キーワードタグからサブカテゴリへの、またはサブカテゴリからキーワードタグへの変更](#)
- [カテゴリまたはサブカテゴリの削除](#)
- [写真からのキーワードタグの削除](#)
- [キーワードタグ情報のファイルへの書き出し](#)
- [キーワードタグの取り込みと書き出し](#)
- [キーワードタグパネルとアルバムパネルの環境設定](#)

[トップへ戻る](#)

キーワードタグアイコンの変更

初期設定では、キーワードタグのアイコンには、そのタグが最初に付けられた写真が使用されます。タグの内容をわかりやすくするために、このアイコンを変更することができます。

1. キーワードタグパネルで、タグを選択します。
注意：この機能は、顔または人物認識で生成されたタグでは利用できません。
2. 新規ボタン  をクリックし、メニューから編集を選択します。
3. キーワードタグの編集ダイアログボックスで、「アイコンの編集」ボタンをクリックします。
4. アイコンの次のプロパティを編集できます。
 - ・カラー：「カラーを選択」をクリックし、変更するアイコンのカラーを選択します。
 - ・名前：「カテゴリ名」でキーワードのカテゴリの名前を編集します。
 - ・カテゴリアイコン：カテゴリアイコンで使用できるオプションからアイコンを選択します。アイコンの他のオプションを表示するには、横にスライドします。




キーワードのカテゴリの編集

5. 「OK」をクリックします。

[トップへ戻る](#)

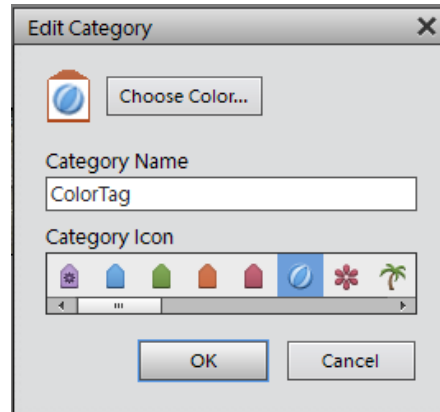
キーワードタグのカテゴリまたはサブカテゴリの編集

カテゴリやサブカテゴリの名前または階層を変更することができます。

1. キーワードタグパネルで、カテゴリまたはサブカテゴリを選択します。新規ボタン  をクリックして、メニューから「編集」を選択するか、カテゴリを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）して、「編集」を選択します。
2. アイコンの次のプロパティを編集できます。

カラー：「カラーを選択」をクリックし、変更するアイコンのカラーを選択します。

- ・ 名前：「カテゴリ名」でキーワードのカテゴリの名前を編集します。
- ・ カテゴリアイコン：カテゴリアイコンで使用できるオプションからアイコンを選択します。アイコンの他のオプションを表示するには、横にスライドします。



キーワードのカテゴリの編集

3. 「OK」をクリックします。


[トップへ戻る](#)

ドラッグによるキーワードタグ、カテゴリ、サブカテゴリの整理

初期設定では、キーワードタグとサブカテゴリは五十音順で表示されますが、ドラッグして、これらの順序を変更することができます。

1. 編集／環境設定／キーワードタグとアルバム（Windows）または Adobe Elements Organizer 11／環境設定／キーワードタグとアルバム（Mac OS）を選択します。
2. 「カテゴリ」、「サブカテゴリ」、および「キーワードタグ」の並べ替えオプションを「手動」に設定し、「OK」をクリックします。
3. キーワードタグパネルで、1 つまたは複数のキーワードタグ、カテゴリ、またはサブカテゴリを選択します。
4. 次のいずれかの操作を行い、選択したアイテムを新しい場所に移動します。

- ・ カテゴリまたはサブカテゴリ内でキーワードタグを並べ替えるには、タグをドラッグし、グレーのラインが表示されたらマウスボタンを放します。ドラッグしたタグは、グレーのラインのすぐ下に表示されます。
- ・ キーワードタグを新しいカテゴリに移動するには、移動したいカテゴリに重なるようにタグをドラッグし、カテゴリがハイライトされたらマウスボタンを放します。
- ・ カテゴリまたはサブカテゴリを並べ替えるには、グレーのラインが表示されるまでカテゴリまたはサブカテゴリをドラッグします。マウスボタンを放すと、カテゴリまたはサブカテゴリがグレーのラインのすぐ下に表示されます。
- ・ カテゴリまたはサブカテゴリを別のカテゴリの下位に配置するには、それらを目的のカテゴリまたはサブカテゴリまでドラッグします。移動先のカテゴリまたはサブカテゴリがハイライトされたらマウスを放します。

注意： カテゴリまたはサブカテゴリを間違えて移動し、意図していないカテゴリまたはサブカテゴリのサブカテゴリにしてしまった場合は、移動先のサブカテゴリを選択して新規ボタン  をクリックし、キーワードタグパネルのメニューから「編集」をクリックします。次に、「1 つ上のカテゴリまたはサブカテゴリ」メニューを使用して、正しい場所を指定します。

カテゴリまたはサブカテゴリを移動すると、それに含まれるキーワードタグも一緒に移動します。

[トップへ戻る](#)

キーワードタグからサブカテゴリへの、またはサブカテゴリからキーワードタグへの変更

- ❖ 「整理」タブで次のいずれかの操作を行います。

- ・ キーワードタグパネルでキーワードタグを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）し、「新規サブカテゴリを作成」を選択します。
- ・ キーワードタグパネルでサブカテゴリを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）し、「新規サブカテゴリの作成」を選択します。下位にキーワードタグまたはサブカテゴリを持つサブカテゴリを変更することはできません。

[トップへ戻る](#)

カテゴリまたはサブカテゴリの削除

1. キーワードタグパネルで、1 つ以上のカテゴリまたはサブカテゴリを選択します。
2. 右クリックして「削除」を選択し、「OK」をクリックして削除を確定します。

[トップへ戻る](#)

写真からのキーワードタグの削除

❖ メディアビューでの表示方法に応じて、次のいずれかの操作を行います。

- ・ サムネール表示で 1 枚の写真からキーワードタグを削除するには、メディアファイルを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）し、アイテムからキーワードタグを削除/[タグ名]を選択します。
- ・ サムネールを拡大表示しているときに 1 枚の写真からキーワードタグを削除するには、メディアファイルの下にあるカテゴリのアイコンを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）し、「[タグ名] キーワードタグを削除」を選択します。



表示によっては、ポインターをカテゴリのアイコンの上に置くと、メディアファイルに適用されているキーワードタグのリストが表示されます。

- ・ いずれの表示においても、複数のメディアファイルからキーワードタグを削除するには、Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながらメディアファイルをクリックして選択します。次に、右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）し、選択アイテムからキーワードタグを削除/[タグ名]を選択します。
- ・ メディアビューで写真を選択することにより、写真からキーワードタグを削除することもできます。キーワードタグは、画像タグパネルに表示されます。タグを右クリックし、「削除」を選択します。

[トップへ戻る](#)

キーワードタグ情報のファイルへの書き出し

タグ付きの JPEG、TIFF または PSD ファイルを Elements Organizer から電子メールで送信したり書き出したりする場合、タグの情報は自動的に IPTC（International Press Telecommunications Council：国際新聞電気通信評議会）キーワードとして出力ファイルに含まれます。受信者がメディアファイルを取り込み、関連付けられているタグを取り込むように要求されると、そのタグを作成したバージョンの Elements Organizer でタグが適用されます。

Elements Organizer の電子メールまたは書き出し機能を使用せずにメディアファイルを電子メールで送信したり、配信したりする場合は、タグの情報をファイルのヘッダーの IPTC キーワードセクションに手動で書き込むことができます。

❖ メディアビューで、1 つ以上のファイルを選択し、ファイル/メタデータをファイルに保存を選択します。

[トップへ戻る](#)


キーワードタグの取り込みと書き出し

キーワードタグの取り込みと書き出しは、共通する趣味を持つ友人とメディアファイルを共有する場合などに役立ちます。例えば、自分の趣味に関連したメディアファイルに対して、一連のキーワードタグを作成したとします。これらのタグセットを保存すると、同じ趣味を持った友人が、キーワードタグパネルにこれらのタグを取り込み、メディアファイルにこれらのタグを適用できます。逆に、友人のキーワードタグを取り込み、自分のメディアファイルにこれらのタグを適用することもできます。共通するキーワードを友人と一緒に使用し、共有する趣味に関連したメディアファイルを検索することができます。

キーワードタグの書き出し

キーワードタグパネル内のカテゴリやサブカテゴリの階層全体とキーワードタグアイコンをまとめて保存し、現在のキーワードタグのセットを他の人と共有することができます。書き出されたタグファイルは、Extensible Markup Language (XML) 形式で保存されます。

注意： タグを書き出しても、そのタグに関連付けられた写真は書き出されません。


1. キーワードタグパネルで、新規ボタン  をクリックし、「キーワードタグをファイルに保存」を選択します。
2. 次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。
 - すべてのキーワードタグを書き出す
すべてのキーワードタグと階層を含むファイルを作成します。
 - 指定したキーワードタグを書き出す
リストから選択されたカテゴリまたはサブカテゴリのキーワードタグと階層を含むファイルを作成します。
3. キーワードタグをファイルに保存ダイアログボックスで、ファイル名を入力し、ファイルの保存先を選択してから、「保存」をクリックします。

キーワードタグの取り込み

「キーワードタグをファイルに保存」コマンドを使用して XML 形式で保存されたキーワードタグのセットは、カテゴリとサブカテゴリの階層全体およびアイコンを含めて、すべて取り込むことができます。


また、別のキーワードタグが付けられた画像を取り込むことによって、キーワードタグを取り込むこともできます。例えば、メディアファイルを電子メールで送信、書き出しおよび編集した場合、またはキーワードタグの情報が追加された場合、キーワードタグが添付されます。

注意： キーワードタグを取り込んでも、タグに関連付けられた写真は取り込まれません。

1. キーワードタグパネルで、新規ボタン  をクリックし、「ファイルからキーワードタグを取り込む」を選択します。
2. ファイルからキーワードタグを取り込むダイアログボックスで、キーワードタグ、カテゴリ、およびサブカテゴリを含む XML ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

[トップへ戻る](#)

キーワードタグパネルとアルバムパネルの環境設定

1. Elements Organizer で、編集／環境設定／キーワードタグとアルバム (Windows) または Adobe Elements 11 Organizer／環境設定／キーワードタグとアルバム (Mac OS) を選択します。
2. キーワードタグ、カテゴリ、サブカテゴリ、アルバム、およびアルバムカテゴリについて、並べ替え順序として「五十音順」または「手動」を指定します。キーワードタグの並べ替え順序として「手動」を選択すると、キーワードタグパネルでタグをドラッグして、任意の順序で並べることができます。
3. キーワードタグの表示方法について、名前のみを表示するか、または名前の他に小さなアイコンまたは大きなアイコンも表示するかを「キーワード名札の表示方法」で指定します。「OK」をクリックします。
4. キーワードタグに大きなアイコンを表示するには、キーワードタグパネルで  記号をクリックし、「大きなアイコンを表示」を選択します。このフライアウトの環境設定と環境設定ダイアログの環境設定は同期が維持されます。

関連項目

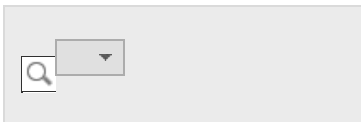
[キーワードタグパネルの使用](#)



法律上の注意 | [プライバシーポリシー](#)



Elements Organizer での写真およびビデオの表示



- メディアビューについて
- メディアビューの表示環境設定の設定
- メディアビューアイコン
- メディアビューでファイルを並べ替え
- メディアビューでのメディアファイルの表示と非表示
- フォルダー毎のファイルの表示と管理
- 表示するアイテムの種類の指定
- ズームバーを使用したメディアサムネールのサイズ変更、更新、または非表示
- メディアビューでのファイルの選択
- メディアファイルの詳細情報の表示と編集

[トップへ戻る](#)

メディアビューについて

メディアビューでは、Elements Organizer の中央（グリッド）にメディアファイルのサムネールを表示します。アルバム、フォルダー、カタログ内のメディア（写真のサムネール、ビデオファイル、オーディオファイル）を表示できます。メディアビューでアイテムを選択して、タグを付けたり、プロジェクトに追加したり、編集したりすることができます。

メディアビューは、デフォルトで表示されます。ただし、他のビューからこのビューに切り替えるには、「メディア」タブをクリックします。

[トップへ戻る](#)

メディアビューの表示環境設定の設定


- 「メディア」タブをクリックして、メディアビューを開きます。
- 次のいずれかの操作を行います。
 - （Windows）編集／環境設定／一般を選択します。
 - （Mac OS）Adobe Elements 11 Organizer／環境設定／一般を選択します。
- 必要に応じて次のような表示オプションを指定します。
 - プリントサイズ：メディアのプリントサイズを指定します。
 - 日付（時刻の新しい順）：同じ日付の写真を新しい写真から順に表示するには、「同じ日付のアイテムは時刻の新しい順に表示」を選択します。古い写真から順に表示するには、「同じ日付のアイテムは時刻の古い順に表示」を選択します。
 - 日付の形式：写真のタイムスタンプに使用する日付の形式を選択します。このオプションは一部の言語では使用できません。
 - 写真のサイズ変更を許可：フォトブラウザーのスペースが許す限り、写真を実際のサイズの 100 %以上に拡大するには、「写真のサイズ変更を許可」を選択します。このオプションを選択解除すると、利用可能なスペースが残っている場合でも、写真が実際のサイズで表示されます。
 - システムフォントを使用：コンピューターのオペレーティングシステムのフォントを使用して Elements Organizer のユーザーインターフェイスのテキストを表示する場合は、「システムフォントを使用」を選択します。
 - サムネールの日付をクリックして日時を変更：写真の日時の詳細を編集するには、写真をクリックして、「サムネールの日付をクリックして日時を変更」を選択します。
 - すべての警告ダイアログボックスを初期化：以後、表示しないことにしたダイアログボックスを再度有効にするには、「すべての警告ダイアログボックスを初期化」をクリックします。
 - デフォルト設定に戻す：このボタンをクリックすると、一般的な表示の環境設定がデ

フォルトに戻ります。


[トップへ戻る](#)

メディアビューアイコン


日時とタグを表示オプションを選択した場合にだけ、次のアイコンのうち該当するものが表示されます。他のアイコンは常に表示されます。ファイルの詳細を表示するには、表示／詳細をクリックします。

スタックアイコン 

スタックされている写真のサムネールであることを示します。

バージョンセットアイコン 

スタックされている編集されたバージョンの写真のサムネールであることを示します。

ビデオシーングループアイコン 


ビデオシーングループのビデオシーンのサムネールであることを示します。

ビデオアイコン 


ビデオクリップのサムネールであることを示します。

オーディオアイコン 


サムネールにオーディオキャプションがあることを示します。

マルチプルキーワードタグアイコン 


メディアファイルに6つ以上のキーワードタグが適用されていることを示します。ポインターをタグアイコンに重ねると、付けられているキーワードタグが表示されます。

キーワードタグアイコン 


メディアファイルに特定のキーワードタグが適用されていることを示します。

アルバムアイコン 


アルバムであることを示します。

非表示の写真アイコン 


サムネールが非表示のファイルであることを示します。

プロジェクトアイコン 


サムネールがプロジェクトに使用されていることを示します。

フォトプロジェクトアイコン 


写真が複数ページのプロジェクトに含まれていることを示します。

重要度 

写真の重要度を5段階で表示します。

人物タグ 

写真に人物が追加されていることを示します。

スマートタグ 

メディアファイルにスマートタグが適用されていることを示します。

[トップへ戻る](#)

メディアビューでファイルを並べ替え

❖ 並べ替えドロップダウンリストで選択できるオプションに基づいて並べ替え、グリッド内でメディアファイルを表示する様々な方法が用意されています。

並べ替えで表示される次のオプションから選択します。

取り込み順

メディアファイルを取り込んだ日時ごとに表示し、取り込み方法も表示します。

最も新しい

撮影日時や読み込み日時が新しい順にメディアファイルを表示します（メディアファイルの日付が同じ場合は、環境設定ダイアログボックスで指定しない限り、先に撮影されたメディアファイルから表示されます）。新しい順で表示すると、新しく取り込んだメディアファイルにタグを付ける場合に便利です。

最も古い

日付スタンプ順にメディアファイルを表示すると、日付に基づいて最初に読み込まれたファイルから表示されます。

[トップへ戻る](#)

メディアビューでのメディアファイルの表示と非表示



ハードディスクからメディアファイルを削除しなくても、メディアビュー内のビューで非表示にするよう、メディアファイルにマークを付けることができます。逆に、非表示のファイルを一時的に表示したり、ファイルが常に表示されるよう、マークを削除したりすることもできます。

非表示にするメディアファイルの指定

1. 非表示にするメディアファイルを選択します。隣接する複数のファイルを選択する場合は、Shift キーを押しながら最初のメディアファイルと最後のメディアファイルをクリックして、グループ全体を選択します。隣接していない複数のファイルを選択する場合は、Ctrl キーを押しながら、ファイルを 1 つずつクリックして選択します。
2. 編集／表示 / 非表示／表示しないを選択し、非表示にするメディアファイルにマークを付けます。

選択したメディアファイルの左下に、非表示アイコンが表示されます。

3. Elements Organizer で選択したメディアファイルを非表示にするには、編集／表示 / 非表示を選択し、「非表示のファイルを隠す」を選択します。

  サムネールを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）して、コンテキストメニューから「表示 / 非表示」コマンドを選択することもできます。

非表示にしたメディアファイルの表示



❖ 編集／表示 / 非表示を選択して、次のいずれかの操作を行います。

すべてのファイルを表示

非表示のファイルと、非表示にされていないファイルを表示します。

非表示のファイルのみを表示

Elements Organizer で非表示のファイルのみを表示します。



  サムネールを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）して、コンテキストメニューから「表示 / 非表示」コマンドを選択することもできます。

メディアファイルの非表示アイコンの削除

1. メディアビューで、表示／非表示のファイル／すべてのファイルを表示を選択すると、非表示マークのメディアファイルが表示されます。
2. 非表示アイコンを削除するメディアファイルを選択します。

隣接する複数の写真を選択する場合は、Shift キーを押しながら最初の写真と最後の写真をクリックして、グループ全体を選択します。隣接していない複数の写真を選択する場合は、Ctrl キーを押しながら、写真を 1 つずつ選択します。

3. 編集／表示 / 非表示／表示するを選択します。

  サムネールを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）して、コンテキストメニューから「表示 / 非表示」コマンドを選択することもできます。


[トップへ戻る](#)

フォルダー毎のファイルの表示と管理

マイフォルダーパネルには、アルバム内でさらに整理できるメディアのフォルダーを表示できます。マイフォルダーパネルは、「アルバム」の下で左側に表示されます。このパネルから、フォルダーを管理したり、カタログにファイルを追加したり、チェックフォルダー（Windows のみ）ステータスからフォルダーの追加または削除を行うことができます。

次の 2 つのビューでフォルダー構造が表示されます。

ツリービュー

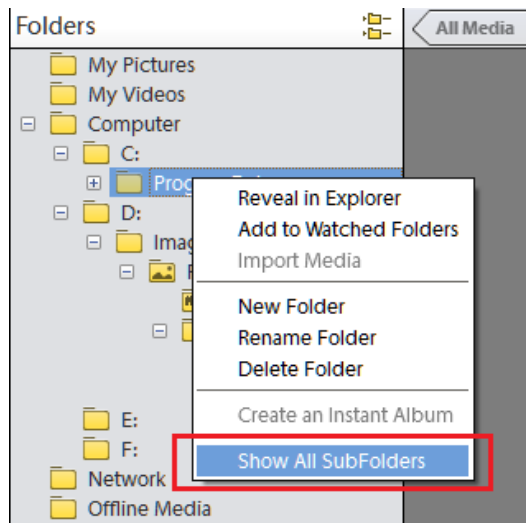
マイフォルダーパネルの  アイコンをクリックして、ビューをツリービューに変更し、コンピューターのハードディスクや他のドライブにあるフォルダーを階層で表示します。このビューは、フォルダーにあるメディアの物理的な位置を確認するときに役立ちます。



ツリービュー

ツリービューでは、初期設定でフォルダーのサブフォルダーは表示されません。フォルダーを

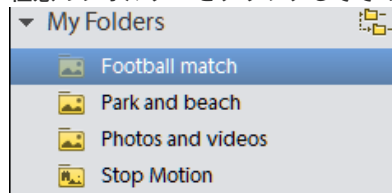
選択し、右クリックして「サブフォルダーをすべて表示」を選択し、フォルダーのサブフォルダーを表示します。



サブフォルダーの表示



統合フォルダービュー

このビューは、初期設定でマイフォルダーパネルに表示されます。統合フォルダービューは基本構造であり、任意のフォルダーをクリックしてそのフォルダー内の使用可能なメディアを表示できます。




統合フォルダービュー

デフォルトでは、フォルダーパネルには、Elements Organizer に読み込まれたメディアのハードディスクにあるすべてのフォルダーが表示されます。

管理対象ファイルを含むフォルダーには、管理対象フォルダーアイコン  が付いています。管理対象ファイルとは、手動または自動でカタログに取り込まれたファイルを指します。チェックフォルダーには、チェックフォルダーアイコン  が付いています。

注意：チェックフォルダーのオプションはネットワークドライブでは無効です。

チェックフォルダーに保存されたファイルは、互換性のないものを除き、Elements Organizer に自動的に取り込まれます。管理対象フォルダーとチェックフォルダーの両方に指定されている場合は、これらの対象であることを表すアイコン  が付いています。

マイフォルダーパネルで利用可能なオプションを使用して、フォルダー内のファイルを表示したり、異なる操作を実行することができます。

1. フォルダー階層は、「マイフォルダー」タブの Organizer の左側に表示され、画像のサムネールはグリッドに表示されます。
2. メディアファイルを表示するフォルダーをクリックします。フォルダー内のファイルのサムネールがメディアビューのグリッドに表示されます。
3. フォルダーからアルバムにファイルを追加するには、フォルダーを選択し、グリッドから「アルバム」にフォルダーをドラッグドロップします。
4. ファイルとフォルダーを管理するには、マイフォルダーからフォルダーを選択し、次のいずれかの操作を行います。
 - ファイルを別のフォルダーに移動する移動元のフォルダーを選択します。
 - ファイルを別のフォルダーに移動するには、メディアビューのファイルのサムネールを、フォルダーパネルの移動先のフォルダーにドラッグします。
 - エクスプローラーでフォルダーを表示するには、フォルダー階層パネルで右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）して、「ファイルの保存場所を表示します」（Windows）または「Finder で表示」（Mac OS）を選択します。
 - （Windows のみ）フォルダーをチェックフォルダーとして設定したり、設定を解除するには、フォルダー階層パネルでフォルダーを右クリックし、「チェックフォルダーとして追加」または「チェックフォルダーから削除」を選択します。

- フォルダーの名前を変更するには、フォルダーを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）し、「フォルダー名の変更」を選択して新しい名前を入力します。
- フォルダーを削除するには、フォルダー階層パネルでフォルダーを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）し、「フォルダーの削除」を選択します。
- フォルダーパネルでかんたんアルバムを作成できます。選択したフォルダー内のすべての画像が、かんたんアルバムに追加されます。フォルダー名でアルバムをすばやく作成するには、フォルダーを選択し、右クリックして、かんたんアルバム作成アイコンを選択します。

[トップへ戻る](#)

表示するアイテムの種類の指定

❖ メディアビューで、表示／メディアの種類／[ファイルの種類] を選択します。

[トップへ戻る](#)


ズームバーを使用したメディアサムネールのサイズ変更、更新、または非表示

メディアファイルのサムネールのサイズを変更したり、別のアプリケーションでメディアファイルを編集した後でサムネールを更新したりすることができます。さらに、サムネールをすばやく回転して、ウィンドウに正しく表示されるようにできます。

- サムネールのサイズを徐々に変更するには、ズームバーのサムネールスライダーをドラッグします。



サムネールスライダーを右にドラッグすると、サムネールのサイズが大きくなります。

- できる限り小さなサムネールを表示するには、ズームバーをスライダーの最左端（開始点）に移動します。
- 1 つのメディアファイルを表示するには、ズームバーをスライダーの最右端（終了点）の右に移動します。
- サムネール画像を更新するには、表示／表示の更新を選択します。
- イメージを反時計回りに回転させるには、タスクエリアの左に回転をクリックします。イメージを時計回りに回転するには、右に回転  をクリックします。

[トップへ戻る](#)

メディアビューでのファイルの選択

メディアビューで、作業対象のメディアファイルを選択します。選択したメディアファイルのサムネールの枠が暗いブルーでハイライト表示されます。

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- アイテムを 1 つ選択するには、そのサムネールをクリックします。
- 連続した複数のアイテムを選択するには、Shift キーを押しながら選択する範囲の最初のアイテムと最後のアイテムをクリックします。
- 連続していない複数のアイテムを選択するには、Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながらアイテムを 1 つずつクリックします。
- メディアビューのすべてのアイテムを選択または選択解除するには、編集／すべてを選択、または編集／選択を解除を選択します。

[トップへ戻る](#)


メディアファイルの詳細情報の表示と編集



メディアビューに各サムネールの詳細情報を表示するように選択できます。また、特定の詳細情報をどのように表示するか選択することもできます。また、オーディオキャプションなどのキャプションや、日時に関する情報を追加および編集することができます。

メディアファイルの詳細情報の編集

メディアファイルに関連した情報を編集することができます。例えば、日付、適用したタグ、ファイル名、キャプションおよびオーディオキャプションを編集できます。

❖ メディアビューで、次のいずれかの操作を行います。

- テキストキャプションを編集または追加するには、表示／詳細を選択し、右クリックして、キャプションを追加を選択します。
- オーディオキャプションを追加、再生または編集するには、表示／詳細を選択し、写真をダブルクリックします。オーディオキャプションを設定ボタン  をクリックします。
- メディアファイルに割り当てられた日付を変更するには、サムネールを選択し、編集／日時を変更を選択します。表示されるダイアログボックスでオプションを指定します。

  シングルクリックで日付を変更することができます。この機能を有効にするには、編集／環境設定／一般（Windows）または Adobe Elements 11 Organizer／環境設定／一般（Mac OS）を選択します。環境設定ダイアログで、選択します。日付をクリックし、必要な変更を加えます。

関連項目

[キーワードタグ](#)

[検索ボックスを使用したメディアファイルの検索](#)

[メディアファイルをフルスクリーン表示または並べて比較する](#)

[チェックフォルダーの使用（Windows のみ）](#)

[ファイルやフォルダーからのメディアファイルの取り込み](#)

[アイテムのサムネールの更新](#)

[ファイル情報（メタデータ）](#)

[ファイルの日時の変更](#)

 [編集ワークスペース](#)



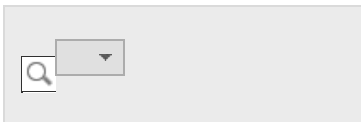
法律上の注意 | [プライバシーポリシー](#)

写真の表示と補正

このページからリンクされている内容の一部は英語版のみです。



Elements Organizer での写真およびビデオの表示



- メディアビューについて
- メディアビューの表示環境設定の設定
- メディアビューアイコン
- メディアビューでファイルを並べ替え
- メディアビューでのメディアファイルの表示と非表示
- フォルダー毎のファイルの表示と管理
- 表示するアイテムの種類の指定
- ズームバーを使用したメディアサムネールのサイズ変更、更新、または非表示
- メディアビューでのファイルの選択
- メディアファイルの詳細情報の表示と編集

[トップへ戻る](#)

メディアビューについて

メディアビューでは、Elements Organizer の中央（グリッド）にメディアファイルのサムネールを表示します。アルバム、フォルダー、カタログ内のメディア（写真のサムネール、ビデオファイル、オーディオファイル）を表示できます。メディアビューでアイテムを選択して、タグを付けたり、プロジェクトに追加したり、編集したりすることができます。

メディアビューは、デフォルトで表示されます。ただし、他のビューからこのビューに切り替えるには、「メディア」タブをクリックします。

[トップへ戻る](#)

メディアビューの表示環境設定の設定


- 「メディア」タブをクリックして、メディアビューを開きます。
- 次のいずれかの操作を行います。
 - （Windows）編集／環境設定／一般を選択します。
 - （Mac OS）Adobe Elements 11 Organizer／環境設定／一般を選択します。
- 必要に応じて次のような表示オプションを指定します。
 - プリントサイズ：メディアのプリントサイズを指定します。
 - 日付（時刻の新しい順）：同じ日付の写真を新しい写真から順に表示するには、「同じ日付のアイテムは時刻の新しい順に表示」を選択します。古い写真から順に表示するには、「同じ日付のアイテムは時刻の古い順に表示」を選択します。
 - 日付の形式：写真のタイムスタンプに使用する日付の形式を選択します。このオプションは一部の言語では使用できません。
 - 写真のサイズ変更を許可：フォトブラウザーのスペースが許す限り、写真を実際のサイズの 100 %以上に拡大するには、「写真のサイズ変更を許可」を選択します。このオプションを選択解除すると、利用可能なスペースが残っている場合でも、写真が実際のサイズで表示されます。
 - システムフォントを使用：コンピューターのオペレーティングシステムのフォントを使用して Elements Organizer のユーザーインターフェイスのテキストを表示する場合は、「システムフォントを使用」を選択します。
 - サムネールの日付をクリックして日時を変更：写真の日時の詳細を編集するには、写真をクリックして、「サムネールの日付をクリックして日時を変更」を選択します。
 - すべての警告ダイアログボックスを初期化：以後、表示しないことにしたダイアログボックスを再度有効にするには、「すべての警告ダイアログボックスを初期化」をクリックします。
 - デフォルト設定に戻す：このボタンをクリックすると、一般的な表示の環境設定がデ

フォルトに戻ります。


[トップへ戻る](#)

メディアビューアイコン


日時とタグを表示オプションを選択した場合にだけ、次のアイコンのうち該当するものが表示されます。他のアイコンは常に表示されます。ファイルの詳細を表示するには、表示／詳細をクリックします。

スタックアイコン 

スタックされている写真のサムネールであることを示します。

バージョンセットアイコン 

スタックされている編集されたバージョンの写真のサムネールであることを示します。

ビデオシーングループアイコン 


ビデオシーングループのビデオシーンのサムネールであることを示します。

ビデオアイコン 


ビデオクリップのサムネールであることを示します。

オーディオアイコン 


サムネールにオーディオキャプションがあることを示します。

マルチプルキーワードタグアイコン 


メディアファイルに6つ以上のキーワードタグが適用されていることを示します。ポインターをタグアイコンに重ねると、付けられているキーワードタグが表示されます。

キーワードタグアイコン 


メディアファイルに特定のキーワードタグが適用されていることを示します。

アルバムアイコン 


アルバムであることを示します。

非表示の写真アイコン 


サムネールが非表示のファイルであることを示します。

プロジェクトアイコン 


サムネールがプロジェクトに使用されていることを示します。

フォトプロジェクトアイコン 


写真が複数ページのプロジェクトに含まれていることを示します。

重要度 

写真の重要度を5段階で表示します。

人物タグ 

写真に人物が追加されていることを示します。

スマートタグ 

メディアファイルにスマートタグが適用されていることを示します。

[トップへ戻る](#)

メディアビューでファイルを並べ替え

❖ 並べ替えドロップダウンリストで選択できるオプションに基づいて並べ替え、グリッド内でメディアファイルを表示する様々な方法が用意されています。

並べ替えで表示される次のオプションから選択します。

取り込み順

メディアファイルを取り込んだ日時ごとに表示し、取り込み方法も表示します。

最も新しい

撮影日時や読み込み日時が新しい順にメディアファイルを表示します（メディアファイルの日付が同じ場合は、環境設定ダイアログボックスで指定しない限り、先に撮影されたメディアファイルから表示されます）。新しい順で表示すると、新しく取り込んだメディアファイルにタグを付ける場合に便利です。

最も古い

日付スタンプ順にメディアファイルを表示すると、日付に基づいて最初に読み込まれたファイルから表示されます。

[トップへ戻る](#)

メディアビューでのメディアファイルの表示と非表示



ハードディスクからメディアファイルを削除しなくても、メディアビュー内のビューで非表示にするよう、メディアファイルにマークを付けることができます。逆に、非表示のファイルを一時的に表示したり、ファイルが常に表示されるよう、マークを削除したりすることもできます。

非表示にするメディアファイルの指定

1. 非表示にするメディアファイルを選択します。隣接する複数のファイルを選択する場合は、Shift キーを押しながら最初のメディアファイルと最後のメディアファイルをクリックして、グループ全体を選択します。隣接していない複数のファイルを選択する場合は、Ctrl キーを押しながら、ファイルを 1 つずつクリックして選択します。
2. 編集／表示 / 非表示／表示しないを選択し、非表示にするメディアファイルにマークを付けます。

選択したメディアファイルの左下に、非表示アイコンが表示されます。

3. Elements Organizer で選択したメディアファイルを非表示にするには、編集／表示 / 非表示を選択し、「非表示のファイルを隠す」を選択します。

  サムネールを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）して、コンテキストメニューから「表示 / 非表示」コマンドを選択することもできます。

非表示にしたメディアファイルの表示



❖ 編集／表示 / 非表示を選択して、次のいずれかの操作を行います。

すべてのファイルを表示

非表示のファイルと、非表示にされていないファイルを表示します。

非表示のファイルのみを表示

Elements Organizer で非表示のファイルのみを表示します。



  サムネールを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）して、コンテキストメニューから「表示 / 非表示」コマンドを選択することもできます。

メディアファイルの非表示アイコンの削除

1. メディアビューで、表示／非表示のファイル／すべてのファイルを表示を選択すると、非表示マークのメディアファイルが表示されます。
2. 非表示アイコンを削除するメディアファイルを選択します。

隣接する複数の写真を選択する場合は、Shift キーを押しながら最初の写真と最後の写真をクリックして、グループ全体を選択します。隣接していない複数の写真を選択する場合は、Ctrl キーを押しながら、写真を 1 つずつ選択します。

3. 編集／表示 / 非表示／表示するを選択します。

  サムネールを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）して、コンテキストメニューから「表示 / 非表示」コマンドを選択することもできます。


[トップへ戻る](#)

フォルダー毎のファイルの表示と管理

マイフォルダーパネルには、アルバム内でさらに整理できるメディアのフォルダーを表示できます。マイフォルダーパネルは、「アルバム」の下の左側に表示されます。このパネルから、フォルダーを管理したり、カタログにファイルを追加したり、チェックフォルダー（Windows のみ）ステータスからフォルダーの追加または削除を行うことができます。

次の 2 つのビューでフォルダー構造が表示されます。

ツリービュー

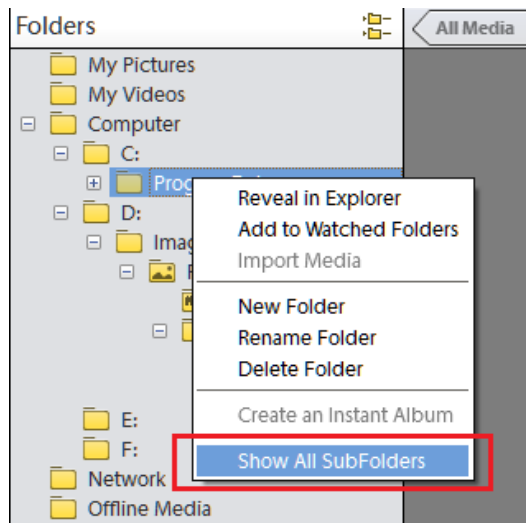
マイフォルダーパネルの  アイコンをクリックして、ビューをツリービューに変更し、コンピューターのハードディスクや他のドライブにあるフォルダーを階層で表示します。このビューは、フォルダーにあるメディアの物理的な位置を確認するときに役立ちます。



ツリービュー

ツリービューでは、初期設定でフォルダーのサブフォルダーは表示されません。フォルダーを

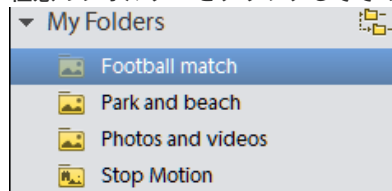
選択し、右クリックして「サブフォルダーをすべて表示」を選択し、フォルダーのサブフォルダーを表示します。



サブフォルダーの表示



統合フォルダービュー

このビューは、初期設定でマイフォルダーパネルに表示されます。統合フォルダービューは基本構造であり、任意のフォルダーをクリックしてそのフォルダー内の使用可能なメディアを表示できます。




統合フォルダービュー

デフォルトでは、フォルダーパネルには、Elements Organizer に読み込まれたメディアのハードディスクにあるすべてのフォルダーが表示されます。

管理対象ファイルを含むフォルダーには、管理対象フォルダーアイコン  が付いています。管理対象ファイルとは、手動または自動でカタログに取り込まれたファイルを指します。チェックフォルダーには、チェックフォルダーアイコン  が付いています。

注意：チェックフォルダーのオプションはネットワークドライブでは無効です。

チェックフォルダーに保存されたファイルは、互換性のないものを除き、Elements Organizer に自動的に取り込まれます。管理対象フォルダーとチェックフォルダーの両方に指定されている場合は、これらの対象であることを表すアイコン  が付いています。

マイフォルダーパネルで利用可能なオプションを使用して、フォルダー内のファイルを表示したり、異なる操作を実行することができます。

1. フォルダー階層は、「マイフォルダー」タブの Organizer の左側に表示され、画像のサムネールはグリッドに表示されます。
2. メディアファイルを表示するフォルダーをクリックします。フォルダー内のファイルのサムネールがメディアビューのグリッドに表示されます。
3. フォルダーからアルバムにファイルを追加するには、フォルダーを選択し、グリッドから「アルバム」にフォルダーをドラッグドロップします。
4. ファイルとフォルダーを管理するには、マイフォルダーからフォルダーを選択し、次のいずれかの操作を行います。
 - ファイルを別のフォルダーに移動する移動元のフォルダーを選択します。
 - ファイルを別のフォルダーに移動するには、メディアビューのファイルのサムネールを、フォルダーパネルの移動先のフォルダーにドラッグします。
 - エクスプローラーでフォルダーを表示するには、フォルダー階層パネルで右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）して、「ファイルの保存場所を表示します」（Windows）または「Finder で表示」（Mac OS）を選択します。
 - （Windows のみ）フォルダーをチェックフォルダーとして設定したり、設定を解除するには、フォルダー階層パネルでフォルダーを右クリックし、「チェックフォルダーとして追加」または「チェックフォルダーから削除」を選択します。

- フォルダーの名前を変更するには、フォルダーを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）し、「フォルダー名の変更」を選択して新しい名前を入力します。
- フォルダーを削除するには、フォルダー階層パネルでフォルダーを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）し、「フォルダーの削除」を選択します。
- フォルダーパネルでかんたんアルバムを作成できます。選択したフォルダー内のすべての画像が、かんたんアルバムに追加されます。フォルダー名でアルバムをすばやく作成するには、フォルダーを選択し、右クリックして、かんたんアルバム作成アイコンを選択します。

[トップへ戻る](#)

表示するアイテムの種類の指定

❖ メディアビューで、表示／メディアの種類／[ファイルの種類] を選択します。

[トップへ戻る](#)


ズームバーを使用したメディアサムネールのサイズ変更、更新、または非表示

メディアファイルのサムネールのサイズを変更したり、別のアプリケーションでメディアファイルを編集した後でサムネールを更新したりすることができます。さらに、サムネールをすばやく回転して、ウィンドウに正しく表示されるようにできます。

- サムネールのサイズを徐々に変更するには、ズームバーのサムネールスライダーをドラッグします。



サムネールスライダーを右にドラッグすると、サムネールのサイズが大きくなります。

- できる限り小さなサムネールを表示するには、ズームバーをスライダーの最左端（開始点）に移動します。
- 1 つのメディアファイルを表示するには、ズームバーをスライダーの最右端（終了点）の右に移動します。
- サムネール画像を更新するには、表示／表示の更新を選択します。
- イメージを反時計回りに回転させるには、タスクエリアの左に回転をクリックします。イメージを時計回りに回転するには、右に回転  をクリックします。

[トップへ戻る](#)

メディアビューでのファイルの選択

メディアビューで、作業対象のメディアファイルを選択します。選択したメディアファイルのサムネールの枠が暗いブルーでハイライト表示されます。

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- アイテムを 1 つ選択するには、そのサムネールをクリックします。
- 連続した複数のアイテムを選択するには、Shift キーを押しながら選択する範囲の最初のアイテムと最後のアイテムをクリックします。
- 連続していない複数のアイテムを選択するには、Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながらアイテムを 1 つずつクリックします。
- メディアビューのすべてのアイテムを選択または選択解除するには、編集／すべてを選択、または編集／選択を解除を選択します。

[トップへ戻る](#)


メディアファイルの詳細情報の表示と編集



メディアビューに各サムネールの詳細情報を表示するように選択できます。また、特定の詳細情報をどのように表示するか選択することもできます。また、オーディオキャプションなどのキャプションや、日時に関する情報を追加および編集することができます。

メディアファイルの詳細情報の編集

メディアファイルに関連した情報を編集することができます。例えば、日付、適用したタグ、ファイル名、キャプションおよびオーディオキャプションを編集できます。

❖ メディアビューで、次のいずれかの操作を行います。

- テキストキャプションを編集または追加するには、表示／詳細を選択し、右クリックして、キャプションを追加を選択します。
- オーディオキャプションを追加、再生または編集するには、表示／詳細を選択し、写真をダブルクリックします。オーディオキャプションを設定ボタン  をクリックします。
- メディアファイルに割り当てられた日付を変更するには、サムネールを選択し、編集／日時を変更を選択します。表示されるダイアログボックスでオプションを指定します。

  シングルクリックで日付を変更することができます。この機能を有効にするには、編集／環境設定／一般（Windows）または Adobe Elements 11 Organizer／環境設定／一般（Mac OS）を選択します。環境設定ダイアログで、選択します。日付をクリックし、必要な変更を加えます。

関連項目

[キーワードタグ](#)

[検索ボックスを使用したメディアファイルの検索](#)

[メディアファイルをフルスクリーン表示または並べて比較する](#)


[チェックフォルダーの使用（Windows のみ）](#)

[ファイルやフォルダーからのメディアファイルの取り込み](#)

[アイテムのサムネールの更新](#)

[ファイル情報（メタデータ）](#)

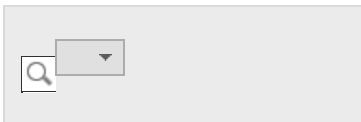
[ファイルの日時の変更](#)

 [編集ワークスペース](#)



法律上の注意 | [プライバシーポリシー](#)

ビデオと全画面画像の表示



ビデオファイルの表示

メディアファイルをフルスクリーン表示または並べて比較する


フルスクリーン表示のオプション

プロパティパネルのオプション

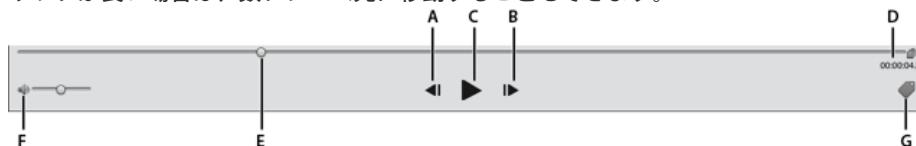
メディアファイルへの切り替え方法の適用

[トップへ戻る](#)

ビデオファイルの表示

メディアビューでは、ビデオクリップの最初のフレームがクリップのサムネールとして表示されます。メディアビューでフィルムストリップアイコン  が付いているアイテムはビデオクリップです。

1. メディアビューで、ビデオクリップをダブルクリックします。
注意：Elements Organizer で QuickTime ムービーを表示するには、コンピューターに QuickTime プレーヤーをインストールする必要があります。まだインストールされていない場合は、www.apple.co.jp/quicktime/download から QuickTime インストーラーをダウンロードし、実行してください。
2. Elements Organizer ビデオウィンドウが表示されたら、再生ボタンをクリックしてビデオを再生します。フレーム単位で表示するには、スライダーをドラッグします。ビデオクリップが長い場合は、数フレーム先に移動することもできます。



Photoshop Elements ビデオウィンドウ

A. および B

開始点ボタンと終点ボタン

C.

再生ボタン

D.

経過時間

E.

スライダーをドラッグしてビデオクリップの再生箇所を指定

F.

音量調節

G.

キーワードタグの追加

3. 閉じるボタンをクリックして、Elements Organizer メディアプレーヤーを閉じます。
Elements Organizer で再生可能なファイル形式は、インストールされているアプリケーションによって次のように異なります。
Photoshop Elements のみをインストールしている場合
著作権使用料が不要なフィルターを使用して再生することができるファイル形式（ビデオおよびオーディオ）のみ、Elements Organizer で再生できます。特定のファイル形式にシステムでサポートされている他のフィルター（QuickTime など）が適用されている場合、Elements Organizer でも再生できます。Mac OS では、Photoshop Elements でインストールされたコーデックを使用してビデオが再生されます。アプリケーションでそのコーデックを使用できない場合は、QuickTime コーデックが使用されます。

Adobe Premiere Elements のみをインストールしている場合

すべてのファイル形式（ビデオおよびオーディオ）が Elements Organizer で再生できます。

Photoshop Elements および Adobe Premiere Elements の両方をインストールしている場合、すべてのファイル形式（ビデオおよびオーディオ）が Elements Organizer で再生できます。

[トップへ戻る](#)

メディアファイルをフルスクリーン表示または並べて比較する

フルスクリーン表示および写真を並べて比較機能により、ウィンドウやメニューなどのインターフェイスアイテムにわずらわされることなくメディアファイルを表示できます。マウススクロールを使用してメディアのズームやパンができます。

「フルスクリーンで表示、編集、整理」オプションを使用すると、複数のメディアファイルがフルスクリーンのスライドショーとして表示されます。次のようにスライドショーをカスタマイズできます。


- 画像の表示中にオーディオファイルを再生。
- 選択したファイルのサムネールを画面の右側にフィルムストリップとして表示
- メディアファイルにエフェクトを追加

スライドショーで使用する写真を決定した後、必要な編集を行うことができます。写真は、このビューから直接スライドショーエディターに送信できます。スライドショーを作成するには、右クリックし、作成／スライドショーを選択します（Windows のみ）。



フルスクリーン表示


メディアファイルをフルスクリーンで表示するには、次のいずれかの操作を行います。

- 表示するメディアファイルを選択し、フルスクリーンプレビューで表示、編集、整理アイコン  をクリックします。
- F11 キー（Windows）または Cmd + F11 キー（Mac OS）を押します。

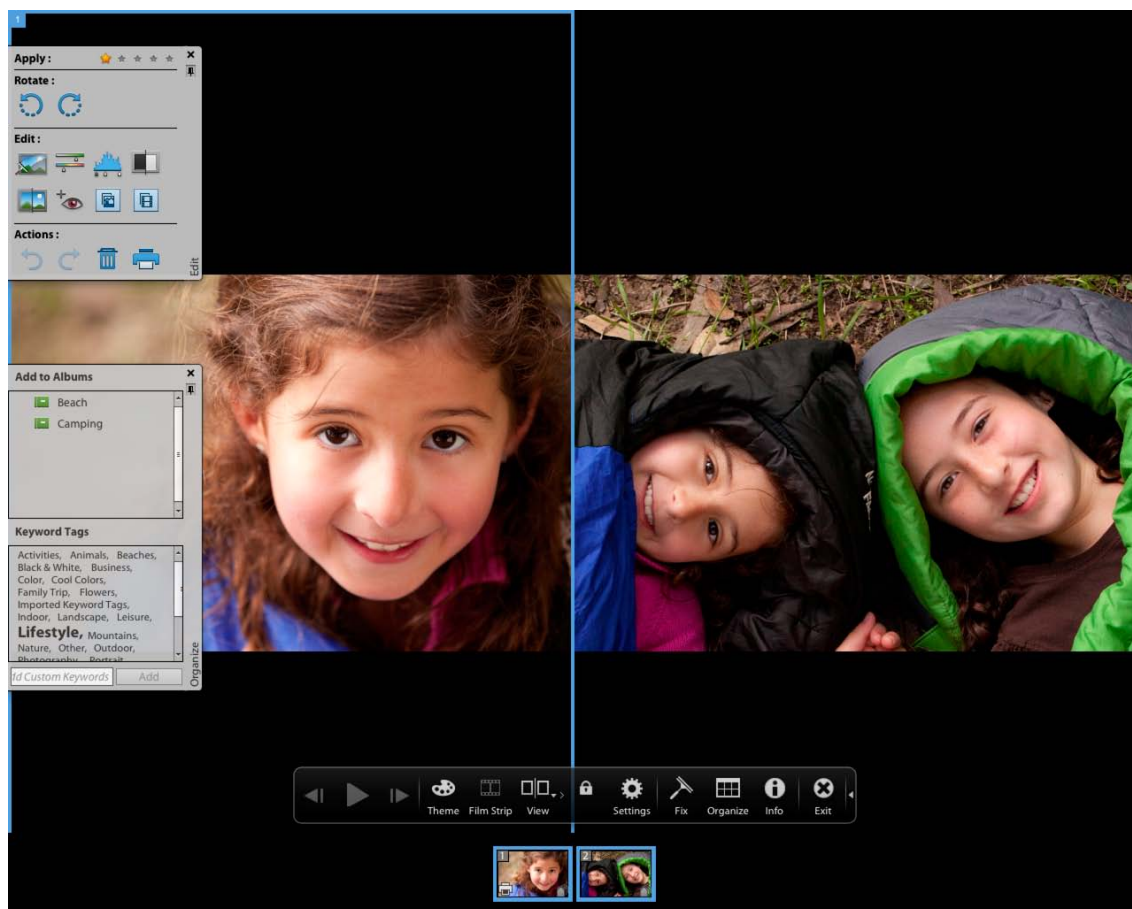
「写真を並べて比較」コマンドは、2 つの写真と同時に表示します。写真を並べて比較表示は、写真の細部と相違点に注目したいときに便利です。複数の写真を選択して比較できます。

写真を比較するには、次のいずれかの操作を行います。

- Elements Organizer の右上にある、画面表示／写真を並べて比較を選択します（このオプションは、一部の地域では使用できません）。
- 2 枚の写真を選択し、F12 キー（Windows）または Cmd + F12 キー（Mac OS）を押します。

写真を並べて比較表示では、現在選択している写真が青色の境界線で囲まれます。次のメディアを表示ボタン  をクリックすると、写真が切り替わります。選択したもう 1 枚の写真が表示されます。「フィルムストリップ」オプションを有効にしている場合は、フィルムスト

リップの画像をクリックすると、選択した画像（青い境界線で囲まれている画像）の代わりに表示できます。



構図や細部を分析するには、写真を並べて比較表示を使用します。

フルスクリーン表示または写真を並べて比較表示では、次の内容を表示できます。

クイック編集パネル

表示されているメディアファイルを編集できます。

クイック整理パネル


タグを作成してメディアファイルに適用することができます。また、メディアファイルを既存のアルバムに追加することもできます。

コントロールバー



すべてのナビゲーションアイコンおよびコントロールアイコンが表示されており、必要なパネルやダイアログにアクセスすることができます。








フルスクリーンで整理ボタンまたは写真を並べて比較ボタンをクリックして、表示を交互に切り替えることができます。

クイック編集パネル

フルスクリーンで整理表示または写真を並べて比較表示では、表示した写真をクイック編集パネルで編集することができます。クイック編集パネルは画面の左側に表示され、初期設定では最小化されています。また、数秒間マウスを動かさずにいると最小化されます。最大化するには、パネル上にマウスを移動させるか、フルスクリーンプレビューバー内の「クイック編集パネルの表示切り替え」をクリックします。自動的に隠すボタンをクリックすると、クイック編集パネルがいつでも表示されるようになります。

次の表は、クイック編集パネル内の一部のアイコンおよびその機能の説明です。

アイコン	機能
スマート補正, 	画像の露出不足、コントラスト、カラーバランス、カラー彩度などによる問題を補正します
カラー, 	自動カラー補正で、写真のカラーを補正します

レベル, 	自動レベル補正で、写真の色調範囲を補正します
コントラスト, 	自動コントラストで、コントラストを補正します
シャープ, 	写真にシャープを適用します
赤目修正 	赤目を修正します
写真を編集 	Photoshop Elements Editor を起動します
ビデオ編集 	Adobe Premiere Elements を起動します
プリントマークを追加 	プリントするメディアファイルにマークを付けます

注意：表示している写真の重要度を設定するには、星を選択します。写真の重要度を消去したい場合は、一番右にあるゴールドの星をクリックします。

クイック整理パネル

フルスクリーン表示または写真を並べて比較表示のクイック整理パネルを使用して、表示されているメディアファイルにキーワードタグを作成したり、追加したりすることができます。クイック整理パネルは画面の左側に表示され、初期設定では最小化されています。また、数秒間マウスを動かさずにいると最小化されます。最大化するには、パネル上にマウスを移動させるか、フルスクリーンプレビューバー内の「クイック整理パネルの表示切り替え」をクリックします。

クイック整理パネルには次のサブパネルがあります。

アルバムパネル

既存のアルバムのリストを表示します。表示中のメディアファイルに関連付けられたアルバムがハイライト表示されます。

キーワードタグ

タグクラウド表示内のキーワードタグのリストが表示されます。メディアファイルに関連付けられたタグがハイライト表示されます。

クイック整理パネルを使用すると、次のタスクを実行することができます。

- 表示中のメディアファイルを既存のアルバムに追加できます。例えば、表示中のメディアファイルを「ディズニーランド」というアルバムに追加するには、アルバムサブパネルで「ディズニーランド」をクリックします。
- タグを作成して表示中のメディアファイルに適用します。

新しいタグを作成して表示中のメディアファイルに適用するには、次の操作を行います。

- キーワードタグサブパネルで、「メディアにタグ付け」テキストボックスにタグの名前を入力します。例えば「休日」という名前のキーワードタグを作成する場合、テキストボックスに「休日」と入力します。
- 「追加」をクリックします。

作成したタグが表示中のメディアに適用されます。

既存のタグを表示中のメディアファイルに適用するには、キーワードタグサブパネルでタグ名をクリックします。タグがハイライト表示されます。

コントロールバー

コントロールバーには、メディアファイルの検索や再生などを行うアイコンが表示されます。マウスを数秒間動かさずにいると、コントロールバーが非表示になります（再表示するには、マウスを動かします）。

コントロールバーに表示されるアイコンは、次のとおりです。

フィルムストリップアイコン

フィルムストリップの画像の表示と非表示を切り替えることができます。クリックすると、画面右側にすべての画像のサムネイルが表示されます。もう一度クリックすると、画像が非表示になります。

かんたん補正パネル

かんたん補正パネルの表示と非表示を切り替えることができます。クリックすると、かんたん補正パネルが画

面の左側に表示されます。もう一度クリックすると、かんたん補正パネルが非表示になります。

クイック整理パネル

クイック整理パネルの表示と非表示を切り替えることができます。クリックすると、クイック整理パネルが画面の左側に表示されます。もう一度クリックすると、クイック整理パネルが非表示になります。

前へ

前のメディアファイルを表示します。

次へ

次のメディアファイルを表示します。

再生

メディアファイルを再生します。

設定を開く ダイアログ

フルスクリーン表示のオプションダイアログボックスが表示されます。

切り替え方法

切り替え方法を選択ダイアログボックスが表示されます。

プロパティパネルの表示切り替え

プロパティパネルの表示と非表示を切り替えることができます。

フルスクリーンで表示、編集、整理

写真を並べて比較表示からフルスクリーン表示に切り替えることができます。

写真を並べて比較

写真を並べて比較表示に切り替えることができます。

写真を並べて比較表示の画像倍率を同期

写真を並べて比較表示に写真を表示すると、画像倍率が同期されます。例えば、このアイコンをクリックしてマウスでズームインすると、両方の画像が同時にズームインされます。

[トップへ戻る](#)

フルスクリーン表示のオプション

フルスクリーン表示のオプションダイアログボックス内のオプション
コントロールバーで設定アイコンをクリックします。

BGM

スライドショーの実行中に再生するオーディオファイルを指定します。別のファイルを選択するには、「参照」をクリックし、目的のファイルを検索して選択します。

オーディオキャプションを再生

スライドショーの実行中に再生する、選択したファイルのオーディオキャプションを指定します。

スライド間隔

画面上での各画像の表示時間を指定します。この時間が過ぎると、次の画像が表示されるか、フェードインします。

キャプションを含める

キャプションを画面の下部に表示します。

写真のサイズ変更を許可

写真のサイズを画面に合うように変更します。

ビデオのサイズ変更を許可

ビデオのサイズを画面に合うように変更します。

フィルムストリップを表示


選択したすべての画像を細長いサムネールにして画面の右側に表示します。フルスクリーン表示する画像を選択するには、サムネールをクリックします。

スライドショーを繰り返し再生

停止されるまでスライドショーを繰り返し再生します。

[トップへ戻る](#)

プロパティパネルのオプション

メディアファイルに関連するプロパティがプロパティパネルに表示されます。プロパティパネルを表示するには、プロパティパネルの表示切り替えアイコン  をクリックします。パネル

は次のオプションで構成されています。

一般

メディアファイルの一般的なプロパティ（ファイル名、重要度、キャプション、メモ）を表示します。

メタデータ

ファイルに関連するメタデータを表示します。詳細を完全に表示するには「詳細」をクリックし、ファイルに関連する一部のメタデータを表示するには「概要」をクリックします。

キーワードタグ

メディアファイルに関連するキーワードタグを表示します。

履歴

ファイルの履歴（更新日時、取り込み日時）が表示されます。

[トップへ戻る](#)

メディアファイルへの切り替え方法の適用

1. コントロールバーのテーマアイコン をクリックします。
2. 次のオプションのいずれかを選択し、「OK」をクリックします。サムネール上にマウスを移動させて切り替え方法をプレビューすることができます。

- クラシック
- フェードイン／アウト
- パンとズーム
- 3D ピクセレート

選択した切り替え方法が表示中のメディアファイルに適用されます。エフェクトを表示することもできます。

注意： パンとズームおよび 3D ピクセレート切り替え方法は写真のみをサポートしています。ビデオの場合は、最初のフレームのみがサポートされます。

切り替えと OpenGL

Open Graphics Library（OpenGL）について

OpenGL とは、コンピュータープログラムがディスプレイドライバーと通信するのに使用する、クロスプラットフォームのソフトウェアライブラリです。

パンとズームおよび 3D ピクセレート切り替え方法を使用するには、コンピューターに OpenGL バージョン 1.2 以降がインストールされている必要があります。OpenGL のバージョンは、システムにインストールされているディスプレイカードドライバーによって異なります。システムが OpenGL をサポートしていないことを示す警告が表示された場合は、ディスプレイカードの最新のドライバーがインストールされていることを確認してください。ディスプレイカードのメーカーは、新しいオペレーティングシステムおよびプログラム機能に対応できるように頻繁にドライバーを更新します。ドライバーを更新する前に、現在のディスプレイドライバーのバージョンを確認してください。

Windows XP でのディスプレイドライバーのバージョンの確認方法

1. デスクトップを右クリックして「プロパティ」を選択します。
2. 「設定」を選択し、「詳細設定」を選択します。
3. グラフィックディスプレイカードによって表示されるタブは異なります。「アダプタ」を選択します。ディスプレイカード上のメモリ容量など、ディスプレイカードのデータが表示されます。「プロパティ」を選択し、「ドライバ」を選択して、ドライバーのバージョンを確認します。

Windows Vista でのディスプレイドライバーのバージョンの確認方法

1. デスクトップを右クリックして「個人設定」を選択します。
2. 画面の設定／詳細設定を選択します。「アダプタ」タブに、ディスプレイカード上のメモリ容量など、ディスプレイカードのデータが表示されます。
3. 「プロパティ」を選択し「ドライバ」を選択して、ドライバーのバージョンを確認します。

ディスプレイカードのメーカーの Web サイトで、最新のドライバーを探します。ドライバー

のアップデートのインストールガイドは、ドライバーのアップデートと同じ場所に用意されているか、ドライバーとともにダウンロードされます。

Windows 7 でのディスプレイドライバーのバージョンの確認方法

1. スタートメニューで、「コンピューター」を右クリックして「管理」を選択します。
2. 表示されるパネルの左側で、「デバイスマネージャー」を選択します。
3. 「ディスプレイアダプター」のリストを展開して、ディスプレイドライバーに関する情報を表示します。
4. (オプション) ディスプレイドライバーを右クリックして「プロパティ」を選択すると、さらに詳しい情報が表示されます。

関連項目

[スライドショーについて \(Windows のみ\)](#)



[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)



Elements Organizer での写真の修正



写真の切り抜き

[コントラストでのコントラストの補正](#)

[赤目修正での赤目の除去](#)

[カラー補正でのカラーの補正](#)

[シャープでの写真のシャープ補正](#)

[レベル補正でのレベルの設定](#)

[スマート補正を使用したクイック補正](#)

[写真の回転](#)

Elements Organizer のタスクエリアにある「かんたん補正」ボタンのツールを使用すると、写真の一般的な問題をすばやく補正できます。ツールの一部は、Elements Editor でカスタマイズすることもできますが、「かんたん補正」タブでそのままの設定ですばやく簡単に補正できるように設定されています。


簡単補正オプションを起動するには：

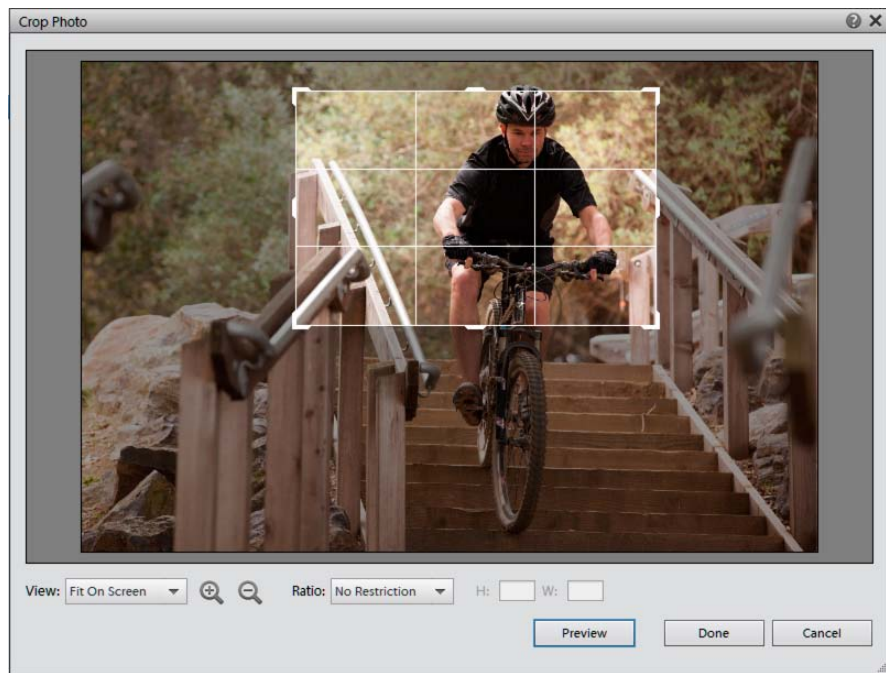
- 「かんたん補正」をクリックします。
- 写真補正オプションエリアの任意のオプションを選択し、写真を修整します。

[トップへ戻る](#)

写真の切り抜き

切り抜きツールを使用して、写真をトリミングすることができます。

1. メディアビューで「かんたん補正」タブをクリックし、写真を 1 枚選択します。
2. 「写真補正オプション」タブで、「切り抜き」をクリックします。
写真を切り抜きウィンドウに写真が表示され、次のいずれかの操作を行うことができます。
 - 写真を切り抜きダイアログボックスで、クロップする写真の上にクロップ選択範囲を移動します。
 - 「プレビュー」をクリックして、切り抜きの選択範囲を表示します。切り抜きが希望どおりの場合は、「完了」をクリックします。前回の写真の切り抜きダイアログボックスに戻るには、「リセット」をクリックします。
 - ダイアログボックスでは、縦横比を指定できます。比率ドロップダウンリストから縦横比を選択します。切り抜きの幅と高さを入力するには、「カスタム比率」を選択します。




写真を切り抜きダイアログボックス

- 選択範囲をダブルクリックして、イメージを切り抜きます。
切り抜かれたイメージが、メディアビューのグリッドに表示されます。

[トップへ戻る](#)

コントラストでのコントラストの補正

コントラストでは、写真を自動的に分析し、一般的なコントラストの問題を補正します。例えば、暗い領域と明るい領域の区別がはっきりしない問題を補正できます。


1. 「かんたん補正」をクリックします。
2. メディアビューで、写真を選択します。（複数の写真を選択するには、Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながら写真をクリックします）。
3. 「写真補正オプション」タブで、コントラスト  をクリックします。

コントラストを使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーでコントラストが調整され、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

[トップへ戻る](#)

赤目修正での赤目の除去

赤目修正では、被写体の赤目を自動的に検出し、自然な黒目に変更します。


1. 「かんたん補正」をクリックします。
2. メディアビューで、被写体の目が赤くなっている写真を選択します（複数の写真を選択するには、Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながら写真をクリックします）。
3. 「写真補正オプション」タブで、 赤目修正をクリックします。

自動赤目修正を使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーで赤目が黒目に変更され、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

[トップへ戻る](#)

カラー補正でのカラーの補正

カラーでは、写真を自動的に分析し、カラーバランスにおける一般的な問題を補正します。例えば、蛍光灯の光で写真を撮影したときに全体が緑がかったり、室内光のカメラ設定のまま屋外で写真を撮影したときに青っぽくなる現象などを補正できます。


1. 「かんたん補正」をクリックします。
2. メディアビューで、写真を選択します。（複数の写真を選択するには、Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながら写真をクリックします）。
3. 「写真補正オプション」タブで、カラー  をクリックします。

カラーを使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーでカラーが補正され、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

[トップへ戻る](#)

シャープでの写真のシャープ補正

シャープでは、写真を自動的に分析し、一般的な焦点の問題を補正します。例えば、カメラ焦点のずれによるぼけを補正できます。


1. 「かんたん補正」をクリックします。
2. メディアビューで、写真を選択します。（複数の写真を選択するには、Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながら写真をクリックします）。
3. 「写真補正オプション」タブで、 シャープをクリックします。

シャープを使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーで焦点が補正され、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

[トップへ戻る](#)

レベル補正でのレベルの設定

レベル補正では、写真を自動的に分析し、輝度における一般的な問題を補正します。例えば、露出アンダーまたは露出オーバーで撮影したときのディテールの低下などを補正できます。


1. 「かんたん補正」をクリックします。
2. メディアビューで、写真を選択します。（複数の写真を選択するには、Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながら写真をクリックします）。
3. 「写真補正オプション」タブで、レベル補正  をクリックします。

レベル補正を使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーで輝度レベルが調整され、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

[トップへ戻る](#)

スマート補正を使用したクイック補正



スマート補正では、写真を自動的に分析し、露出不足、コントラスト、カラーバランス、カラー彩度などによる一般的な問題を補正します。

1. 「かんたん補正」をクリックします。
2. メディアビューで、写真を選択します。（複数の写真を選択するには、Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながら写真をクリックします）。
3. 「写真補正オプション」タブで、スマート補正  をクリックします。

スマート補正を使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーで必要な調整が行われ、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

[トップへ戻る](#)

写真の回転

1. メディアビューで、1 枚以上の写真を選択します。隣接する写真を選択する場合は Shift キーを押しながらクリックし、隣接していない写真を選択する場合は Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながらクリックします。
2. タスクエリアで、次のいずれかの操作を行います。
 - 反時計回りに写真を 90°回転するには、左に回転ボタン  をクリックします。
 - 時計回りに写真を 90°回転するには、右に回転ボタン  をクリックします。



その他のアプリケーションを使用した写真とビデオの補正

選択したメディアを補正するエディターの指定
Adobe Photoshop で写真を編集します。

選択したメディアを補正するエディターの指定

[トップへ戻る](#)

- 次のいずれかの操作を行います。
 - Windows で、編集／環境設定／編集を選択します。
 - Mac OS では、Adobe Elements 11 Organizer／環境設定／編集を選択します。
- Photoshop Elements のみで写真を編集するには、「Photoshop Elements Editor のオプションのみを表示」を選択します。Elements Organizer で写真を右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）すると、Photoshop Elements を使用して編集するオプションのみが表示されます。
- Premiere Elements のみでビデオを編集するには、「Premiere Elements Editor のオプションのみを表示」を選択します。Elements Organizer で写真を右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）すると、Premiere Elements を使用して編集するオプションのみが表示されます。
- Premiere Elements と Photoshop Elements の両方でメディアファイルを編集できるようにするには、「両エディターのオプションを表示」を選択します。
- 他のアプリケーションを使用可能にして写真編集することもできます。「追加の編集アプリケーションを使用」をオンにし、そのアプリケーションを参照して選択します。

Adobe Photoshop で写真を編集します。

[トップへ戻る](#)

Adobe Photoshop を使用して写真を選択し、編集することができます。

- 写真を選択します。

注意： 写真を選択して起動し、4 つのビューのいずれかで編集できます。
- Photoshop Elements のみで写真を編集するには、「Photoshop Elements Editor のオプションのみを表示」を選択します。Elements Organizer で写真を右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）すると、Photoshop Elements を使用して編集するオプションのみが表示されます。
- タスクエリアのエディターの横にある三角形をクリックします。編集オプションから Photoshop を選択します。
- Adobe Photoshop がインストールされ、アクティベーションされている場合、写真が起動され、Photoshop で編集できます。



法律上の注意 | [プライバシーポリシー](#)



写真とビデオへのタグ付け



- キーワードタグ
- キーワードタグパネルの使用
- キーワードタグの作成
- メディアファイルへのキーワードタグの適用
- 自動解析
- スマートタグ
- キーワードタグを使用したメディアファイルの検索
- タグのすばやい作成と適用
- 新しいキーワードタグカテゴリまたはサブカテゴリの作成

[トップへ戻る](#)

キーワードタグ

キーワードタグは、「父」、「フロリダ」などの個別のキーワードで、メディアビュー内の写真、ビデオファイル、オーディオクリップ、PDF およびプロジェクトに適用します。キーワードタグを適用すると、適用したファイルを簡単に整理、検索できるようになります。キーワードタグを使用すると、カテゴリ固有のフォルダーにメディアファイルを手動で整理したり、ファイル名を内容に沿った名前に変更したりする必要がなくなります。その代わりに、各メディアファイルに 1 つまたは複数のキーワードタグを追加するだけで済みます。その後、キーワードタグパネルで 1 つまたは複数のキーワードタグを選択して、必要なメディアファイルを取得することができます。キーワードを「検索」テキストボックスに入力して、特定のキーワードタグの付いたメディアファイルを検索できます。

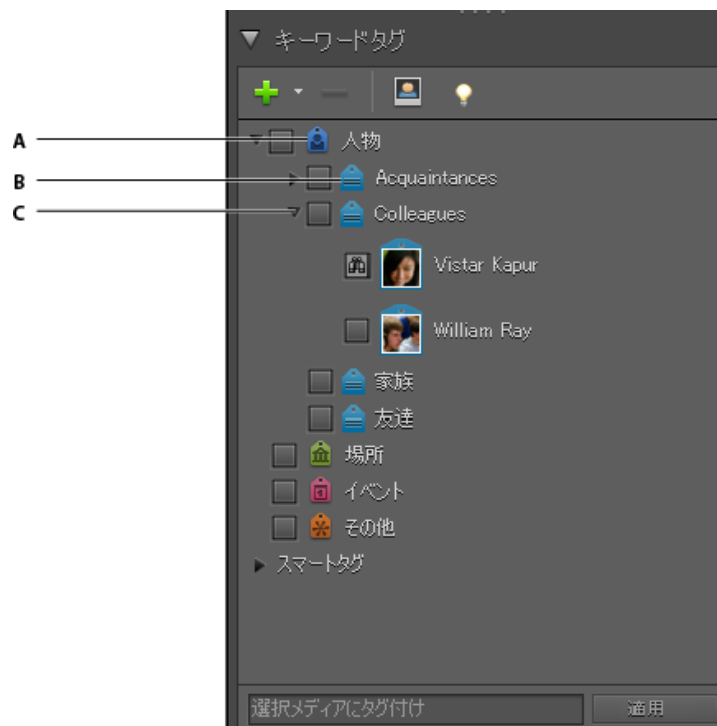
例えば、「Anna」というキーワードタグを作成し、妹の Anna が写っているすべてのメディアファイルに適用します。その後で、コンピューターに保存された Anna が写っているすべてのメディアファイルをすぐに検索するには、キーワードタグパネルで「Anna」のタグを選択します。

また、任意のキーワードを使用してキーワードタグを作成することができます。例えば、個人、場所、行事などのキーワードタグを作成できます。メディアファイルに複数のキーワードタグが付いている場合、キーワードタグの組み合わせを検索して、特定の場所やイベントに関係した特定の人が写っているメディアファイルを検索することもできます。例えば、「Anna」および「Marie」というキーワードタグをすべて検索することによって、Anna と娘の Marie が一緒に写っている写真をすべて見つけることができます。また、「Anna」および「Cabo」（岬）というキーワードタグをすべて検索することによって、サンルカス岬で休暇中の Anna の写真をすべて見つけることができます。

[トップへ戻る](#)

キーワードタグパネルの使用

キーワードタグは、「整理」タブのキーワードタグパネルで作成および操作します。



キーワードタグパネル

A.

カテゴリ

B.

サブカテゴリ

C.


三角形をクリックすると、そのカテゴリまたはサブカテゴリに含まれるキーワードタグの展開と折りたたみが切り替わります。

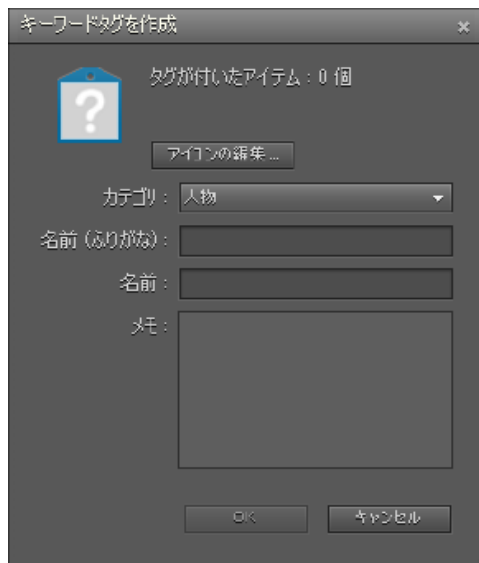
キーワードタグパネルでは、次の操作を行うことができます。

- すべてのキーワードタグ、タグのカテゴリおよびサブカテゴリを表示します。カテゴリまたはサブカテゴリの横にある三角形をクリックして、キーワードタグを展開するか折りたたみます。
- キーワードタグの作成、編集および削除を行います。
- カテゴリとサブカテゴリ内のキーワードタグを整理します。
- キーワードタグのリストを上下にスクロールします。


[トップへ戻る](#)

キーワードタグの作成

任意のカテゴリまたはサブカテゴリの下に新しいキーワードタグを作成して、カタログに新たに追加したメディアファイルを整理できます。新しいキーワードタグには、疑問符のアイコン  が付いています。



キーワードタグを作成ダイアログボックスで、キーワードタグを作成できます。


1. キーワードタグパネルにある新規ボタン  をクリックし、「新規キーワードタグ」を選択します。
2. キーワードタグを作成ダイアログボックスで、カテゴリポップアップメニューからキーワードタグの配置先のカテゴリまたはサブカテゴリを選択します。
3. 「名前」ボックスに、キーワードタグの名前を入力します。
注意：キーワードタグの名前のふりがなを変更するには、「名前（ふりがな）」ボックスに新しいふりがなを入力します。
4. 「メモ」ボックスにキーワードタグに関する情報を入力します（例えば、「休暇の写真」などの説明を記述しておきます）。
5. 「OK」をクリックします。

選択したカテゴリまたはサブカテゴリに属した形でキーワードタグがキーワードタグパネルに追加されます。

注意：キーワードタグを最初に適用したメディアファイルが、キーワードタグのアイコンとして使用されます。アイコンを変更するには、[キーワードタグアイコンの変更](#)を参照してください。

[トップへ戻る](#)

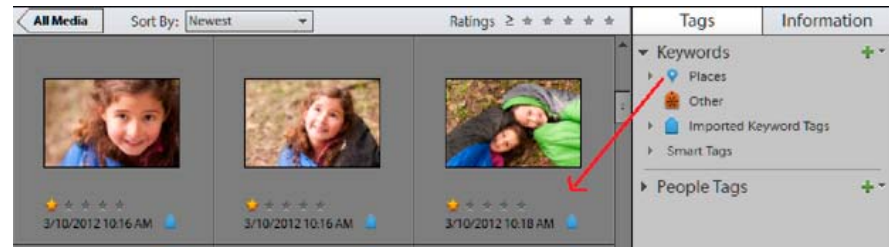
メディアファイルへのキーワードタグの適用

作成したキーワードタグは、タグに関連するメディアファイルに適用できます。1つのメディアファイルに複数のキーワードタグを適用することもできます。メディアファイルに3つのキーワードタグを適用した場合は、そのメディアファイルに適用されているすべてのキーワードタグが表示されます。メディアファイルに4つ以上のキーワードタグを適用した場合は、キーワードタグアイコン  が表示されます（QE 入力が必要）。キーワードタグを最初に適用したメディアファイルが、キーワードタグのアイコンとして使用されます。複数のメディアファイルをキーワードタグへドラッグした場合は、先頭にあるメディアファイルがキーワードタグのアイコンとして使用されます。

1. メディアビューで、キーワードタグを適用するメディアファイルを選択します（複数の写真を選択するには、Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながらメディアファイルをクリックします）。
2. 1つのキーワードタグを1つのメディアファイルに適用するには、次のいずれかの操作を行います。
 - キーワードタグパネルで1つのキーワードタグを選択し、選択したメディアファイルに重なるようにドラッグします。
 - メディアファイルをキーワードタグパネルのキーワードタグに重なるようにドラッグします。
3. キーワードタグを複数のメディアファイルに適用するには、次のいずれかの操作を行います。



キーワードタグパネルでキーワードタグを選択し、選択したメディアファイルのいずれかに重なるようにドラッグします。

- 1 つまたは複数のキーワードタグを選択し、選択したメディアファイルのいずれかに重なるようにドラッグします。



複数のキーワードタグを複数の写真にドラッグ

- キーワードタグパネルで 1 つまたは複数のキーワードタグを選択し、選択したタグのいずれかに重なるように写真をドラッグします。

  キーワードタグをアルバム内のすべてのメディアファイルに適用するには、アルバムパネルでアルバムをクリックします。メディアビューで、すべてのメディアファイルを選択します。キーワードタグパネルからキーワードタグを選択し、選択したメディアファイルに適用します。

[トップへ戻る](#)

自動解析

Elements Organizer の自動解析は、メディアの解析中に次のアイテムを自動的に検出してタグ付けします。

- 顔
- オーディオ
- ぼかし
- 明るさとコントラスト
- モーション
- 揺れ

自動解析後にタグを追加することができます。ただし、自動解析タグはメディアから削除できませんが、スマートタグリストで編集したり、削除したりすることはできません。

コンピューターの待機中のみ解析を実行

自動解析は、Elements Organizer にメディアを読み込んだ直後に実行されます。膨大な数のメディアを解析する場合は、システムの待機中に自動解析を実行します。

1. 編集／環境設定／メディア解析 (Windows®) または Adobe Elements 11 Organizer／環境設定／メディア解析 (Mac® OS) を選択します。
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - a. Elements Organizer で、待機中のみ人物の写真を解析する場合は、「人物の写真を自動的に解析」の選択を解除します。
 - b. Elements Organizer で、待機中のみ解析してスマートタグを生成する場合は、「メディアのスマートタグを自動的に解析」の選択を解除します。

Elements Organizer を開いたときに毎回自動解析を実行

1. 編集／環境設定／メディア解析 (Windows®) または Adobe Elements 11 Organizer／環境設定／メディア解析 (Mac® OS) を選択します。
2. Elements Organizer で Elements Organizer を開いたときに毎回メディアのスマートタグを解析する場合は、「システムの起動時に解析を実行」を選択します。

自動解析を手動で実行

1. メディアビューで、スマートタグを自動的に割り当てるメディアファイルを選択します (複数のファイルを選択するには、Ctrl キー (Mac OS では Cmd キー) を押しながらファイルをクリックします)。

2. メディアファイルを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）し、「自動解析を実行」を選択します。

スマートタグの自動解析の無効化

1. 編集／環境設定／メディア解析（Windows）または Adobe Elements 11 Organizer／環境設定／メディア解析（Mac OS）を選択します。
2. 「メディアのスマートタグを自動的に解析」の選択を解除します。

[トップへ戻る](#)

スマートタグ

スマートタグを適用すると、メディアファイル（写真やビデオ）を画質や内容ごとに簡単に検索することができます。自動解析によって、スマートタグが自動的にメディアファイルへ割り当てられます。自動解析では次の操作が可能です。

- メディアファイルの解析
- 手ブレ、暗い、明るいなどの画質に基づく写真およびシーンの識別

最適なメディアファイルを検索し、画質の悪いものは削除することができます。これらのタグは、画質に基づいてアセットを並べ替えるのに使用できます。自動解析されたメディアファイルを表示するには、Elements Organizer のインターフェイスの「スマートタグ」オプションを選択します。

重要： スマートタグの作成、編集、削除はできません。ただし、個々のクリップのスマートタグは削除、適用することができます。

自動解析のコンテンツ分析は、手動でも自動でも行うことができます。手動モードの場合、選択したアセットにスマートタグを割り当てることができます。自動モードの場合、分析およびアセットへのスマートタグの割り当てはバックグラウンド処理されます。

スマートタグの手動割り当て

1. メディアビューで、スマートタグを適用するメディアファイルを選択します（複数のファイルを選択するには、Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながらファイルをクリックします）。
2. 1 つのメディアファイルに 1 つのスマートタグを適用するには、次のいずれかの操作を行います。
 - スマートタグパネルで 1 つのスマートタグを選択し、選択したメディアファイルに重なるようにドラッグします。
 - メディアファイルをスマートタグパネルのタグに重なるようにドラッグします。
3. スマートタグを複数のメディアファイルに適用するには、次のいずれかの操作を行います。
 - スマートタグパネルでスマートタグを選択し、選択したメディアファイルに重なるようにドラッグします。
 - 1 つまたは複数のスマートタグを選択し、選択したメディアファイルのいずれかに重なるようにドラッグします。
 - スマートタグパネルで 1 つまたは複数のスマートタグを選択し、選択したタグのいずれかに重なるようにメディアファイルをドラッグします。



💡 キーワードタグをアルバム内のすべてのメディアファイルに適用するには、アルバムパネルでアルバムをクリックします。メディアビューで、すべてのメディアファイルを選択します。キーワードタグパネルからスマートタグを選択します。次に、タグを右クリックし、「選択したメディアに適用」を選択して、ファイルにタグを付けます。

[トップへ戻る](#)

キーワードタグを使用したメディアファイルの検索

❖ 検索バーにタグの名前を入力すると、入力された文字と一致するタグのリストが表示されます。例えば、「D」と入力した場合、「D」から始まるすべてのタグが表示されます。その中から必要なタグを選択できます。

検索条件として指定したキーワードタグが付いているメディアファイルが検索されます。キーワードタグが含まれているサブカテゴリまたはカテゴリを選択すると、その階層下にある写真

も含めてすべて表示します。例えば、「結婚式」サブカテゴリに「新郎」と「新婦」というキーワードタグがある場合、「結婚式」サブカテゴリを選択すると、Elements Organizer に「新郎」または「新婦」のタグの付いたメディアファイルが表示されます。

[トップへ戻る](#)

タグのすばやい作成と適用

Elements Organizer のインターフェイスの「キーワードタグ」テキストボックスでは、タグをすばやく作成し、適用することができます。このテキストボックスには、入力する文字に基づく既存のタグリストのサブセットが表示されます。例えば、「S」という文字を入力した場合、テキストボックスに「S」から始まるタグのリストのサブセットが表示されます。このリストから既存のタグを選択して、選択した一連のアセットに適用したり、タグを作成して適用したりすることができます。



タグの作成と適用

タグをすばやく作成


1. メディアファイルを選択します。
2. 「画像キーワード」テキストボックスにタグの名前を入力します。
3. 「新規タグ <タグ名> を作成」をクリックします。
4. 「追加」をクリックします。

タグをすばやく適用

1. タグを適用するアセットを選択し、次のいずれかの操作を行います。
 - 「キーワードタグ」テキストボックスにタグの名前を入力します。
 - 例えば、「A」と入力すると、「A」の文字から始まるタグのリストが表示されます。使用するタグを選択してください。
2. 「追加」をクリックします。
選択したアセットにタグが適用されます。

[トップへ戻る](#)

新しいキーワードタグカテゴリまたはサブカテゴリの作成

1. 「整理」タブのキーワードタグパネルで、新規ボタン  をクリックし、「新規カテゴリ」または「新規サブカテゴリ」のいずれかを選択します。
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - 新規カテゴリを作成するには、「カテゴリ名」ボックスに名前を入力します。「カラーを選択」をクリックして、そのカテゴリ内のキーワードタグに付けるカラーを指定します。次に、カテゴリアイコンリストからアイコンをクリックして選択します。
 - 新規サブカテゴリを作成するには、「サブカテゴリ名」ボックスに名前を入力します。次に、「1 つ上のカテゴリまたはサブカテゴリ」ポップアップメニューで、新規サブカテゴリの配置先を選択します。
3. 「OK」をクリックします。

新しいカテゴリまたはサブカテゴリがキーワードタグパネルに表示されます。

注意：サブカテゴリは編集または削除することができますが、サブカテゴリのアイコンは常に単色のタグとして表示され、アイコンに写真を使用することはできません。

関連項目

[検索ボックスを使用したメディアファイルの検索](#)

[キーワードタグパネルとアルバムパネルの環境設定](#)

[クイック整理パネル](#)

[写真からのキーワードタグの削除](#)

[キーワードタグアイコンの変更](#)

[人物認識](#)

 [見た目の違いに基づく検索](#)



[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)




バージョンセット内の写真のグループ化



- バージョンセット
- バージョンセットの手動保存
- バージョンセット内のすべての写真の表示
- バージョンセット内の先頭の写真の指定
- 写真をオリジナルのバージョンに戻す
- バージョンセットからの写真の除去または削除
- バージョンセット内の写真の編集

[トップへ戻る](#)

バージョンセット

バージョンセット  とは、オリジナルの写真とその編集したバージョンを含むスタックのことです。バージョンセットでは、オリジナルの写真と編集した写真が 1 つに重なった状態で表示されるので、写真を見つけやすくなります。

かんたん補正を選択して写真を編集すると、写真整理モードでは、写真とその編集した写真の両方が自動的に 1 つのバージョンセットに入ります。Elements Editor で写真を編集し、ファイル/別名で保存を選択して、「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」オプションを選択することで、写真と編集した写真の両方を 1 つのバージョンセットに入れることができます。

スタック内の写真を編集すると、オリジナルの写真と編集後の写真が、スタック内にバージョンセットとして整理されます。バージョンセット内の写真を編集すると、編集した写真が既存のバージョンセットの先頭に置かれます。Elements Organizer では、バージョンセットは、バージョンセット内にバージョンセットを格納するようなネスト（入れ子）の構造をとることができません。バージョンセットの内部に置くことができるのは、オリジナルの写真とその編集したバージョンだけです。

注意： 通常は、バージョンセットにスタックできるのは写真だけです。

バージョンセットを使用する際のヒント

バージョンセットを使用する場合は、次の点に注意してください。

- Elements Organizer で画像を編集します。画像を Elements Organizer から開かず外部の編集ソフトウェアを使用すると、データベースとのリンクが失われるので、Elements Organizer で画像ファイルの編集履歴を把握したり、バージョンセットを更新することができなくなります。バージョンセットに手動でファイルを追加することはできませんが、「スタック」コマンドを使用してこれらのタイプのバージョンをスタックすることはできます。
- 折りたたまれたバージョンセットにキーワードタグを適用する場合、キーワードタグはセット内のすべてのアイテムに適用されます。バージョンセットを展開して 1 つの写真にキーワードタグを適用すると、キーワードタグはその写真だけに適用されます。キーワードタグで検索すると、そのキーワードタグを含むバージョンセットに含まれる写真が、個別の写真として検索結果に表示されます。
- 複数のバージョンセットを 1 つのスタックとしてまとめることができます。複数のバージョンセットが 1 つのスタックとして表示されます。先頭には最新の写真が表示されます。スタック内の写真でさらにスタックを作成すると、結合して 1 つのスタックになりますが、スタック内で複数のバージョンセットを作成しても、バージョンセットは保持されます。
- オリジナルの写真と編集した写真の 2 枚だけが含まれるバージョンセットで、そのうちの 1 枚の写真を削除すると、残った写真は（バージョンセットの一部ではなくなり）スタック解除された状態でメディアビューに表示されます。スタック内に 2 枚のうちの 1 枚を削除したバージョンセットが格納されていた場合には、スタックを展開すると、写真はバージョンセットアイコンなしで表示されます。

すべてのバージョンセットを検索するには、検索／すべてのバージョンセットを選択します。

- バージョンセットから写真を個別に取り除いたり、削除したりすることができ、また、バージョンセット内の各写真がカタログ内で別個に表示されるようにバージョンセットを個別の写真に変換することができます。
- 右クリックまたは編集メニューを使用すると、ほとんどのバージョンセットコマンドにアクセスできます。
- プロパティパネルの「履歴」タブでは、バージョンセット内の写真の編集履歴を確認できます。

[トップへ戻る](#)

バージョンセットの手動保存

Elements Organizer で写真を編集すると、バージョンセットが自動的に作成されます。Elements Editor でファイルを編集した場合は、編集をバージョンセットに手動で保存する必要があります。

Elements Editor で、次のいずれかの操作を行います。

- Elements Organizer でファイルを編集し、ファイル／保存（写真を編集して初めて保存するときは、別名で保存ダイアログボックスが自動的に表示されます）または、ファイル／名前を付けて保存を選択します。「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」オプションを選択し、ファイルの名前を指定して「保存」をクリックします。
- 以前に編集した写真を再び編集し、ファイル／別名で保存を選択して、編集した写真の個別のコピーを作成します。「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」オプションを選択し、ファイルの名前を指定して「保存」をクリックします。

メディアビューで表示すると、新しく編集した写真がバージョンセットの先頭に配置されます。

[トップへ戻る](#)

バージョンセット内のすべての写真の表示

バージョンセット内のすべての写真を表示した状態で、バージョンセット内の写真の編集や削除、先頭の写真の置き換え、または写真へのキーワードタグの追加（セット内の1つの写真にキーワードタグを追加すると、すべての写真にそのタグが適用されます）を行うことができます。

- メディアビューで、バージョンセットの写真を選択し、次のいずれかの操作を行います。
 - バージョンセットのサムネールの隣にある展開ボタンをクリックします。
 - 編集／バージョンセット／バージョンセットのアイテムを展開を選択します。
- 展開されたバージョンセットを表示した状態で、次のいずれかまたは複数の操作を行います。
 - 写真の並べ替えや削除、キーワードタグの追加を行います。
 - かんたん補正を使用するか、Photoshop Elements Editor でスタンダード編集を使用して写真を変更します（次にファイルを保存します）。
- 完了したら、次のいずれかの操作を行って、バージョンセット内の写真を折りたたみます。
 - バージョンセットのサムネールの隣にある折りたたみボタンをクリックします。
 - 編集／バージョンセット／バージョンセットのアイテムを折りたたむを選択します。

[トップへ戻る](#)

バージョンセット内の先頭の写真の指定

Elements Organizer でバージョンセットを作成すると、最新の写真が先頭に置かれます。この先頭の写真を他の写真に置き換えることができます。バージョンセットを展開すると、先頭の写真はメディアビューの一番左に表示されます。

注意：スタックに属すバージョンセットを表示するには、まずスタックを展開する必要があります。

- メディアビューでバージョンセットを右クリックし、バージョンセット／バージョンセッ

トのアイテムを展開を選択します。

2. 先頭に置く写真を右クリックして、バージョンセット／先頭アイテムとして設定を選択します。
3. 新たに先頭に置かれた写真を右クリックし、バージョンセット／バージョンセットのアイテムを折りたたむを選択します。

[トップへ戻る](#)

写真をオリジナルのバージョンに戻す

❖ メディアビューで1つまたは複数のバージョンセットを選択し、編集／バージョンセット／オリジナルに戻すを選択します（あるいは、選択したアイテムを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）して表示されるコンテキストメニューから、このコマンドを選択します）。

注意：標準編集ワークスペースでは、ヒストリーパネルを使用して、写真を元の状態に戻すことができます。

[トップへ戻る](#)

バージョンセットからの写真の除去または削除

バージョンセットから写真を取り除くと、写真はバージョンセットからは除去されますが、カタログには残されます。これによって、メディアビューで個別の写真として表示されます。バージョンセットから写真を削除すると、その写真はカタログから取り除かれますが、「ハードディスクからもアイテムを削除」を選択しない限り、コンピューター上から削除されることはありません。

❖ バージョンセットを選択し、次のいずれかの操作を行います。

- バージョンセットから特定の写真を取り除くには、バージョンセットを展開して削除する写真を選択し、編集／バージョンセット／バージョンセットからアイテムを削除を選択します。
- バージョンセット内の写真すべてを取り除いてメディアビューで個別の写真として表示されるようにするには、バージョンセットを選択して、編集／バージョンセット／バージョンセットを個別アイテムに変換を選択します。
- バージョンセットから特定の写真を削除するには、編集／バージョンセット／バージョンセットのアイテムを展開を選択します。削除する写真を選択し、Delete キーを押します。
- 先頭を除くすべての写真をバージョンセットから削除するには、編集／バージョンセット／先頭の写真以外は削除を選択します。
- バージョンセットから先頭の写真だけを削除するには、メディアビューでバージョンセットを選択し、編集／カタログから削除を選択します。カタログからの削除確認ダイアログボックスで、「折りたたまれたスタック内のすべてのアイテムを削除」オプションを選択しません。先頭の写真ハードディスクから削除する場合は、「ハードディスクからも選択したアイテムを削除」を選択します。
- オリジナルの写真を除くすべての写真をバージョンセットから削除するには、編集／バージョンセット／オリジナルに戻すを選択します。
- オリジナルの写真を含むすべての写真をバージョンセットから削除するには、編集／カタログから削除を選択します。カタログからの削除確認ダイアログボックスで、「折りたたまれたスタック内のすべての写真を削除」オプションを選択します。
- オリジナルの写真をバージョンセットから削除するには、編集／バージョンセット／バージョンセットのアイテムを展開を選択します。バージョンセットでオリジナルの写真を選択し、Delete キーを押します。バージョンセット内に、オリジナルの写真を直接編集したコピーが1つと、さらにそのコピーを編集したコピーがある場合、オリジナルの写真を削除すると、オリジナルの写真を編集したコピーがこのバージョンセットの新しい「オリジナルの写真」になります。オリジナルの写真に対して複数の子写真（編集したコピー）が存在する場合、オリジナルの写真を削除しても、バージョンセットから子写真は削除されません。

注意：一般に、オリジナルの写真を保持しておき、その写真を原版として様々な画像を作成するのが最適な方法です。原版はオリジナルの情報をすべて含み、圧縮されたり、データが失われたりしていません。オリジナルの写真を削除するのは、そのオリジナル写真を今後使用しないことが明らかな場合だけにしてください。カタログやコンピューター上からオリジナルの写真を削除すると、復元することはできません。

バージョンセット内の写真の編集

バージョンセット内の写真を編集し、それを別名で保存ダイアログボックスの「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」オプションを使用して保存すると、編集したコピーはオリジナルのバージョンセットに追加され、追加のバージョンセット内にはネストされません。

1. メディアビューで、次のいずれかの操作を行います。
 - 先頭の写真を編集するには、バージョンセットを選択します。
 - 先頭以外の写真を編集するには、バージョンセットを選択し、編集／バージョンセット／バージョンセットのアイテムを展開を選択します。次に、編集する写真を選択します。
2. 写真を選択し、Elements Editor で補正／写真を編集を選択して写真を開きます。
3. 写真を編集し、ファイル／別名で保存を選択します。別名で保存ダイアログボックスの「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」オプションを選択し、コピーとオリジナルをバージョンセットに入れます。

新しく編集した写真がバージョンセットの先頭に置かれます。



メタデータの追加

このページからリンクされている内容の一部は英語版のみです。

写真内の顔のマークと人物スタックの整理

写真内の顔のマーク

人物ビューで人物スタックを表示

Facebook の友達リストをダウンロードして写真内の友達の顔をマーク

写真内の不明な顔をマーク

写真に写っている人物の顔を識別し、その人物を含む写真を整理することができます。顔を識別し、このラベルに基づいて、人物スタックとして取り込みます。人物ビューでは、それぞれの写真内で識別した人物に基づいて、写真を整理することができます。

人物ビューに切り替えると、ラベル付きのすべての人物のスタックを表示できます。人物スタックをダブルクリックして、その人物がラベル付けされているすべての画像を表示します。

初期設定では、人物のタグはメディアビューでは表示されません。ただし、メディアビューで表示／タグパネルの人物を表示を選択して、人物タグを表示できます（人物タグを表示するには、タグパネルを有効にする必要があります）。

写真内の顔をマーク

[ページの先頭へ](#)

写真に写っている顔を識別し、人物スタックを作成することができます。これにより、写真に写っている人物に基づいて写真を整理し識別することができます。例えば、ジムという友人が何枚かの写真に写っている場合、ジムをマークして、ジムが写っている写真の並べ替えや表示を行うことができます。

人物スタックとは、識別した人物の写真がすべて入っているスタックのことをいい、Elements Organizer では人物リストに追加されます。

1. メディアビューに切り替えます。「人物を追加」をクリックして、人物の追加を開始します。

特定の写真または写真セットのいずれかを選択し、写真中の人物を識別します。複数の写真を選択するには、Ctrl キー（Win）または Cmd キー（Mac）を押したまま写真を選択します。選択した写真は、青い境界線でハイライトされます。



2. 人物認識ダイアログボックスで顔を識別します。顔をクリックし、人物の名前を入力します。

Elements Organizer は、メディアに読み込まれた顔を認識し、選択肢を示します。



Facebook から友達リストをダウンロードすることもできます。これは、写真に写っている人物や友達リストにある人物にタグを付けるのに役立ちます。

3. 「保存」をクリックします。

顔にラベルを付けたことを確認するメッセージが表示されます。人物ビューに移動し、写真内でラベルを付けた人物のスタックを表示することができます。

人物ビューで人物スタックを表示

[ページの先頭へ](#)

写真内の人物を識別し、その人物にラベルを付けたら、人物ビューに切り替えて、整理することができます。

「人物」タブをクリックすると、人物スタックが表示されます。人物スタックとは、人物の写真を集めたものです。



注意：あるいは、メディアビューで顔の識別とラベルを付けを行っている間に、人物スタックに移動することもできます。人物名を入力しているとき、人物名の横にある矢印をクリックすると、人物ビューのその人物の人物スタックに移動します。



[ページの先頭へ](#)

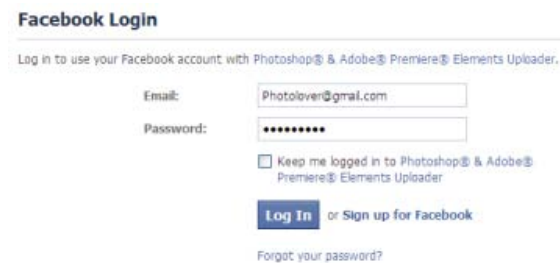
Facebook の友達リストをダウンロードして写真内の友達の顔をマーク

人物を追加しているとき、Facebook の友達リストをダウンロードし、（友達リストにある）友達の顔を識別することができます。

「Facebook の友達リストをダウンロード / 更新して人物に名前を付ける」をクリックします。



「認証」をクリックし、Facebook のログイン情報を入力します。認証に成功したら、Facebook ウィンドウを閉じます。



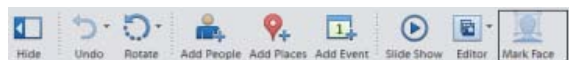
注意： Facebook 情報が Elements Organizer に保存されるのは、24 時間のみです。

写真内の不明な顔をマーク

[ページの先頭へ](#)

写真には、最初のワークフローでは誰の顔を特定できない人物が写っている場合があります。例えば、友人の誕生パーティで写真を撮った後で、キャシーという名前の友人が Facebook の友達リストに追加されたとします。そのような顔にマークを付けて、不明な顔を識別することができます。

メディアビューで、マークすべき不明な顔が含まれている写真を選択し、タスクエリアで顔をマークボタンをクリックします。



より広いビューに写真が開きます。ラベルを付ける人物に対する「名前を指定」セクションボックスがない場合、ボックスを選択してその人物の顔の上にドラッグします。

人物の名前を入力して確認アイコンをクリックします。



注意： 自動顔認識は写真でのみサポートされています。ビデオやオーディオの場合は、「人物を追加」ボタンを使用して人物に手動でラベルを付ける必要があります。写真やビデオをダブルクリックし、「人物を追加」をクリックして人物の名前を入力します。

場所（位置）データの追加と管理

[メディアビューでの場所の追加](#)

[場所ビューでの場所の追加](#)

[写真とビデオに追加された場所（位置）データの編集](#)

[マップエリアでの場所（位置）データの表示](#)

撮影された場所は、写真やビデオの重要な属性です。場所データをメディアに追加することにより、様々な場所で撮影された写真やビデオのスタックを簡単に作成できます。

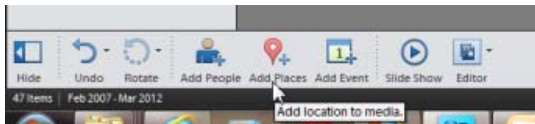
メディアビューと場所ビューの2つのビューで場所データを追加できます。

注意： マップ機能が正確に機能するには、インターネットに接続している必要があります。

メディアビューでの場所の追加

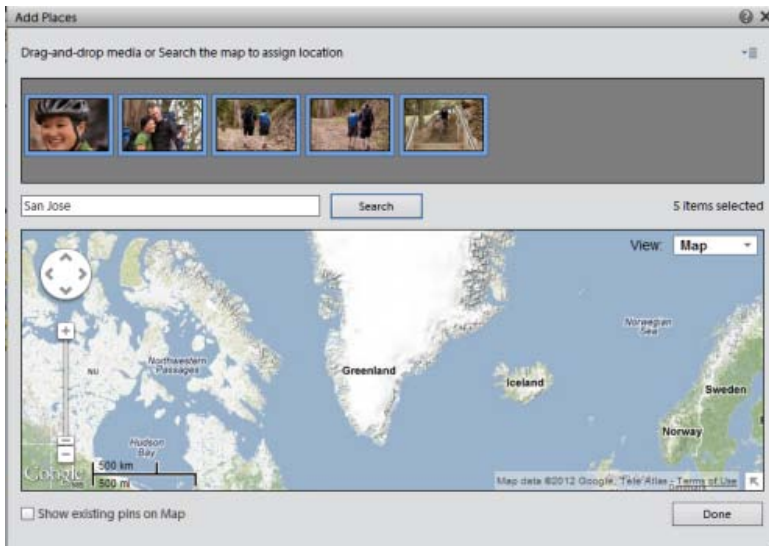
[ページの先頭へ](#)

1. 場所情報を追加する写真とビデオを選択します。タスクバーの「場所を追加」をクリックします。

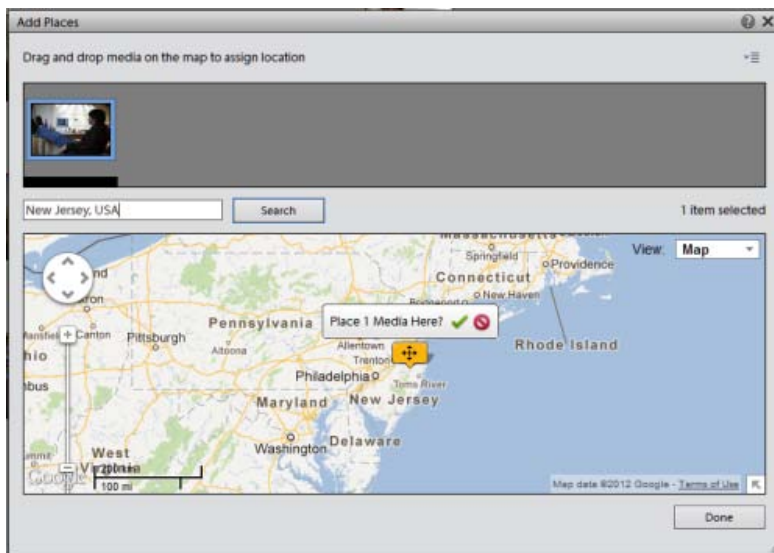


2. 「場所を追加」ダイアログボックスで、場所の名前を入力します。入力されたテキストに一致する場所が検索エンジンで表示されます。表示された提案から場所を選択します。マップが更新され、位置ポインターが選択した位置を指します。

注意： マップを検索して、正確な位置情報を表示できるように、インターネットに接続する必要があります。



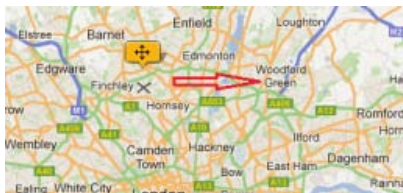
3. 確認（チェックマーク）アイコンをクリックして、位置の選択を確認します。キャンセルアイコンをクリックして、新たな検索を開始します。マップ上の位置にメディアをドラッグ&ドロップすることも、その特定の位置データをメディアに割り当てることもできます。



4. 確認後、その場所のタグの付いたメディア番号を付けた場所ティッカーが表示されます。



メディアへの場所の関連付けを確認する前に、検索ピンを移動することができます。クリックしてピンを選択し、メディアに関連付ける場所にドラッグします。



「完了」をクリックします。場所ビューに切り替え、メディアとそれに関連付けられた位置情報を表示することができます。

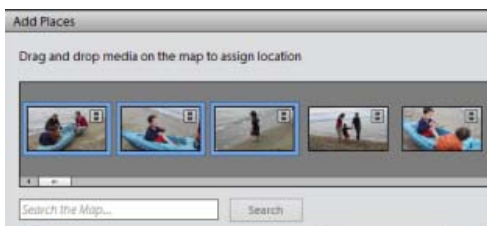
注意：「マップに既存のピンを表示」オプションをオンにして、写真にタグ付けされている場所を表示します。

場所ビューでの場所の追加

[ページの先頭へ](#)

場所ビューには、位置情報が追加されている写真とビデオが表示されます。このビューからすべてのメディアファイルにアクセスし、位置情報を追加したり編集したりできます。

1. 「場所」タブをクリックします。
2. 「場所を追加」をクリックします。
3. マップ内の位置にメディアをドラッグ&ドロップする、
または
Ctrl キーを押して位置情報を追加するメディアを選択します。



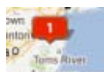
カタログにあるすべてのメディアがダイアログボックスに表示されます。メディアビューでは、選択したフォルダーやアルバムに関連付けられているメディアがグリッドに表示されますが、場所ビューでは、カタログにあるすべてのメディアが表示されます。

4. 場所を追加ダイアログボックスで、場所の名前を入力します。検索エンジンで結果が表示されるまで、Enter キーを押さないでください。場所を選択して、Enter キーを押します。

マップが更新され、位置ポインターが選択した位置を指します。

注意： マップ機能が正しく機能するには、インターネットに接続している必要があります。

5. 確認（チェックマーク）アイコンをクリックして、位置の選択を確認します。キャンセルアイコンをクリックして、新たな検索を開始します。
6. 確認後、その場所のタグの付いたメディア番号を付けた場所ティッカーが表示されます。



7. 「完了」をクリックします。メディアと関連する位置情報をマップエリアに表示することができます。

写真とビデオに追加された場所（位置）データの編集

[ページの先頭へ](#)

メディア内でタグ付けされた場所を変更することにより、メディアに追加された位置情報を管理できます。

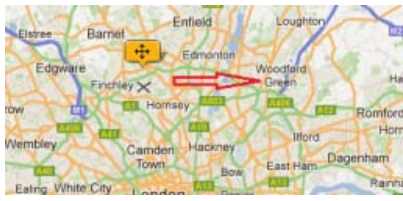
1. 「場所」タブをクリックします。
2. メディアを選択します。Ctrl キーを押したまま、複数の写真とビデオを選択することができます。
3. タスクバーの「場所を編集」をクリックするか、写真を右クリックして「場所を編集」を選択します。



4. マップ内の位置にメディアをドラッグ&ドロップする、
または
場所を検索して、メディアの位置情報を更新します。
 5. 場所を編集ダイアログボックスで、場所の名前を入力します。検索エンジンで場所が表示されるまでしばらく待ちます。表示された結果から場所を選択し、Enter キーを押します。マップが更新され、位置ポインターが選択した位置を指します。
- 注意： マップを検索して、正確な位置情報を表示できるよう、インターネットに接続する必要があります。



既存のピンを新しい場所にドラッグします。これにより、新しい場所がメディアに関連付けられます。



6. 確認（チェックマーク）アイコンをクリックして、位置の選択を確認します。キャンセルアイコンをクリックして、新たな検索を開始します。
7. 確認後、その場所のタグの付いたメディア番号を付けた場所ティッカーが表示されます。



8. 「完了」をクリックします。メディアと関連する位置情報をマップエリアに表示することができます。

メディアからのピンの削除

メディアに関連付けられたピン（場所）を削除するには：

1. 写真を選択します。
2. 右クリックして、「場所を編集」を選択します。
3. ピンを右クリックして、「ピンを削除」を選択します。

マップエリアでの場所（位置）データの表示

[ページの先頭へ](#)

場所ビューでは、特定の写真またはビデオの位置情報を表示することができます。

1. 写真またはビデオを選択して、「マップ」をクリックします。マップエリアには、そのメディアファイルにタグ付けした位置が表示されます。



マップエリアのピンは、特定の場所に関連付けられているメディアアイテムの数に関する情報を提供します。



位置でメディアを検索

特定の位置にタグ付けされているメディアを検索するには、「マップを検索」テキストボックスに位置を入力します。Enter キーを押します。

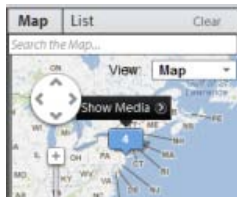
マップエリア内を移動します。

「マップ」ボタンをクリックして、マップパネルの表示と非表示を切り替えます。マップ上で写真を見つけることができます。場所ビューからメディアを選択すると、マップがパンしてマップ上のメディアの場所が表示されます。

また、マップエリアの「マップを検索」で場所を入力して、マップエリアにタグ付きのメディアを表示することもできます。検索をマップエリアに表示されている現在のグリッドに限定するには、「検索を地図領域に限定」オプションをオンにします。



注意： マップエリアでは、位置情報の表示のみで、情報の追加や編集はできません。



マップエリアで、場所を検索します。例えば、ロンドンについて検索し、場所（ロンドン）にタグ付けされた写真を表示できます。

場所にタグ付けされている写真の数が表示されているピンをクリックします。「メディアを表示」をクリックして、場所にタグ付けされている写真を表示します。また、ピンをダブルクリックして、関連付けられているメディアを表示することもできます。

検索をマップに限定

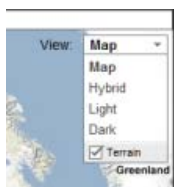
「地図で表示可能なメディアのみ表示」オプションをオンにして、関連付けられているメディアの検索を検索対象の場所に限定します。

地図コンテキストメニュー

地図コンテキストメニューでは、マップエリアにマップ情報を表示するビューを変更できます。

表示ドロップダウンリストの横にある三角形をクリックして、マップを表示できるオプションを表示します。

「地形」オプションをオンにして、選択した地形をメディアにマークします。



場所ビューのリストエリア

リストパネルでクリックして、場所を表示します。メディアに関連付けられている場所または検索した場所を基準にリストが作成されます。場所をクリックして、関連付けられているメディアを表示します。メディアは、場所ビューのグリッドに表示されます。

リストエリアの消去フィルター

「消去」をクリックして、リストパネルで選択を解除するか、選択範囲を消去します。これにより、場所ビューの場所にタグ付けされているすべてのメディアが表示されます。

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

イベントデータの追加と管理

イベントに関する情報を追加すると、さまざまな行事で撮られた写真のスタックを作成するのに役立ちます。イベントビューでこれらの写真のスタックにすばやくアクセスし、フォトプロジェクトを作成し、友達と共有できます。

[イベントビューでのイベントの追加](#)
[イベントの編集](#)

イベントビューでのイベントの追加

[ページの先頭へ](#)

タスクエリアから「イベントを追加」をクリックします。

1. イベントを追加するには、タスクエリアでイベントボタンをクリックします。
2. 新規イベントを追加エリアで、次の情報を入力します。
 - 名前：イベントの名前。イベントスタックでの写真の再収集や整理が楽にできるよう、適切なイベント名を指定する必要があります。例えば、「娘の2歳の誕生日」や「シンガポール訪問 2011 年 1 月 27 ～29 日」などです。
 - 開始日／終了日：カレンダーアイコンをクリックし、イベントの開始日と終了日を選択します。
 - 説明：イベントの説明を入力します。

メディアエリアにあるメディアをドラッグ&ドロップして、メディアをイベントに追加します。写真とビデオの両方をイベントに追加することができます。

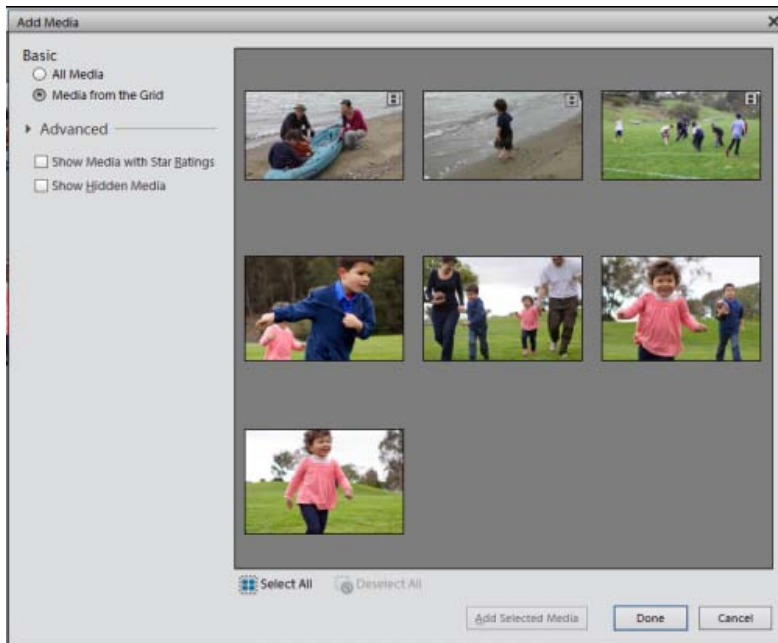
イベントの追加

3. イベントスタックが作成されます。マウスをその上に置き、マウスをゆっくり動かすと、イベントスタック内の写真のスライドショーが表示されます。
また、情報アイコンをクリックすると、そのイベントに対して入力されている説明が表示されます。



説明の表示

4. イベントスタックをダブルクリックすると、そのイベントスタックにあるメディアアイテムが表示されます。タスクエリアで「メディアを追加」をクリックすると、特定のイベントスタックに対して、メディアアイテムをさらに追加することができます。
メディアを追加ダイアログで、「基本」オプションまたは「詳細」オプションから選択します。



メディアの追加

• 基本

- すべてのメディア：このオプションを選択すると、メディアエリアの現在のカタログにあるすべてのメディアをロードします。メディアを選択するか、「すべて選択」をクリックしてすべてのメディアを選択することにより、メディアを選択することができます。「すべて選択」または「すべて選択解除」をクリックすると、すべてのメディアを選択または選択解除します。メディアを選択した後でイベントに追加する場合、「選択したメディアを追加」をクリックします。
- グリッドからのメディア：現在イベントビューのグリッドにあるメディアから選択し、それを編集中の現在のイベントに追加します。

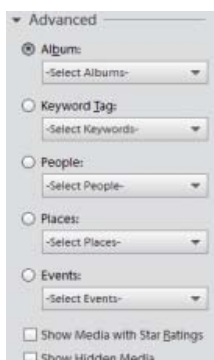
• 詳細

- 星の数でメディアを表示：写真またはビデオに与えられた星の数により、メディアを並べ替えて表示します。
- 非表示のメディアを表示：非表示になっているメディアを表示します。

5. 「詳細」タブ（メディアを追加ダイアログボックス）にはこれ以外にもオプションがあり、目的のメディアをイベントスタックに読み込むのに役立ちます。

「詳細」タブをクリックすると、使用可能なオプションを展開して表示します。このオプションを選択すると、選択範囲に基づいてメディアをメディアエリアに入れます。

- アルバム
- キーワードタグ
- 人物
- 場所
- イベント




イベントの編集

以前作成したイベントを変更することができます。まだイベントビューになっていない場合は、「イベント」タブをクリックして、イベントビューに切り替えます。

イベントを選択し、タスクエリアから「イベントを編集」をクリックします。



イベントを編集ダイアログボックスで、イベントスタックの名前、開始日／終了日、説明を編集することができます。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

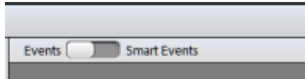
[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

スマートイベントを使ったイベントトラックの作成

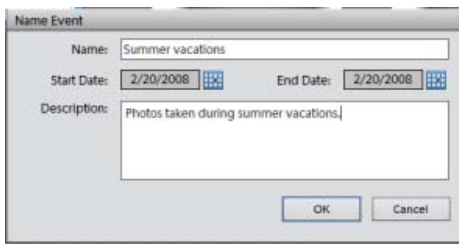
スマートイベントは、写真やビデオの日時情報を使用して、イベントスタックを自動的に提示させます。例えば、フォルダーを選択して、「スマートイベント」を選択すると、メディアファイルが作成された日付に基づいて、写真とビデオをそのフォルダーにまとめます。

スマートイベントでは、時間の範囲に基づいて写真をまとめることもできます。例えば、スマートイベントでは、誕生日の朝と夕方に撮影した写真のスタックを作成することができます。

1. 「イベント」タブをクリックします。
2. イベントビューで、スマートイベントに切り替えて、提示されたイベントスタックを参照し、写真を整理することができます。



3. スタックを選択し、タスクバーにある「イベントに命名」をクリックします。
4. イベントに命名ダイアログボックスで、次の情報を入力し、「OK」をクリックします。
 - 名前：イベントの名前を入力します。作成されるイベントスタックには、この名前が付きます。
 - 開始日 - 終了日：写真の撮影期間の開始日と終了日を選択します。
 - 説明：イベントを簡単に特定できるよう、説明を入力します。



5. イベントに切り替えると、作成したイベントスタックが表示されます。

スマートイベントのテクニック

[ページの先頭へ](#)




スマートイベントのスライダー

時間ビューは、写真のタイムスタンプによる画像のフィルタリングに基づいてメディアを並べ替えるのに役立ちます。イベントビューのスマートイベントタブで、次の機能を使用し、時間に基づいてイベントを作成できます。

- メディアのグループ化条件、日付／時間：「日付」または「時間」ラジオボタンを選択して、写真が撮影された日付または時間に基づいて Elements Organizer でスマートイベントを表示させます。例えば、同じ日に同僚や友人の連続する誕生日があるなど、複数のイベントがあり、これらを別々のイベントとしてイベントビューで並べ替えたい場合があります。
- スライダーの使用：スライダーをクリックして選択してスライドさせ、スマートイベントをさらに分割します。最初に誕生日について 1 つのイベントが表示されている場合は、スライダーを動かして時間や分によるイベントスタックに分割します。Elements Organizer は、撮影ごと

にこれらのスマートイベントスタックを作成します。特定の時間中に 10 枚の写真を撮影した場合、

- カレンダーパネル：写真や写真セットの日付スタンプに基づいてスマートイベントが表示されます。写真が撮影された月がハイライト表示されます。カレンダーをダブルクリックしてその月の日付を展開し、特定の日のスマートイベントを表示することができます。
- アルバム／フォルダー：特定のアルバムやフォルダーをクリックして、イベントビューにそのアルバムやフォルダーのスマートイベントを表示することもできます。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)



写真とビデオへのタグ付け



- キーワードタグ
- キーワードタグパネルの使用
- キーワードタグの作成
- メディアファイルへのキーワードタグの適用
- 自動解析
- スマートタグ
- キーワードタグを使用したメディアファイルの検索
- タグのすばやい作成と適用
- 新しいキーワードタグカテゴリまたはサブカテゴリの作成

[トップへ戻る](#)

キーワードタグ

キーワードタグは、「父」、「フロリダ」などの個別のキーワードで、メディアビュー内の写真、ビデオファイル、オーディオクリップ、PDF およびプロジェクトに適用します。キーワードタグを適用すると、適用したファイルを簡単に整理、検索できるようになります。キーワードタグを使用すると、カテゴリ固有のフォルダーにメディアファイルを手動で整理したり、ファイル名を内容に沿った名前に変更したりする必要がなくなります。その代わりに、各メディアファイルに 1 つまたは複数のキーワードタグを追加するだけで済みます。その後、キーワードタグパネルで 1 つまたは複数のキーワードタグを選択して、必要なメディアファイルを取得することができます。キーワードを「検索」テキストボックスに入力して、特定のキーワードタグの付いたメディアファイルを検索できます。

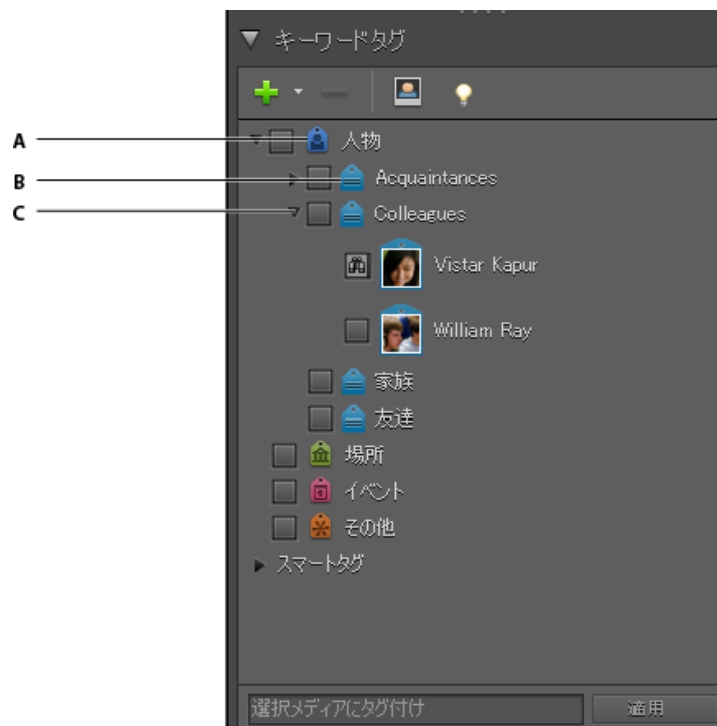
例えば、「Anna」というキーワードタグを作成し、妹の Anna が写っているすべてのメディアファイルに適用します。その後で、コンピューターに保存された Anna が写っているすべてのメディアファイルをすぐに検索するには、キーワードタグパネルで「Anna」のタグを選択します。

また、任意のキーワードを使用してキーワードタグを作成することができます。例えば、個人、場所、行事などのキーワードタグを作成できます。メディアファイルに複数のキーワードタグが付いている場合、キーワードタグの組み合わせを検索して、特定の場所やイベントに関係した特定の人が写っているメディアファイルを検索することもできます。例えば、「Anna」および「Marie」というキーワードタグをすべて検索することによって、Anna と娘の Marie が一緒に写っている写真をすべて見つけることができます。また、「Anna」および「Cabo」（岬）というキーワードタグをすべて検索することによって、サンルカス岬で休暇中の Anna の写真をすべて見つけることができます。

[トップへ戻る](#)

キーワードタグパネルの使用

キーワードタグは、「整理」タブのキーワードタグパネルで作成および操作します。



キーワードタグパネル

A.

カテゴリ

B.

サブカテゴリ

C.


三角形をクリックすると、そのカテゴリまたはサブカテゴリに含まれるキーワードタグの展開と折りたたみが切り替わります。

キーワードタグパネルでは、次の操作を行うことができます。


- すべてのキーワードタグ、タグのカテゴリおよびサブカテゴリを表示します。カテゴリまたはサブカテゴリの横にある三角形をクリックして、キーワードタグを展開するか折りたたみます。
- キーワードタグの作成、編集および削除を行います。
- カテゴリとサブカテゴリ内のキーワードタグを整理します。
- キーワードタグのリストを上下にスクロールします。

[トップへ戻る](#)

キーワードタグの作成

任意のカテゴリまたはサブカテゴリの下に新しいキーワードタグを作成して、カタログに新たに追加したメディアファイルを整理できます。新しいキーワードタグには、疑問符のアイコン  が付いています。

キーワードタグを作成ダイアログボックスで、キーワードタグを作成できます。


1. キーワードタグパネルにある新規ボタン  をクリックし、「新規キーワードタグ」を選択します。
2. キーワードタグを作成ダイアログボックスで、カテゴリポップアップメニューからキーワードタグの配置先のカテゴリまたはサブカテゴリを選択します。
3. 「名前」ボックスに、キーワードタグの名前を入力します。
注意：キーワードタグの名前のふりがなを変更するには、「名前（ふりがな）」ボックスに新しいふりがなを入力します。
4. 「メモ」ボックスにキーワードタグに関する情報を入力します（例えば、「休暇の写真」などの説明を記述しておきます）。
5. 「OK」をクリックします。

選択したカテゴリまたはサブカテゴリに属した形でキーワードタグがキーワードタグパネルに追加されます。

注意：キーワードタグを最初に適用したメディアファイルが、キーワードタグのアイコンとして使用されます。アイコンを変更するには、[キーワードタグアイコンの変更](#)を参照してください。

[トップへ戻る](#)

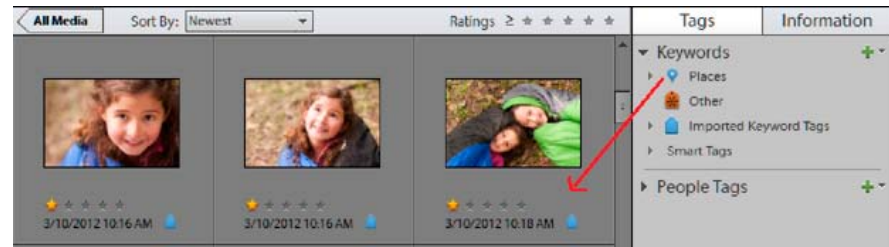
メディアファイルへのキーワードタグの適用

作成したキーワードタグは、タグに関連するメディアファイルに適用できます。1つのメディアファイルに複数のキーワードタグを適用することもできます。メディアファイルに3つのキーワードタグを適用した場合は、そのメディアファイルに適用されているすべてのキーワードタグが表示されます。メディアファイルに4つ以上のキーワードタグを適用した場合は、キーワードタグアイコン  が表示されます（QE 入力が必要）。キーワードタグを最初に適用したメディアファイルが、キーワードタグのアイコンとして使用されます。複数のメディアファイルをキーワードタグへドラッグした場合は、先頭にあるメディアファイルがキーワードタグのアイコンとして使用されます。

1. メディアビューで、キーワードタグを適用するメディアファイルを選択します（複数の写真を選択するには、Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながらメディアファイルをクリックします）。
2. 1つのキーワードタグを1つのメディアファイルに適用するには、次のいずれかの操作を行います。
 - キーワードタグパネルで1つのキーワードタグを選択し、選択したメディアファイルに重なるようにドラッグします。
 - メディアファイルをキーワードタグパネルのキーワードタグに重なるようにドラッグします。
3. キーワードタグを複数のメディアファイルに適用するには、次のいずれかの操作を行います。



キーワードタグパネルでキーワードタグを選択し、選択したメディアファイルのいずれかに重なるようにドラッグします。

- 1 つまたは複数のキーワードタグを選択し、選択したメディアファイルのいずれかに重なるようにドラッグします。



複数のキーワードタグを複数の写真にドラッグ

- キーワードタグパネルで 1 つまたは複数のキーワードタグを選択し、選択したタグのいずれかに重なるように写真をドラッグします。

  キーワードタグをアルバム内のすべてのメディアファイルに適用するには、アルバムパネルでアルバムをクリックします。メディアビューで、すべてのメディアファイルを選択します。キーワードタグパネルからキーワードタグを選択し、選択したメディアファイルに適用します。

[トップへ戻る](#)

自動解析

Elements Organizer の自動解析は、メディアの解析中に次のアイテムを自動的に検出してタグ付けします。

- 顔
- オーディオ
- ぼかし
- 明るさとコントラスト
- モーション
- 揺れ

自動解析後にタグを追加することができます。ただし、自動解析タグはメディアから削除できませんが、スマートタグリストで編集したり、削除したりすることはできません。

コンピューターの待機中のみ解析を実行

自動解析は、Elements Organizer にメディアを読み込んだ直後に実行されます。膨大な数のメディアを解析する場合は、システムの待機中に自動解析を実行します。

1. 編集／環境設定／メディア解析（Windows®）または Adobe Elements 11 Organizer／環境設定／メディア解析（Mac® OS）を選択します。
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - a. Elements Organizer で、待機中のみ人物の写真を解析する場合は、「人物の写真を自動的に解析」の選択を解除します。
 - b. Elements Organizer で、待機中のみ解析してスマートタグを生成する場合は、「メディアのスマートタグを自動的に解析」の選択を解除します。

Elements Organizer を開いたときに毎回自動解析を実行

1. 編集／環境設定／メディア解析（Windows®）または Adobe Elements 11 Organizer／環境設定／メディア解析（Mac® OS）を選択します。
2. Elements Organizer で Elements Organizer を開いたときに毎回メディアのスマートタグを解析する場合は、「システムの起動時に解析を実行」を選択します。

自動解析を手動で実行

1. メディアビューで、スマートタグを自動的に割り当てるメディアファイルを選択します（複数のファイルを選択するには、Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながらファイルをクリックします）。

2. メディアファイルを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）し、「自動解析を実行」を選択します。

スマートタグの自動解析の無効化

1. 編集／環境設定／メディア解析（Windows）または Adobe Elements 11 Organizer／環境設定／メディア解析（Mac OS）を選択します。
2. 「メディアのスマートタグを自動的に解析」の選択を解除します。

[トップへ戻る](#)

スマートタグ

スマートタグを適用すると、メディアファイル（写真やビデオ）を画質や内容ごとに簡単に検索することができます。自動解析によって、スマートタグが自動的にメディアファイルへ割り当てられます。自動解析では次の操作が可能です。

- メディアファイルの解析
- 手ブレ、暗い、明るいなどの画質に基づく写真およびシーンの識別

最適なメディアファイルを検索し、画質の悪いものは削除することができます。これらのタグは、画質に基づいてアセットを並べ替えるのに使用できます。自動解析されたメディアファイルを表示するには、Elements Organizer のインターフェイスの「スマートタグ」オプションを選択します。

重要： スマートタグの作成、編集、削除はできません。ただし、個々のクリップのスマートタグは削除、適用することができます。

自動解析のコンテンツ分析は、手動でも自動でも行うことができます。手動モードの場合、選択したアセットにスマートタグを割り当てることができます。自動モードの場合、分析およびアセットへのスマートタグの割り当てはバックグラウンド処理されます。

スマートタグの手動割り当て

1. メディアビューで、スマートタグを適用するメディアファイルを選択します（複数のファイルを選択するには、Ctrl キー（Mac OS では Cmd キー）を押しながらファイルをクリックします）。
2. 1 つのメディアファイルに 1 つのスマートタグを適用するには、次のいずれかの操作を行います。
 - スマートタグパネルで 1 つのスマートタグを選択し、選択したメディアファイルに重なるようにドラッグします。
 - メディアファイルをスマートタグパネルのタグに重なるようにドラッグします。
3. スマートタグを複数のメディアファイルに適用するには、次のいずれかの操作を行います。
 - スマートタグパネルでスマートタグを選択し、選択したメディアファイルに重なるようにドラッグします。
 - 1 つまたは複数のスマートタグを選択し、選択したメディアファイルのいずれかに重なるようにドラッグします。
 - スマートタグパネルで 1 つまたは複数のスマートタグを選択し、選択したタグのいずれかに重なるようにメディアファイルをドラッグします。



💡 キーワードタグをアルバム内のすべてのメディアファイルに適用するには、アルバムパネルでアルバムをクリックします。メディアビューで、すべてのメディアファイルを選択します。キーワードタグパネルからスマートタグを選択します。次に、タグを右クリックし、「選択したメディアに適用」を選択して、ファイルにタグを付けます。

[トップへ戻る](#)

キーワードタグを使用したメディアファイルの検索

❖ 検索バーにタグの名前を入力すると、入力された文字と一致するタグのリストが表示されます。例えば、「D」と入力した場合、「D」から始まるすべてのタグが表示されます。その中から必要なタグを選択できます。

検索条件として指定したキーワードタグが付いているメディアファイルが検索されます。キーワードタグが含まれているサブカテゴリまたはカテゴリを選択すると、その階層下にある写真

も含めてすべて表示します。例えば、「結婚式」サブカテゴリに「新郎」と「新婦」というキーワードタグがある場合、「結婚式」サブカテゴリを選択すると、Elements Organizer に「新郎」または「新婦」のタグの付いたメディアファイルが表示されます。

[トップへ戻る](#)

タグのすばやい作成と適用

Elements Organizer のインターフェイスの「キーワードタグ」テキストボックスでは、タグをすばやく作成し、適用することができます。このテキストボックスには、入力する文字に基づく既存のタグリストのサブセットが表示されます。例えば、「S」という文字を入力した場合、テキストボックスに「S」から始まるタグのリストのサブセットが表示されます。このリストから既存のタグを選択して、選択した一連のアセットに適用したり、タグを作成して適用したりすることができます。



タグの作成と適用

タグをすばやく作成


1. メディアファイルを選択します。
2. 「画像キーワード」テキストボックスにタグの名前を入力します。
3. 「新規タグ <タグ名> を作成」をクリックします。
4. 「追加」をクリックします。

タグをすばやく適用

1. タグを適用するアセットを選択し、次のいずれかの操作を行います。
 - 「キーワードタグ」テキストボックスにタグの名前を入力します。
 - 例えば、「A」と入力すると、「A」の文字から始まるタグのリストが表示されます。使用するタグを選択してください。
2. 「追加」をクリックします。
選択したアセットにタグが適用されます。

[トップへ戻る](#)

新しいキーワードタグカテゴリまたはサブカテゴリの作成

1. 「整理」タブのキーワードタグパネルで、新規ボタン  をクリックし、「新規カテゴリ」または「新規サブカテゴリ」のいずれかを選択します。
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - 新規カテゴリを作成するには、「カテゴリ名」ボックスに名前を入力します。「カラーを選択」をクリックして、そのカテゴリ内のキーワードタグに付けるカラーを指定します。次に、カテゴリアイコンリストからアイコンをクリックして選択します。
 - 新規サブカテゴリを作成するには、「サブカテゴリ名」ボックスに名前を入力します。次に、「1 つ上のカテゴリまたはサブカテゴリ」ポップアップメニューで、新規サブカテゴリの配置先を選択します。
3. 「OK」をクリックします。

新しいカテゴリまたはサブカテゴリがキーワードタグパネルに表示されます。

注意：サブカテゴリは編集または削除することができますが、サブカテゴリのアイコンは常に単色のタグとして表示され、アイコンに写真を使用することはできません。

関連項目

[検索ボックスを使用したメディアファイルの検索](#)

[キーワードタグパネルとアルバムパネルの環境設定](#)

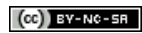
[クイック整理パネル](#)

[写真からのキーワードタグの削除](#)

[キーワードタグアイコンの変更](#)

[人物認識](#)

 [見た目の違いに基づく検索](#)



[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

検索

このページからリンクされている内容の一部は英語版のみです。

ファイルメニューの使用

詳細検索を使用したメディア項目の検索
詳細（メタデータ）によるメディアファイルの検索
メディアの種類によるファイルの検索
履歴によるメディアファイルの検索
キャプションまたはメモによるメディアファイルの検索
ファイル名によるメディアファイルの検索
見つからないファイルの検索
すべてのバージョンセットの検索
すべてのスタックの検索
アイテムの検索を使用した検索
日付または時間が不明なメディアファイルの検索
タグなしアイテムを検索
未解析のコンテンツの検索
アルバムにない項目の検索
プロジェクトで使用する写真の検索（Windows のみ）

詳細検索を使用したメディア項目の検索

[ページの先頭へ](#)

Elements Organizer には、詳細検索が用意されています。この検索を使用して、タグ検索を拡張し、人物、場所およびイベントに加えて、キーワードタグも指定できます。キーワードタグパネルから検索を開始すると、詳細検索はチェック済みの選択されたキーワードタグを使って処理を開始し、グリッドに検索結果が表示されます。詳細検索を使用すると、様々なタグに基づいてメディアをすばやく検索できます。

1. 検索／詳細検索を使用を選択します。詳細検索バーが表示されます。
2. キーワード、人物、場所、イベントについて検索条件を指定します。
 - 項目をクリックすると、検索条件に追加されます。
 - 項目を右クリックまたは Control キーを押したままクリックし、「除外」を選択すると、検索条件から削除されます。

検索条件に合うメディア項目が表示されます。

詳細（メタデータ）によるメディアファイルの検索

[ページの先頭へ](#)

ファイルの詳細情報や利用可能なメタデータによって画像を検索できます。メタデータによる検索は、複数の条件を使用して一度に検索する場合に便利です。例えば、2011 年 12 月 31 日に撮影した、「母」のキーワードタグを含むすべての写真を検索する場合、詳細検索（メタデータ）ダイアログボックスで撮影日付とキーワードタグの両方を検索条件として指定できます。

検索可能なメタデータには、ファイル名、ファイルの種類、キーワードタグ、アルバム、メモ、作成者、撮影日付などの条件、およびカメラの機種、シャッタースピード、F-Stop（絞り値）などが含まれます。

注意： Camera Raw ファイルを検索すると、拡張子 .tif の TIFF ファイルも検索されます。




詳細検索（メタデータ）ダイアログボックスを使用して様々な写真の詳細情報を同時に検索します。

1. Elements Organizer で、検索／詳細（メタデータ）を選択します。
2. 詳細検索（メタデータ）ダイアログボックスで、最初のポップアップメニューからメタデータの種類を選択します。
3. 2 番目のポップアップメニューで、「次で始まる」、「次の数値よりも大きい」、「含む」など、検索の範囲を選択します。この範囲指定によって、3 番目のポップアップメニューに入力するテキストを、検索条件としてどのように使用するかを Elements Organizer に指示します。

す。一部の条件にはこのポップアップメニューは表示されません。

- 3 番目のポップアップメニューで、検索するメタデータの名前または値を入力または選択します。
- 検索条件に他のメタデータも指定するには、3 番目のポップアップメニューの右側にあるプラス (+) 記号をクリックし、表示される 2 つまたは 3 つのポップアップメニューで新しい値を指定します。
- 検索条件からメタデータを削除するには、削除するメタデータの右側にあるマイナス (-) 記号をクリックします。
- (オプション) 「この検索条件を保存検索として保存」を有効にし、検索の名前を入力します。
- 「検索」をクリックします。

 検索条件を変更するには、検索バーでオプション／検索条件を変更をクリックし、必要に応じて変更を行って、「検索」をクリックします。

メディアの種類によるファイルの検索

[ページの先頭へ](#)

特定の種類のメディアファイルだけを Elements Organizer に表示することができます。メディアの種類を選択すると、写真、オーディオおよび作品など、特定のアイテムの種類を対象に検索を実行できます。他の検索条件と組み合わせてメディアの種類で検索する場合は、検索／詳細 (メタデータ) コマンドを使用します。

- Elements Organizer で、検索／メディアの種類を選択し、次のいずれかのオプションを選択します。

写真 写真のみが表示されます。

ビデオ ビデオクリップのサムネール (ビデオクリップの最初のフレーム) のみが表示されます。

オーディオ オーディオクリップのみが表示されます。

プロジェクト 以前のバージョンの Elements Organizer 11 で作成したプロジェクトだけが表示されます。

PDF PDF ファイルが表示されます。

オーディオキャプション付きのアイテム オーディオキャプションが付いている写真やプロジェクトだけが表示されます。

選択したメディアの種類のファイルがメディアビューに表示されます。

履歴によるメディアファイルの検索

[ページの先頭へ](#)

Elements Organizer では、メディアファイルの取り込み元の場所、使用方法、共有または書き出し方法を追跡できます。この履歴を使用して、写真およびメディアファイルを検索することができます。

- 検索／履歴を選択します。履歴サブメニューに表示されている検索条件項目を使用して検索することができます。

注意: Mac OS では、オプション「書き出したアイテム」と「プリントしたアイテム」は使用できません。

- 1 つ以上の [取り込んだ、電子メールに添付した、など] アイテムを選択ダイアログボックスで、リスト内のアイテムを選択して、「OK」をクリックします。

注意: リストから特定の履歴を完全に削除するには、1 つ以上の [取り込んだ、電子メールに添付した、など] アイテムを選択ダイアログボックスでリストアイテムを選択し、「削除」ボタンをクリックするか、キーボードの Delete キーを押します。「削除」ボタンは、取り込んだアイテムの履歴またはプロジェクトで使用したアイテムの履歴には使用できません

キャプションまたはメモによるメディアファイルの検索

[ページの先頭へ](#)

「キャプションまたはメモ」検索オプションまたは「詳細 (メタデータ)」検索オプションのいずれかを使用して、キャプションまたはメモを検索できます。他の検索条件と組み合わせてキャプションやメモを検索する場合は、「詳細 (メタデータ)」オプションを使用します。

- Elements Organizer で、検索／キャプションまたはメモを選択します。
- キャプションまたはメモで検索ダイアログボックスで、テキストボックスに検索文字列を入力します。
- 次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。


キャプションまたはメモの最初の部分のみを検索 入力した文字列から始まるキャプションまたはメモが付いているメディアファイルやその他のファイルを検索します。

キャプションまたはメモの全体を検索 入力した文字列の一部を含むキャプションまたはメモが付いている写真やその他のファイルを検索します。

ファイル名によるメディアファイルの検索

「ファイル名」検索オプションまたは「詳細（メタデータ）」検索オプションのいずれかを使用して、ファイル名により検索できます。他の検索条件と組み合わせてファイル名で検索する場合は、「詳細（メタデータ）」オプションを使用します。

1. Elements Organizer で、検索／ファイル名を選択します。
2. ファイル名で検索ダイアログボックスに検索する文字を入力して「OK」をクリックすると、入力した文字がファイル名に含まれる写真が検索されます。

 ファイル名で検索ダイアログボックスにファイルの拡張子（JPEG、BMP など）を入力して、ファイル形式でファイルを検索することもできます。

見つからないファイルの検索

プロジェクトや作品の中で見つからないファイルを検索することができます。Elements Organizer で、検索／すべての見つからないファイルを選択します。

すべてのバージョンセットの検索

すべてのバージョンセットを検索すると、各セットの先頭の写真が Elements Organizer に表示されます。必要に応じて各セットを展開できます。

1. Elements Organizer で、検索／すべてのバージョンセットを選択します。
2. バージョンセットを展開するには、バージョンセットを右クリックまたは Control キーを押したままクリックし、バージョンセット／バージョンセットのアイテムを展開を選択します。

すべてのスタックの検索

カタログ内のすべてのスタックを検索することができます。Elements Organizer で、検索／すべてのスタックを選択します。

アイテムの検索を使用した検索

アイテムの類似性に基づく検索では、Elements Organizer は検索中に被写体のカラーやシェイプといった写真の中の情報を利用します。アイテムの検索を使用して、類似の被写体、カラー、シェイプが含まれている画像をすばやく検索します。また、写真を検索するときに Elements Organizer がカラーやシェイプに対して割り当てる相対的な重要度を指定することも選択できます。

Elements Organizer で、検索／アイテムの検索別を選択します。アイテムの検索別サブメニューに表示されている検索条件項目を使用して検索することができます。詳しくは、アイテムの類似性に基づく検索を参照してください。

日付または時間が不明なメディアファイルの検索

- Elements Organizer で、検索／日付または時間が不明なアイテムを選択します。日付または時間が不明なメディアファイルがメディアビューに表示されます。

タグなしアイテムを検索

Elements Organizer で、検索／タグなしアイテムを選択します。

カタログ内のメディアファイルのうち、キーワードタグ、人物、場所またはイベントが割り当てられていないメディアファイルがすべて表示されます。

未解析のコンテンツの検索

Elements Organizer で検索／未解析のコンテンツを選択します。

カタログ内のメディアファイルのうち、解析されていないメディアファイルがすべて表示されます。


アルバムにないアイテムの検索

どのアルバムにも含まれていないすべてのメディアアイテムを検索することができます。Elements Organizer で検索／アルバムなしのアイテムを選択します。

プロジェクトで使用する写真の検索（Windows のみ）


[ページの先頭へ](#)

- 次のいずれかの操作を行います。
 - メディアビューでプロジェクトを右クリックし、「プロジェクトで使用されているアイテムをメディアビューで表示」を選択します。メディアビューに写真が表示されます。このコマンドは、プロジェクトの写真のキャプションを編集するとき、またはまとめて変更を加えるときに便利です。
 - プロジェクトを検索バーにドラッグして、メディアビューに写真を表示します。
 - 検索／履歴／プロジェクトで使ったアイテムを選択します。プロジェクトのリストが表示されます。プロジェクトをダブルクリックするか、1 つまたは複数のプロジェクトを選択して「OK」ボタンをクリックすると、プロジェクトで使用されているメディアが表示されます。

 写真がプロジェクトで使用されているかどうかは、プロパティパネルの履歴でも確認できます。

関連トピック

- [タイムグラフを使用したメディアファイルの検索](#)

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

キーワードタグによるメディアファイルの検索

キーワードタグを使用したメディアファイルの検索
キーワードタグを使用した検索結果のビューの表示
検索バーを使用した絞り込み検索
タグなしメディアファイルの検索
キーワードタグ検索の取り消し
重要度を使用した検索
メディアファイルを検索から除外

キーワードタグを使用したメディアファイルの検索

[ページの先頭へ](#)

キーワードタグにより、写真やその他のファイルをすばやく検索することができます。キーワードタグを使用して写真およびメディアファイルを検索すると、詳細検索バーに選択したキーワードタグが表示されます。キーワードタグパネルでタグを選択すると、選択したタグが適用されている写真が検索されます。



タグ名の横にある > シンボルをクリックして、特定のキーワードタグが付いたメディアファイルを検索します。

- ・キーワードタグパネルで、ポインターをタグ名の上に動かすと表示される > シンボルをクリックします。Elements Organizer は、選択したキーワードタグを持つメディアを検索し、結果をグリッドに表示します。詳細検索ウィジェットには、この検索用に選択したタグが表示されます。
- ・検索条件からキーワードタグを削除するには、詳細検索バーでタグを選択解除します。
- ・検索から特定のキーワードタグを持つメディアファイルを除外するには、詳細検索バーで対象となるタグを右クリックまたは Control キーを押したままクリックし、「除外」を選択します。

キーワードタグを使用した検索結果のビューの表示

[ページの先頭へ](#)

キーワードタグを使用して検索すると、一致するアイテム、類似するアイテム、一致しないアイテムごとに検索結果がグループ化されます。初期設定では、条件に最も近い結果が表示されます。別のビューも選択できます。

1. 検索バーのオプションをクリックすると、検索条件ポップアップメニューが表示されます。
2. 「条件に最も近いアイテムを非表示」、「条件に近いアイテムを表示/非表示」または「条件に一致しないアイテムを表示/非表示」のいずれかを選択します。結果は次のようにグループ化されます。

一致するアイテム 検索条件として選択したキーワードタグがすべて適用されているメディアファイルです。検索に使用するキーワードタグを増やして検索条件を絞り込むほど、一致するアイテムは少なくなります。

類似するアイテム 検索条件として指定したキーワードタグのうち、（すべてではなく）いずれかのタグが1つでも適用されているメディアファイルのことを類似するアイテムといいます。類似するメディアファイルには、サムネールに白いチェックマークが付きます。例えば、複数のキーワードタグで検索すると、1つのキーワードタグだけが付いた写真は類似するアイテムとして表示されます。検索したいいずれかの

キーワードタグを含むメディアファイルを表示するには、このグループを選択します。

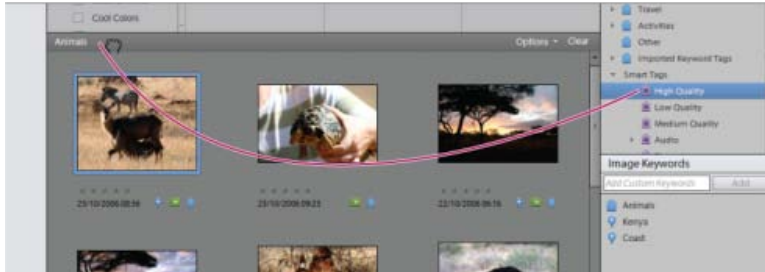
説明：検索した後、類似するアイテムを自動的に表示するには、編集／環境設定／一般、または、Adobe Elements Organizer 11／環境設定／一般を選択し、「検索で類似するアイテムを表示」を選択して「OK」をクリックします。

一致するアイテムなし 検索条件として選択したキーワードタグが 1 つも適用されていないメディアファイルです。サムネールに一致するアイテムなしアイコンが付きます。

検索バーを使用した絞り込み検索

[ページの先頭へ](#)

検索を絞り込むには、検索条件として追加するキーワードタグを検索バーにドラッグします。検索バーで、アルバムまたはプロジェクトで使用されているメディアファイルを検索することもできます。



キーワードタグを検索バーにドラッグ

1. キーワードタグパネルが開いていることを確認します。
2. キーワードタグを検索バーに追加して検索を絞り込みます。一度に複数のキーワードタグを検索バーにドラッグして追加することができます。連続した複数のキーワードタグを選択するには、Shift キーを押しながらキーワードタグパネル上で選択対象の最初と最後のタグをクリックします。連続していない複数のタグを選択するには、Ctrl キーを押しながらタグを 1 つずつクリックします。
3. 検索バーで、タグ、カテゴリまたはサブカテゴリを右クリックまたは Control キーを押したままクリックし、次のいずれかを選択します。
 - 検索結果から [キーワードタグ、カテゴリまたはサブカテゴリの名前] を削除します。
 - [キーワードタグ、カテゴリまたはサブカテゴリの名前] を持つ写真を除外します。
4. 検索を消去し検索バーを閉じるには、「消去」をクリックします。

タグなしメディアファイルの検索

[ページの先頭へ](#)

- Elements Organizer で、検索／タグなしアイテムを選択します。

カタログ内のメディアファイルのうち、キーワードタグ、スマートタグ、人物、場所またはイベントが割り当てられていないメディアファイルがすべて表示されます。

キーワードタグ検索の取り消し

[ページの先頭へ](#)

- カタログ内のすべてのメディアファイルを返すには、「すべてのメディア」をクリックします。

重要度を使用した検索

[ページの先頭へ](#)

重要度フィルターを使用すると、お気に入りの（または気に入らない）写真、ビデオクリップ、オーディオクリップ、プロジェクトを簡単に検索することができます。さらに、重要度とキーワードタグを組み合わせることで検索条件に指定することもできます。

1. 星の横にある重要度メニューから、いずれかのオプションを選択します。
 - 重要度がこれ以上のアイテム
 - 重要度がこれ以下のアイテム
 - 同じ重要度のアイテム
2. 重要度フィルターで、星の 1 つを選択します。



重要度メニューからオプションを選択

メディアファイルを検索から除外

[ページの先頭へ](#)

検索結果から不必要なメディアファイルを除外して、さらに結果を絞り込むことができます。例えば、「友達」サブカテゴリを検索してから、ある友達のタグに「除外」オプションを適用すると、そのようなメディアを検索結果から除外することができます。カテゴリ全体またはサブカテゴリ全体を検索から除外することもできます。

- 次のいずれかの操作を行います。
 - 詳細検索バーで、検索から除外するメディアファイルのタグを右クリックまたは Control キーを押したままクリックし、「除外」を選択します。
 - 検索バーでキーワードタグを右クリックまたは Control キーを押したままクリックし、「[キーワードタグ、カテゴリまたはサブカテゴリの名前] を含む写真を除外」を選択します。または、キーワードタグをダブルクリックして、そのタグを検索バーから削除します。
- 💡 例えば、サーフィン中に撮った画像すべてを検索するが、ぼやけた写真は除外するという場合です。スマートタグも、詳細検索ウィジェットのキーワードタグパネルに表示されます。Elements Organizer 11 は、「サーフィン」というキーワードタグのみを持つ写真を検索し、「ぼやけた」というスマートタグが適用されている写真を除外します。

Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

メディアファイルの検索

メディアファイルの検索

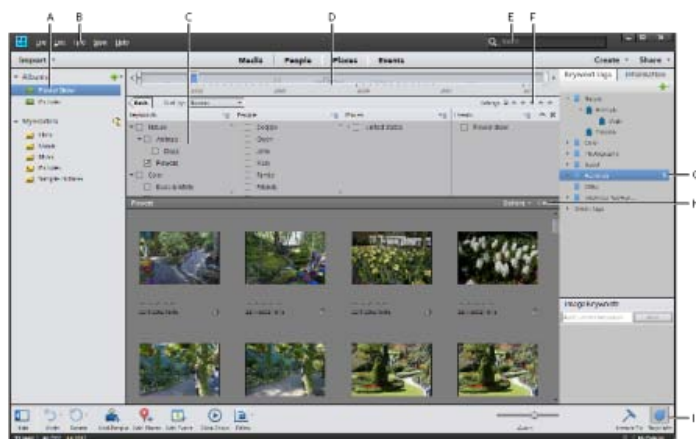
検索ボックスを使用したメディアファイルの検索

ディスク上のファイルの検索

[ページの先頭へ](#)

メディアファイルの検索

Elements Organizer では、日付、類似性、重要度、アルバム、フォルダーの保存先、ファイル名、メディアの種類、キーワードタグ、テキスト、またはその他の条件で写真とメディアファイルを検索することができます。また、あらゆるグループ内のファイルを、日付の昇順／降順、またはアルバム別に並べ替えることができます。



A. アルバムとフォルダーのパネル B. 検索メニュー C. 詳細検索 D. タイムグラフ E. 検索ボックス F. 星の数によるフィルター G. キーワードタグパネル H. 検索バー I. キーワードパネルの表示/非表示

Elements Organizer には、メディアファイルを検索する方法がいくつかあります。次に示すいずれかの方法、または組み合わせにより、目的のメディアを検索することができます。

アルバムとフォルダーのパネル

アルバムまたはフォルダーを選択すると、その中にあるメディアファイルが表示されます。アプリケーションウィンドウ下部の制御バーにある「パネルを表示/非表示」ボタンを使用して、パネルを表示したり非表示にしたりできます。

検索メニュー

このメニューのコマンドを使用して、日付、キャプションまたはメモ、ファイル名、履歴、バージョン、メディアの種類、メタデータ、または類似性によってメディアファイルを検索します。日付や時刻が不明なアイテム、キーワードタグの付いていないアイテム、またはどのアルバムにも含まれていない写真やメディアファイルを検索するなどの、詳細検索を開始するコマンドもあります。詳しくは、ファイルメニューの使用を参照してください。

詳細検索

詳細検索を使用すると、キーワード、人物、場所またはイベントの組み合わせを指定して、選択したタグを持つメディアを表示することができます。詳細検索を有効にするには、検索／詳細検索を使用を選択するか、検索ボックスのドロップダウンメニューから「詳細検索」を選択します。詳しくは、詳細検索を使用したメディア項目の検索を参照してください。

タイムグラフ

月をクリックするか、範囲を設定すると、日付、読み込みバッチにより時系列（並べ替えバー）で、あるいはフォルダーの位置（管理対象ビューとツリービュー）により、写真やメディアファイルを検索することができます。表示／タイムグラフ (Ctrl/Command + L) を選択すると、タイムグラフが表示されます。詳しくは、タイムグラフを使用したメディアファイルの検索を参照してください。

重要度フィルター

指定した重要度と等しい、より大きい、または小さい重要度が指定されているメディアファイルのみを表示します。詳しくは、重要度を使用した検索を参照してください。

検索ボックス

テキストを入力すると、それと一致するテキストがファイル名、メタデータ、キャプション、メモ、日付、アルバム名、人物、イベントまたは場所にあるメディアファイルを検索します。


また、画像を選択してから検索ボックスドロップダウンメニューからオプションを選択することもできます。類似性、オブジェクト、重複する写真などの一般的な検索が可能です。保存検索にもすばやくアクセスできます。詳しくは、[検索ボックスを使用したメディアファイルの検索](#)を参照してください。

キーワードタグパネル

キーワードタグを選択して、そのタグが付いているメディアファイルを表示します。詳しくは、キーワードタグによるメディアファイルの検索を参照してください。

検索バー

写真のキーワードタグ、プロジェクトまたはアルバムを検索バーにドラッグし、検索を絞り込むことができます。検索バーは、初期設定では表示されませんが、検索を実行すると表示されます。

 表示メニューにあるコマンドを使用して、写真、ビデオ、オーディオ、プロジェクトおよび PDF などのファイルの種類の表示または非表示を設定できます。表示メニューには、「非表示」とマークされたメディアファイルを表示するためのオプションもあります。

検索ボックスを使用したメディアファイルの検索

[ページの先頭へ](#)

様々な検索条件により、メディアファイルの検索を効率よく簡単に行うことができます。検索ボックスを使用すると、テキストベースの検索を実行することができます。名前または単語を入力すると、Elements Organizer には、様々な条件でテキストが一致するメディアファイルが表示されます。一致させるものには、次のアイテムが含まれます。

- 作成者
- キャプション
- 日付
- ファイル名
- キーワードタグ
- メモ
- アルバム名
- アルバムグループ
- カメラメーカー
- カメラの機種
- 人物
- 場所
- イベント

テキスト検索では、前後にスペースを入れて、演算子 AND、OR、NOT もサポートします。次の表で、テキストベースの検索実行に使用できる検索条件を詳しく説明します。

検索条件	説明	ファイル形式	例
日付	指定した日付と一致するメディア要素を表示します。	<ul style="list-style-type: none">• 日付: dd/mm/yyyy• 日付: mm/dd/yyyy• 日付: yyyy• 日付: 今年• 日付: 前年• 日付: 今日• 日付: 前週	
タグ	指定したタグと一致するメディア要素を表示します。	タグ:<タグ名>	タグ:人物
ファイル名	指定したファイル名と一致するメディア要素を表示します。	ファイル名:<ファイル名>	ファイル名:_MG_7409.jpg または ファイル名:_MG_7409

キャプション	指定したキャプションと一致するメディア要素を表示します。	キャプション:<キャプション>	キャプション:ディズニーランド
デバイスメーカー	指定したカメラメーカーと一致するメディア要素を表示します。	デバイスメーカー:<カメラのメーカー>	デバイスメーカー:キャノン
デバイスモデル	指定したカメラの機種と一致するメディア要素を表示します。	デバイスモデル:<モデル名>	デバイスモデル:キャノン EOS 5D
作成者	指定した作成者名と一致するメディア要素を表示します。	作成者:<作成者名>	作成者:James
メモ	指定したメモと一致するメディア要素を表示します。	メモ:<メモ>	メモ:ディズニーランドへの旅
人物	指定した人物と一致するメディアを表示します。	人物:<人物名>	人物:ジョン
場所	指定した場所と一致するメディアを表示します。	場所:<場所名>	場所: ディズニーランド
イベント	指定したイベントと一致するメディアを表示します。	イベント:<イベント名>	イベント: ピクニック

検索ボックスには、入力した文字に基づいて既存のタグのリストが表示されます。例えば、「ディズニーランド」というタグが付いているメディアを検索するには、検索ボックスに「デ」と入力します。検索ボックスには、「デ」で始まるタグのリストが表示されます。さらにテキストを入力していくと、リストは動的に変化し、入力したテキストと一致するタグが表示されます。リストにあるいずれかのアイテムをクリックすると、そのタグの検索が実行され、Elements Organizer に結果が表示されます。


ディスク上のファイルの検索

ページの先頭へ

サーバーにファイルをアップロードしている場合や、ドキュメントのレイアウトにファイルを埋め込んでいる場合、実際のファイルが必要になります。写真やメディアの実際のファイルを検索するには、次の処理を実行します。

1. ファイルを検索する写真やメディアクリップを選択します。
2. Alt + Enter キーを押す (Windows) または Option + Enter キーを押す (Mac OS) と、情報パネルが開きます。
3. 「一般」セクションに、ディスク上の実際の場所が表示されます。「保存先」をクリックすると、エクスプローラー (Windows) または Finder (Mac OS) にファイルのあるフォルダーが開きます。

関連リンク

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

法律上の注意 | プライバシーポリシー

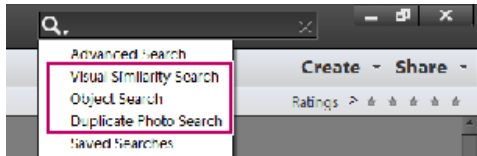
メディアを探すための検索オプション

類似するアイテムの検索

オブジェクト検索

重複する写真の検索

アイテムの類似性に基づく検索では、Elements Organizer は検索中に被写体のカラーやシェイプといった写真の中の情報を利用します。アイテムの検索を使用して、類似の被写体、カラー、シェイプが含まれている画像をすばやく検索します。写真を検索するときに、Elements Organizer がカラーやシェイプに割り当てるべき相対的な重要性を指定することもできます。



類似するアイテムの検索のオプション

アイテムの検索は、類似する写真をすばやく特定して、タグを付けるのに役立ちます。検索結果を使用して、保存検索を作成することもできます。

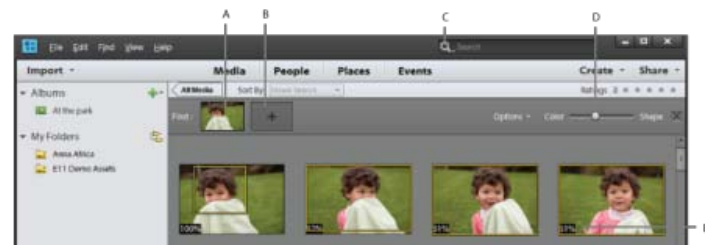
詳しくは、保存検索の作成と編集を参照してください。

類似するアイテムの検索

[ページの先頭へ](#)

被写体、カラー、全般的な外観が似ている写真を検索するときに、このオプションを使用します。例えば、類似するアイテムの検索を使用して、同じビーチで撮った写真を探すことができます。

類似するアイテムの検索は、プロジェクト、写真およびビデオに対して機能します。類似するアイテムの検索は、スライドショー作品はサポートしていません。



アイテムの類似性に基づく検索

A. 検索用に指定された画像 B. 画像をドロップするプレースホルダー C. 検索メニュー D. カラー-シェイプスライダー E. アイテムの類似性のパーセンテージ

1. 検索メニューから「類似するアイテムの検索」を選択します。
2. 写真を選択します。あるいは、検索バーのプレースホルダーに写真をドラッグ&ドロップします。
3. (オプション) 写真を追加して検索を絞り込むには、検索バーに写真をドラッグします。

例えば、お誕生パーティーでケーキカットしている孫の写真を検索しているとします。孫とケーキの写真を検索バーに追加すると、検索結果の精度が上がります。

アイテムの類似性のパーセンテージが、検索に使用した写真上に表示されます。

4. (オプション) 検索オプションから写真を削除するには、検索バーで写真をダブルクリックします。
5. (オプション) 検索対象の写真内のシェイプやカラーに基づいて検索を絞り込むことができます。カラー-シェイプスライダーを使用すると、写真を検索するときに、Elements Organizer がカラーやシェイプに割り当てるべき相対的な重要性を指定することができます。

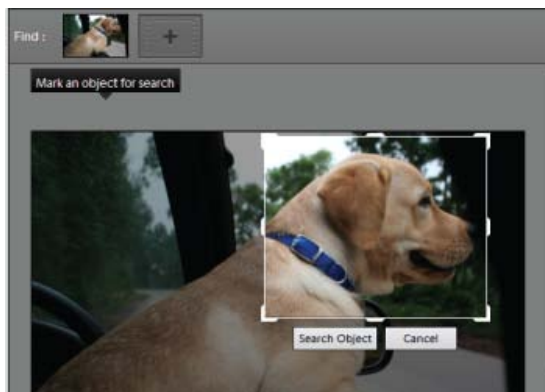
例えば、スライダーを「シェイプ」側に動かすと、建造物の検索結果が向上します。同じビーチで撮影した写真を検索する場合、スライダーを「カラー」側に動かすと結果が向上します。

オブジェクト検索

オブジェクト検索では、まず、写真の中の検索目標として定義する被写体を選択します。Elements Organizer はその検索目標を使用して、写真を検索するときの優先度を割り当てます。

例えば、飼い犬が写っている写真を検索するには、いずれかの写真にある犬の顔を選択します。写真を検索するとき、Elements Organizer はその犬が写っている写真に高い優先度を割り当てます。

1. その被写体が写っている写真を選択します。
2. 検索メニューから、「オブジェクト検索」を選択します。単一画像ビューが選択ツールとともに表示されます。



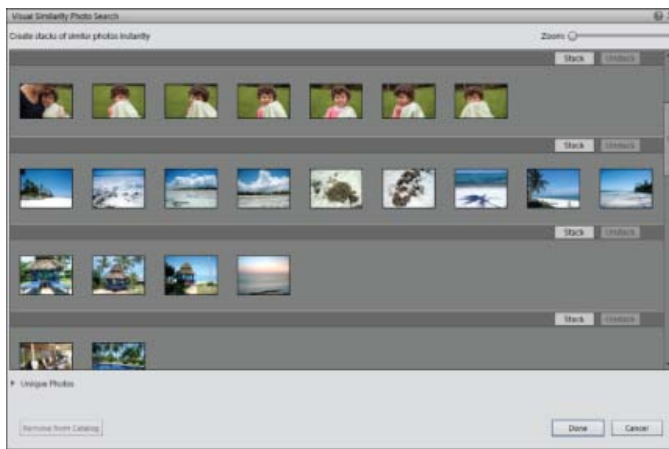
選択ツールを使用して選択した検索用に定義された被写体

3. 選択ツールをドラッグしてサイズを変更し、被写体を選択します。
4. 「検索オブジェクト」をクリックします。
被写体を含むシーンが表示されます。それぞれのサムネールに類似度が表示されます。
5. (オプション) 写真を追加して検索を絞り込むには、検索バーに写真をドラッグします。
6. (オプション) 検索オプションから写真を削除するには、検索バーで写真をダブルクリックします。
7. (オプション) カラー-シェイプスライダーを使用すると、写真を検索するときに、Elements Organizer がカラーやシェイプに割り当てるべき相対的な重要性を指定することができます。

重複する写真の検索

重複する写真の検索は、連写モードで撮影した写真を探す場合に特に便利です。Elements Organizer は、アイテムの類似性と撮影した時刻に基づいて写真を検索してスタックします。それからさらに処理を進めて、スタックにある画像を選択したり、画像を再分類したりできます。

1. 重複する写真の管理を行うアルバムを右のペインから選択します。
2. 検索メニューで、「重複する写真の検索」を選択します。検索結果が表示されます。




重複する画像の検索

一致しなかった写真は、重複しない写真スタックにあります。このスタックから他の任意のスタックへと、写真をドラッグ&ドロップすることができます。

3. 各自の要件に基づいて、次のオプションを使用します。

- スタックにある写真を再分類するには、スタックから別のスタックへと写真をドラッグ&ドロップします。
- 関連する写真をスタックするには、写真を選び、「スタック」をクリックします。
- 写真のスタックを解除するには、写真のスタックを選択し、「スタック解除」をクリックします。
- スタックを開くには、スタックを右クリックし、「スタックの写真を展開」を選択します。
- スタックを閉じるには、展開されているスタックにあるいずれかの写真を右クリックし、「スタックの写真を折りたたむ」を選択します。
- スタックから写真を削除するには、写真を右クリックし、「スタックから写真を削除」を選択します。
- 閉じた状態のスタックに表示する必要のある写真を指定するには、写真を右クリックし、「先頭の写真として設定」を選択します。
- 写真を削除するには、「カタログから削除」をクリックします。
- 単一画像ビューにあるいずれかの画像を表示するには、その画像をダブルクリックします。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

タイムグラフを使用したメディアファイルの検索

Elements Organizer は、メディアファイルにタグが付いていない場合でも、メディアビューのタイムグラフにすべてのメディアファイルを自動的に整理します。タイムグラフは月と年に分かれています。タイムグラフで月をクリックすると、特定の月および年の画像を表示できます。特定の月や年から画像を表示するには、設定点を使用します。タイムグラフにある任意のバーをクリックすると、タイムグラフの月を表すそのバーに属する最初の画像が緑のバウンディングボックスでハイライトされます。

タイムグラフの各バーの高さは、日付順または取り込み順に基づく、月毎のファイルの数に比例します。また、タイムグラフで特定の期間を選択すると、その期間に撮影またはスキャンしたメディアファイルが表示されます。

タイムグラフにあるバー上にポインターを置いたままにすると、ツールヒントが表示されます。マウスをどちらかの設定点上に置くと、ツールヒントには範囲（設定点の現在位置に対応する月および年）が表示されます。

検索を適用すると、タイムグラフにはすべてのバーが表示されますが、グリッドに表示されるメディアに対応するバーのみが有効になります。それ以外のバーはすべて無効になります。

表示／タイムグラフを選択すると、タイムグラフが表示されます。または、Ctrl + L（Windows）または Command + L（Mac OS）を使用します。タイムグラフは、メディアビューにのみ表示されます。他のすべてのビューでは、タイムグラフは表示されず、「表示／タイムグラフ」の選択は無効です。

注意： タイムグラフは、メディアビューにのみ表示されます。他のすべてのビューでは、タイムグラフは表示されず、「表示／タイムグラフ」の選択は無効です。



タイムグラフの使用

A. タイムグラフ矢印 B. セット範囲外の写真を示す暗い領域 C. 設定点 D. 日付マーカ E. タイムグラフバー F. バーの範囲を明確にするツールヒント

タイムグラフとキーワードタグ、アルバムまたはフォルダーを組み合わせ、検索条件を絞り込むことができます。例えば、ある期間にコートニーが撮った写真を検索するには、キーワードタグ「コートニー」を使用して検索します。コートニーのメディアファイルを含むタイムグラフの中の任意の月をクリックし、その設定点をドラッグすると、指定期間に撮影またはスキャンされたメディアが表示されます。

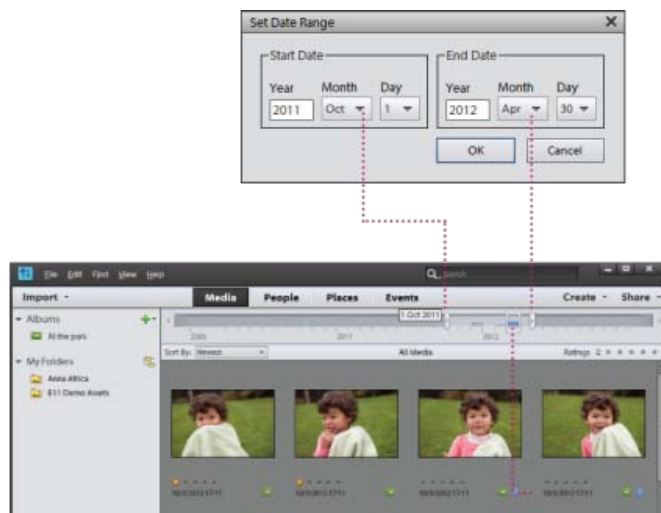
タイムグラフの一部ブランクバーは、現在の検索結果に含まれていないメディアファイルがあることを示します。

アルバム／タグ／フォルダー／詳細検索／全文検索など、任意の検索を適用すると、タイムグラフにすべてのバーが表示されます。しかし、これらのバーはグリッドに表示されるメディアに応じて有効になります。他のすべてのバーは無効化された状態で表示されます。

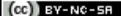
タイムグラフを使用したメディアファイルの表示および検索

[ページの先頭へ](#)

1. タイムグラフが表示されていることを確認します。必要に応じて、表示／タイムグラフを選択します。
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - タイムグラフの両端にあるスクロールボタンを使用して、タイムグラフ内の検索対象部分に移動します。
 - タイムグラフ内のバーをクリックするか、日付マーカをバーにドラッグすると、そのバーに関連する最初のメディアファイルが表示されます。
 - タイムグラフの設定点を左右にドラッグして表示範囲を指定します。
 - 表示／期間を設定を選択します。開始日と終了日を入力して表示範囲を指定し、「OK」をクリックします。日付範囲を最初の状態に戻すには、表示／期間を削除を選択します。
 - Elements Organizer には、セット範囲内のメディアファイルが表示されます。設定点をドラッグして表示する期間をさらに絞り込むことができます。



表示／期間を設定から、日付範囲を設定します。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

保存検索の作成と編集

保存検索

保存検索の作成

保存検索の編集と類似保存検索の作成

保存検索の削除

保存検索

[ページの先頭へ](#)

保存検索は、指定した条件に合うメディアを集めたアルバムです。保存検索を作成すると、その保存検索の条件に合うメディアがあれば、その保存検索結果に自動的に表示されます。カタログに新しいメディアを追加すると、保存検索の条件に合うメディアがその保存検索結果に自動的に表示されます。保存検索は、自動的に更新されます。

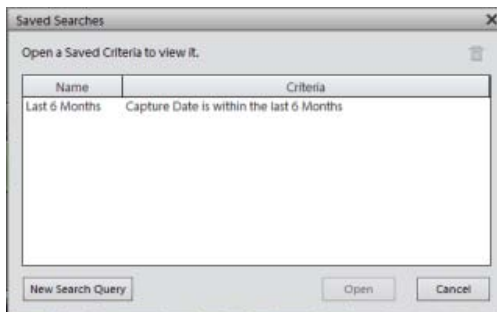
保存検索の作成

[ページの先頭へ](#)

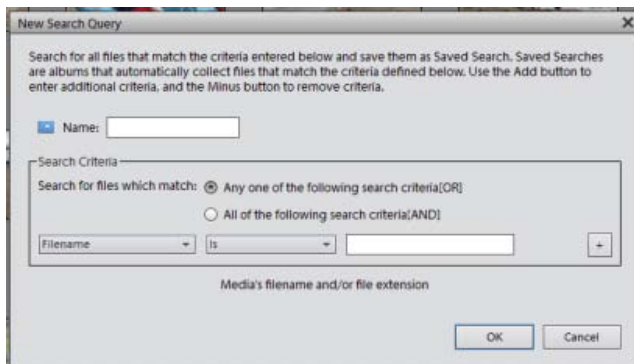
1. 検索アイコンをクリックします。ドロップダウンリストから「保存検索」を選択します。



2. 保存検索ダイアログボックスで、「新規検索クエリー」をクリックします。



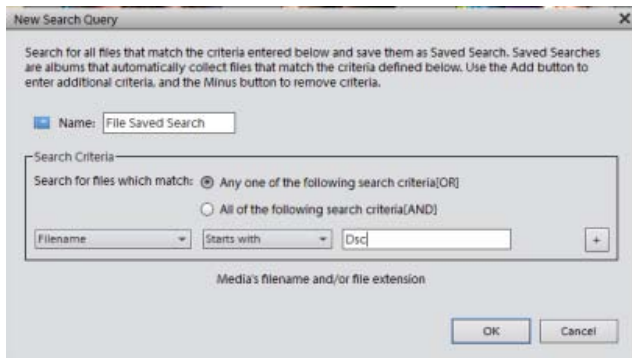
3. 新規検索クエリーダイアログボックスで検索条件を入力し、「OK」をクリックします。



新規検索クエリーダイアログボックスでは、次の詳細を指定します。

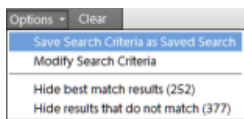
- 名前：保存検索の名前を入力します。
- 検索条件：ドロップダウンリストから検索条件を選択します。テキストボックスに（必要に応じて）値を入力します。
- + をクリックすると、検索クエリーを追加できます。
- 「OK」をクリックします。

例えば、ファイル名が「Dsc」で始まるファイルをすべて検索することができます。



注意： 写真の選択条件は、複数指定することができます。

4. 右上のエリアの「オプション」をクリックすると、保存検索のオプションが表示されます。



💡 「消去」をクリックすると、検索結果が消去され、メディアビューに戻ります。

現在の検索結果を新しい保存検索として保存することができます。「保存検索として検索条件を保存」をクリックします。

「検索条件を変更」をクリックすると、目標とする検索結果を得るために、検索条件を変更できます。

「条件に最も近いアイテムを非表示」をクリックすると、それ以外の検索結果が表示されます。

「条件に一致しないアイテムを非表示」をクリックすると、保存検索条件に一致しないアイテムは表示せず、メディアビュー内の検索結果に集中できます。

保存検索の編集と類似保存検索の作成

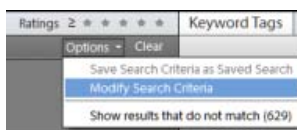
[ページの先頭へ](#)

保存検索の検索条件は編集できます。

1. 検索アイコンをクリックします。ドロップダウンリストから「保存検索」を選択します。
2. 保存検索ダイアログボックスで、変更する検索を選択し、「開く」をクリックします。

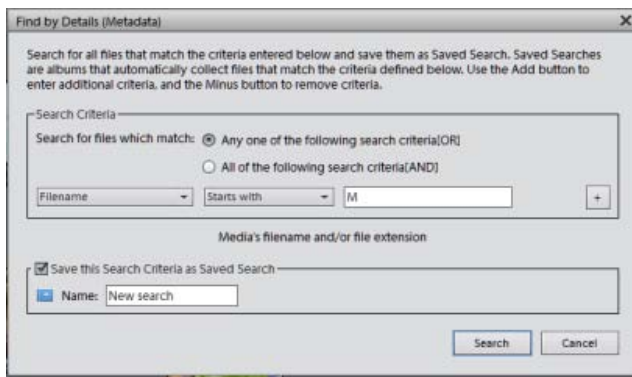
保存検索が実行され、メディアビューに結果が表示されます。

3. 右上のバーからオプションを選択します。「検索条件を変更」をクリックします。



4. 検索条件を編集したり、さらに追加したりします。

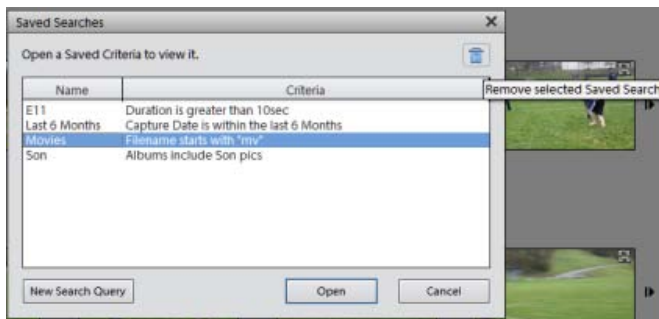
「この検索条件を保存検索として保存」オプションをオンにします。検索の名前を入力します。新しい保存検索が作成されます。




[ページの先頭へ](#)

保存検索の削除

1. 検索バーで、「保存検索」を選択します。
2. 保存検索ダイアログボックスで、削除する保存検索を選択します。ごみ箱アイコンをクリックします。「OK」をクリックします。



 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

フォトプロジェクト

このページからリンクされている内容の一部は英語版のみです。



Elements Organizer のプロジェクトの概要



プロジェクト

保存したプロジェクトの検索

異なるタイプのプロジェクトの識別

保存したプロジェクトを開く

[トップへ戻る](#)

プロジェクト

Elements Organizer および Photoshop Elements Editor を使用すると、すばやく簡単にメディアファイルを編集できます。Elements Organizer では複数のプロジェクトを作成できます。他のプロジェクトを作成するには、まず Elements Organizer で使用するメディアファイルを選択し、Photoshop Elements Editor でプロジェクトを作成します。

「作成」の下にあるプロジェクトで、プロ仕様のテンプレートを使用して自分だけのプロジェクトを作成できます。作成したプロジェクトはオンラインで配信したり、自宅のコンピューターまたはプリント専門店でプリントしたりすることができます。

プロジェクトは、メディアビューの Elements Organizer ワークスペースに表示されます。プロジェクトファイルと、各プロジェクトのドキュメントまたは Web ページを含んだサブフォルダーがローカルのハードディスクに作成されます。これらのプロジェクトファイル、サブフォルダー、およびページファイル間のリンクを維持するには、Windows エクスプローラーを使用してこれらを移動しないでください。代わりに、Elements Organizer の「移動」コマンドを使用してください。

プロジェクトは、様々な方法で共有できます。例えば、スライドショーを DVD に焼き込めます。

注意：スライドショー機能は Windows でのみサポートされています。

注意：以前のバージョンの Photoshop Elements で作成したプロジェクトは、最新バージョンでは開かないことがあります。その場合は、以前のバージョンを使用して一部のプロジェクトを開く必要があります。

[トップへ戻る](#)

保存したプロジェクトの検索

❖ Elements Organizer で、検索／メディアの種類／プロジェクトを選択します。

[トップへ戻る](#)

異なるタイプのプロジェクトの識別

Elements Organizer は、メディアビュー内の様々な種類のプロジェクトを識別します。

❖ メディアビューに表示されるサムネールの右上隅に、次のアイコンが表示されます。

- フォトプロジェクト：📷Elements Organizer で作成され、PSE 形式で保存された複数ページのドキュメント。
- プロジェクト：📁以前のバージョンの Elements Organizer で作成されたドキュメント。
- (Windows のみ) スライドショー：🎞️Elements Organizer で作成されたスライドショープロジェクト。
- PDF ファイル：📄Adobe Acrobat 形式で保存されたドキュメント。

Premiere Elements プロジェクトはアルバムパネルでビデオプロジェクトとして作成されますが、Photoshop Elements プロジェクトは .pse ファイルとして作成され、メディアビューでグリッドに表示されます。

[トップへ戻る](#)

保存したプロジェクトを開く

保存されているプロジェクトは、いつでも開いて、編集したり、再公開したりすることができます。

ます。プロジェクトは、その他のすべてのメディアファイルとともに初期設定でメディアビューに表示されます。



メディアビューに表示された保存済みのプロジェクト

メディアビューでプロジェクトを表示するには、メニューバーから表示／メディアの種類／プロジェクトを選択します。

❖ メディアビューで、次のいずれかの操作を行います。

- プロジェクトをダブルクリックします。
- メディアビューでプロジェクトを右クリック（Mac OS では Ctrl キーを押しながらクリック）し、コンテキストメニューから「編集」を選択します（オンラインアルバムおよび PDF ファイルを除く）。

関連項目

[オンラインプリントサービスのセットアップ](#)

[オンライン配信サービスへの写真の送信](#)

 [編集ワークスペースでのプロジェクトの作成](#)



[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

オンラインアルバムの作成と配信



オンラインアルバムテンプレートの選択

オンラインアルバムの配信オプション

オンラインアルバムの CD/DVD への書き出し (Windows のみ)

オンラインアルバムのハードディスクへの書き出し

アルバムの編集と削除

オンラインアルバムには、様々な標準的なレイアウトとデザインが用意されています。いずれも Web ページで画像を表示するのに最適な仕様です。オンラインアルバムウィザードには、メディアファイルの追加と配置、レイアウトテンプレートの適用、およびファイルの配信などのプロセスが順に提示されます。オンラインアルバムウィザードでは、メディアファイルの配置のみを行えます。ウィザードを使用してメディアファイルを編集することはできません。

1. Elements Organizer で、オンラインアルバムに追加するメディアファイルを選択します。
2. 配信/オンラインアルバムを選択して、Elements Organizer でオンラインアルバムウィザードを開きます。
3. 「新規アルバムを作成」をクリックして、アルバムの配信方法を選択し、「次へ」をクリックします。

アルバムの詳細と次のタブが表示されます。

「コンテンツ」タブ

メディアファイルの追加や削除をすることができます。

「配信」タブ

アルバムの配信や保存に必要なオプションを指定することができます。

4. (オプション) ドロップダウンリストからアルバムカテゴリを選択します。
 5. オンラインアルバムの名前を入力します。
 6. 「コンテンツ」をクリックし、次のいずれかの操作を行います。
 - さらにメディアファイルを追加するには、メディアファイルを選択し、選択したアイテムをメディアエリアにドラッグするか、メディアファイルを選択し、タスクバーの「メディアエリアを追加」をクリックします。
 - メディアファイルを削除するには、「コンテンツ」領域でメディアファイルを選択し、ごみ箱をクリックします。
 - メディアファイルを特定の順序に配置するには、表示する順序にサムネールをドラッグします。
 7. 「配信」をクリックしてアルバムをプレビューし、オンラインアルバムの配信オプションを指定します。
 - a. (オプション) ドロップダウンリストからテンプレートを選択し、別のアルバムレイアウトテンプレートを選択します。テンプレートのサムネールをダブルクリックし、テンプレートを適用したオンラインアルバムをプレビューします。変更したテンプレートがプレビューウィンドウに反映されます。
 - b. プレビューウィンドウに、スライドショーの設定を指定するスライドショーの設定ダイアログが表示されます。スライドのタイトル、サブタイトル、背景色を指定したり変更したりできます。

注意：スライドショーの設定は、選択するテンプレートによって異なります。
- 画面に表示される指示に従ってオンラインアルバムを配信します。

[トップへ戻る](#)

オンラインアルバムテンプレートの選択

1. アルバムを編集パネルまたは新規アルバムを追加パネルで「配信」をクリックします。
2. テンプレートサムネールをクリックするか、水平方向のリストからテンプレートを選択し

ます。一部のテンプレートはキャプションを追加できます。

3. テンプレートをダブルクリックして、テンプレートを適用したオンラインアルバムをプレビューします。テンプレートが完成したら、ラベルを入力し、「完了」をクリックします。ラベルフィールドは、「CD/DVD へ書き出し」オプションのみに有効です。

[トップへ戻る](#)

オンラインアルバムの配信オプション

オンラインアルバムウィザードでは、次の配信オプションを設定できます。

Photoshop Showcase

（米国以外の全ユーザー）ファイルを Adobe Photoshop サービスオンライン配信サービスに公開できます。オンラインアルバムダイアログが開いたら、「アップロード」をクリックします。

CD/DVD へ書き出し（Windows のみ）

コンピューターでフルスクリーン再生できるように、オンラインアルバムファイルをディスクに書き込むことができます。

ハードディスクへ書き出し

ファイルをハードディスクに保存できます。

[トップへ戻る](#)

オンラインアルバムの CD/DVD への書き出し（Windows のみ）

メディアファイルの配置とオンラインアルバムのテンプレートの選択が終了したら、配信方法を指定します。Elements Organizer では、オンラインアルバムを CD または DVD に書き込みます。

1. 次のいずれかの操作を行います。
 - 配信／オンラインアルバム／既存のアルバムを配信をクリックします。アルバムを選択し、オンラインアルバムウィザードの「配信先」領域で、「CD/DVD へ書き出し」を選択して「次へ」をクリックします。
 - アルバムパネルで、アルバムを展開します。書き出すアルバムを右クリックして、「CD/DVD へ書き出し」を選択します。

2. 書き込む CD-ROM ドライブを選択し、ディスクの名前を入力します。

CD-ROM ドライブに空の CD/DVD がセットされている場合は、Elements Organizer によって自動的に CD/DVD に書き込まれます。そうでない場合は、Elements Organizer は空の CD/DVD を挿入して処理を完了させるよう要求します。

[トップへ戻る](#)

オンラインアルバムのハードディスクへの書き出し

写真の配置とオンラインアルバムのテンプレートの選択が終了したら、配信方法を指定します。Elements Organizer では、オンラインアルバムをハードディスクに書き出すことができます。

1. 次のいずれかの操作を行います。
 - 配信／オンラインアルバム／既存のアルバムを配信をクリックします。アルバムを選択し、オンラインアルバムウィザードの「配信先」領域で、「ハードディスクへ書き出し」を選択して「次へ」をクリックします。
 - アルバムパネルで、アルバムを展開します。書き出すアルバムを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）して、「ハードディスクへ書き出し」を選択します。
2. アルバム名とアルバムの保存先を指定します。

[トップへ戻る](#)

アルバムの編集と削除

1. 「アルバム」をクリックしてアルバムを展開します。編集するアルバムを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）し、「編集」を選択します。例えば、「Anna のアルバム」を編集などです。「アルバムを編集」エリアでアルバムを編集します。

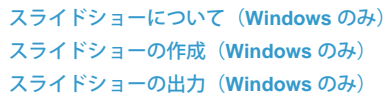
2. 「アルバム」をクリックしてアルバムを展開します。削除するアルバムを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）し、「削除」を選択します。例えば、「Anna のアルバム」を削除などです。

関連項目

[ファイルへのキャプションの追加](#)



[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)



スライドショーについて (Windows のみ)

スライドショーが完成したら、配信する方法を選択できます。

- [トップへ戻る](#)

スライドショーの作成 (Windows のみ)

1. メディアビューで、スライドショーで使用するメディアファイルを選択します。
2. 「作成」タブから「スライドショー」を選択します。
3. 「OK」をクリックします。スライドショーダイアログボックスが表示されます。
4. スライドショーダイアログボックスで、編集／スライドショーの環境設定を選択して、スライドショーの環境設定をカスタマイズすることができます。

スライドショーダイアログボックス

5. 次のいずれかの操作を行って、スライドショーを編集します。

- ・ スライドを並べ替えます。ドラッグドロップして、スライドの順序を並べ替えます。
 - ・ スライドの写真のサイズを変更します。ビデオファイルのサイズは変更できません。
 - ・ 新しい空のスライドを追加します。例えば、空のスライドでタイトルページを作成できます。
 - ・ スライドを右クリックして「スライドを削除」をクリックすると、スライドショーから削除されます。
 - ・ 音楽クリップを追加します。
 - ・ スライドにクリップアートグラフィックやテキストを追加します。
注意：ビデオファイルにはグラフィックやテキストを追加できません。
 - ・ スライドにテキストキャプションを追加します。
 - ・ スライドに動きを追加します。
 - ・ スライドにエフェクトを追加します。
 - ・ スライドの間の切り替え方法を追加したり、切り替え間隔を変更します。
 - ・ スライドにナレーションを追加します（コンピューターにマイクを接続する必要があります）。
 - ・ 各スライドの表示時間を調整します。
6. 「フルスクリーンプレビュー表示」ボタンをクリックし、スライドショーをプレビューします。Esc キーを押すと、いつでもスライドショーの編集に戻ることができます。
 7. 「プロジェクトを保存」ボタンをクリックします。スライドショーは定期的に保存することをお勧めします。

スライドの並べ替え

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- ・ ストーリーボード内でスライドを別の位置にドラッグします。
- ・ 「並べ替え」ボタンをクリックします。ダイアログボックスで、スライドを並べ替えて「戻る」ボタンをクリックします。
- ・ スライドの表示順メニューからいずれかのオプションを選択します。

💡 最初のスライドを最後に移動するには、スライドショーエディターの最後に向かってスライドをドラッグし続け、画面をスクロールさせます。



「並べ替え」を使用してスライドを並べ替えます。

新しい空のスライドの追加

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- ・ 「空のスライドを追加」ボタンをクリックします。
- ・ 編集／空のスライドを選択します。

スライドの編集と調整

スライドに簡単な編集を行う場合は、スライドショーダイアログボックスの機能を使用して自動調整できます。より詳細な調整が必要な場合は、Elements Editor を使用して編集します。写真がスライドにうまく適合しない場合は、写真のサイズと位置を手動で調整できます。

1. スライドを選択し、メインプレビューウィンドウで写真をクリックします。
2. プロパティパネルで次のいずれかの操作を行います。
 - 写真のカラーバランスを自動的に編集するには、「自動スマート補正」ボタンをクリックします。
 - 写真の赤目を除去するには、「自動赤目修正」ボタンをクリックします。
 - より高度な編集が必要な場合は、「詳細編集」ボタンをクリックして、Elements Editor で写真を開きます。作業が完了したら、写真を保存し、Elements Editor を終了して、スライドショーダイアログボックスに戻ります。
 - 写真のサイズを調整するには、写真を選択した状態でサイズスライダーをドラッグするか、写真のバウンディングボックスの境界線やコーナーをドラッグします。
 - 写真をスライドのサイズに合わせて調整するには、「スライドに合わせ切り抜き」ボタンをクリックします。
 - 写真全体を表示するには、「写真全体を表示」ボタンをクリックします。写真の周囲の余白の部分は、背景色で塗りつぶされます。背景色は「スライドショーの環境設定」で変更できます。

スライドショーへの音楽の追加

音楽を追加すると、より本格的なスライドショーを作成できます。音楽は、Elements Organizer カタログまたはコンピューターの任意の場所から読み込むことができます。

❖ スライドショーエディターダイアログボックスで、「メディアを追加」ボタンをクリックし、次のいずれかを選択します。

Elements Organizer からオーディオを追加

カタログからオーディオクリップを追加できます。オーディオを追加ダイアログボックスで、「参照」ボタンをクリックします。クリップを選択して「OK」をクリックします。

注意：オーディオを追加ダイアログボックスでは、クリップを選択して再生ボタンをクリックすることで、追加する前にオーディオを試聴することができます。

フォルダーからオーディオを追加

Elements Organizer で管理されていないオーディオクリップを追加できます。オーディオファイルを選択ダイアログボックスで、オーディオファイルを探して選択し、「開く」ボタンをクリックします。この操作を行うと、Elements Organizer にそのクリップが追加されます。

💡 🗑️ スライドショーの速度を音楽に合わせるには、「スライドをオーディオの長さに合わせる」ボタンをクリックします（各スライドの長さがフィルムストリップ内で更新されます）。

スライドへのクリップアートグラフィックの追加

スライドショーダイアログボックスのエキストラパネルで、スライドにクリップアートを追加できます。グラフィックはいくつでも追加できますが、グラフィックを多用するとパフォーマンスが低下します（ファイルサイズが大きくなるため）。

注意：ビデオファイルを含むスライドにグラフィックやテキストは追加できません。



グラフィックをスライドへドラッグ

1. スライドショーダイアログボックスのエキストラパネルで、グラフィックをクリックします。
2. クリップアートを参照し、追加するグラフィックを選択します。グラフィックはカテゴリ別に配置され、初期設定ではエキストラパネルに表示されます。アートが表示されない場合は、カテゴリ名の三角形をクリックします。

3. スライドにグラフィックを配置するには、次のいずれかの操作を行います。
 - クリップアートをスライドにドラッグします。
 - クリップアートをダブルクリックします。
 - クリップアートを右クリックし、コンテキストメニューで「選択したスライドに追加」を選択します。
4. グラフィックがスライドに表示されたら、次のいずれかの操作を行います。
 - グラフィックのサイズを変更するには、バウンディングボックスのコーナーをドラッグします。
 - グラフィックを移動するには、クリップの中心をクリックして別の場所にドラッグします。
 - クリップアートの重なり順を変更するには、グラフィックをクリックし、編集／アレンジメニューからオプションを選択します。

スライドへのテキストの追加

スライドショーエディターダイアログボックスのエキストラパネルで、スライドに追加するテキストのフォントスタイルを選択できます。



スライドへのテキストの追加

1. 新しいテキストを追加するには、次のいずれかの操作を行います。
 - プリセットテキストエフェクトのいずれかを使用するには、エキストラパネルでテキストをクリックし、テキストサンプルをスライドにドラッグします。
 - シンプルなテキストを追加するには、「テキストを追加」ボタン **T** をクリックします。
2. サンプル表示されたテキストを変更する場合は、テキストをダブルクリックし、テキストを編集ダイアログボックスに入力して、「OK」をクリックします。
3. プロパティパネルで、次のいずれかのオプションを設定します。

注意：ここで指定したテキストプロパティが、テキストを追加する際の初期設定になります。

フォントファミリー
テキストにフォントファミリーを適用します。ダイアログボックスの左側にあるメニューからフォントファミリーを選択します。

フォントサイズ
テキストにフォントサイズを適用します。ダイアログボックスの右側にあるメニューから

フォントサイズを選択します。

カラー

テキストにカラーを適用します。スウォッチをクリックし、カラーピッカーダイアログボックスを使用してカラーを指定します。

不透明度

テキストの不透明度を指定します。テキストの下のスライドコンテンツが透けて見えるようにするには、不透明度を低くします。

テキストの左揃え

テキストの各行を左端に揃えます。

テキストの中央揃え

テキストの各行を中心に揃えます。

テキストの右揃え

テキストの各行を右端に揃えます。

フォントスタイル



太字、斜体、下線、打ち消し線などのフォントスタイルをテキストに適用します。スタイルアイコンをクリックすると、そのスタイルが適用されます。

ドロップシャドウ

テキストにドロップシャドウを追加し、テキストを立体的に見せます。

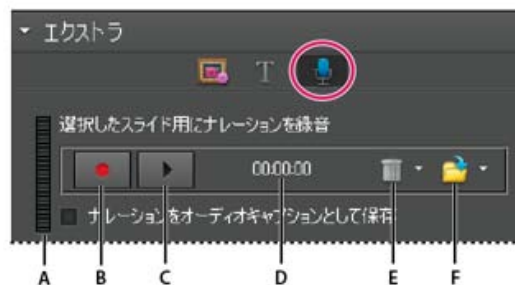
ドロップシャドウカラー

ドロップシャドウのカラーを変更します。

  既存のテキストを編集するには、「テキストを編集」ボタンをクリックします。


スライドへのナレーションの追加

コンピューターにマイクが接続されている場合は、スライドにナレーションを録音できます。オーディオキャプションとして写真にナレーションを追加することもできます。



スライドへのナレーションの追加

- A. 録音ボリュームレベル
- B. 録音ボタン
- C. 再生ボタン
- D. ナレーションの長さ
- E. 削除ボタン
- F. 開くボタン

1. スライドショーダイアログボックスのエクストラパネルで、ナレーションをクリックします。
2. ナレーションを録音するには、録音ボタン  をクリックし、マイクに向かって発声します。
3. ナレーションを録音したら、次のいずれかの操作を行います。

再生ボタンをクリックし、録音したナレーションを試聴します。

- 削除ボタンをクリックし、「このナレーションを削除」を選択してもう一度やり直するか、「すべてのナレーションを削除」を選択して、スライドショーからすべてのナレーションを削除します。
4. 既存のオーディオキャプションをナレーションとして使用するには、開くボタンをクリックし、次のいずれかのオプションを選択します。
- 既存のオーディオキャプションを使用
写真に添付されたオーディオキャプションを使用します。
- 参照
別のオーディオキャプションを検索して選択できます。
5. 「次のスライド」ボタンをクリックして、次のスライドのナレーションを録音します。

パンとズームの設定

スライドショーダイアログボックスで、各スライドのパン・ズームをカスタマイズできます。写真の特定の部分にバウンディングボックスを配置し、開始ポイントと終了ポイントを指定します。ボックスのサイズは変更可能です。ボックスを小さくすると、パン・ズームの効果が大きくなります。スライドに複数のパン・ズームの開始および終了ポイントを追加することもできます。この場合、前のパン・ズームの終了ポイントが、次のパン・ズームの開始ポイントになります。

注意： パン・ズームをビデオファイルに適用せず、写真にだけ適用することもできます。

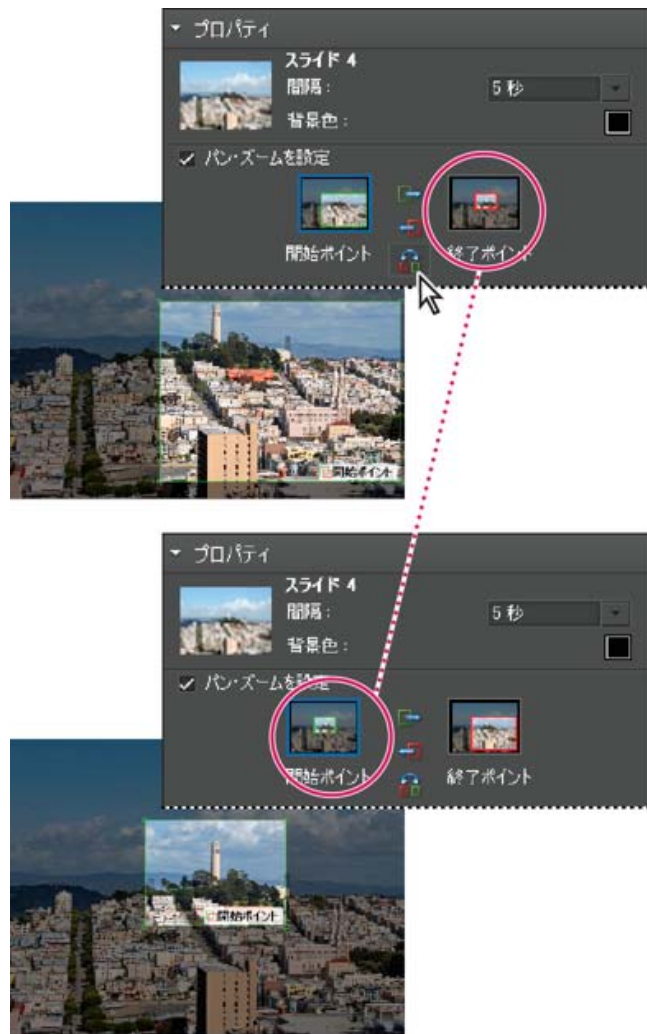
1. ストーリーボードで、パン・ズームを追加するスライドをクリックします。
2. スライドショーダイアログボックスのプロパティパネルで、「パン・ズームを設定」を選択します。
3. 開始バウンディングボックスが緑色の枠で表示されます。メインプレビューウィンドウで、バウンディングボックスのコーナーをドラッグしてサイズを変更します。
4. 開始ボックスを、パン・ズームを開始する部分にドラッグします。フォーカスする部分を囲むようにボックスのサイズを変更します。



パン・ズームを有効にし、開始ポイントを設定

5. 「終了ポイント」というラベルが付いているサムネールをクリックします。終了バウンディングボックスが赤色の枠で表示されます。メインプレビューエリアで、パン・ズームを終了させる部分を囲むように、ボックスを移動してサイズを変更します。
 6. パン・ズームのエリアを追加するには、「このスライドに別のパン・ズームを追加」ボタンをクリックします。これにより、新しいスライドがリンクアイコン付きでストーリーボードに追加されるので、パン・ズームが追加されていることがわかります。前の終了ポイントと新しい開始ポイントはリンクされます（いずれかのポイントを編集すると、変更内容が両方のポイントに反映されます）。パン・ズームを終了させる部分を囲むように、新しい終了バウンディングボックスをドラッグします。
- 注意： 追加したパン・ズームの開始ボックスを移動すると、前のパン・ズームの終了ボックスにも影響します。
7. 開始ポイントと終了ポイントを入れ替えるには、ポイントを選択して、入れ替えをクリックします。同じスライドに開始ポイントと終了ポイントを配置するには、開始ポイントを

終了ポイントにコピーをクリックするか、終了ポイントを開始ポイントにコピーをクリックします。



パンとズームのポイントの入れ替え（下が入れ替え後）

8. 再生ボタンをクリックし、パンとズームをプレビューします。

💡 ? パンとズームを追加すると、スライドが切り替わる前の、終了ポイントに置かれるフォーカスの時間が延長されます。

スライドへのエフェクトの追加

スライドショー内の写真に、モノクロやセピアなどのエフェクトを適用できます。

1. ストーリーボードで、スライドを選択します。メインプレビューウィンドウで写真をクリックします。
2. プロパティパネルで、モノクロまたはセピアアイコンをクリックし、写真にエフェクトを追加します。写真を元のカラーに戻すには、元の写真のカラーをクリックします。

切り替え方法の追加および編集

切り替え方法とは、スライドが次のスライドに変わるときの表示を変化させる効果です。Elements Organizer では、様々な切り替え方法を選択できます。切り替え間隔は、個別のスライドまたはグループ単位で調整できます。切り替え方法のパターンは、スライド間のアイコンで表示されます。スライドショーを作成したときにスライドショー全体の切り替え方法を変更するには、ストーリーボードですべての切り替え部分を選択し、切り替え方法を選択するか、「スライドショーの環境設定」でオプションを設定します。



切り替え方法の変更

1. 切り替え方法を変更するには、次のいずれかの操作を行います。
 - 同じ切り替え方法をすべてのスライドに追加するには、編集／すべての切り替え方法を選択を選択します。プロパティパネルの切り替え方法メニューからオプションを選択します。
 - 切り替え方法を個別に変更するには、2つのスライドの間にある切り替えアイコンをクリックし、プロパティパネルの切り替え方法メニューからオプションを選択します（切り替えアイコンの右の三角形をクリックして変更することもできます）。
2. 切り替え間隔を変更するには、次のいずれかの操作を行います。
 - 切り替え間隔を個別に変更するには、2つのスライドの間にある切り替えアイコンをクリックし、プロパティパネルの上部にあるメニューから間隔を選択します。
 - すべての切り替え間隔を変更するには、編集／すべての切り替え方法を選択を選択します。プロパティパネルの複数の切り替え方法メニューから、間隔を選択します。

スライドの表示時間の調整

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- ストーリーボードのスライドの下にある表示時間の合計値をクリックし、表示されるメニューからいずれかのオプションを選択します。スライドを選択し、環境設定で表示時間を変更することもできます。
- スライドやスライドショーを最初に作成したときに、スライドショーの環境設定でスライド間隔の時間を設定します。
- スライドショーと音楽クリップの同期をとるには、「スライドをオーディオの長さに合わせる」をクリックします。

注意：スライドのビデオファイルの表示時間を調整することはできません。

カタログからスライドショーへの写真やビデオの追加

1. スライドショーエディターダイアログボックスで、「メディアを追加」ボタンをクリックし、「Elements Organizer から写真とビデオを追加」を選択します。
2. メディアを追加ダイアログボックスで、次の中から1つまたは複数のオプションを選択して、目的のメディアファイルを表示します。

すべてのメディア

メディアビューに現在表示しているすべてのメディアファイルを表示します。

グリッドからのメディア

メディアビューのグリッドに現在表示しているカタログのすべてのメディアファイルを表示します。

星の数でメディアを表示

メディアファイルに星を付けて表示します。

非表示のメディアを表示

非表示のメディアファイルを表示します。

詳細

「詳細」をクリックしてオプションを展開し、以下の選択肢を基準にメディアを表示します。

アルバム

メディアの追加元のアルバムを選択します。

キーワードタグ

メディアを追加するキーワードを選択します。

人物

名前にタグ付けされ、人物スタックの下に存在するメディアを追加するための人物をドロップダウンリストから選択します。例えば、人物スタック、John doe の下にタグ付けされているすべての写真。

場所

識別され、場所スタックにタグ付けされたメディアを追加する場所をドロップダウンリストから選択します。

イベント

特定のイベントスタックの下にあるメディアを追加するためのイベントをドロップダウンリストから選択します。

3. スライドショーに含めるアイテムを選択します。Ctrl + A キーを押すと（または「すべてを選択」ボタンをクリックすると）、表示されているすべてのアイテムを選択できます。Shift + Ctrl + A キーを押すと（または「すべてを選択解除」ボタンをクリックすると）、すべてのアイテムの選択を解除できます。

4. 次のいずれかのオプションを選択します。

選択したメディアを追加

選択した写真をプロジェクトに追加し、チェックボックスをリセットします。選択作業を続けられるように写真を追加ダイアログボックスは開いたままになります。

完了

選択したメディアファイルをプロジェクトに追加し、ダイアログボックスを閉じて、スライドショーダイアログボックスに戻ります。



新しいスライドショーを作成する場合は、最初に、プロジェクトで使用するすべてのメディアファイルを集めたアルバムを作成することもできます。メディアビューにアルバムを表示して、簡単にメディアファイルを並べ替えたり、キャプションを編集したりできます。その後、「メディアを追加」ボタンを使用して、そのアルバムをプロジェクトに追加できます。

5. 以下のオプションを選択して、メディアをスライドショーに追加することもできます。
フォルダーから写真とビデオを追加
ローカルドライブとネットワークドライブを表示します。フォルダーを選択し、「開く」をクリックしてこれらをスライドショーに読み込みます。

スライドショーの環境設定

1. スライドショーダイアログボックスで、編集／スライドショーの環境設定を選択します。
2. 次のいずれかのオプションを設定し、「OK」をクリックします。

スライド間隔

各スライドの間隔の初期設定を指定します。

切り替え方法

スライドから次のスライドに切り替える方法を指定します。

切り替え間隔

切り替え時間の長さを設定します。切り替えの印象を強くする場合は、間隔を長くします。

背景色

各スライドの写真の周りに表示されるカラーの初期設定を指定します。

すべてのスライドにパン・ズームを適用

スライドショー内のすべてのスライドにランダムにパン・ズームを適用します。

写真のキャプションをテキストとして挿入

Elements Organizer のメディアファイルに添付されているキャプションをスライドに追加します。

オーディオキャプションをナレーションとして挿入

メディアビューでメディアファイル用に作成したオーディオキャプションを追加します。

最後のスライドまでサウンドトラックを繰り返し
スライドショーが終了するまで音楽を繰り返し再生します。

写真とスライドサイズの調整

写真をスライドに合わせて切り抜き、縦横比が異なる場合に写真に表示される黒い線を削除します。メディアファイルの向きに応じて、「横方向」または「縦方向」を選択します。

プレビューの再生オプション

メニューから再生画質を選択します。「高画質」を選択すると、スライドショーの画質が高くなりますが、読み込みに時間がかかります。

新規スライドショーを作成するときにこのダイアログボックスを表示

新しいスライドショーを作成するときは毎回環境設定ダイアログボックスを表示します。

[トップへ戻る](#)

スライドショーの出力（Windows のみ）

スライドショーを作成したら、プロジェクトを配信できます。作成したスライドショーは、PDF やムービーファイル、ビデオ CD や DVD として出力したり、Adobe Premiere Elements でビデオプロジェクトとして使用したりすることができます。

1. スライドショーダイアログボックスで、「出力」ボタンをクリックします。
2. 次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。

ファイルとして保存

Web または電子メールで配信可能なファイルを生成するには、このオプションを選択します。これにより、スライドショーが PDF 形式またはムービーファイル形式（WMV）で保存されます。

PDF ファイルの場合は、スライドショーを見る環境に合わせてサイズオプションを選択します。

- 画面が小さいノート PC で見ることを想定して PDF を送信する場合は、スライドサイズを小さく設定します。
- 画面が大きいデスクトップコンピューターで見ることを想定して送信する場合は、大きいファイルサイズを選択します。
- スライドショーを最後まで再生したときに自動的に最初から再生する場合は、「ループ」を選択します。
- スライドショーを自動再生しない場合は、「マニュアル設定」を選択します。
- PDF の作成後にファイルを表示する場合は、「保存した後にスライドショーを表示」を選択します。

注意：スライドショーを PDF ファイルとして保存すると、一部のスライドショー機能が無効になります。パン・ズーム効果は、PDF ファイルでは表示されません。スライドにビデオクリップが含まれている場合は、クリップを除外してスライドが保存されます。また、PDF で保存すると、一部の切り替え方法が別の切り替え方法として表示されます（例えば、センターシェイプとクロックワイプは、PDF ファイルではフェードとして表示されます）。

注意：スライドショーに 200 を超えるスライドを追加すると、PDF スライドショーの背景でオーディオファイルや音楽ファイルが再生されません。

ムービーファイルの場合は、ファイルを再生する環境に合わせてサイズオプションを選択します。

- 電子メールで見ることを想定してムービーファイルを送信する場合は、スライドサイズを小さく設定します。
- テレビで見ることを想定して送信する場合は、大きいファイルサイズを選択します。

ディスクに書き込み

スライドショーを DVD または Video CD（VCD）に保存します。DVD には MPEG-2 圧縮形式で保存され、より高い画質を提供します。DVD に書き込めるのは、Adobe Premiere Elements がコンピューターにインストールされている場合のみです。

VCD は、大半のコンピューターの CD-ROM や DVD-ROM ドライブ（必要なプレーヤー

ソフトウェアがインストールされていることを前提とします) および一部の DVD プレーヤーで読み取ることができますVCD は MPEG-1 圧縮形式で保存され、解像度は 352 x 240 ピクセルになります。テレビモニターで VCD を視聴するときは、352 x 240 ピクセルの画像が 720 x 480 (NTSC) または 720 x 576 (PAL) ピクセルの画面に合わせて拡大されます。このため、画質が低下し、圧縮によるブロックノイズやピクセルの粗さが拡大して表示されます。

Premiere Elements で編集

Adobe Premiere Elements がコンピューターにインストールされている場合に、Elements Organizer で Adobe Premiere Elements ヘスライドショーを送信することができます。

DVD へのスライドショーの書き出し

Adobe Premiere Elements がインストールされている場合は、スライドショーを Elements Organizer から大半の DVD プレーヤーで再生できる高品質な DVD に書き出すことができます。

1. 手順に従ってスライドショーエディターダイアログボックスを開き、スライドショーを作成します。[スライドショーの作成 \(Windows のみ\)](#) を参照してください。
2. スライドショーエディターダイアログボックスで、「出力」ボタン をクリックします。
3. 「ディスクに書き込み」ボタン をクリックします。
4. 書き込むディスクの種類として DVD を選択します。
5. DVD を再生する地域のテレビ方式 (NTSC または PAL) を選択します。
6. (オプション) 別のスライドショーや WMV ファイルをディスクに書き出すには、「追加で作成したスライドショーをディスクに保存」を選択し、「OK」をクリックします。

追加で作成したスライドショーを保存することを選択した場合は、メニュー付き DVD を作成ダイアログが開きます。

7. 新しい WMV ファイルを保存するフォルダーを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

Photoshop Elements によって、書き込むスライドショーごとに WMV (Windows Media Video) ファイルが作成されます。(ダイアログボックスの「キャンセル」ボタンを押すと、いつでも処理を中断できます)。

Adobe Premiere Elements で、WMV ファイルがメディアパネルとシーン/タイムグラフパネルに追加されます。DVD ワークスペースが自動的に表示され、このワークスペースで、メニューテンプレートの選択、メニューボタンの追加またはカスタマイズをすることができます。

スライドショーの追加

Adobe Premiere Elements をお持ちの場合は、複数のスライドショーを追加して DVD に書き出すことができます。手順に従ってスライドショーを作成します。[スライドショーの作成 \(Windows のみ\)](#) を参照してください。スライドショーを追加するには、次の操作を行います。

1. スライドショーエディターダイアログボックスで、「出力」ボタン をクリックします。
2. 「ディスクに書き込み」ボタン をクリックします。
3. 書き込むディスクの種類として DVD を選択します。
4. DVD を再生する地域のテレビ方式 (NTSC または PAL) を選択します。
5. 別のスライドショーや WMV ファイルをディスクに追加するには、「追加で作成したスライドショーをディスクに保存」を選択し、「OK」をクリックします。既存のスライドショーを保存します。


メニュー付き DVD を作成ダイアログが開きます。このウィンドウで、スライドショーの追加や削除をすることができます。

6. スライドショーとビデオを追加  をクリックします。

スライドショーとビデオを追加ウィンドウに、既存のスライドショーとビデオファイルが表示されます。

7. 必要なスライドショーとビデオを選択し、「OK」をクリックします。

メニュー付き DVD を作成ウィンドウに、選択したスライドショーとビデオファイルが表示されます。

8. (オプション) スライドショーとビデオを削除  をクリックし、任意のスライドショーまたはビデオファイルを削除します。
9. 「次へ」をクリックして、スライドショーとビデオファイルを DVD へ書き出します。

Adobe Premiere Elements が起動し、強力な DVD およびビデオ編集機能を簡単に使用することができます。Adobe Premiere Elements で、ファイルがメディアパネルとシーン／タイムグラフパネルに追加されます。DVD ワークスペースが自動的に表示されます。メニューテンプレートの選択や、メニューボタンの追加やカスタマイズができます。

既存のスライドショーの DVD への書き込み

Adobe Premiere Elements がインストールされている場合、保存されているスライドショープロジェクトを Photoshop Elements から高品質な DVD に直接書き込むことができます。この DVD は、大半の DVD プレーヤーで再生できます。

1. Elements Organizer のメディアビューで、1 つまたは複数のスライドショープロジェクトを選択します。
2. 「作成」タブを選択し、メニュー付き DVD を選択します。
3. DVD を再生する地域のテレビ方式 (NTSC または PAL) を選択します。
4. (オプション) 別のスライドショープロジェクトや WMV ファイルをディスクに保存するには、「スライドショーとビデオを追加」をクリックします。スライドショーとビデオファイルを選択し、「OK」をクリックします。
5. スライドショーを追加する場合は、次の操作を行った後に、「次へ」をクリックします。
 - リストからスライドショーを削除するには、削除するスライドショーを選択し、「スライドショーを削除」ボタンをクリックします。
 - DVD に書き込むスライドショーを並び替えるには、移動先の場所に画像をドラッグします。
6. 「次へ」をクリックします。
7. 新しい WMV ファイルを保存するフォルダーを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

Photoshop Elements によって、書き込むスライドショーごとに WMV (Windows Media Video) ファイルが作成されます。(ダイアログボックスの「キャンセル」ボタンを押すと、いつでも処理を中断できます)。

Adobe Premiere Elements で、WMV ファイルがメディアパネルとシーン／タイムグラフパネルに追加され、DVD ワークスペースが自動的に表示されます。この DVD ワークスペースで、メニューテンプレートの選択や、メニューボタンの追加やカスタマイズができます。

Photoshop Elements スライドショーのビデオプロジェクトへの追加

Elements Organizer では、作成したスライドショーに音楽、切り替え方法、ナレーション、テキストなどを追加して、高度な作品に仕上げるすることができます。プロジェクトが完成したら、Adobe Premiere Elements に取り込んで、プロジェクトをムービーやDVDに組み入れることもできます。

1. スライドショーエディターダイアログボックスで、「出力」ボタンをクリックします。
2. 「Premiere Elements で編集」をクリックして、「OK」をクリックします。最初にプロジェクトを保存するかどうかを確認するメッセージが表示された場合は、「OK」をクリックし、プロジェクトの名前を入力して「保存」をクリックします。

スライドショーが完成したことを通知するダイアログボックスが表示されます。スライドショーは、Elements Organizer のメディアビューの一番上に表示されます。Adobe Premiere Elements を開いている場合、スライドショーは Adobe Premiere Elements のプロジェクト／メディアパネルにも表示されます。スライドショーをシーンラインまたはタイムラインにドラッグすることができます。



[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

プリントと配信

このページからリンクされている内容の一部は英語版のみです。



写真のプリント



- 自宅での写真のプリント
- 複数のメディアファイルの選択
- プリントの指定
- カスタムプリントサイズ
- カラーマネジメントの設定
- プリントの単位の指定 (Windows のみ)
- PRINT Image Matching と Exif Print

Elements Organizer には、写真のプリント用に次のオプションが用意されています。





- 自宅のプリンターを使用して、自宅でプリントする。
- プロ品質のプリント写真用 Adobe Photoshop サービスを介して、オンラインプロバイダーを使用する。詳しくは、[オンラインプリントサービスを使用してプリント写真を注文](#)を参照してください。

[トップへ戻る](#)

自宅での写真のプリント

- プリントする写真を選択します。

ビデオファイルをプリントしようとする、ビデオの最初のフレームのみがプリントされます。

注意：(Mac OS) : Elements Organizer は Photoshop Elements を使用してプリントします。操作を続行する前に、Photoshop Elements がインストールされていることを確認してください。
- ファイル／プリントを選択します。
- 2 ページ以上の写真をプリントする場合は、ナビゲーションボタン   を使用して、ページを進めたり、戻したりします。画像の方向を修正するには、回転アイコン  と  を使用します。
- ページのレイアウトとプリンターの設定を変更するには、次の操作を行います。
 - ページ設定をクリックして、ページ内の写真をプリントするオプションを設定します。ページ設定ダイアログで、用紙のソースやサイズ、方向、およびマージンを指定します。
 - プリンターを選択メニューからプリンターを選択します。PDF ファイルを印刷するには、Adobe Acrobat がコンピューターにインストールされていることを確認してください。
 - プリンター設定を変更するには、「設定を変更」をクリックします。用紙の種類、プリント画質、用紙トレイ、および用紙サイズのオプションを指定します。
 - 用紙サイズを選択メニューから用紙のサイズを選択します。
- プリントの性質を指定するには、プリントの種類を選択メニューからいずれかのオプションを選択します。必要に応じて、各選択項目に対して追加のオプションを設定します。

個別プリント

選択された各写真に対して、個別のコピーをプリントします。追加のオプションについては、詳細設定オプションをクリックします。これらのオプションの設定に関する情報については、[プリントの指定](#)および[カスタムプリントサイズ](#)を参照してください。

インデックスプリント

選択された写真のサムネイル画像を印刷します。インデックスプリントでは、次の操作を行います。

- 「列数」で、レイアウト内の列の数を指定します。

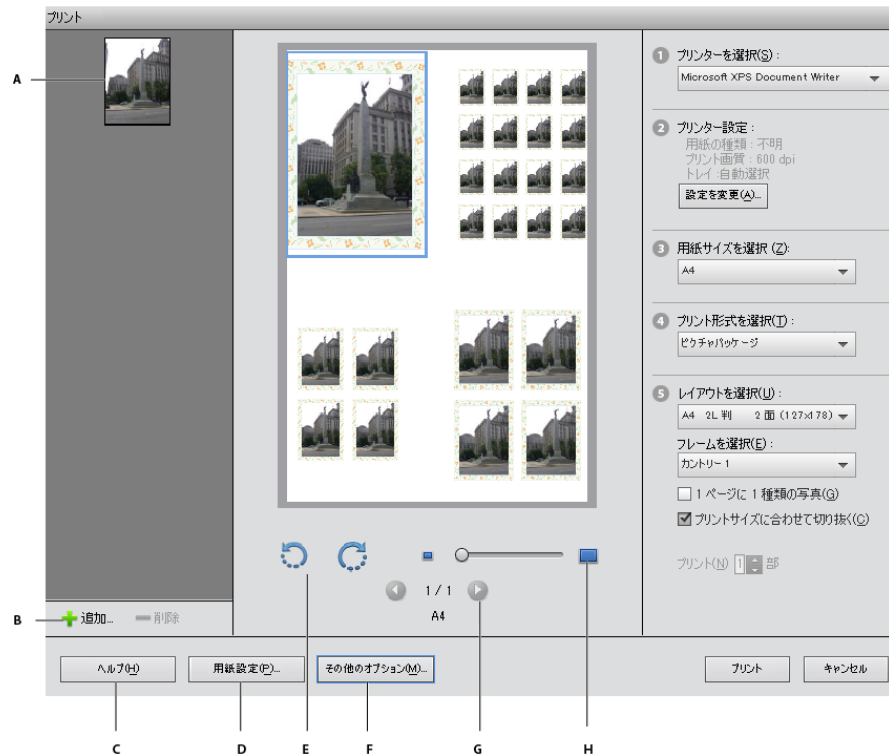
追加のプリントオプションについては、「プリントオプションを表示」を選択します。

- 写真に関連付けられた日付をプリントするには、「日付」を選択します。
- 写真に関連付けられたキャプションをプリントするには、「キャプション」を選択します。
- 写真に関連付けられたファイル名をプリントするには、「ファイル名」を選択します。
- 複数のインデックスプリントに対してページ番号をプリントするには、「ページ番号」を選択します。

ピクチャパッケージ

従来の写真スタジオのように、1枚のページに1枚以上の写真のコピーを複数枚配置できます。ピクチャパッケージでは、次の操作を行います。

- 複数の画像コピーを配置できるほど大きなレイアウトを選択します。
- フレームを選択メニューから、画像の境界線を選択します。
- 「1ページに1種類の写真」を選択します。
- プリントサイズを選択メニューから、プリントサイズを選択します。同じページにプリントする写真の数を増やすには、選択する写真サイズを小さくします。



ピクチャパッケージのプリント

- A. 選択されている写真
- B. プリントする写真の数を増やすオプション
- C. ダイアログボックスでオプションを使用するためのヘルプ
- D. プリント用のページオプションの設定
- E. 画像を回転するオプション
- F. カラーマネジメントオプション

G.
複数の写真をナビゲートするオプション

H.
ズームスライダー



様々なプリントオプション

A.

個別の写真

B.

インデックスプリント

C.

ピクチャパッケージ

- レイアウトの画像を入れ替えるには、画像を別の画像の上にドラッグします。入れ替えた画像を元の画像に戻すには、画像を右クリックし、コンテキストメニューから「オリジナルに戻す」を選択します。


6. 個別の画像を、指定したプリントレイアウトに収めるには、「プリントサイズに合わせて切り抜く」を選択します。

画像が拡大・縮小され、必要に応じてプリントレイアウトの縦横比と一致するように切り抜かれます。写真が切り抜かれないようにするには、このオプションを選択解除します。

7. 複数のコピーをプリントする場合は、「プリント n 部」に数を入力します。
8. 「プリント」をクリックします。

[トップへ戻る](#)

複数のメディアファイルの選択

1. ファイル／プリントを選択します。
2. プリントダイアログボックスで、追加  をクリックします。
3. メディアを追加ダイアログボックスで、次のいずれかを選択します。
 - 開いているカタログ内ですべてのメディアを選択するには、「すべてのメディア」を選択します。

- 現在、メディアビューで開いているすべてのメディアを選択するには、「グリッドからのメディア」を選択します。
4. 「詳細」セクションで、要件に応じて次の項目を選択します。
 - 重要度を設定したメディアを選択するには、「重要度が設定されたメディアを表示」を選択します。
 - 非表示のメディアを選択するには、「非表示のメディアを表示」を選択します。

[トップへ戻る](#)

プリントの指定

1. ファイル／プリントを選択します。
2. 「写真の詳細」で、次の操作を行います。
 - 写真に関連付けられた日付をプリントするには、「日付を表示」を選択します。
 - 写真に関連付けられたキャプションをプリントするには、「キャプションを表示」を選択します。
 - 写真に関連付けられたファイル名をプリントするには、「ファイル名を表示」を選択します。
3. プリントされた写真の周囲に境界線を表示するには、次のオプションを設定します。
 - 境界線の太さを指定するには、「太さ」を選択して値を入力します。
 - 境界線のカラーを指定するには、太さに対応するボックスをクリックします。
 - 背景を指定するには、「背景」を選択します。背景色を指定するには、対応するボックスをクリックします。
4. レイアウトで、次の項目を指定します。
 - 1 ページに 1 枚の写真のみを配置する場合は、「1 ページに 1 枚の写真」を選択します。
 - 個別のページに同じ写真のコピーを複数枚配置する場合は、「各写真を (n) 回使用」に値を入力します。
5. T シャツなどの素材に画像をプリントする場合は、「画像を反転」を選択します。
6. 選択された画像に関連付けられた内トンボをプリントするには、「トンボをプリント」を選択します。

[トップへ戻る](#)

カスタムプリントサイズ

詳細設定オプションダイアログにあるオプションを使用して、プリントする画像のサイズをカスタマイズします。

1. プリントダイアログで、詳細設定オプションをクリックします。
2. 「メディアサイズに合わせて拡大・縮小」を選択して、プリントするページまたは素材のサイズに合わせて写真を拡大・縮小します。
3. プリントする画像のカスタムサイズを指定するには、高さと幅に対して希望する値を入力します。
4. 単位メニューで、指定されたサイズの単位を設定します。
5. プリントする画像の解像度を指定します。推奨される解像度に関する情報については、お使いのプリンターのユーザーマニュアルを参照してください。

[トップへ戻る](#)

カラーマネジメントの設定

カラーマネジメントを初めて使用される場合は、次の記事を参照してください。

- [Color management and monitor calibration](#) (カラーマネジメントとモニターのキャリブレーション)

- [Why Don't Printed Colors Match What I See on the Monitor? \(印刷されたカラーが、モニターに表示されるカラーと一致しないのはなぜか?\)](#)

1. プリンタードライバーのカラーマネジメントの無効化
2. プリントダイアログボックス (ファイル／プリント) で、詳細設定オプションをクリックします。
3. 写真ファイルに埋め込まれているカラースペースは、画像スペースに表示されます。
4. プリントカラースペースメニューからプリンタープロファイルを選択します。

プリントカラースペースメニューでは、画像の色をプリンターのカラースペースに変換するためのカスタムプリンタープロファイルを設定したり、カラー変換をオフにすることができます。お使いのプリンターと用紙の組み合わせ用の ICC プロファイルがある場合は、メニューからそれを選択します。

[トップへ戻る](#)

プリントの単位の指定 (Windows のみ)

1. メディアビューまたは日付表示で、編集／環境設定／一般を選択します。
2. プリントサイズメニューから「inch」または「cm / mm」を選択します。

[トップへ戻る](#)

PRINT Image Matching と Exif Print

PRINT Image Matching (PIM) は、PRINT Image Matching 対応のデジタルカメラとプリンターを使用して、最高品質のプリントを出力する技術です。PIM テクノロジーを使用した Epson® プリンターでは、デジタルカメラに保存された各画像のプリント固有情報が識別されます。プリントのカラー、品質、およびディテールを高めることができます。

Exif 2.2 (Exif Print) は、デジタルカメラによって保存された写真情報 (Exif タグ) を使用します。この写真情報は、Epson の Exif 2.2 (Exif Print) にも対応しています。Exif Print をサポートするプリンターであれば、これらの Exif タグを使用して、処理を最適化し、高品質のプリントを出力できます。詳しくは、プリンターのマニュアルを参照してください。

Elements Organizer で PIM および Exif Print オプションを使用する場合は、次のガイドラインに留意してください。

- PIM オプションは、PIM データが含まれる画像のみに適用されます。
- プリントダイアログボックスのレイアウトプレビューでは、PIM または Exif Print データによるカラー品質の向上はプレビューできません。
- 一部のプリンタードライバーでは、PIM または Exif Print と互換性がないため、これらのオプションが無効になっています。
- Epson では、PIM のサブセットである Exif Print がサポートされています。プリンターによっては、PIM と Exif Print 両方のオプションを選択して、プリントの品質をさらに高めることができます。
重要：Photoshop Elements を Windows Vista で実行する場合、一部の Epson プリンターは完全にサポートされません。Windows Vista と一緒にインストールした Epson プリンタードライバーは、完全にはサポートされません。Epson から直接配布されたプリンタードライバーの場合は、プリンターは Photoshop Elements でサポートされます。



オンラインアルバムの作成と配信



オンラインアルバムテンプレートの選択

オンラインアルバムの配信オプション

オンラインアルバムの CD/DVD への書き出し (Windows のみ)

オンラインアルバムのハードディスクへの書き出し

アルバムの編集と削除

オンラインアルバムには、様々な標準的なレイアウトとデザインが用意されています。いずれも Web ページで画像を表示するのに最適な仕様です。オンラインアルバムウィザードには、メディアファイルの追加と配置、レイアウトテンプレートの適用、およびファイルの配信などのプロセスが順に提示されます。オンラインアルバムウィザードでは、メディアファイルの配置のみを行えます。ウィザードを使用してメディアファイルを編集することはできません。

1. Elements Organizer で、オンラインアルバムに追加するメディアファイルを選択します。
2. 配信/オンラインアルバムを選択して、Elements Organizer でオンラインアルバムウィザードを開きます。
3. 「新規アルバムを作成」をクリックして、アルバムの配信方法を選択し、「次へ」をクリックします。

アルバムの詳細と次のタブが表示されます。

「コンテンツ」タブ

メディアファイルの追加や削除をすることができます。

「配信」タブ

アルバムの配信や保存に必要なオプションを指定することができます。

4. (オプション) ドロップダウンリストからアルバムカテゴリを選択します。
 5. オンラインアルバムの名前を入力します。
 6. 「コンテンツ」をクリックし、次のいずれかの操作を行います。
 - さらにメディアファイルを追加するには、メディアファイルを選択し、選択したアイテムをメディアエリアにドラッグするか、メディアファイルを選択し、タスクバーの「メディアエリアを追加」をクリックします。
 - メディアファイルを削除するには、「コンテンツ」領域でメディアファイルを選択し、ごみ箱をクリックします。
 - メディアファイルを特定の順序に配置するには、表示する順序にサムネールをドラッグします。
 7. 「配信」をクリックしてアルバムをプレビューし、オンラインアルバムの配信オプションを指定します。
 - a. (オプション) ドロップダウンリストからテンプレートを選択し、別のアルバムレイアウトテンプレートを選択します。テンプレートのサムネールをダブルクリックし、テンプレートを適用したオンラインアルバムをプレビューします。変更したテンプレートがプレビューウィンドウに反映されます。
 - b. プレビューウィンドウに、スライドショーの設定を指定するスライドショーの設定ダイアログが表示されます。スライドのタイトル、サブタイトル、背景色を指定したり変更したりできます。

注意：スライドショーの設定は、選択するテンプレートによって異なります。
- 画面に表示される指示に従ってオンラインアルバムを配信します。

[トップへ戻る](#)

オンラインアルバムテンプレートの選択

1. アルバムを編集パネルまたは新規アルバムを追加パネルで「配信」をクリックします。
2. テンプレートサムネールをクリックするか、水平方向のリストからテンプレートを選択し

ます。一部のテンプレートはキャプションを追加できます。

3. テンプレートをダブルクリックして、テンプレートを適用したオンラインアルバムをプレビューします。テンプレートが完成したら、ラベルを入力し、「完了」をクリックします。ラベルフィールドは、「CD/DVD へ書き出し」オプションのみに有効です。

[トップへ戻る](#)

オンラインアルバムの配信オプション

オンラインアルバムウィザードでは、次の配信オプションを設定できます。

Photoshop Showcase

（米国以外の全ユーザー）ファイルを Adobe Photoshop サービスオンライン配信サービスに公開できます。オンラインアルバムダイアログが開いたら、「アップロード」をクリックします。

CD/DVD へ書き出し（Windows のみ）

コンピューターでフルスクリーン再生できるように、オンラインアルバムファイルをディスクに書き込むことができます。

ハードディスクへ書き出し

ファイルをハードディスクに保存できます。

[トップへ戻る](#)

オンラインアルバムの CD/DVD への書き出し（Windows のみ）

メディアファイルの配置とオンラインアルバムのテンプレートの選択が終了したら、配信方法を指定します。Elements Organizer では、オンラインアルバムを CD または DVD に書き込みます。

1. 次のいずれかの操作を行います。
 - 配信／オンラインアルバム／既存のアルバムを配信をクリックします。アルバムを選択し、オンラインアルバムウィザードの「配信先」領域で、「CD/DVD へ書き出し」を選択して「次へ」をクリックします。
 - アルバムパネルで、アルバムを展開します。書き出すアルバムを右クリックして、「CD/DVD へ書き出し」を選択します。

2. 書き込む CD-ROM ドライブを選択し、ディスクの名前を入力します。

CD-ROM ドライブに空の CD/DVD がセットされている場合は、Elements Organizer によって自動的に CD/DVD に書き込まれます。そうでない場合は、Elements Organizer は空の CD/DVD を挿入して処理を完了させるよう要求します。

[トップへ戻る](#)

オンラインアルバムのハードディスクへの書き出し

写真の配置とオンラインアルバムのテンプレートの選択が終了したら、配信方法を指定します。Elements Organizer では、オンラインアルバムをハードディスクに書き出すことができます。

1. 次のいずれかの操作を行います。
 - 配信／オンラインアルバム／既存のアルバムを配信をクリックします。アルバムを選択し、オンラインアルバムウィザードの「配信先」領域で、「ハードディスクへ書き出し」を選択して「次へ」をクリックします。
 - アルバムパネルで、アルバムを展開します。書き出すアルバムを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）して、「ハードディスクへ書き出し」を選択します。
2. アルバム名とアルバムの保存先を指定します。

[トップへ戻る](#)

アルバムの編集と削除

1. 「アルバム」をクリックしてアルバムを展開します。編集するアルバムを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）し、「編集」を選択します。例えば、「Anna のアルバム」を編集などです。「アルバムを編集」エリアでアルバムを編集します。

2. 「アルバム」をクリックしてアルバムを展開します。削除するアルバムを右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）し、「削除」を選択します。例えば、「Anna のアルバム」を削除などです。

関連項目

[ファイルへのキャプションの追加](#)



[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

Adobe Revel、SmugMug、Flickr で写真を配信

この機能を使用する前に、必ずこれらの写真配信サイトでユーザー登録を行ってください。Adobe Revel の使用を開始する前に、Adobe ID を作成します。

Adobe Revel の書き出しについて詳しくは、[Export photos to Adobe Revel](#) ([Adobe Revel への写真の書き出し](#)) を参照してください。

1. メディアビューで配信する写真を選択します。
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - 配信／Adobe Revel を選択します。
 - 配信／SmugMug Gallery を選択します。
 - 配信／Flickr を選択します。
3. ログイン情報を入力します。
4. 画面の指示に従って、写真を配信サイトにアップロードします。



[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

ビデオの配信

[YouTube へのビデオのアップロード](#)

[Vimeo](#) または [Adobe Photoshop Showcase](#) にビデオを配信

[Web](#) でサポートされるフォーマットでビデオを書き出し

[携帯電話へのメディアファイルの配信](#)

[DVD/Blu-ray ディスクへのビデオファイルの書き込み](#)

YouTube へのビデオのアップロード

[トップへ戻る](#)

YouTube のサイトにビデオをアップロードするには、YouTube のユーザーアカウントを持っている必要があります。Gmail アカウントを持っている場合は、それらの詳細情報を使用して YouTube にログインできます。

YouTube にビデオをアップロードする前に、YouTube へのビデオのアップロードに関するポリシーを必ずお読みください。アップロードするビデオが、サイズ、長さ、フォーマットについて Youtube の基準を満たすことを確認してください。

1. Elements Organizer でビデオクリップを選択します。
2. 配信/YouTube を選択します。
3. ログイン情報を入力し、「認証」をクリックします。

YouTube のアカウントを持っていない場合は、「今すぐサインアップ」をクリックして YouTube のユーザーアカウントを作成します。

Elements Organizer から YouTube にビデオをアップロードするたびにログイン情報の入力が必要にならないようにするには、「ユーザー情報を記憶」を選択します。

4. ビデオを YouTube に配信ダイアログで、次の情報を入力して「アップロード」をクリックします。入力する情報を工夫すると、ビデオが見つかりやすくなります。
 - a. ビデオのタイトルと説明を入力します。



YouTube へのビデオのアップロードに関する次の条件をお読みください

サイズは 2GB まで、再生時間は 15 分までの HD ビデオに対応しています。様々な形式をサポートしています。

重要: 自主制作したコンテンツのみで構成されている場合を除き、いかなるテレビ番組、映画ビデオ、コンサート、コマーシャルを許可なくアップロードしないでください。著作権に関するほとんどのページはコミュニティガイドラインで、ビデオが他者の著作権を侵害しているかを確認できます。「アップロード」をクリックすると、このビデオが YouTube の利用規約に違反していないこと、ビデオに含まれるすべての著作権を所有していること、ビデオをアップロードする許可を得ていることを表明したことになります。

ビデオの詳細

* Central Park New York

* Video taken during the cycle tour of Central Park, NY.

* Central Park, New York, Travel, Vacation, July

タグをコマンドで区切って入力

* 旅行とイベント

アップロードしたビデオの閲覧を許可するユーザーを指定してください。

☒ 一般 (誰でも閲覧可)

☐ プライベート (特定の YouTube ユーザーのみ閲覧可)

キャンセル アップロード

Youtube へのアップロードダイアログボックス

- b. ビデオを表すタグを入力します。例えば、パリでの休暇のムービーの場合は、フランス、パリ、6 月、エッフェル塔などのタグを使用します。
 - c. ビデオの内容と一致するカテゴリを選択します。
 - d. 「一般」または「プライベート」を選択して、ビデオの表示権を選択します。ビデオを「プライベート」に設定すると、自分と、最大 50 人の招待されたユーザーのみが表示できるようになります。ビデオは、チャンネル、検索結果、再生リストなどに表示されません。
5. アップロード中であることを示す進行状況ダイアログボックスが表示されます。「YouTube にアクセス」をクリックします。
 - a. ブラウザーに表示される YouTube のサイトで、ログイン情報を入力します。
 - b. ブラウザーウィンドウの上部にある「ユーザー ID」をクリックし、「ビデオ」を選択します。アップロードしたビデオが、「マイ動画と再生リスト」に表示されます。

Vimeo または Adobe Photoshop Showcase にビデオを配信

この機能を実行する前に、必ず Vimeo または Adobe Photoshop Showcase でユーザー登録してください。Adobe Photoshop Showcase でユーザー登録を行っていない場合、この機能を使用しようとすると、登録を行うよう求められます。画面の指示に従って、Adobe Photoshop Showcase に登録してください。

Adobe Photoshop Showcase に関する情報については、<http://www.photoshopshowcase.com/AboutAps.aspx> を参照してください。

1. 配信するビデオを選択します。
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - 配信/Vimeo を選択します。
 - 配信/Photoshop Showcase へのビデオを選択します。
3. ログイン情報を入力します。
4. 画面の指示に従って、写真を配信サイトにアップロードします。

Web でサポートされるフォーマットでビデオを書き出し

この機能を使用するには、Adobe Premiere Elements をインストールします。

Elements Organizer は、インターネットでの配信に適したファイル形式でムービーを書き出すことができます。

1. コピーするビデオファイルを選択します。
2. 配信/オンラインビデオ配信を選択します。

Adobe Premiere Elements が起動し、Web でサポートされるフォーマットでビデオファイルを書き出すことができます。

携帯電話へのメディアファイルの配信

この機能を使用するには、Adobe Premiere Elements をインストールします。

対応する携帯電話や PDA およびビデオ iPod、PSP（プレイステーションポータブル）などのポータブルメディアプレーヤーでの再生用にムービーを書き出すことができます。

1. コピーするメディアファイルを選択します。
2. 配信/携帯電話を選択します。

Adobe Premiere Elements が起動し、指定した携帯電話やメディアプレーヤーにメディアファイルを書き出すことができます。

DVD/Blu-ray ディスクへのビデオファイルの書き込み

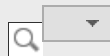
Adobe Premiere Elements をお持ちの場合は、メディアファイルを DVD や Blu-ray ディスクに書き込むことができます。

1. コピーするメディアファイルを選択します。
2. 配信/DVD/Blu-ray ビデオに書き込みを選択します。

Adobe Premiere Elements が起動し、DVD または Blu-ray ディスクにメディアファイルを書き込むことができます。



電子メールによる写真およびメディアファイルの送信



[デフォルトのデスクトップクライアントの設定](#)
[デフォルトの Web ベースクライアントの設定](#)
[電子メールへの添付ファイルとして写真を配信](#)
[埋め込み画像として写真を配信 \(Windows のみ\)](#)
[アドレス帳の使用](#)

電子メールを使用してファイルを配信するには、次の方法を使用します。

PDF スライドショー

複数の画像を単一の PDF ファイルにまとめます。受信者は、無償配布の Adobe Reader を使用して PDF ファイルをスライドショーとして表示できます。

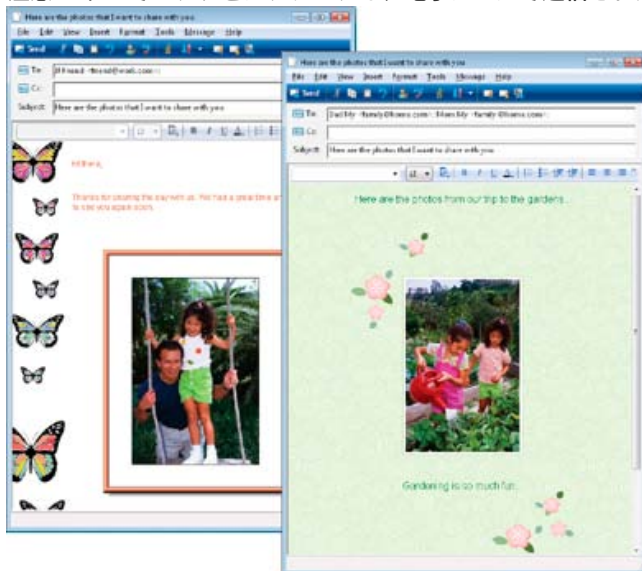
電子メールにファイルを添付

個別の電子メールへの添付ファイルとして画像またはメディアファイルを送信します。写真のサイズを指定できます。

フォトメール (Windows のみ)

写真を電子メールに添付するのではなく、埋め込む場合は、このオプションを使用します。

注意：すべてのタグとメタデータは、電子メールで送信されたファイルに保存されます。



電子メールメッセージの本文に直接写真を表示

プロジェクトを電子メールで送信する方法については、[プロジェクト](#)を参照してください。

[トップへ戻る](#)

デフォルトのデスクトップクライアントの設定

写真の配信に使用する、デスクトップの電子メールクライアントを選択します。Elements Organizer で写真を配信する場合、このクライアントがデフォルトで使用されます。

1. 編集／環境設定／配信 (Windows) または Adobe Elements Organizer 11／環境設定／配信 (Mac OS) を選択します。
2. 電子メールクライアントメニューから、次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。
 - (Windows) Microsoft Outlook®。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
 - (Windows) Adobe 電子メールサービス。Outlook または Outlook Express を使用せずに、Elements Organizer から宛先に電子メールを直接送信する場合。
 - (Windows XP) Outlook Express®。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。

合。

- (Windows Vista) Windows Mail。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
- (Windows 7) Windows Live Mail。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
- (Mac OS) Mail。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
- (Outlook 2011 for Mac OS) Microsoft Outlook®。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
- (Mac OS) Microsoft Entourage。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。

[トップへ戻る](#)

デフォルトの Web ベースクライアントの設定

Google または Yahoo Mail のような Web ベースの電子メールサービスの場合、Adobe 電子メールサービスを使用して、宛先にフォトメールを直接送信することができます。

1. 編集／環境設定／配信 (Windows) または Adobe Elements Organizer 11／環境設定／配信 (Mac OS) を選択します。
2. 電子メールクライアントメニューから、Adobe 電子メールサービスを選択します。
3. ユーザー名と電子メールアドレスを入力します。
4. 「OK」をクリックします。Adobe 電子メールサービスを初めて使用する場合、認証のための電子メールが環境設定ダイアログボックスに入力したアドレスに送信されます。
5. 電子メールの本文には、送信者認証コードが含まれています。コードの入力を求められたら、この認証コードをコピーし、ダイアログボックスに貼り付けて、「OK」をクリックします。
6. 電子メールが認証されたら、「OK」をクリックします。これで、インターネットに接続しているときはいつでも、Elements Organizer から電子メールを直接送信できます。

[トップへ戻る](#)

電子メールへの添付ファイルとして写真を配信

1. 配信する写真を選択します。
2. 配信／電子メールにファイルを添付を選択します。
3. フォーマットが JPEG 以外の画像を JPEG 画像として電子メールで送信する場合は、「写真を JPEG に変換する」を選択します。
4. 写真の最大サイズメニューからオプションを選択し、画質スライダーをドラッグして画像の解像度を調整します。画質を高くするほど、ファイルサイズも大きくなります。
5. 「宛先を選択」リストで名前をクリックして、電子メールの宛先を選択します（表示される名前は、アドレス帳から取得されます）。アドレス帳の宛先を編集するには、宛先アイ



コン をクリックします。

アドレス帳を設定していない場合は、後から宛先の名前を電子メールクライアントに直接入力できます。

6. 「次へ」をクリックします。選択された添付ファイルを含む電子メールと一緒に、宛先のアドレスが表示されます。

Elements Organizer がお使いの電子メールアプリケーションをサポートしていない場合は、ファイルを手動で添付します。電子メールにファイルを添付する方法については、お使いの電子メールアプリケーションのヘルプを参照してください。


7. 電子メールメッセージのコンテンツを編集して、「送信」をクリックします。

[トップへ戻る](#)

埋め込み画像として写真を配信 (Windows のみ)

電子メールメッセージの本文に写真を埋め込む場合は、フォトメールを使用します。ウィザードでは、写真のサイズ、テンプレートの色、テキストの色とエフェクト、およびレイアウトも選択できます。

オプションの選択が完了すると、Elements Organizer はすべての画像を JPEG に変換して、電子メールを生成します。フォトメールは、Microsoft Outlook、Outlook Express、Windows Live Mail または Adobe 電子メールサービスを通じて送信できます。

1. 電子メールで送信する写真を選択します。
2. 配信／フォトメールを選択します。
3. 写真に関連付けられたキャプションを含めるには、「キャプションを含める」を選択します。
4. 電子メールクライアントを設定している場合は、次の操作のいずれかを実行して、電子メールの宛先を選択します。
 - a. 「宛先を選択」リストから名前を選択します（表示される名前は、アドレス帳から取得されます）。
 - b. リスト内で宛先が見つからない場合は、「アドレス帳で宛先を編集する」 をクリックします。
5. 「次へ」をクリックします。
6. テンプレートとレイアウトウィザードで、写真の背景を選択し、「次の手順」をクリックします。
7. 画像のレイアウトとフォントのオプションを指定し、「次へ」をクリックします。

Elements Organizer によって、デフォルトの電子メールクライアントと一緒に埋め込み画像が開きます。
8. 必要に応じて電子メールと宛先を編集し、「送信」をクリックします。

[トップへ戻る](#)

アドレス帳の使用

アドレス帳は、よく使用する電子メールアドレスのリストを維持する際に便利です。Elements Organizer でアドレス帳を設定すると、個人やグループ宛に迅速に写真を送信する際に便利です。

アドレス帳への連絡先の追加

1. 編集／アドレス帳を選択します。
2. 「新規連絡先」ボタンをクリックします。
3. 連絡先の名前、電子メールアドレス、必要に応じて他の情報を入力し、「OK」をクリックします。

アドレス帳へのアドレスの取り込み（Windows のみ）

アドレスを入力する代わりに、Outlook または Outlook Express からアドレスを取り込むことができます。vCard ファイルからアドレスを読み込むこともできます。vCard（VCF）ファイルは、送信者の連絡先情報を含む電子メールへの自動署名です。

1. 編集／アドレス帳を選択します。
2. 「取り込み」をクリックします。
3. 連絡先ソースの選択ダイアログボックスで、連絡先の読み込みオプションを選択します。vCard ファイルの場合は、コンピューター上の VCF ファイルを選択します。

アドレス帳に含まれる入力内容を削除または変更します。

1. 編集／アドレス帳を選択します。
2. リスト内で 1 つ以上の連絡先を選択し、「削除」、「OK」の順にクリックします。

アドレス帳の連絡先の編集

1. 編集／アドレス帳を選択します。
2. 連絡先を選択し、「編集」ボタンをクリック（または連絡先をダブルクリック）します。エントリを編集し、「OK」をクリックします。

アドレス帳のグループの作成

1. 編集／アドレス帳を選択します。
2. 「新規グループ」ボタンをクリックします。
3. 「グループ名」テキストボックスにグループの名前を入力します。
4. 「連絡先」リストで連絡先を選択し、「追加」ボタンをクリックして「メンバー」リストに移動して、グループにメンバーを追加します。隣り合う連絡先を追加する場合は Shift キーを押しながら、離れた連絡先を追加する場合は Ctrl キーを押しながらクリックします。
5. グループから連絡先を削除するには、「メンバー」リストで 1 つ以上の連絡先を選択し、「削除」ボタンをクリックします。
6. 「OK」をクリックして、新規グループダイアログボックスを閉じます。グループがアドレス帳に追加されます。
7. 「OK」をクリックします。

連絡先情報の vCard ファイルへの書き出し（Windows のみ）

1. 編集／アドレス帳を選択します。
2. 連絡先を選択するには、その選択先をクリックします。複数の連絡先を選択する場合は、Ctrl キーを押しながらクリックします。
3. 「vCard を書き出し」をクリックします。
4. コンピューター上で vCard ファイルが保存されている場所を選択してから、「OK」をクリックします。

関連項目

[オンラインプリントサービスへの写真の送信](#)

[オンラインプリントサービスのセットアップ](#)



[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

写真を Facebook にアップロード

Facebook での写真の配信

(オプション) Facebook からの友達リストのダウンロード

Elements Organizer では、Facebook から友達リストをダウンロードすることができます。写真にタグを付ける際、Elements Organizer はこの友達リストを使用して、入力と同時に名前の候補を自動表示します。

Facebook での写真の配信

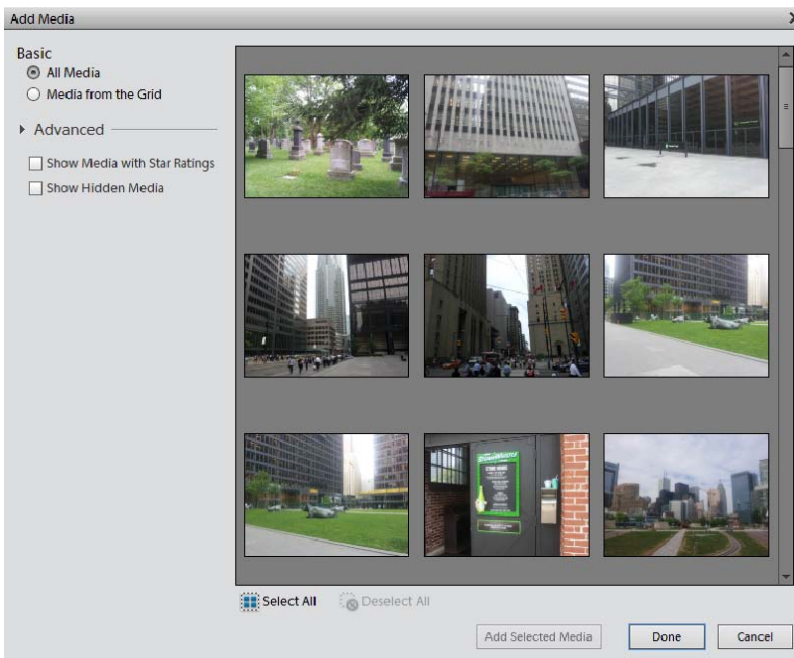
[トップへ戻る](#)

Elements Organizer を使用して Facebook で写真を配信する場合、写真のタグ情報が維持されます。Facebook で写真を表示しているときにタグが付いている人物の上にマウスカーソルを移動すると、人物の名前が表示されます。

1. 配信／Facebook を選択します。
2. 「Facebook の友達リストをダウンロード」チェックボックスをオンにして、Elements Organizer で見られる人物を Facebook の友達リストを使用して特定します。
3. 「認証」をクリックします。
4. デフォルトのブラウザに表示される Facebook ページで、ログイン情報を入力します。

注意： Elements Organizer にログイン情報を記憶させるには、「Photoshop & Adobe Premiere Elements Uploader にログインしたままにする」チェックボックスをオンにします。

5. 「許可する」をクリックします。
6. 「認証完了」をクリックします。
7. Facebook に配信ダイアログで、次の操作を行います。
 - a. ダイアログに表示されている写真以外の写真をアップロードするには、「+」アイコンをクリックします。メディアを追加ダイアログで、各種オプションを使用してアップロードする写真を選択します。選択が完了したら、「選択したメディアを追加」をクリックし、「完了」をクリックします。詳しくは、複数のメディアファイルの選択を参照してください。



Facebook 用のメディアを追加ダイアログ

- b. アップロードしない写真を削除するには、ダイアログでそれらの写真を選択し、「-」アイコンをクリックします。
- c. Facebook に作成されているアルバムに写真をアップロードするには、「写真を既存のアルバムにアップロード」を選択します。メニューからアルバムを選択します。
- d. 写真のアップロード先とするアルバムを Facebook に作成するには、「写真を新しいアルバムにアップロード」を選択します。アルバム

の名前を入力します。必要に応じて、写真の撮影場所とアルバムの内容に関する説明を入力します。

- e. アップロードした写真を閲覧することができる Facebook ユーザーを限定するには、「この写真を閲覧できるユーザー」でオプションを選択します。
 - f. 高解像度画像をアップロードしたい場合のみ、写真のアップロード画質として「高」を選択します。解像度が高い画像ほどアップロードに時間がかかります。
 - g. タグ情報とともに写真をアップロードする場合は、「写真の人物タグをアップロード」が選択されていることを確認します。
8. 「アップロード」をクリックし、Facebook に写真がアップロードされるのを待ちます。
 9. アップロードの確認ダイアログボックスで、「Facebook にアクセスする」をクリックします。表示されるブラウザで Facebook にログインし、アップロードした写真を表示します。

(オプション) Facebook からの友達リストのダウンロード

[トップへ戻る](#)

この手順は、Elements Organizer で人物を識別するのに Facebook の友達リストを使用する場合に使用します。

注意： Facebook で友達リストを更新した場合は、リストを再度読み込んで、Elements Organizer に更新内容を適用してください。

1. 人物ビューにシフトする人物をクリックします。
2. 「人物を追加」をクリックします。
3. 人物認識ダイアログで、「Facebook の友達リストをダウンロード / 更新して人物に名前を付ける」をクリックします。
4. 「認証」をクリックします。
5. 表示される Facebook ページでログイン情報を入力します。

注意： Elements Organizer にログイン情報を記憶させるには、「Photoshop & Adobe Premiere Elements Uploader にログインしたままにする」チェックボックスをオンにします。

6. 「許可する」をクリックします。
7. 「認証完了」をクリックします。



[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

オンライン表示するアルバムの共有

Elements Organizer 内にあるアルバムを Photoshop Showcase、CD/DVD、またはコンピューター上の保存場所へ書き出すことができます。

Photoshop Showcase を使用して、アルバムやビデオを一般公開したり、選択されたグループに配信したりすることができます。

1. 配信／オンラインアルバムを選択します。
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - 「既存のアルバムを配信する」を選択して、リストからアルバムを選択します。
 - 書き出しのためのアルバムを作成するには、「新しいアルバムを作成する」を選択します。
アルバムの作成を選択する場合、「次へ」をクリックすると、写真をパネルにドラッグして追加するよう求められます。アルバムの名前を入力します。
3. (オプション) 利用可能なテンプレートのリストから、テンプレートを選択します。
4. 次のいずれかの書き出しオプションを選択します。
 - Adobe Photoshop Showcase にアルバムをアップロードする場合は、Photoshop Showcase を選択します。
 - (Windows) 書き出されたアルバムをディスクにコピーするには、「CD/DVD へ書き出し」を選択します。コンピューターのディスクドライブに書き込み可能なディスクが挿入されていることを確認します。
 - 書き出されたアルバムをコンピューター上の保存場所にコピーする場合、「ハードディスクへ書き出し」を選択します。

ディスクまたはコンピューターに書き出す場合は、書き出すファイルが含まれるフォルダーを開きます。HTML ファイルを開いてアルバムを再生します。



写真を PDF ファイルとして送信

選択された写真を使用して PDF ファイルを作成し、電子メールを使用して配信することができます。PDF ファイルが開くと、PDF ファイル内の写真がスライドショーとして再生されます。

1. 配信する写真を選択します。
2. 配信／PDF スライドショーを選択します。
3. 書き出されたファイルのサイズと画質を指定します。高い画質を指定すると、それに対応して PDF ファイルのサイズも大きくなります。
4. PDF ファイルの名前を入力します。
5. 電子メールクライアントのアドレス帳を作成している場合、連絡先のリストが表示されます。リストから宛先を選択します。
6. 「次へ」をクリックします。

デフォルトの電子メールクライアント（配信／環境設定で指定）が開きます。生成された PDF ファイルは、添付ファイルとして検索できます。

7. 電子メールのコンテンツを編集して、送信します。



[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)



オンラインプリントサービスを使用してプリント写真を注文



[オンラインプリントサービス](#)
[オンラインプリントサービスのセットアップ](#)
[プリントの注文](#)
[フォトカレンダー](#)

[トップへ戻る](#)

オンラインプリントサービス

プリント、フォトブック、およびグリーティングカードを注文するには、オンラインプリントサービスに登録します。このサービスのご利用は無料ですが、注文の際はクレジットカード番号が必要です。

利用できるオンラインプリントサービスは、地域によって異なります。例えば、北米とアジアでは、オンライン注文サービスの内容が異なる場合があります。オンラインメニューには、その地域で利用できるサービスが反映され、新サービスが導入されると更新されます。

(Mac OS) Elements Organizer はプリントおよび作品制作に Photoshop Elements を使用します。

[トップへ戻る](#)

オンラインプリントサービスのセットアップ

Elements Organizer の Adobe Photoshop Services を使用して、画像とプロジェクトをオンラインのプリント専門店に送信できます。Adobe Photoshop サービスは随時更新されます。環境設定に、新サービスをチェックするオプションがあります。

1. 編集／環境設定／Adobe パートナーサービスを選択します。Mac OS では、Adobe Elements 11 Organizer／環境設定／Adobe パートナーサービスを選択します。
2. 環境設定ダイアログボックスで次のオプションを設定します。
サービスを自動的に確認
オンラインプリントサービスの更新を自動的に確認します。提供されるサービスは、地域によって異なります。

サービスアップデートの通知を表示
新しいサービスアップデートの通知を受け取ります。

Adobe プロモーションの通知を表示
Adobe プロモーションの通知を受け取ります。

製品サポートの通知を表示
製品サポートの通知を受け取ります。

他社のサービスの通知
他社が提供するサービスの通知を受け取ります。

国または地域
Adobe Photoshop サービスから地域別のサービスを受け取れるよう、「選択」ボタンをクリックして現在の場所を指定します。

更新
新しいプリント、配信、およびダウンロードサービスを Elements Organizer に追加します。新しいサービスが利用可能になると、ダイアログボックスには、専門店で利用できるサービスの種類とオプションが表示されます。

アカウントを初期化
すべてのサービスについて保存されたアカウント情報を初期化できます。

オンラインサービスデータを消去
Adobe からのメッセージを削除します。

3. サービスの環境設定後、使用可能になった通知およびアップデートが表示されます。次の

いずれかの操作を行います。

- ステータスバー上にある通知を表示ボタンをクリックします（Elements Organizer ワークスペースの下部）。お知らせ、新サービスおよびアップデートの完全なリストを表示します。通知ウィンドウで通知を選択し、「表示」ボタンをクリックするか、アップデートまたはサービスを選択して、「実行」ボタンをクリックします。
- 封筒ボタンをクリックし、Elements Organizer のステータスバーに表示された最新の発表、サービス、またはアップデートにアクセスします。
注意： インターネットに接続して、アップデートと通知を表示します。



[トップへ戻る](#)

プリントの注文

利用できるオンラインプリントサービスは、地域によって異なります。オプションの一部は、アジア、ヨーロッパ、北米の地域ごとに異なります。自分の地域でオンラインプリントサービスを利用できない場合、このオプションは表示されません。

Elements Organizer では、プリント専門店でプリントを注文し、指定した送付先に郵送してもらうことができます。プリントを注文する前に、写真に必要な変更を加えてください。オンラインプリントサービスの Web ページでは写真を補正できません。

1. 注文する写真を選択します。フォトプロジェクト（PSE 形式）はプリントとして注文できます。

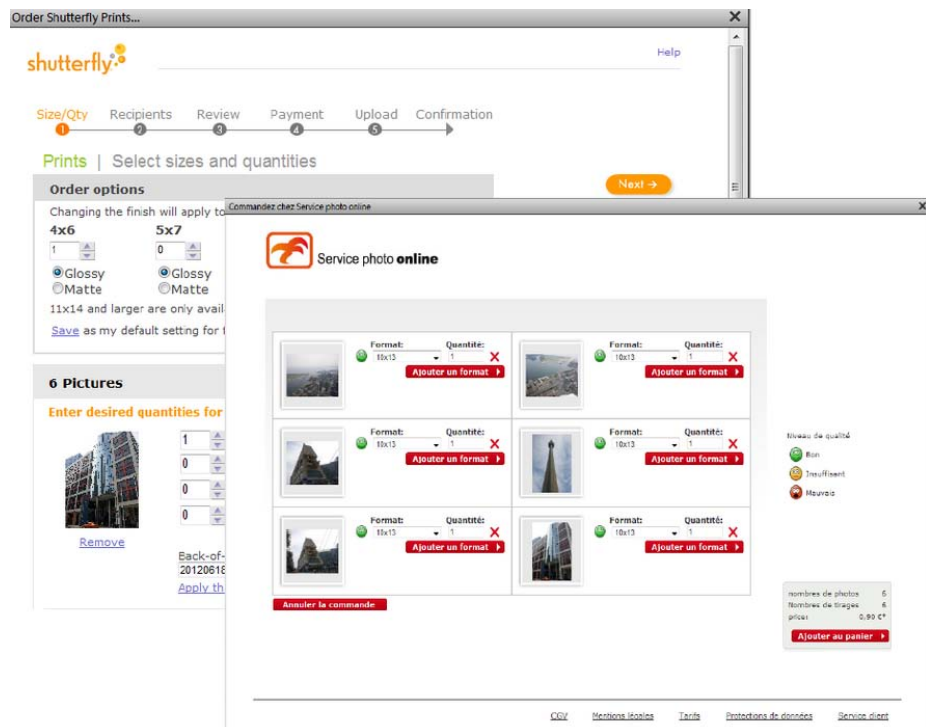
  フォトブックを注文する前に、プロジェクトを最適化してください。

2. 次のいずれかの操作を行います。

- インストール中に米国を居住国として選択した場合は、ファイル／プリントの注文／Shutterfly プリントの注文を選択します。
- インストール中に米国以外の国を選択した場合は、ファイル／注文を選択します。お住まいの国のオプションが表示されます。オプションを選択します。

注意： 選択されたオンラインプリントサービスの会員であることを確認します。

3. 画面の指示に従って、プリントの作成および注文を行います。



オンラインプリントサービス

[トップへ戻る](#)

フォトカレンダー

フォトカレンダーの場合、プリントされたカレンダーを準備するプロセスがオンラインプリン

トサービスの Web ページによって段階的に説明されます。これで、オンラインプリントサービスの Web ページから、各アイテムの数や注文したアイテムの送付先も指定できます。カレンダーをすぐに注文しない場合は、オンラインプリントサービスの Web サーバーに保存して、いつでも注文できます。

フォトカレンダーは、Adobe® Photoshop® Services Web サイトを使用して作成および注文します。有効な電子メールアドレスを使用して、装丁されたカレンダーを注文するには、このサービスに登録します。このサービスへの加入は無料ですが、注文の際はクレジットカード番号が必要です。

Elements Organizer によって Photoshop Elements が起動されるので、それを使用してフォトカレンダーを作成できます。この機能を使用する前に、Photoshop Elements がインストールされていることを確認してください。

Shutterfly を使用したフォトカレンダーの作成

1. 作成／フォトカレンダーを選択します。
2. Photoshop Elements で、要件に応じてカレンダーを変更します。
3. 画面に表示される指示に従って、フォトカレンダーの作成や注文を行います。

注意： サービスを利用するには、Shutterfly メンバーシップにサインアップします。

関連項目

[電子メールによる写真およびメディアファイルの送信](#)

[カメラ内蔵携帯電話](#)



[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

電子メールの環境設定

1. 編集／環境設定／配信（Windows）または Adobe Elements Organizer 11／環境設定／配信（Mac OS）をクリックします。
2. メールクライアントメニューから次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。
 - （Windows）Microsoft Outlook®。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
 - （Windows）Adobe 電子メールサービス。Outlook または Outlook Express を使用せずに、Elements Organizer から宛先に電子メールを直接送信する場合。
 - （Windows XP）Outlook Express®。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
 - （Windows Vista）Windows Mail。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
 - （Windows 7）Windows Live Mail。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
 - （Mac OS）Mail。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
 - （Mac OS）Microsoft Entourage。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
 - （Outlook 2011 for Mac OS）Microsoft Outlook®。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
3. 「配信の設定」で、「電子メールの配信で変更した写真のキャプションをカタログに保存」を選択し、電子メールに書き込まれているキャプションをカタログに書き出します。



ビデオの配信

[YouTube へのビデオのアップロード](#)

[Vimeo](#) または [Adobe Photoshop Showcase](#) にビデオを配信

[Web](#) でサポートされるフォーマットでビデオを書き出し

[携帯電話へのメディアファイルの配信](#)

[DVD/Blu-ray ディスクへのビデオファイルの書き込み](#)

YouTube へのビデオのアップロード

[トップへ戻る](#)

YouTube のサイトにビデオをアップロードするには、YouTube のユーザーアカウントを持っている必要があります。Gmail アカウントを持っている場合は、それらの詳細情報を使用して YouTube にログインできます。

YouTube にビデオをアップロードする前に、YouTube へのビデオのアップロードに関するポリシーを必ずお読みください。アップロードするビデオが、サイズ、長さ、フォーマットについて Youtube の基準を満たすことを確認してください。

1. Elements Organizer でビデオクリップを選択します。
2. 配信/YouTube を選択します。
3. ログイン情報を入力し、「認証」をクリックします。

YouTube のアカウントを持っていない場合は、「今すぐサインアップ」をクリックして YouTube のユーザーアカウントを作成します。

Elements Organizer から YouTube にビデオをアップロードするたびにログイン情報の入力が必要にならないようにするには、「ユーザー情報を記憶」を選択します。

4. ビデオを YouTube に配信ダイアログで、次の情報を入力して「アップロード」をクリックします。入力する情報を工夫すると、ビデオが見つかりやすくなります。
 - a. ビデオのタイトルと説明を入力します。

YouTube へのビデオのアップロードに関する次の条件をお読みください

サイズは 2GB まで、再生時間は 15 分までの HD ビデオに対応しています。様々な形式をサポートしています。

重要: 自主制作したコンテンツのみで構成されている場合を除き、いかなるテレビ番組、音楽ビデオ、コンサート、コマーシャルを許可なくアップロードしないでください。著作権に関するほとんどのページはコミュニティガイドラインで、ビデオが他者の著作権を侵害しているかを確認できます。「アップロード」をクリックすると、このビデオが YouTube の利用規約に違反していないこと、ビデオに含まれるすべての著作権を所有していること、ビデオをアップロードする許可を得ていることを表明したことになります。

ビデオの詳細

* Central Park New York

* Video taken during the cycle tour of Central Park, NY.

* Central Park, New York, Travel, Vacation, July

タグをコマンドで区切って入力

* 旅行とイベント

アップロードしたビデオの閲覧を許可するユーザーを指定してください。

☒ 一般 (誰でも閲覧可)

☐ プライベート (特定の YouTube ユーザーのみ閲覧可)

キャンセル アップロード

Youtube へのアップロードダイアログボックス

- b. ビデオを表すタグを入力します。例えば、パリでの休暇のムービーの場合は、フランス、パリ、6 月、エッフェル塔などのタグを使用します。
 - c. ビデオの内容と一致するカテゴリを選択します。
 - d. 「一般」または「プライベート」を選択して、ビデオの表示権を選択します。ビデオを「プライベート」に設定すると、自分と、最大 50 人の招待されたユーザーのみが表示できるようになります。ビデオは、チャンネル、検索結果、再生リストなどに表示されません。
5. アップロード中であることを示す進行状況ダイアログボックスが表示されます。「YouTube にアクセス」をクリックします。
 - a. ブラウザーに表示される YouTube のサイトで、ログイン情報を入力します。
 - b. ブラウザーウィンドウの上部にある「ユーザー ID」をクリックし、「ビデオ」を選択します。アップロードしたビデオが、「マイ動画と再生リスト」に表示されます。

Vimeo または Adobe Photoshop Showcase にビデオを配信

この機能を実行する前に、必ず Vimeo または Adobe Photoshop Showcase でユーザー登録してください。Adobe Photoshop Showcase でユーザー登録を行っていない場合、この機能を使用しようとすると、登録を行うよう求められます。画面の指示に従って、Adobe Photoshop Showcase に登録してください。

Adobe Photoshop Showcase に関する情報については、<http://www.photoshopshowcase.com/AboutAps.aspx> を参照してください。

1. 配信するビデオを選択します。
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - 配信/Vimeo を選択します。
 - 配信/Photoshop Showcase へのビデオを選択します。
3. ログイン情報を入力します。
4. 画面の指示に従って、写真を配信サイトにアップロードします。

Web でサポートされるフォーマットでビデオを書き出し

この機能を使用するには、Adobe Premiere Elements をインストールします。

Elements Organizer は、インターネットでの配信に適したファイル形式でムービーを書き出すことができます。

1. コピーするビデオファイルを選択します。
2. 配信/オンラインビデオ配信を選択します。

Adobe Premiere Elements が起動し、Web でサポートされるフォーマットでビデオファイルを書き出すことができます。

携帯電話へのメディアファイルの配信

この機能を使用するには、Adobe Premiere Elements をインストールします。

対応する携帯電話や PDA およびビデオ iPod、PSP（プレイステーションポータブル）などのポータブルメディアプレーヤーでの再生用にムービーを書き出すことができます。

1. コピーするメディアファイルを選択します。
2. 配信/携帯電話を選択します。

Adobe Premiere Elements が起動し、指定した携帯電話やメディアプレーヤーにメディアファイルを書き出すことができます。

DVD/Blu-ray ディスクへのビデオファイルの書き込み

Adobe Premiere Elements をお持ちの場合は、メディアファイルを DVD や Blu-ray ディスクに書き込むことができます。

1. コピーするメディアファイルを選択します。
2. 配信/DVD/Blu-ray ビデオに書き込みを選択します。

Adobe Premiere Elements が起動し、DVD または Blu-ray ディスクにメディアファイルを書き込むことができます。



ビデオ

このページからリンクされている内容の一部は英語版のみです。

ビデオプロジェクトの表示

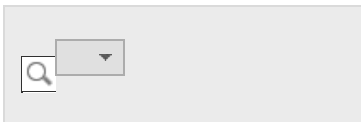
Elements Organizer に、Adobe Premiere Elements で作成したプロジェクトのリストが表示されます。ただし、Elements Organizer でこれらのプロジェクトに対する名前の変更、編集、メディアファイルの追加は行えません。これらのプロジェクトに対して編集またはメディアファイルの追加を行うには、Adobe Premiere Elements を起動してください。Adobe Premiere Elements で作成したビデオプロジェクトを表示するには、次の操作を行います。

1. Elements Organizer でアルバムを展開します（アルバムの横にある三角形をクリックします）。アルバムのリストとビデオプロジェクトのオプションが Elements Organizer に表示されます。
2. ビデオプロジェクトを展開して（プロジェクトの横にある三角形をクリックします）、ビデオプロジェクトのリストを表示します。
プロジェクト内に存在するメディアを表示するには、ビデオプロジェクトをクリックします。
3. 編集するプロジェクトを選択し、右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）して、次のオプションが含まれるコンテキストメニューを開きます。
Premiere Elements で開く **Elements Editor** このオプションを選択して、プロジェクトを表示します。
削除 このオプションを選択して、ビデオプロジェクトをカタログから削除します。



Adobe Premiere Elements で作成したビデオプロジェクトの表示

ビデオと全画面画像の表示



ビデオファイルの表示

メディアファイルをフルスクリーン表示または並べて比較する


フルスクリーン表示のオプション

プロパティパネルのオプション

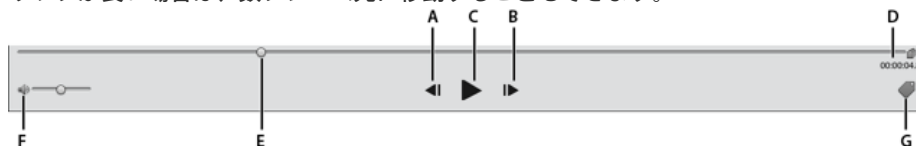
メディアファイルへの切り替え方法の適用

[トップへ戻る](#)

ビデオファイルの表示

メディアビューでは、ビデオクリップの最初のフレームがクリップのサムネールとして表示されます。メディアビューでフィルムストリップアイコン  が付いているアイテムはビデオクリップです。

1. メディアビューで、ビデオクリップをダブルクリックします。
注意：Elements Organizer で QuickTime ムービーを表示するには、コンピューターに QuickTime プレーヤーをインストールする必要があります。まだインストールされていない場合は、www.apple.co.jp/quicktime/download から QuickTime インストーラーをダウンロードし、実行してください。
2. Elements Organizer ビデオウィンドウが表示されたら、再生ボタンをクリックしてビデオを再生します。フレーム単位で表示するには、スライダーをドラッグします。ビデオクリップが長い場合は、数フレーム先に移動することもできます。



Photoshop Elements ビデオウィンドウ

A. および B

開始点ボタンと終点ボタン

C.

再生ボタン

D.

経過時間

E.

スライダーをドラッグしてビデオクリップの再生箇所を指定

F.

音量調節

G.

キーワードタグの追加

3. 閉じるボタンをクリックして、Elements Organizer メディアプレーヤーを閉じます。
Elements Organizer で再生可能なファイル形式は、インストールされているアプリケーションによって次のように異なります。
Photoshop Elements のみをインストールしている場合
著作権使用料が不要なフィルターを使用して再生することができるファイル形式（ビデオおよびオーディオ）のみ、Elements Organizer で再生できます。特定のファイル形式にシステムでサポートされている他のフィルター（QuickTime など）が適用されている場合、Elements Organizer でも再生できます。Mac OS では、Photoshop Elements でインストールされたコーデックを使用してビデオが再生されます。アプリケーションでそのコーデックを使用できない場合は、QuickTime コーデックが使用されます。

Adobe Premiere Elements のみをインストールしている場合

すべてのファイル形式（ビデオおよびオーディオ）が Elements Organizer で再生できます。

Photoshop Elements および Adobe Premiere Elements の両方をインストールしている場合、すべてのファイル形式（ビデオおよびオーディオ）が Elements Organizer で再生できます。

[トップへ戻る](#)

メディアファイルをフルスクリーン表示または並べて比較する

フルスクリーン表示および写真を並べて比較機能により、ウィンドウやメニューなどのインターフェイスアイテムにわずらわされることなくメディアファイルを表示できます。マウススクロールを使用してメディアのズームやパンができます。

「フルスクリーンで表示、編集、整理」オプションを使用すると、複数のメディアファイルがフルスクリーンのスライドショーとして表示されます。次のようにスライドショーをカスタマイズできます。


- 画像の表示中にオーディオファイルを再生。
- 選択したファイルのサムネールを画面の右側にフィルムストリップとして表示
- メディアファイルにエフェクトを追加

スライドショーで使用する写真を決定した後、必要な編集を行うことができます。写真は、このビューから直接スライドショーエディターに送信できます。スライドショーを作成するには、右クリックし、作成／スライドショーを選択します（Windows のみ）。



フルスクリーン表示


メディアファイルをフルスクリーンで表示するには、次のいずれかの操作を行います。

- 表示するメディアファイルを選択し、フルスクリーンプレビューで表示、編集、整理アイコン  をクリックします。
- F11 キー（Windows）または Cmd + F11 キー（Mac OS）を押します。

「写真を並べて比較」コマンドは、2 つの写真と同時に表示します。写真を並べて比較表示は、写真の細部と相違点に注目したいときに便利です。複数の写真を選択して比較できます。

写真を比較するには、次のいずれかの操作を行います。

- Elements Organizer の右上にある、画面表示／写真を並べて比較を選択します（このオプションは、一部の地域では使用できません）。
- 2 枚の写真を選択し、F12 キー（Windows）または Cmd + F12 キー（Mac OS）を押します。

写真を並べて比較表示では、現在選択している写真が青色の境界線で囲まれます。次のメディアを表示ボタン  をクリックすると、写真が切り替わります。選択したもう 1 枚の写真が表示されます。「フィルムストリップ」オプションを有効にしている場合は、フィルムスト

リップの画像をクリックすると、選択した画像（青い境界線で囲まれている画像）の代わりに表示できます。



構図や細部を分析するには、写真を並べて比較表示を使用します。

フルスクリーン表示または写真を並べて比較表示では、次の内容を表示できます。

クイック編集パネル

表示されているメディアファイルを編集できます。

クイック整理パネル


タグを作成してメディアファイルに適用することができます。また、メディアファイルを既存のアルバムに追加することもできます。

コントロールバー



すべてのナビゲーションアイコンおよびコントロールアイコンが表示されており、必要なパネルやダイアログにアクセスすることができます。








フルスクリーンで整理ボタンまたは写真を並べて比較ボタンをクリックして、表示を交互に切り替えることができます。

クイック編集パネル

フルスクリーンで整理表示または写真を並べて比較表示では、表示した写真をクイック編集パネルで編集することができます。クイック編集パネルは画面の左側に表示され、初期設定では最小化されています。また、数秒間マウスを動かさずにいると最小化されます。最大化するには、パネル上にマウスを移動させるか、フルスクリーンプレビューバー内の「クイック編集パネルの表示切り替え」をクリックします。自動的に隠すボタンをクリックすると、クイック編集パネルがいつでも表示されるようになります。

次の表は、クイック編集パネル内の一部のアイコンおよびその機能の説明です。

アイコン	機能
スマート補正, 	画像の露出不足、コントラスト、カラーバランス、カラー彩度などによる問題を補正します
カラー, 	自動カラー補正で、写真のカラーを補正します

レベル, 	自動レベル補正で、写真の色調範囲を補正します
コントラスト, 	自動コントラストで、コントラストを補正します
シャープ, 	写真にシャープを適用します
赤目修正 	赤目を修正します
写真を編集 	Photoshop Elements Editor を起動します
ビデオ編集 	Adobe Premiere Elements を起動します
プリントマークを追加 	プリントするメディアファイルにマークを付けます

注意：表示している写真の重要度を設定するには、星を選択します。写真の重要度を消去したい場合は、一番右にあるゴールドの星をクリックします。

クイック整理パネル

フルスクリーン表示または写真を並べて比較表示のクイック整理パネルを使用して、表示されているメディアファイルにキーワードタグを作成したり、追加したりすることができます。クイック整理パネルは画面の左側に表示され、初期設定では最小化されています。また、数秒間マウスを動かさずにいると最小化されます。最大化するには、パネル上にマウスを移動させるか、フルスクリーンプレビューバー内の「クイック整理パネルの表示切り替え」をクリックします。

クイック整理パネルには次のサブパネルがあります。

アルバムパネル

既存のアルバムのリストを表示します。表示中のメディアファイルに関連付けられたアルバムがハイライト表示されます。

キーワードタグ

タグクラウド表示内のキーワードタグのリストが表示されます。メディアファイルに関連付けられたタグがハイライト表示されます。

クイック整理パネルを使用すると、次のタスクを実行することができます。

- 表示中のメディアファイルを既存のアルバムに追加できます。例えば、表示中のメディアファイルを「ディズニーランド」というアルバムに追加するには、アルバムサブパネルで「ディズニーランド」をクリックします。
- タグを作成して表示中のメディアファイルに適用します。

新しいタグを作成して表示中のメディアファイルに適用するには、次の操作を行います。

- キーワードタグサブパネルで、「メディアにタグ付け」テキストボックスにタグの名前を入力します。例えば「休日」という名前のキーワードタグを作成する場合、テキストボックスに「休日」と入力します。
- 「追加」をクリックします。

作成したタグが表示中のメディアに適用されます。

既存のタグを表示中のメディアファイルに適用するには、キーワードタグサブパネルでタグ名をクリックします。タグがハイライト表示されます。

コントロールバー

コントロールバーには、メディアファイルの検索や再生などを行うアイコンが表示されます。マウスを数秒間動かさずにいると、コントロールバーが非表示になります（再表示するには、マウスを動かします）。

コントロールバーに表示されるアイコンは、次のとおりです。

フィルムストリップアイコン

フィルムストリップの画像の表示と非表示を切り替えることができます。クリックすると、画面右側にすべての画像のサムネイルが表示されます。もう一度クリックすると、画像が非表示になります。

かんたん補正パネル

かんたん補正パネルの表示と非表示を切り替えることができます。クリックすると、かんたん補正パネルが画

面の左側に表示されます。もう一度クリックすると、かんたん補正パネルが非表示になります。

クイック整理パネル

クイック整理パネルの表示と非表示を切り替えることができます。クリックすると、クイック整理パネルが画面の左側に表示されます。もう一度クリックすると、クイック整理パネルが非表示になります。

前へ

前のメディアファイルを表示します。

次へ

次のメディアファイルを表示します。

再生

メディアファイルを再生します。

設定を開く ダイアログ

フルスクリーン表示のオプションダイアログボックスが表示されます。

切り替え方法

切り替え方法を選択ダイアログボックスが表示されます。

プロパティパネルの表示切り替え

プロパティパネルの表示と非表示を切り替えることができます。

フルスクリーンで表示、編集、整理

写真を並べて比較表示からフルスクリーン表示に切り替えることができます。

写真を並べて比較

写真を並べて比較表示に切り替えることができます。

写真を並べて比較表示の画像倍率を同期

写真を並べて比較表示に写真を表示すると、画像倍率が同期されます。例えば、このアイコンをクリックしてマウスでズームインすると、両方の画像が同時にズームインされます。

[トップへ戻る](#)

フルスクリーン表示のオプション

フルスクリーン表示のオプションダイアログボックス内のオプション
コントロールバーで設定アイコンをクリックします。

BGM

スライドショーの実行中に再生するオーディオファイルを指定します。別のファイルを選択するには、「参照」をクリックし、目的のファイルを検索して選択します。

オーディオキャプションを再生

スライドショーの実行中に再生する、選択したファイルのオーディオキャプションを指定します。

スライド間隔

画面上での各画像の表示時間を指定します。この時間が過ぎると、次の画像が表示されるか、フェードインします。

キャプションを含める

キャプションを画面の下部に表示します。

写真のサイズ変更を許可

写真のサイズを画面に合うように変更します。

ビデオのサイズ変更を許可

ビデオのサイズを画面に合うように変更します。

フィルムストリップを表示


選択したすべての画像を細長いサムネールにして画面の右側に表示します。フルスクリーン表示する画像を選択するには、サムネールをクリックします。

スライドショーを繰り返し再生

停止されるまでスライドショーを繰り返し再生します。

[トップへ戻る](#)

プロパティパネルのオプション

メディアファイルに関連するプロパティがプロパティパネルに表示されます。プロパティパネルを表示するには、プロパティパネルの表示切り替えアイコン  をクリックします。パネル

は次のオプションで構成されています。

一般

メディアファイルの一般的なプロパティ（ファイル名、重要度、キャプション、メモ）を表示します。

メタデータ

ファイルに関連するメタデータを表示します。詳細を完全に表示するには「詳細」をクリックし、ファイルに関連する一部のメタデータを表示するには「概要」をクリックします。

キーワードタグ

メディアファイルに関連するキーワードタグを表示します。

履歴

ファイルの履歴（更新日時、取り込み日時）が表示されます。

[トップへ戻る](#)

メディアファイルへの切り替え方法の適用

1. コントロールバーのテーマアイコン をクリックします。
2. 次のオプションのいずれかを選択し、「OK」をクリックします。サムネール上にマウスを移動させて切り替え方法をプレビューすることができます。
 - クラシック
 - フェードイン／アウト
 - パンとズーム
 - 3D ピクセレート

選択した切り替え方法が表示中のメディアファイルに適用されます。エフェクトを表示することもできます。

注意： パンとズームおよび 3D ピクセレート切り替え方法は写真のみをサポートしています。ビデオの場合は、最初のフレームのみがサポートされます。

切り替えと OpenGL

Open Graphics Library（OpenGL）について

OpenGL とは、コンピュータープログラムがディスプレイドライバーと通信するのに使用する、クロスプラットフォームのソフトウェアライブラリです。

パンとズームおよび 3D ピクセレート切り替え方法を使用するには、コンピューターに OpenGL バージョン 1.2 以降がインストールされている必要があります。OpenGL のバージョンは、システムにインストールされているディスプレイカードドライバーによって異なります。システムが OpenGL をサポートしていないことを示す警告が表示された場合は、ディスプレイカードの最新のドライバーがインストールされていることを確認してください。ディスプレイカードのメーカーは、新しいオペレーティングシステムおよびプログラム機能に対応できるように頻繁にドライバーを更新します。ドライバーを更新する前に、現在のディスプレイドライバーのバージョンを確認してください。

Windows XP でのディスプレイドライバーのバージョンの確認方法

1. デスクトップを右クリックして「プロパティ」を選択します。
2. 「設定」を選択し、「詳細設定」を選択します。
3. グラフィックディスプレイカードによって表示されるタブは異なります。「アダプタ」を選択します。ディスプレイカード上のメモリ容量など、ディスプレイカードのデータが表示されます。「プロパティ」を選択し、「ドライバ」を選択して、ドライバーのバージョンを確認します。

Windows Vista でのディスプレイドライバーのバージョンの確認方法

1. デスクトップを右クリックして「個人設定」を選択します。
2. 画面の設定／詳細設定を選択します。「アダプタ」タブに、ディスプレイカード上のメモリ容量など、ディスプレイカードのデータが表示されます。
3. 「プロパティ」を選択し「ドライバ」を選択して、ドライバーのバージョンを確認します。

ディスプレイカードのメーカーの Web サイトで、最新のドライバーを探します。ドライバー

のアップデートのインストールガイドは、ドライバーのアップデートと同じ場所に用意されているか、ドライバーとともにダウンロードされます。

Windows 7 でのディスプレイドライバーのバージョンの確認方法

1. スタートメニューで、「コンピューター」を右クリックして「管理」を選択します。
2. 表示されるパネルの左側で、「デバイスマネージャー」を選択します。
3. 「ディスプレイアダプター」のリストを展開して、ディスプレイドライバーに関する情報を表示します。
4. (オプション) ディスプレイドライバーを右クリックして「プロパティ」を選択すると、さらに詳しい情報が表示されます。

関連項目

[スライドショーについて \(Windows のみ\)](#)



[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

インスタントムービーの作成

Adobe Premiere Elements がインストールされている場合、Elements Organizer を使用してインスタントムービーを作成することができます。インスタントムービーを作成するには、必要なアセットを選択し、作成／インスタントムービーをクリックします。Adobe Premiere Elements が起動し、インスタントムービーを作成できます。



[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

その他のアプリケーションを使用した写真とビデオの補正

選択したメディアを補正するエディターの指定
Adobe Photoshop で写真を編集します。

選択したメディアを補正するエディターの指定

[トップへ戻る](#)

- 次のいずれかの操作を行います。
 - Windows で、編集／環境設定／編集を選択します。
 - Mac OS では、Adobe Elements 11 Organizer／環境設定／編集を選択します。
- Photoshop Elements のみで写真を編集するには、「Photoshop Elements Editor のオプションのみを表示」を選択します。Elements Organizer で写真を右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）すると、Photoshop Elements を使用して編集するオプションのみが表示されます。
- Premiere Elements のみでビデオを編集するには、「Premiere Elements Editor のオプションのみを表示」を選択します。Elements Organizer で写真を右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）すると、Premiere Elements を使用して編集するオプションのみが表示されます。
- Premiere Elements と Photoshop Elements の両方でメディアファイルを編集できるようにするには、「両エディターのオプションを表示」を選択します。
- 他のアプリケーションを使用可能にして写真編集することもできます。「追加の編集アプリケーションを使用」をオンにし、そのアプリケーションを参照して選択します。

Adobe Photoshop で写真を編集します。

[トップへ戻る](#)

Adobe Photoshop を使用して写真を選択し、編集することができます。

- 写真を選択します。

注意： 写真を選択して起動し、4 つのビューのいずれかで編集できます。
- Photoshop Elements のみで写真を編集するには、「Photoshop Elements Editor のオプションのみを表示」を選択します。Elements Organizer で写真を右クリック（Mac OS では control キーを押しながらクリック）すると、Photoshop Elements を使用して編集するオプションのみが表示されます。
- タスクエリアのエディターの横にある三角形をクリックします。編集オプションから Photoshop を選択します。
- Adobe Photoshop がインストールされ、アクティベーションされている場合、写真が起動され、Photoshop で編集できます。



法律上の注意 | [プライバシーポリシー](#)

書き出し

このページからリンクされている内容の一部は英語版のみです。

ビデオの配信

[YouTube へのビデオのアップロード](#)

[Vimeo](#) または [Adobe Photoshop Showcase](#) にビデオを配信

[Web](#) でサポートされるフォーマットでビデオを書き出し

[携帯電話へのメディアファイルの配信](#)

[DVD/Blu-ray ディスクへのビデオファイルの書き込み](#)

YouTube へのビデオのアップロード

[トップへ戻る](#)

YouTube のサイトにビデオをアップロードするには、YouTube のユーザーアカウントを持っている必要があります。Gmail アカウントを持っている場合は、それらの詳細情報を使用して YouTube にログインできます。

YouTube にビデオをアップロードする前に、YouTube へのビデオのアップロードに関するポリシーを必ずお読みください。アップロードするビデオが、サイズ、長さ、フォーマットについて Youtube の基準を満たすことを確認してください。

1. Elements Organizer でビデオクリップを選択します。
2. 配信/YouTube を選択します。
3. ログイン情報を入力し、「認証」をクリックします。

YouTube のアカウントを持っていない場合は、「今すぐサインアップ」をクリックして YouTube のユーザーアカウントを作成します。

Elements Organizer から YouTube にビデオをアップロードするたびにログイン情報の入力が必要にならないようにするには、「ユーザー情報を記憶」を選択します。

4. ビデオを YouTube に配信ダイアログで、次の情報を入力して「アップロード」をクリックします。入力する情報を工夫すると、ビデオが見つかりやすくなります。
 - a. ビデオのタイトルと説明を入力します。

YouTube へのビデオのアップロードに関する次の条件をお読みください

サイズは 2GB まで、再生時間は 15 分までの HD ビデオに対応しています。様々な形式をサポートしています。

重要: 自主制作したコンテンツのみで構成されている場合を除き、いかなるテレビ番組、音楽ビデオ、コンサート、コマーシャルを許可なくアップロードしないでください。著作権に関するほとんどのページはコミュニティガイドラインで、ビデオが他者の著作権を侵害しているかを確認できます。「アップロード」をクリックすると、このビデオが YouTube の利用規約に違反していないこと、ビデオに含まれるすべての著作権を所有していること、ビデオをアップロードする許可を得ていることを表明したことになります。

ビデオの詳細

* Central Park New York

* Video taken during the cycle tour of Central Park, NY.

* Central Park, New York, Travel, Vacation, July
タグをコマンドで区切って入力

* 旅行とイベント

アップロードしたビデオの閲覧を許可するユーザーを指定してください。

☒ 一般 (誰でも閲覧可)

☐ プライベート (特定の YouTube ユーザーのみ閲覧可)

キャンセル アップロード

Youtube へのアップロードダイアログボックス

- b. ビデオを表すタグを入力します。例えば、パリでの休暇のムービーの場合は、フランス、パリ、6 月、エッフェル塔などのタグを使用します。
 - c. ビデオの内容と一致するカテゴリを選択します。
 - d. 「一般」または「プライベート」を選択して、ビデオの表示権を選択します。ビデオを「プライベート」に設定すると、自分と、最大 50 人の招待されたユーザーのみが表示できるようになります。ビデオは、チャンネル、検索結果、再生リストなどに表示されません。
5. アップロード中であることを示す進行状況ダイアログボックスが表示されます。「YouTube にアクセス」をクリックします。
 - a. ブラウザーに表示される YouTube のサイトで、ログイン情報を入力します。
 - b. ブラウザーウィンドウの上部にある「ユーザー ID」をクリックし、「ビデオ」を選択します。アップロードしたビデオが、「マイ動画と再生リスト」に表示されます。

Vimeo または Adobe Photoshop Showcase にビデオを配信

この機能を実行する前に、必ず Vimeo または Adobe Photoshop Showcase でユーザー登録してください。Adobe Photoshop Showcase でユーザー登録を行っていない場合、この機能を使用しようとすると、登録を行うよう求められます。画面の指示に従って、Adobe Photoshop Showcase に登録してください。

Adobe Photoshop Showcase に関する情報については、<http://www.photoshopshowcase.com/AboutAps.aspx> を参照してください。

1. 配信するビデオを選択します。
2. 次のいずれかの操作を行います。
 - 配信/Vimeo を選択します。
 - 配信/Photoshop Showcase へのビデオを選択します。
3. ログイン情報を入力します。
4. 画面の指示に従って、写真を配信サイトにアップロードします。

Web でサポートされるフォーマットでビデオを書き出し

この機能を使用するには、Adobe Premiere Elements をインストールします。

Elements Organizer は、インターネットでの配信に適したファイル形式でムービーを書き出すことができます。

1. コピーするビデオファイルを選択します。
2. 配信/オンラインビデオ配信を選択します。

Adobe Premiere Elements が起動し、Web でサポートされるフォーマットでビデオファイルを書き出すことができます。

携帯電話へのメディアファイルの配信

この機能を使用するには、Adobe Premiere Elements をインストールします。

対応する携帯電話や PDA およびビデオ iPod、PSP（プレイステーションポータブル）などのポータブルメディアプレーヤーでの再生用にムービーを書き出すことができます。

1. コピーするメディアファイルを選択します。
2. 配信/携帯電話を選択します。

Adobe Premiere Elements が起動し、指定した携帯電話やメディアプレーヤーにメディアファイルを書き出すことができます。

DVD/Blu-ray ディスクへのビデオファイルの書き込み

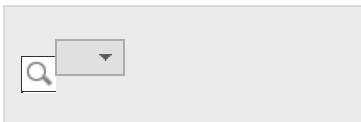
Adobe Premiere Elements をお持ちの場合は、メディアファイルを DVD や Blu-ray ディスクに書き込むことができます。

1. コピーするメディアファイルを選択します。
2. 配信/DVD/Blu-ray ビデオに書き込みを選択します。

Adobe Premiere Elements が起動し、DVD または Blu-ray ディスクにメディアファイルを書き込むことができます。



写真をフォルダーに書き出します。



1. 書き出すアイテムを選択します。
2. ファイル／新規ファイルとして書き出しを選択します。
3. 次のオプションを必須項目として指定します。

ファイル形式

書き出す写真のファイル形式を指定します。現在のファイル形式を維持する場合は、「オリジナル形式を使用」を選択します。

サイズと画質

ピクセル数、ファイルサイズ、圧縮方式および写真の画質を変更します。オリジナル形式を使用して書き出す場合は、元の画像のサイズを増やすことはできません。

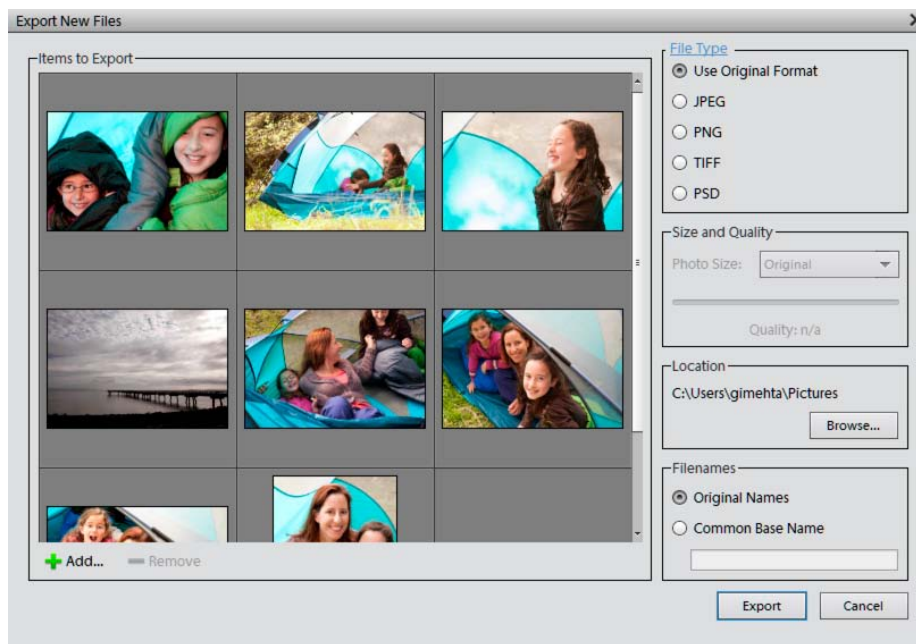
ファイル保存先

書き出すファイルを保存するフォルダーを指定します。別のフォルダーまたはドライブを指定するには、「参照」をクリックします。

ファイル名

書き出すファイルの名前を指定します。写真の現在の名前を使用する場合は、「オリジナルの名前」を選択します。同じ名前にシーケンス番号を追加して書き出すには、「基本名」を選択して名前を入力します。保存先フォルダーにファイル名が存在する場合は、既存のファイルを上書きしないように、書き出すファイルの名前が変更されます。

4. 「書き出し」をクリックします。



新規ファイルとして書き出しダイアログ